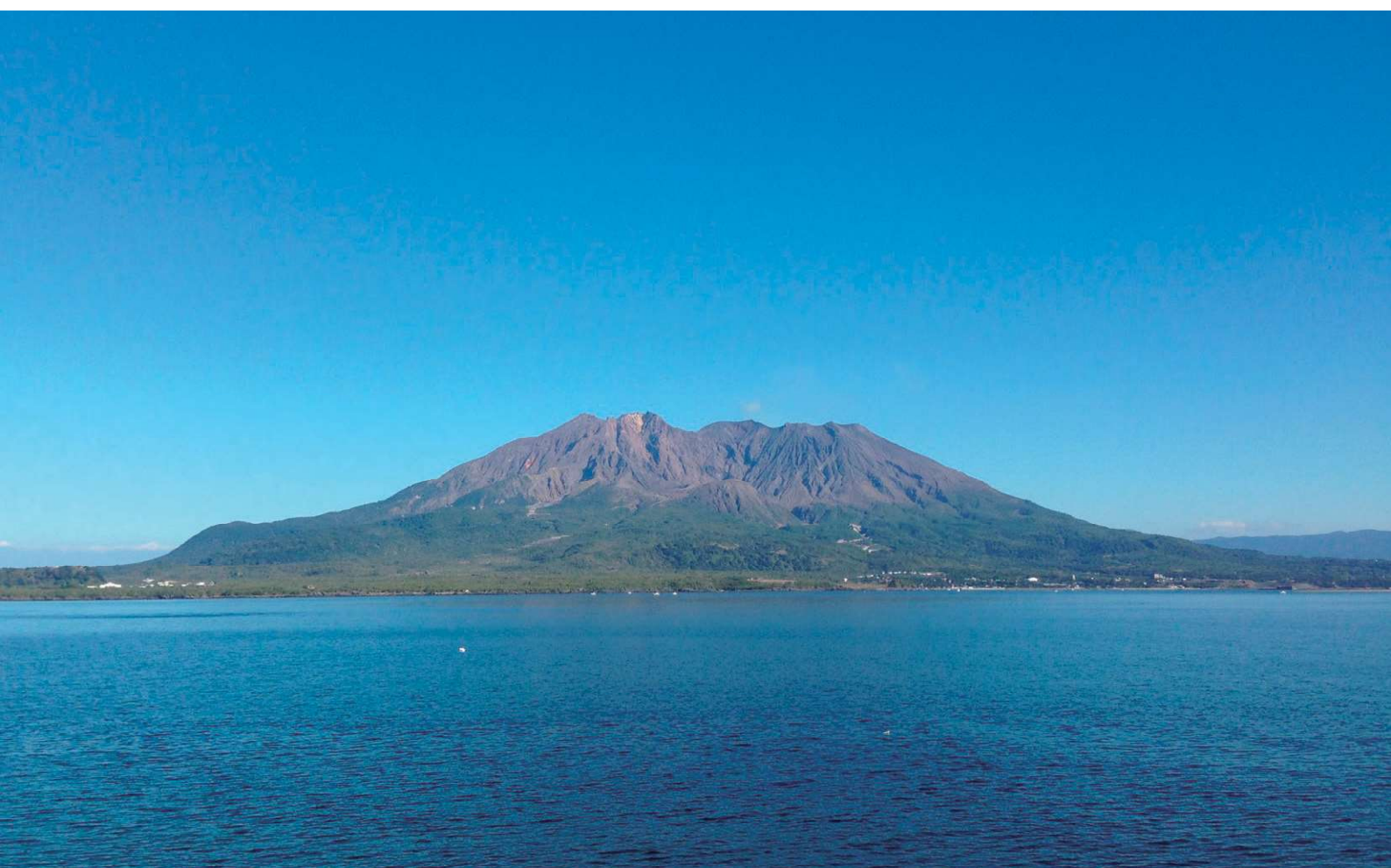


公益財団法人 慈愛会 年 報

第④号

2019年度



公益財団法人 慈愛会

医療の原点は、慈愛にあり。

母が子を慈しみ育てる心、愛を持って病める人の苦しみを除く。
慈しみ、愛する心、その素朴で純粋な気持ちが慈愛会の医療理念です。

患者様を肉親と思い医療の達人（プロフェッショナル）を目指します。

同時に

全職員の物心両面の幸せを追求します。

公益財団法人慈愛会は「医療理念」を実践するために
5つの項目を掲げて質の向上を図っています。

1. 医療を通して地域社会へ貢献します。
2. 良心的な高度医療を提供します。
3. 心に届く慈愛の看護を実践します。
4. 快適な医療環境を提供します。
5. 働きがいのある職場環境を目指します。

目次

巻頭言

公益財団法人慈愛会 理事長 今村英仁	2
公益財団法人慈愛会 会長 納光弘	3

総 括

今村総合病院	5
いづろ今村病院	7
谷山病院	7
奄美病院	8
徳之島病院	8
介護老人保健施設 愛と結の街	9
鹿児島中央看護専門学校	9
慈愛会クリニック	10
七波クリニック	10
高麗町クリニック	11
かごしまオハナクリニック	11

概 要

法人・病院施設概要	12
病院施設別職員数	17
職種別常勤換算人員表	18

病院施設指標

今村総合病院	19
いづろ今村病院	27
谷山病院	35
奄美病院	38
徳之島病院	41
介護老人保健施設 愛と結の街	43
高麗町クリニック	45
鹿児島中央看護専門学校	46

法人業績一覧

論文	49
学会発表	55
研究会・講演会	70
受賞	83
マスメディア	84

研修医育成への取り組み

初期研修プログラム「錦江湾プログラム」	86
慈愛会内科専門研修プログラム	87
慈愛会総合診療専門研修プログラム	87

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

看護部門	88
リハビリテーション部門	103
薬剤部門	116
画像診断 / 放射線治療部門	120
臨床検査部門	126
栄養管理部門	131
ソーシャルワーカー部門 (JSW)	136
臨床工学部門	147
総務人事部門	149
医療情報室 慈愛会総合情報システム (J-TIS) ...	154
教育開発センター	156

社会的活動

地域に開かれた病院づくり / 地域貢献	162
---------------------------	-----

編集後記

◎ 巻頭言



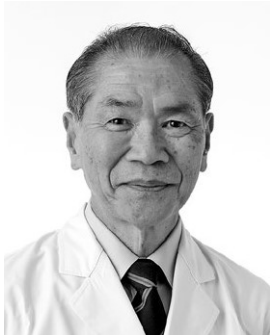
公益財団法人 慈愛会
理事長 今村 英仁

新型コロナ禍で大揺れの令和2年ですが、当法人第4号となる令和元年の年報をまとめました。今後新型コロナ禍の前後で医療提供の在り方は大きく変わるかもしれません。この年報はポストコロナ時代と比較するためにも大事な年報となりそうです。

先日、雑誌の対談で群馬県の民間の公益財団立病院の院長先生と対談しました。その法人は昭和38年、初めに文部省（現在の文部科学省）認可の脳血管研究所として開設し、翌年に法人立病院を設立しています。昭和25年（1950年）に医療法人制度が制定されて以降、民間病院の設立は原則医療法人制度の下で行われることになっていた中で、公益法人の認可と法人立病院の設立がなされたのはそれだけ研究レベルが高かったことの証左と言えます。法人設立以降、研究と臨床を2台柱として事業を行っているとのこと。一方、当法人は奇しくも医療法人制度が制定された昭和25年に鹿児島県認可の公益法人となりました。個人財産の蓄積よりも社会に役立つ病院を目指すことから初代理事長が法人化しましたが、当時まだ医療法人制度がなかったことも公益法人化の一因です。医療法人と公益法人どちらが良いかはどの視点で考えるかで変わりますが、少なくとも当法人は公益法人の下で事業をすすめることが出来たからこそここまで成長出来たのは間違いありません。平成の公益法人改革の際も正々堂々と公益のために事業を進めるために、敢えて認可が厳しい公益財団法人の選択をしました。

令和2年（2020年）は昭和25年（1950年）公益法人となってから70年を迎える節目の年です。引き続き次の70年を目指して年報の歴史を刻んでいきます。

◎ 巻頭言



公益財団法人 慈愛会
会長 納 光弘

慈愛会にとって、この1年はとても大きな進展の年でした。

今村総合病院は、帆北修一院長による絶妙のかじ取りで目覚ましく発展しました。帆北先生の指導に、全職員が一丸となってこの病院を自分たちの手で盛り上げてゆこうと頑張ってくれたように思います。その成果は、ゆるぎない実績としてデータに表れています。病院機能評価を受審し、一般病院2（3rdG: Ver. 2.0）の認定を受けたことは特筆すべきことだったと思います。救急車の受け入れ台数が3,000台を超えたことも、今後の病院の発展を予感させる成果と言えましょう。

いづろ今村病院も黒野明日嗣院長によりさらなる飛躍をとげました。福迫剛院長による谷山病院、杉本東一名誉院長による奄美病院、末満純一院長による徳之島病院、野村秀洋施設長による愛と結の街、それに加えて、慈愛会クリニック、七波クリニック、高麗町クリニックをはじめとして、慈愛会の全ての施設で、この一年は大きな発展がありました。かごしまオハナクリニックの発足も大きな出来事でした。

この機会に、慈愛会の初期研修医の錦江湾プログラムについて、研修管理委員長の立場から報告させていただきます。定員10名の枠に、2019年度に引き続き、2020年度もフルマッチし、鹿児島大学出身の7名と県外大学出身の3名のすばらしい10名でスタートしました。

さて、去年の巻頭言でも言いましたが、私が各病院・施設の皆さんに言い続けてきたことは、『患者様の目から見て、日本一の病院にしましょう』という、メッセージでした。規模の面では、もっと大きな病院が日本中にありますが、私たちの病院・施設を訪れた患者様に『こんなに心のこもった病院は、ここしかない』と感じてもらえたら、それこそが『患者様の目から見て日本一』なのです。これもまた、夢の実現にさらに大きく前進しつつあるように思います。

今村理事長のリーダーシップのもと、全職員が、スクラムを組んで頑張っている姿に私は感動を禁じえません。

皆でさらなる夢の実現に頑張りましょう！

総 括

今村総合病院

院長 帆北 修一

不 将 不 逆 —どんなことにもとらわれない心で「今」を生きる—

2019 年度の今村総合病院

2019 年の今村総合病院の言葉として、“有意注意（中村天風）”を選びました。意識的に意を注ぐということで、目的をもって真剣に意識を集中させるということです。どんなにささいなことでも意識して対応する、無意識には行わない。それを習慣的に行うことが大事です。

また、情報の伝達は迅速にかつ正確に行うことが組織においては必要不可欠ですが、なかなかうまく伝わりません。2019 年1月から会議等で決定された事、連絡を徹底したい事、院長の“つぶやき”を掲載し、職員の皆さんにしっかりと伝えるために毎週、毎月の刊行物“ウィークリー経戦”と“マンスリー経戦”の発行を開始しました。病院としてどのようなことを検討し、予定しているのか等を広く伝えるためです。

2019 年4月1日は、新元号「令和」が政府から発表されました。この記念すべき日に慈愛会の入職式があり、今村英仁先生から122 名の新入職の方に辞令が交付されました。4月2日には今村総合病院で85 名（初期研修医10 名を含む）の入職式が行われました。新しいメンバーが入職される事で病院全体が活性化される気持ちがいたします。鹿児島県で2施設目となる看護師特定行為研修の指定研修病院となり、10 名の研修生が受講されることになりました。精神科病棟が4月にBC 棟6階に移動し48 床となりました。広く鹿児島県全域より身体合併症を有する精神科の患者さんの受け入れに努力しております。

2018 年12 月に成育基本法が成立し、妊娠期から出産後さらには就学時までのケアが重要と見直されました。2019 年5月に企業主導型保育所「さんさんすまいる」が開設され、8月からは小児科の協力で病児保育も可能となりました。子育て支援等に係る総合的な支援をしっかりと行っていきます。

6月には、眼科外来がオープンし、全身麻酔下での眼科手術を当院で行うことになりました。7月にはICU がC 棟からA 棟へ移動し、かなり広いスペースを確保でき、手術室と同じフロアで非常に便利になりました。

7月に鹿児島市の救急隊の皆さんとのカンファレンス・懇親会を行い、救急隊の皆さんと顔の見える関係作りを始めました。今後当院の救急医療が充実したものになる非常に良い機会となりました。10 月に救急車を購入し、主に病院間搬送ですが、救急隊への負担軽減に少しでも貢献できるものと思います。2019 年度の救急車の受け入れ台数は3,012 台／年でした。

7月3日にいづろ今村病院との合同で地域連携のつどいを予定しておりましたが、“過去に経験のない”大雨で、がけ崩れ、河川の氾濫、公共交通機関の停止という状況となり残念ながら延期といたしました。自然災害に対する危機管理として非常に良い経験になったと思います。しかし、その他の地域連携としてのイベントは、わくわくキッズ病院体験、鴨池健康祭り、モニター会議、絵画コンクール、薬薬連携のつどい等例年通りに行うことができました。さらに甲南高校、明桜館高校、鹿児島大学附属中学校、西紫原中学校、鴨池中学校の生徒さんが職場体験等で今村総合病院に来られました。

10 月にはかごしまオハナクリニックが開設し、総合診療体制の構築に向けた取り組みを始めました。これまで以上に地域に密着した医療が提供できるようになりました。また10 月1日付けで急性期の病床を

15床増やし全部で399床となり、A棟7階東病棟が稼働を開始いたしました。

10月15・16日と病院機能評価機構の受審（一般病院2〈3rdG:Ver. 2.0〉）があり、2020年1月に「認定」の審査結果をいただきました。機能評価の準備に多くの職員が関与していただきましたが、病院の事を改めて認識し、質の改善のために第三者の評価が非常に大事だったと感じております。

11月2日には“おはら祭”の前夜祭があり、慈愛会の各施設から参加しましたが、今村総合病院は100名を超える職員が参加し、楽しい時間を過ごすことができました。また、慈愛会全体の取り組みですが、職員能力開発として11月に管理者任用候補者に対する研修会を行いました。2014年11月に看護部における研修として始まり、今年で6回目となります。2017年からは全職種を対象に研修とその後の評価を行い、それぞれのステップアップが目に見える形になってきました。

11月12日には、いづろ今村病院との合同の“地域連携のつどい”を行い、183施設351名の外部の皆さんにおいでいただき、親交を深めることができました。顔の見える関係を少しでも深めることができたと思います。

今村総合病院が今後、本当に鹿児島県の地域医療に貢献できる組織となるためには、目的意識を常日頃から持つべきだと考えます。そしてそれぞれにおいて振り返りが必ず必要です。

2019年4月からは、医師以外の医療職・一般職における「働き方改革関連法」が施行されています。当院でも医師を含めて、労働時間を考慮した働き方を考えております。それぞれの部署で時間の有効利用、効率性・生産性の向上が必要であると思います。

2019年度の事業計画は今村総合病院としての重点目標を含め数値目標はほぼ達成できたと思います。

2020年度の今村総合病院

2020年度の今村総合病院の事業計画としては、慈愛会全体の事業計画に準じたⅠ. 公益目的事業（1～3）は2019年度と同じですが、数値目標をさらに高く設定いたしました。さらにⅡ. 重点目標の中の病院目標13項目を設定しましたが、1）がんにおける集学的治療の拡充、2）総合入院体制加算2の取得に向けた取り組み、3）運営費適正化の推進、4）医療従事者の働き方改革推進の4項目を新たに追加いたしました。2017年からの5ヶ年計画もすでに3年が経過しました。振り返りを行いつつ、2022年からの事業計画策定のために検討を開始する時期です。さらに院内の工事・移動がまだまだ予定されております。

2020年の今村総合病院の言葉として不将不逆（おく 莊子）を選びました。“むか 将らず、逆えず” 過ぎ去った過去のことを思い返したり気にかけて、くよくよと悔やんだりしてはいけません。まだ起こってもいない将来のことをあれこれと気にかけて、思い悩んだり、取り越し苦労を重ねたりしてはいけないという意味です。「今」に集中するために、「今」の質を高めるために、また「今」という時間を充実させるために極めて重要です。いつも目の前に起こったことに向かい、先入観を持たず、どんなことにもとらわれない心で「今」を生きていきたいと思います。

2019年12月末に、新型のウイルス性肺炎発生の情報があり、1～2月で感染が拡大し、3月に“改正新型インフルエンザ等対策特別措置法”が成立し、これに基づく緊急事態宣言が全国を対象として4月16日に発令され、全国・全世界的な規模での感染症となりました。2020年4月現在、世の中が大変混乱していますが、今村総合病院では、地域医療をしっかりと行っていくために、新型コロナウイルス感染症の対策を取りながらそれぞれに対応しております。

今村総合病院を受診される患者さんに安全安心な医療を提供できること、そのご家族ならびに地域の皆さんが健康を維持されること、また当院の職員とその家族が健康で、明るく楽しい職場環境を構築していくことを第一に考えております。新型コロナウイルス感染症が今後収束することを心から祈念しております。

2020年度の幕開けは非常に混乱した世情ではありますが希望を持って頑張りましょう。

2020年（令和2年）風薫る皐月

いづろ今村病院

院長 黒野 明日嗣

最終的な業績としては償却前利益があと少し、返済可能な額に届きませんでしたが、当初予定になかった2人のドクターの異動や病床減少を考えると、スタッフの皆さんには大変頑張っていただいた2019年ということができると思います。当院は必要に合わせて、病院機能を変化させられることが求められます。呼吸器内科の減科、外科医の異動により、落ち込んだパフォーマンスを既存の科がうめる、これを現場レベルで考えて動いてくださったことが、2019年度の大きな収穫でした。スタッフ自らが、自分たちの価値や役割を考え、今求められているものを意識する経営を考えてきましたが、わずかではありますが、形になりつつあった年だと個人的には思っています。年度末には緩和ケア内科を中心にご協力いただき、ついに在宅療養支援病院の申請を出しました。これ自体で加算がつくわけではありませんが、今後の病院のあり方が明確になったと思います。鹿児島市内に本当の意味で機能している在宅療養支援病院を作り上げる第一歩が踏み出した年でした。

谷山病院

院長 福迫 剛

2019年度の谷山病院は、順調ではあるものの、予算通りには行かなかった一年でした。それは、年度途中8月から、訪問看護が谷山病院から離れて、訪問看護ステーション愛の街と合体したためです。しかし、これは、地域包括ケアにも対応した精神科医療という観点からは、素晴らしいことであり、喜ぶべきイベントであったと思います。

その他は、精神科救急の地域拠点病院として時間外を278件（内161件入院）受け入れたり、認知症疾患医療センターとしてかかりつけ医や地域包括支援センターと連携を図ったり、結核を合併した精神障害者3名を受け入れたり、社会復帰施設と連携して長期入院患者さんの地域移行・地域定着を支援したりと、いつものように頑張りました。職員全員が患者さんのため、慈愛会のために、一生懸命働きました。結果は、数字に表れていて、最終的には訪問看護が離れる前の予算に近いものになりました。

2020年度も結果が残せるように、数字に表れない部分も含めて、努力を継続していきたいと思っています。

奄美病院

名誉院長 杉本 東一

2019年度の奄美病院の取り組みとして次の2点を掲げました。①奄美における精神科版地域包括ケアシステム充実のための奄美病院グループの積極的な関わり。②地域移行推進のための奄美病院グループ全体での切れ目ないサービスの提供及び啓発活動。いずれも患者様、利用者様が地域で安心して生活できるよう地域での暮らしを支える取り組みです。その実績を踏まえて以下の5つの部門別に評価、検証をしてみました。①訪問看護ステーションイルカ：新規利用者の柔軟な受け入れを実施し、月平均延べ訪問件数目標615件を優に達成することができました。②デイナイトケア：利用者の送迎を実施し1日平均40名を達成しました。③指定障害福祉サービス事業所あらいぐま：クリーニング業務の充実・拡充を図り1日平均利用者数55名を達成しました。④グループホームひまわり：入居者に寄り添う支援を行うためのスキルアップと広報活動の充実を図り、入居利用率70%超えの維持を達成しました。⑤指定特定相談支援事業所あゆみ：主任相談支援専門員の育成と算定加算の充実を図り、契約件数200件を達成しました。以上5部門ともに年度目標を概ね達成でき、今後の更なる充実に向けての基盤となった年度でした。一方、入院患者数に目を向けると病床利用率の低下が著しく、入院収益の減少が大きな課題となり結果として年度予算は未達成に終わりました。年度の後半には精神療養病棟（60床）の休床届出をし、病棟再編成を行いました。休床に伴い今後どう活かしていくか課題は残っておりますが、精神科中核病院として貢献していきたいと思います。

徳之島病院

院長 末満 純一

昭和40（1965）年、鹿児島県最南端の精神科病院として開設以来、多くの先輩方、多くの地域の人達に支えられて今までこられました。人口減少の続くなか病床数も削減しながら対応してきましたが、近隣での介護施設も増え、そこでの看護師の需要も高まってきて、当院での看護師不足も慢性化してきていました。2019年度も同様で、数年前からの慈愛会「人事交流」を通して支えて頂き、誠にありがとうございました。その他看護師派遣会社からも安定した応募があり、ギリギリながらも基準看護をクリアできました。

このような状況下でしたが、昨年度の1番目の課題であった「長期入院患者の退院促進に向けて」は多職種による支援部会を開催したりして、やっとの思いで目標を達成できました。

次に「沖永良部島、与論島への訪問看護の充実」に関しては、少ない職員の中でのやり繰り、協力により月1回の割で実施でき、地域からも大きな評価を頂いています。

以上の2つでいかに地域の支えが大事であるかを実感しました。

さらにはミャンマーからの技能実習生を3人受け入れました。彼女たちと共に介護の基礎を改めて振り返る事ができ、また漫然と使っていた『日本語』を共に勉強することができて有意義でした（特に精神科に於いては『言葉』は非常に大事です）。

最後の課題である「開かれた病院」に関しては、不本意ながら我々が外向いて話をする機会が一度もありませんでした。しかし学生さんたちを対象にした「インターンシップ」の受け入れは例年通り行いました。このことで徳之島の将来の医療、特に精神科医療を担う若者が育ってくれると信じています。

限られた社会資源の中で厳しい目標でしたが、殆どを達成できたと思います。慢性的なマンパワー不足（個々はパワフルなのですが？）が重大な事故に繋がらないか心配な1年でした。ゆとりのある看護、ゆとりのある医療が出来る日が来ることを願って、振り返りとします。慈愛会の皆さん誠にありがとうございました。

介護老人保健施設 愛と結の街

施設長 野村 秀洋

今年度は「超強化型老健」としての更なる機能アップを目標に、2019年8月から、1. 在宅生活支援の充実として、1) 訪問看護ステーションの機能拡大・充実を目的に笹貫訪問看護ステーション愛の街と谷山病院訪問看護室との統合を計画し、実施しました。更に2. 在宅地域リハビリテーションの充実として、1) 「地域密着型通所介護デイスサービスはなぶさ」の老健内への移設と定員増30名の「通常規模型通所介護事業所デイスサービスはなぶさ」の新規・再スタート、さらに2) 通所リハビリテーション（デイケア）愛と結の街との機能連携によりリハビリやレスパイトケア（家族の方々の負担軽減）等幅広い支援体制の強化構築に取り組みました。

我々は、老健を中心に愛結グループ（居宅介護支援センター・訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・デイスサービスセンター・グループホームなど）の多職種協働の下、谷山地区を中心とした「地域包括ケアシステムの拠点」を目指して、地域活動に貢献していく所存です。

「超強化型老健」としての「在宅復帰と生活支援」の機能強化に職員一丸となって取り組み、人生100年時代の生活支援の場として地域の皆様方にご利用いただければと願っております。

鹿児島中央看護専門学校

校長 今村 英仁

3年課程看護科 副校長 大保 まり子

3年課程看護科は、2019年度「臨床実践能力のある看護職者の育成」に向けて、新たに、関連施設の協力のもと3年次の入退院支援・多職種の役割と倫理観を知る実習、2年次の実習初日を想定したシミュレーション演習や異学年を越えた技術演習等に取り組みました。その中で学生は、対象への切れ目のない一貫した支援の重要性やチームの中での看護職としての役割など多くの学びを得ていました。

また、大学等高等教育無償化機関要件を取得し学生の経済的支援やICT教育推進のための環境等を強化しました。更に専任教員の質向上に向けて関連施設での実地研修、「看護教員キャリア開発プログラム」の作成、2020年度からの本格的運用につなげました。カリキュラム改正に向けては検討委員会を中心に、現行カリキュラム評価・分析を行い、教育内容の精選、各専門科目のマトリックス整理、シラバス修正等に取り組み、2020年度のカリキュラム計画に反映させました。

その他、2011年度から実施してきた教育自己評価に加え学校関係者評価を実施し、委員からの貴重なご意見や結果を学校ホームページに公開しました。評価結果は次年度以降の学校運営に活用し、今後も時代に即した教育の質の向上に取り組んでいきます。

2年課程（通信制）看護科 副校長 南 ひとみ

2年課程（通信制）看護科では就業経験7年以上ある准看護師の看護師へのキャリアアップに取り組みました。2020年の入学生をもって募集停止が決定し、入学要件を満たしている南九州地域の准看護師が一人でも多く進学するように医療関係機関を訪問して教育内容の説明を行いました。その結果、定員を超える准看護師の入学に至りました。

教育目標である「考える力」が身につく看護師養成を目指し、印刷教材による授業や事例授業による看護過程展開の演習を通して自己学習力や問題解決能力強化を進めてきました。この内容は看護過程学習達成度の現状と課題というテーマで教育研究を行い日本看護学会で発表しました。

フィジカル授業の演習や視聴覚教材（DVD、模型など）を使用した講義、ホワイトボードを活用したグループワークを取り入れるなど教育方法を工夫して取り組みました。病院見学実習では科学的根拠に基づいた看護の実際を通して理解を深めてきました。その結果、看護師資格取得率は78.4%でした。今後も学校目標「在籍2年で修了、同時に看護師資格取得」の達成を目指し、看護の質向上に取り組んでいきたいと思ひます。

慈愛会クリニック

院長 今村 尚子

患者数は、前年度比101.3%の11,013人でした。わずかですが昨年度を上回ることができました。

開院から15年目を迎え、患者自身の高齢化と罹患歴の長さに伴うライフスタイルの変化が顕著になってきました。

職員に関しては、2019年4月から植村医師に代わり、鹿児島大学糖尿病内科より堂蘭直樹医師が来られ、診療に尽力していただきました。看護師もいづろ今村病院からの異動により正職員3名になりフットケアも少しずつですが対応できるようになりました。年度末には新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応に追われました。終息時期の見通しがたたない中、マスクや消毒綿も品薄な状況にあり、改めて感染対策を考えるとともに患者様に安心して治療を継続できるように努めていきます。

七波クリニック

院長 鮫島 久子

糖尿病内科として、診察前に栄養士を含め看護師による問診、療養指導、症例によっては足観察や簡易処置を行っております。医師の体制は常勤1名、非常勤5名です。2019年の1カ月平均実患者数は平均1,032名（実人数）で初診患者数150名、栄養指導件数635件です。網膜症、腎症、慢性腎臓病第3期以降の症例は20～25%で眼科、腎内科へ適宜紹介を行う方針です。数年前から認知症のかたも増えており、神経内科、精神科等への紹介や介護保険利用の必要な症例が増え、診療時間、待ち時間等が長くなっておりますが、専門の方々への相談を丁寧に行っていきたいところです。今年は外来での糖尿病教室を予定しています。軌道にのせて継続していきたいと思ひています。

高麗町クリニック

院長 下本地 優

在宅療養支援診療所（在支診）の強化型連携グループ木四会において、2019年4月に症例検討会を担当した際のテーマは“うまくいかない在宅医療・・・”でした。鹿児島市医師会館3階ホールに過去最高の参加者（多職種）を記録し、成功体験だけでなく悩ましい日常診療・支援を確認する事となりました。

10年目を迎えた本院の訪問契約数は年間を通じて110件を維持しましたが、その内訳は増加（新規契約）減少（死亡・中止など）いずれも60件以上と、1年間で半数以上が入れ替わる慌ただしいものとなりました。特に高齢者施設での終末期対応～看取りは今後も増加が予想され、病院～施設～在支診の役割確認や居宅（ケアマネジャー）・家族・訪問看護・施設スタッフとの連携のハブを在支診が担うべきである事をさらに実感する1年でした。

かごしまオハナクリニック

院長 林 恒存

総合診療（家庭医療）分野では、かかりつけの役割や質を示す5要素としてACCCC（近接性・継続性・包括性・協調性・文脈性）がしばしば引用されます。地域住民にとってのACCCCは「身近で、ずっと、何でも、みんなで、その方の事情にあわせた」ケアであり、これらを近隣住民へあまねく提供することがオハナに課せられた使命であると私は認識しております。

定期的なかかりつけ外来診療で健康維持・増進、疾病管理・予防、生活の質向上に役立つ症状の緩和を支援し、また通院困難な近隣在住の方へもそれらを継続できるよう、終末期・看取りも含めた訪問診療を行っております。開設後6カ月でオハナの役割の認知と、業務体制の構築と安定化という最低限の目標は概ね達成できたと考えております。

2020年度は、かかりつけ機能の質の維持向上に磨きをかけながら、特に慈愛会各施設との連携や、今村総合病院の門前診療所の強みを最大限に活かす、鹿児島ではこれまでにない形の「かかりつけ・在宅医療モデル」を強化したいと思います。そしてその役割を継続的に提供していくために、業務効率化や改善の創意工夫を常に行いながら、焦らずそして決して無理することなく、早期の収益健全化をスタッフ全員で目指したいと思います。

概 要

公益財団法人 慈愛会

主たる事務所 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町1番15号	理事長 今村 英仁 事業所 5病院 1介護老人保健施設 1看護師養成所 4診療所 17併設事業所	職員数 2,343名（2020年3月1日現在） 病床 1,575床 うち病院ベッド数1,475床 介護老人保健施設入所定員100床
従たる事務所 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号		

今村総合病院

管 理 者 帆北 修一

所 在 地 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町11番23号

T E L 099-251-2221

病 床 数 399床（一般315床、回復36床、精神48床）

（2019年5月376床→384床へ増床：奄美病院より精神病床8床移設）

（2019年10月384床→399床へ増床：いづろ今村病院より一般病床15床移設）

標榜診療科 内科、救急科（総合内科）、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、人工透析内科、脳神経内科、外科、消化器外科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、ペインクリニック内科、リハビリテーション科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、気管食道・耳鼻咽喉科、脳神経外科、整形外科、放射線科、精神科、病理診断科、麻酔科、小児科、産科、婦人科、歯科口腔外科、腫瘍内科

指定医療機関等

- ・臨床研修病院
- ・救急告示病院
- ・生活保護法による医療機関
- ・被爆者一般疾病医療機関
- ・労働者災害補償保険法による医療機関
- ・公害健康被害補償法による医療機関
- ・障害者自立支援法による医療機関（更生医療・精神通院医療）
- ・特定疾患治療研究事業委託医療機関
- ・小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
- ・鹿児島県がん診療指定病院

学会等認定施設

- ・日本内科学会認定制度教育関連病院
- ・日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療後期研修プログラム
- ・日本透析医学会認定施設
- ・日本血液学会認定血液研修施設
- ・日本造血細胞移植学会非血縁者間造血幹細胞移植認定診療科（血液内科）
- ・日本HTLV-1学会登録医療機関
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設
- ・日本循環器学会循環器専門医研修関連施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本ペインクリニック学会指定研修施設
- ・日本脳卒中学会研修教育病院
- ・日本神経内科学会教育施設
- ・日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・日本精神神経学会専門医研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・日本輸血・細胞治療学会認定臨床輸血看護師制度指定研修施設
- ・日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度認証施設
- ・日本病理学会研修登録施設
- ・日本臨床神経生理学会準教育施設（筋電図・神経伝導分野）

概要

- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本臨床細胞学会認定施設
- ・日本診療放射線技師会医療被ばく低減施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター
- ・日本診療放射線技師会臨床実習指導施設
- ・日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
- ・日本外科感染症学会認定外科周術期感染管理教育施設
- ・日本脳神経外科学会研修プログラム関連施設
- ・日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会専門医制度関連施設
- ・日本臨床栄養代謝学会認定NST稼働施設

その他の認定施設

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG:Ver.2.0）
- ・輸血機能評価認定施設（I&A制度認定施設）
- ・日本骨髄バンク非血縁者間骨髄採取認定施設・非血縁者間骨髄移植施設
- ・臍帯血バンクネットワーク認定施設
- ・痛風協力病院
- ・消化器がん検診精密検査医療機関

いづろ今村病院

管 理 者 黒野 明日嗣

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号

T E L 099-226-2600

病 床 数 130床（一般57床、地域包括ケア53床、緩和ケア20床）

（2019年10月 145床→130床へ減床：今村総合病院へ一般病床15床移設）

標榜診療科 内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、血液内科、外科、消化器外科、大腸・肛門外科、泌尿器科（2020年3月末閉科）、婦人科、放射線科、眼科、緩和ケア内科（呼吸器内科 2019年5月末閉科）

指定医療機関等

- ・厚生労働省協力型臨床研修指定病院
- ・開放型病院
- ・救急告示病院
- ・緊急指定病院
- ・生活保護法指定医療機関
- ・被爆者一般疾病指定医療機関
- ・結核予防法指定医療機関
- ・特定疾患医療指定医療機関
- ・母体保護法指定医療機関
- ・母子保健法指定医療機関
- ・小児慢性特定疾患医療指定医療機関
- ・労働者災害補償保険法指定医療機関
- ・人間ドック指定病院

学会等認定施設

- ・日本血液学会認定血液研修施設
- ・日本糖尿病学会専門医修練施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・日本大腸肛門病学会専門医修練施設
- ・日本消化器病学会専門医制度審議委員会認定施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設

その他の認定施設

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG：Ver. 1.1）
- ・日本人間ドック学会 人間ドック健診施設機能評価認定（Ver. 3.0）
- ・全日病院協会日帰り人間ドック実施施設
- ・人間ドック健診専門医研修施設
- ・鹿児島県救急災害医療情報システム参加登録病院

通所リハビリテーション ウェルネスじあい

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号

T E L 099-226-5206

指定訪問リハビリテーション ウェルネスじあい

所在地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号
TEL 099-226-2600

指定居宅介護支援事業所 ウェルネスじあい

所在地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号
TEL 099-226-5207

谷山病院

管理者 福迫 剛

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号

TEL 099-269-4111

病床数 392床

標榜診療科 精神科

認定・指定

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定施設（3rdG：Ver2.0）
- ・生活保護法指定医療機関
- ・身体障害者福祉法による医療機関
- ・被爆者一般疾病医療機関（原爆被爆者援護法）
- ・難病医療費助成指定医療機関
- ・結核指定医療機関
- ・結核患者収容モデル事業（A2病棟5床）
- ・肝炎治療特別促進事業
- ・自立支援医療機関（精神通院医療）
- ・精神保健福祉法第19条の8に基づく病院（10床）
- ・精神保健福祉法応急入院指定病院
- ・医療観察法指定通院医療機関
- ・鹿児島県指定認知症患者医療センター
- ・協力型臨床研修病院（医師臨床研修制度）
- ・精神科専門医制度認定研修施設（日本精神神経学会）
- ・精神科救急地域拠点病院（鹿児島県）
- ・災害時支援中心病院（日本精神科病院協会）
- ・精神科認定看護師教育課程 実習施設（日本精神科看護協会）
- ・DPAT登録病院（鹿児島県）

就労支援センター ステップ

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
TEL 099-260-5810

地域活動支援センター ひだまり

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
TEL 099-260-5865

グループホーム しらゆりの郷

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町6番1号
TEL 099-266-3214

奄美病院

管理者 杉本 東一

所在地 〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町170番地

TEL 0997-53-1200

病床数 348床（2019年5月 356床→348床へ減床：今村総合病院へ8床移設）

標榜診療科 精神科

認定・指定

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定施設（3rdG：Ver2.0）
- ・生活保護法指定医療機関
- ・原爆被爆者医療法一般疾病医療取扱病院
- ・精神科専門医制度認定研修施設
- ・臨床研修医制度臨床研修病院（協力型）
- ・自立支援医療機関（精神通院医療）
- ・精神保健福祉法第19条の8に基づく病院（10床）
- ・医療観察法にかかる指定通院医療機関
- ・鹿児島県指定認知症患者医療センター

概要	
訪問看護ステーション イルカ 指定特定相談支援事業所 あゆみ	所在地 〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町171番1号 TEL 0997-57-6750（イルカ） 0997-57-6633（あゆみ）
指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま	所在地 〒894-0046 鹿児島県奄美市名瀬小宿佐仁金久2838 TEL 0997-54-8911
グループホーム ひまわり	所在地 〒894-0046 鹿児島県奄美市名瀬小宿砂田2879番1号 TEL 0997-54-8787

徳之島病院

管理者 末満 純一

所在地 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5190番地

TEL 0997-83-0275

病床数 206床

標榜診療科 精神科

認定・指定

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG：Ver.1.0）
- ・精神保健福祉法第19条の8（指定病床数8床）
- ・生活保護法指定医療機関
- ・医療観察法指定通院医療機関
- ・自立支援医療機関（精神通院医療）

グループホーム うんばた	所在地 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5210番1号 TEL 0997-83-2840
--------------	--

介護老人保健施設 愛と結の街

施設長 野村 秀洋（いづろ今村病院 名誉院長）

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番3号

TEL 099-260-6060

総定員数 100床

指定居宅介護支援センター 愛と結の街 笹貫訪問看護ステーション 愛の街 ヘルパーステーション 結の街	所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号 TEL 099-267-6818（居宅） 099-210-0150（訪問看護） 099-267-0177（ヘルパー）
--	---

グループホーム 愛と結の街 デイサービスセンター あしたの風（認知症対応型）	所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番28号 TEL 099-267-0533（グループホーム） 099-263-6630（あしたの風）
---	--

デイサービス はなぶさ （通常規模型通所介護事業所）	所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番3号 TEL 099-284-5663 （2020年1月 地域密着型通所介護から通常規模型通所介護へ転換、 鹿児島市小原町9番1号より現在地へ移転）
-------------------------------	--

概要

慈愛会クリニック

管 理 者 今村 尚子
標榜診療科 内科, 糖尿病内科

所 在 地 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町1番15号1F
T E L 099-239-0588

七波クリニック

管 理 者 鯨島 久子
標榜診療科 内科

所 在 地 〒890-0067 鹿児島県鹿児島市真砂本町51番1号
ニシムタスカイマーケット鴨池内テナント
T E L 099-284-0610

高麗町クリニック

管 理 者 下本地 優
標榜診療科 内科
・在宅療養支援診療所

所 在 地 〒890-0051 鹿児島県鹿児島市高麗町39番11号
T E L 099-812-7712

かごしまオハナクリニック

管 理 者 林 恒存
標榜診療科 内科

所 在 地 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号
T E L 099-263-8787

鹿児島中央看護専門学校

校 長 今村 英仁

3年課程看護科

所 在 地 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町12番7号
T E L 099-227-5330

2年課程（通信制）看護科

所 在 地 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町1番15号4F
T E L 099-226-1201

病院施設別職員数 2020年3月1日現在 () は非常勤・パート

	医師		看護部		診療支援部		事務員		その他職員		合計：実働
今村総合病院	102	(55)	421	(28)	207	(10)	101	(13)	11	(14)	962
七波クリニック	1	(5)	4	(4)	1		5	(2)			22
かごしまオハナクリニック	1	(4)	2	(1)			3				11
いづろ今村病院	25	(25)	134	(11)	63	(5)	46	(6)	5	(2)	322
慈愛会クリニック	1	(4)	3	(3)	1		4				16
谷山病院	9	(22)	185	(7)	66	(8)	21		4		322
就労支援センターステップ			4		9		1				14
地域活動支援センターひだまり			2		5		1			(1)	9
グループホームしらゆりの郷			2		2		2			(1)	7
奄美病院	6	(8)	134	(2)	49	(10)	12		8	(1)	230
指定特定相談支援事業所あゆみ			2		2						4
訪問看護ステーションイルカ			8				1				9
グループホームひまわり			2				1				3
指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま			6		2		4				12
徳之島病院	3	(5)	78	(4)	29	(2)	11		9	(5)	146
グループホームうんばた			1				1	(1)			3
介護老人保健施設愛と結の街	2	(1)	49.5	(12)	24.3	(6)	5	(1)	4	(2)	106.8
居宅介護支援センター 愛と結の街			8.2				1				9.2
グループホーム愛と結の街			14	(2)							16
ヘルパーステーション結の街			5	(9)							14
デイサービスあしたの風			5	(1)							6
デイサービスはなぶさ			7	(2)							9
笹貫訪問看護ステーション愛の街			12	(2)	2		1				17
高麗町クリニック	1	(1)	3		2		4				11
鹿児島中央看護専門学校							6		23	(2)	31
法人事業本部	2		4				25				31
合計	153	(130)	1095.7	(88)	464.3	(41)	256	(23)	64	(28)	2343

職種別常勤換算人員表（年度推移：人）

	職 種	2017 年度	2018 年度	2019 年度
1	医 師	169.3	168.4	176.7
2	歯 科 医 師	0.0	1.6	1.7
	診 療 部	169.3	170.0	178.3
3	保 健 師	6.0	6.1	6.0
4	助 産 師	16.8	16.0	15.6
5	看 護 師	751.9	763.3	781.6
6	専 任 教 員	22.9	23.6	24.4
7	准 看 護 師	66.5	53.3	52.2
8	看 護 助 手	92.8	104.7	116.4
9	介 護 福 祉 士	197.0	180.7	172.8
10	介 護 支 援 専 門 員	13.6	12.4	12.2
11	ケ ア ワ ー カ ー	4.5	5.3	0.8
12	ヘルパー	5.1	4.3	2.6
13	歯 科 衛 生 士	0.9	2.0	3.0
	看 護 部	1178.0	1171.8	1187.4
14	薬 剤 師	42.9	45.9	44.6
15	薬 剤 師 助 手	9.8	10.5	11.7
16	診 療 放 射 線 技 師	25.3	25.6	27.1
17	臨 床 検 査 技 師	36.6	38.1	38.8
18	一 般 臨 床 検 査 士	0.0	0.0	0.0
19	臨 床 検 査 助 手	0.5	1.7	1.7
20	臨 床 心 理 士	5.8	7.1	7.6
21	臨 床 心 理 技 術 者	1.0	1.0	1.0
22	理 学 療 法 士	59.2	60.0	63.0
23	作 業 療 法 士	51.8	54.7	50.8
24	作 業 療 法 士 助 手	0.0	0.0	0.0
25	言 語 聴 覚 士	14.7	16.8	19.8
26	音 楽 療 法 士	0.5	0.3	0.3
27	リ ハ ビ リ 助 手	5.1	5.1	4.5
28	臨 床 工 学 技 士	15.0	16.2	17.7
29	内 視 鏡 検 査 士	3.1	3.0	3.5
30	視 能 訓 練 士	4.6	3.8	4.1
31	不 妊 カ ウ ン セ ラ ー	0.0	0.0	0.0
32	管 理 栄 養 士	28.5	28.2	26.9
33	栄 養 士	15.7	17.0	16.6
34	調 理 師	53.0	57.8	60.9
35	調 理 員	23.2	22.9	25.6
36	SW（社会福祉士）	16.1	17.9	19.8
37	セーフティーマネージャー	0.0	0.0	0.0
38	PSW（精神保健福祉士）	35.9	37.6	43.1
39	精 神 保 健 福 祉 士 助 手	3.0	2.0	0.0
40	柔 道 整 復 師	0.1	0.0	0.0
	診 療 支 援 部	444.6	473.7	489.2
41	事 務 員	216.5	222.5	235.5
42	診 療 情 報 管 理 士	14.1	11.6	12.0
43	シ ス テ ム エ ン ジ ニ ア	6.5	5.2	5.0
44	売 店	6.1	6.0	5.3
45	施 設 係	31.7	33.8	35.1
46	世 話 人	0.0	0.0	0.0
47	保 育 士	15.9	16.5	18.4
48	保 育 士 助 手	2.4	1.2	0.6
49	ピ ア サ ポ ー タ ー	0.4	1.1	1.0
50	そ の 他	0.0	0.0	0.0
	事 務 部	293.7	297.6	312.9
	合 計	2092.2	2113.2	2167.7

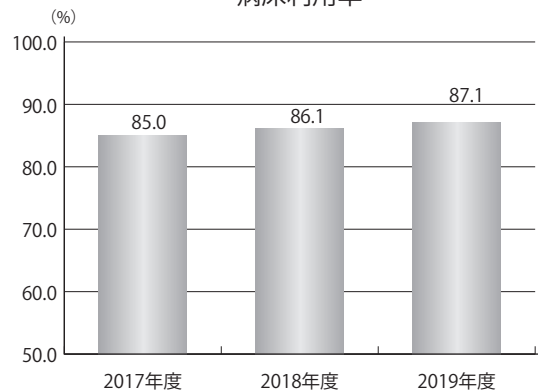
病院施設指標

今村総合病院

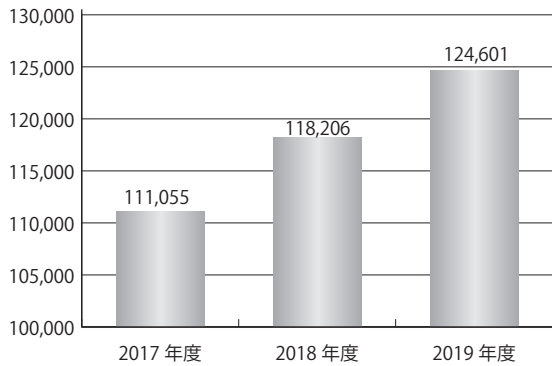
平均在院日数（単位：日）



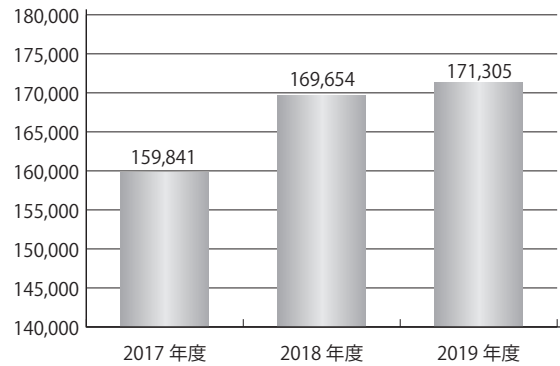
病床利用率



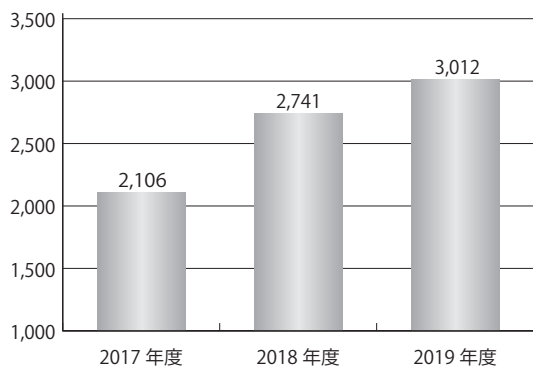
延べ入院患者数（単位：人）



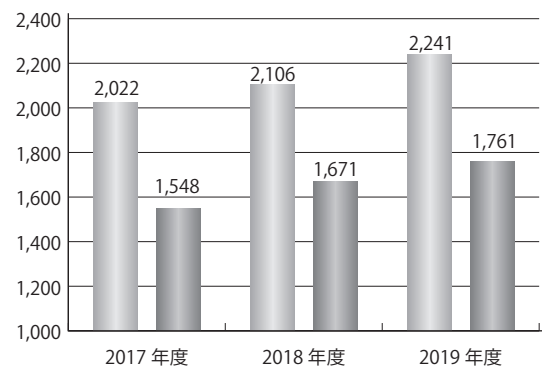
延べ外来患者数（単位：人）

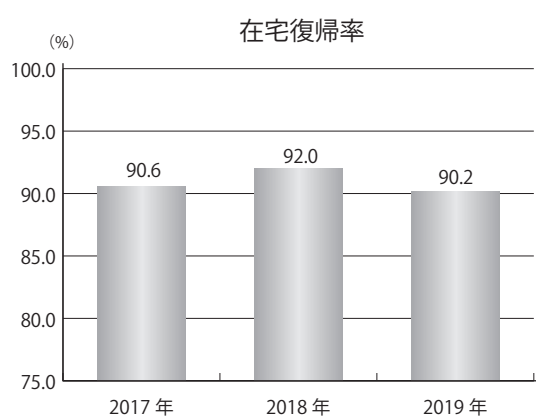
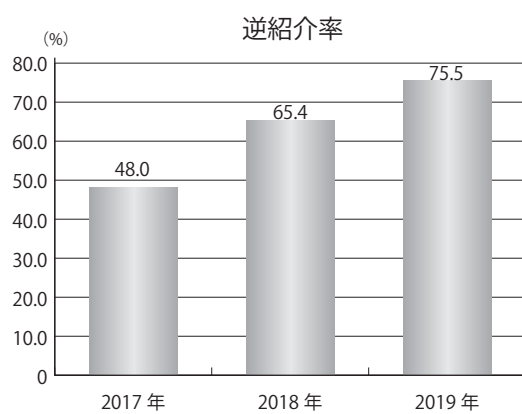
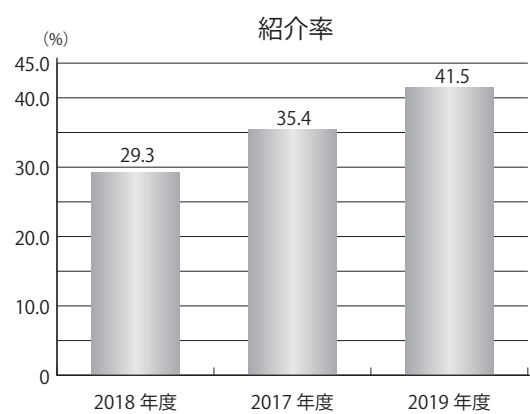


救急車受け入れ台数（単位：台）



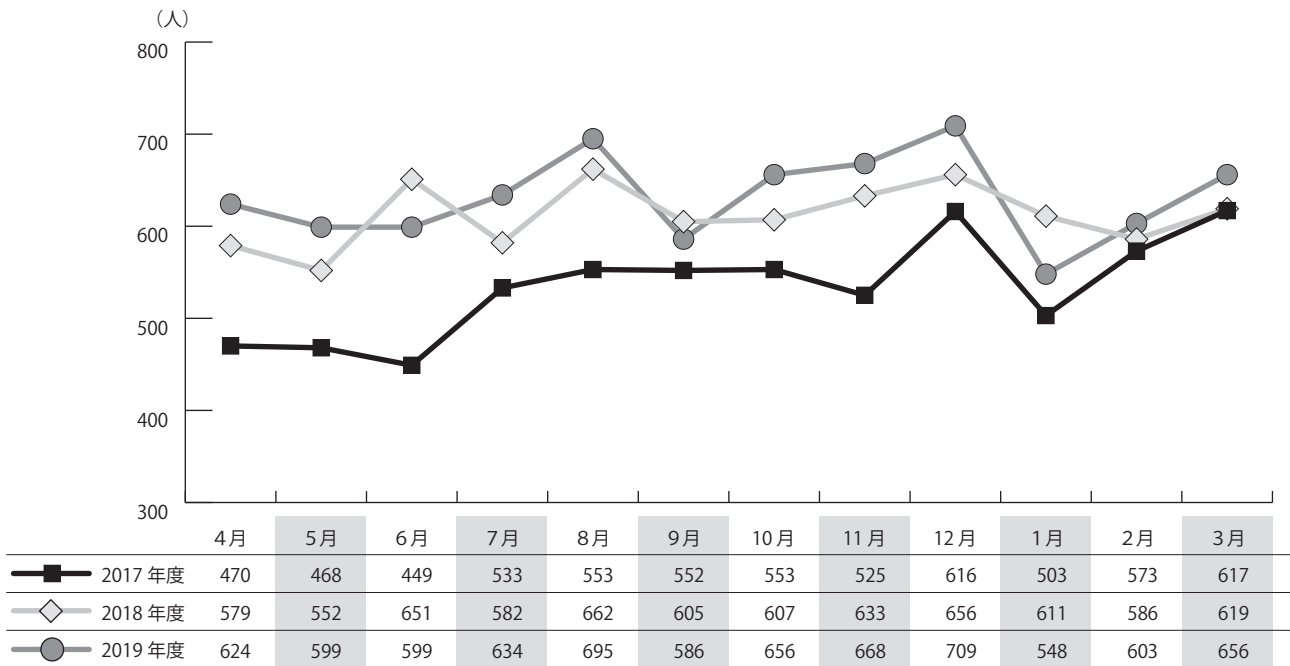
手術件数（単位：件） ■ 総数 ■ 全麻



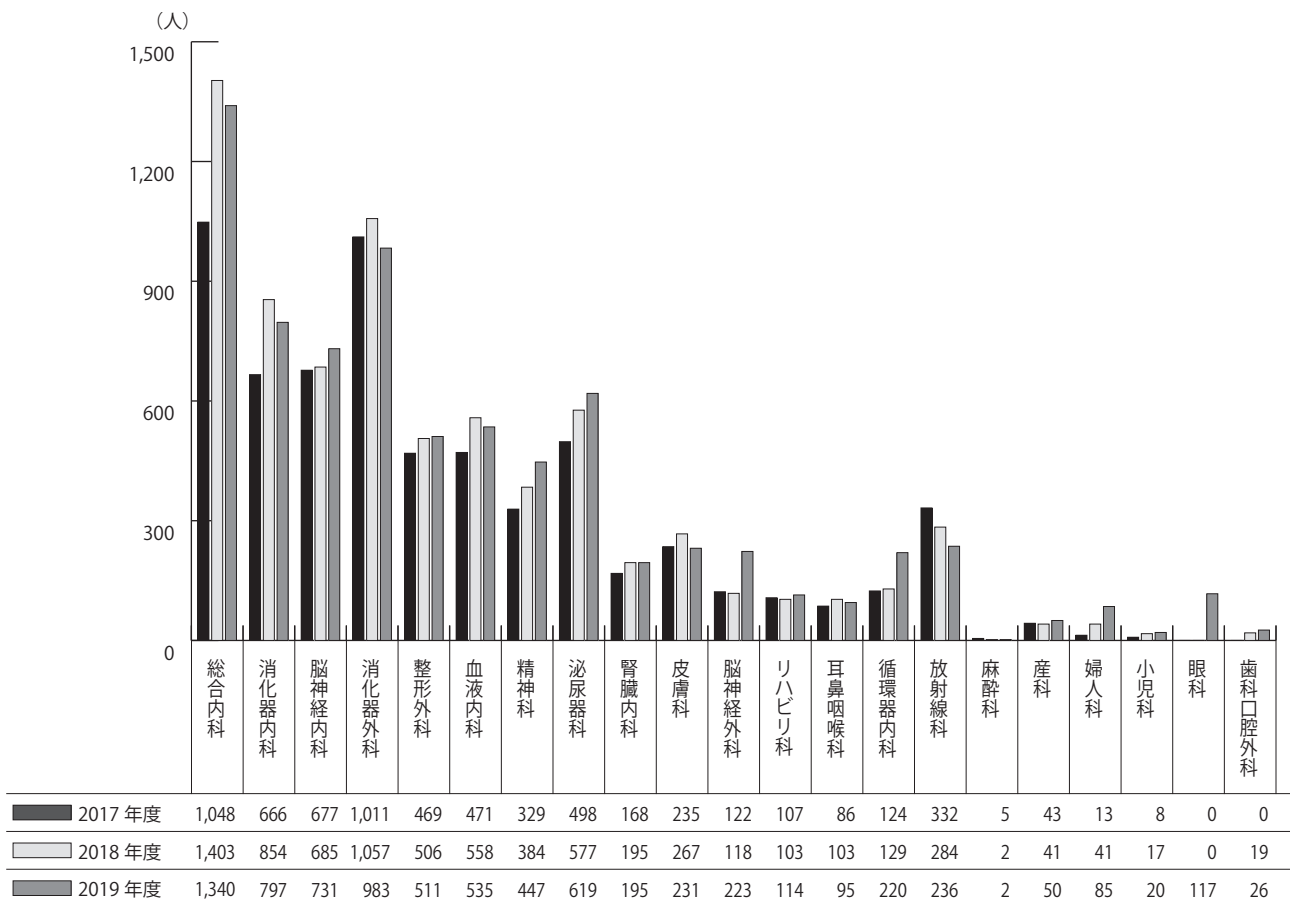


患者動向

年度別月別退院患者数

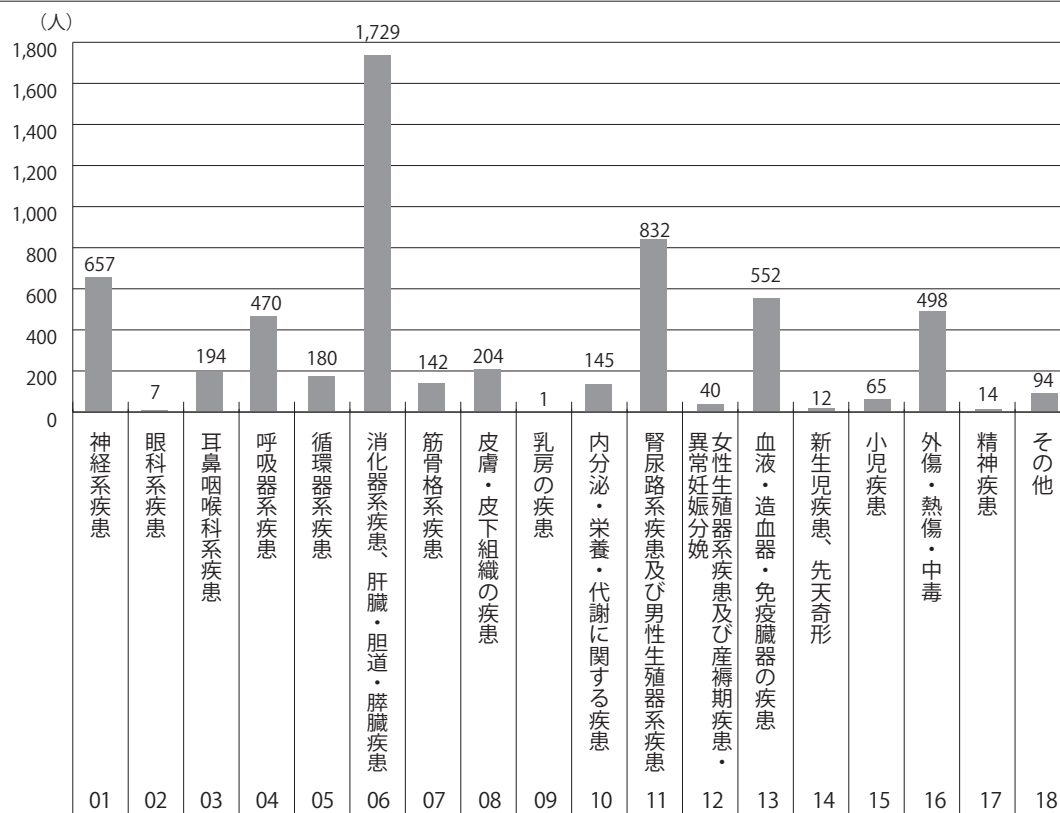


年度別診療科別退院患者数

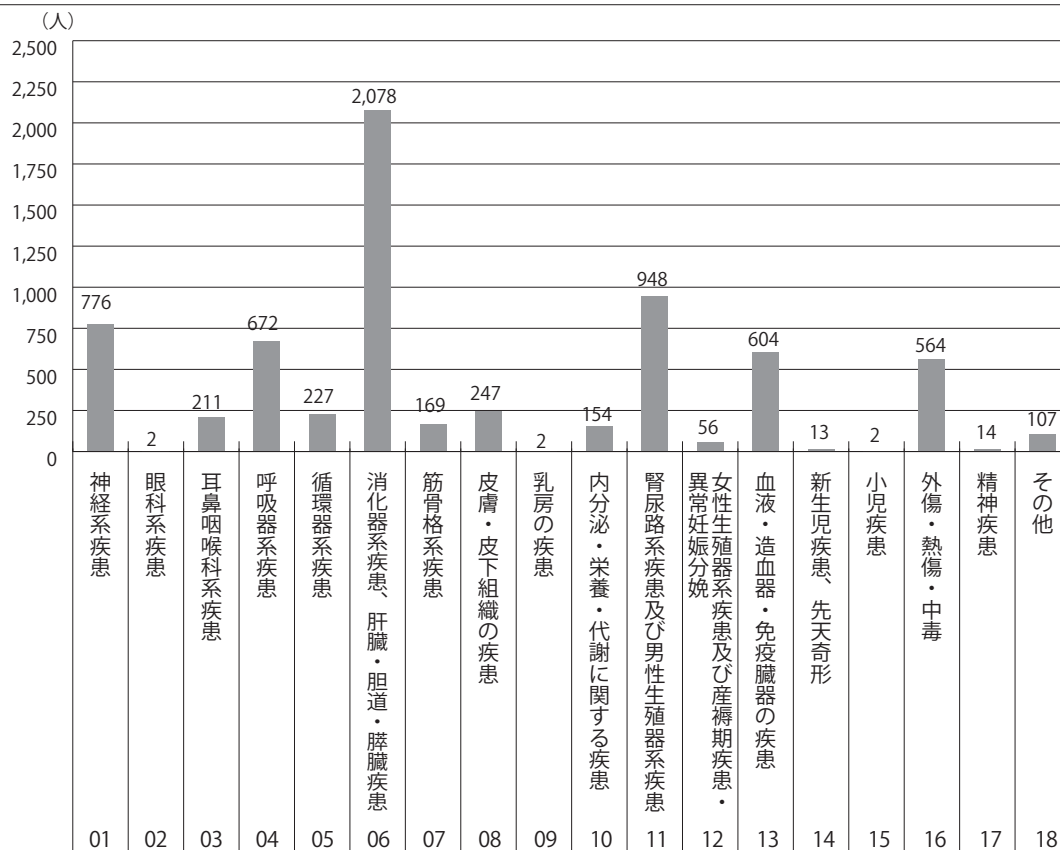


DPC 統計 (MDC、ICD)

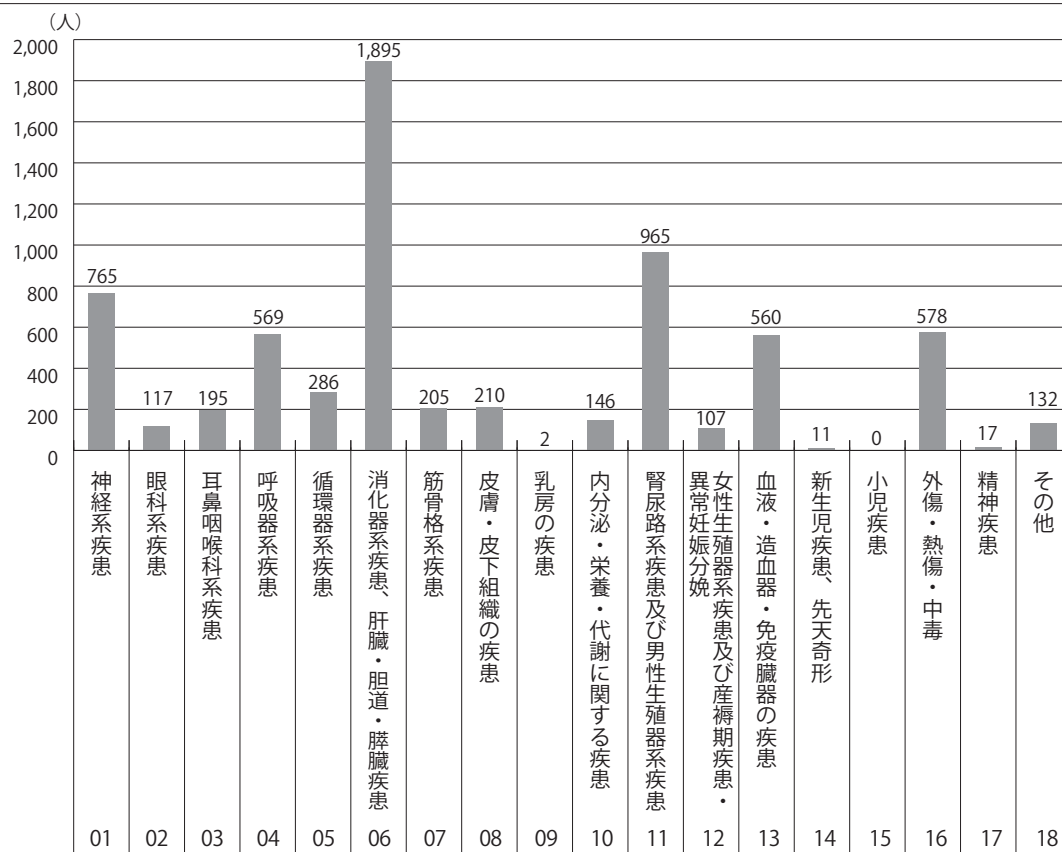
2017年度MDC別退院患者数



2018年度MDC別退院患者数



2019年度MDC別退院患者数



ICD-10 大分類による診療科別統計 (2017 年度) 2017 年 4 月～2018 年 3 月までの退院患者

大 分 類		総合 内科	腎臓 内科	血液 内科	消化器 内科	脳神経 外科	泌尿 器科	皮膚科	耳鼻 咽喉科	放射 線科	脳神経 内科	リハ ビリ科	整形 外科	循環器 内科	消化器 外科	精神科	産科	婦人科	小児科	麻酔科	計
1	感染症および寄生虫症 (A00-B99)	109	2	16	19	0	0	35	0	3	2	0	0	0	11	8	0	1	0	0	206
2	新生物 (C00-D48)	28	2	380	247	5	137	73	4	259	6	1	1	2	441	25	0	7	0	0	1,618
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 (D50-D89)	20	0	31	3	0	1	7	0	2	1	0	0	2	4	4	0	0	0	0	75
4	内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	51	3	2	1	1	0	2	0	1	12	1	0	2	12	12	0	0	3	0	103
5	精神および行動の障害 (F00-F99)	15	1	0	6	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	95	0	0	0	0	121
6	神経系の疾患 (G00-G99)	23	0	1	4	10	0	0	56	1	117	3	0	1	1	14	0	0	0	3	234
7	眼および付属器の疾患 (H00-H59)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
8	耳および乳様突起の疾患 (H60-H95)	9	0	0	0	4	0	0	0	1	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82
9	循環器系の疾患 (I00-I99)	46	12	2	23	63	11	2	0	21	417	90	0	101	21	18	0	0	0	0	827
10	呼吸器系の疾患 (J00-J99)	417	6	17	6	0	0	2	23	6	9	1	0	13	4	39	0	0	1	0	544
11	消化器系の疾患 (K00-K93)	63	2	4	343	0	2	0	0	27	0	0	0	0	466	55	0	0	0	0	962
12	皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	34	0	2	0	0	1	105	0	1	0	0	0	0	2	7	0	0	4	0	156
13	筋骨格系および結合組織の疾患 (M00-M99)	59	3	2	2	1	0	2	0	0	4	0	75	1	3	7	0	0	0	2	161
14	腎尿路生殖生殖器系の疾患 (N00-N99)	126	126	3	1	0	326	0	0	1	4	1	0	0	8	26	0	5	0	0	627
15	妊娠、分娩および産じょく (O00-O99)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0	0	0	38
16	周産期に発生した病態 (P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
17	先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	0	2	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	9
18	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	9	1	1	3	0	12	1	1	5	6	0	0	0	2	2	0	0	0	0	43
19	損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	37	8	2	6	38	8	6	0	4	24	9	361	2	12	17	1	0	0	0	535
20	傷病および死亡の外因 (V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 (Z00-Z99)	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	22	0	1	0	0	0	63
計		1,048	168	471	666	122	498	235	86	332	677	107	469	124	1,011	329	43	13	8	5	6,412

ICD-10 大分類による診療科別統計 (2018 年度) 2018 年 4 月～2019 年 3 月までの退院患者

大 分 類		総合 内科	腎臓 内科	血液 内科	消化器 内科	脳神経 外科	泌尿 器科	皮膚科	耳鼻 咽喉科	放射 線科	脳神経 内科	リハ ビリ科	整形 外科	循環器 内科	消化器 外科	精神科	産科	婦人科	小児科	麻酔科	歯科 口腔外科	計
1	感染症および寄生虫症 (A00-B99)	130	5	18	10	0	0	54	1	2	3	0	0	0	13	5	1	0	3	0	0	245
2	新生物 (C00-D48)	28	2	444	293	3	149	77	4	214	10	0	2	0	491	34	0	18	0	0	3	1,772
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 (D50-D89)	22	1	47	3	0	0	4	0	2	0	0	0	3	9	5	0	2	0	0	0	98
4	内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	76	3	1	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	9	19	0	0	4	0	0	117
5	精神および行動の障害 (F00-F99)	7	0	0	3	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	104	0	0	0	0	0	118
6	神経系の疾患 (G00-G99)	38	1	0	17	7	0	0	60	0	128	5	0	0	0	18	0	0	0	2	0	276
7	眼および付属器の疾患 (H00-H59)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
8	耳および乳様突起の疾患 (H60-H95)	6	0	0	0	3	0	0	0	0	55	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	65
9	循環器系の疾患 (I00-I99)	72	24	1	29	47	6	4	0	14	440	79	0	112	1	15	0	0	0	0	0	844
10	呼吸器系の疾患 (J00-J99)	564	4	19	3	0	0	1	36	21	5	5	1	8	2	49	0	0	7	0	0	725
11	消化器系の疾患 (K00-K93)	86	8	1	482	0	1	0	0	16	4	0	0	1	493	60	0	1	0	0	11	1,164
12	皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	45	2	4	0	0	0	120	1	1	2	1	0	0	1	11	0	0	1	0	3	192
13	筋骨格系および結合組織の疾患 (M00-M99)	71	8	0	2	0	0	3	1	2	4	0	64	0	0	9	0	0	0	0	0	164
14	腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)	190	136	6	0	0	384	0	0	5	7	0	0	2	5	31	0	18	0	0	0	784
15	妊娠、分娩および産じょく (O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	32	0	0	0	0	33
16	周産期に発生した病態 (P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	8
17	先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	2	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	9
18	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	20	0	0	2	0	16	0	0	1	4	0	0	1	0	6	0	0	2	0	0	52
19	損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	46	0	9	10	57	20	3	0	3	18	11	417	2	10	15	0	1	0	0	2	624
20	傷病および死亡の外因 (V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 (Z00-Z99)	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	20	1	0	1	0	0	0	52
計		1,403	195	558	854	118	577	267	103	284	685	103	506	129	1,057	384	41	41	17	2	19	7,343

ICD-10 大分類による診療科別統計 (2019 年度) 2019 年 4 月～2020 年 3 月までの退院患者

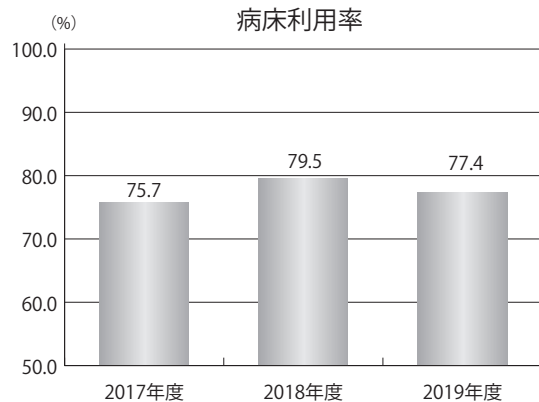
大 分 類	総合 内科	腎臓 内科	血液 内科	消化器 内科	脳神経 外科	泌尿 器科	皮膚科	耳鼻 咽喉科	放射 線科	脳神経 内科	リハ ビリ科	整形 外科	循環器 内科	消化器 外科	精神科	産科	婦人科	小児科	麻酔科	眼科	歯科 口腔外科	計
1 感染症および寄 生虫症 (A00-B99)	132	4	20	22	1	0	49	1	2	8	2	0	1	6	11	1	1	0	0	0	2	263
2 新生物 (C00-D48)	27	0	446	239	17	137	73	7	178	3	1	1	0	439	32	0	61	0	0	0	1	1,662
3 血液および造血 器の疾患ならび に免疫機構の障 害 (D50-D89)	22	2	25	4	0	0	2	0	1	0	1	0	3	4	5	0	2	0	0	0	0	71
4 内分泌、栄養お よび代謝疾患 (E00-E90)	65	4	1	2	3	1	0	0	1	22	0	0	0	8	18	0	0	6	0	0	0	131
5 精神および行動 の障害 (F00-F99)	15	0	0	8	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	121	0	0	1	0	0	0	148
6 神経系の疾患 (G00-G99)	32	0	2	11	17	1	0	59	0	136	5	2	1	1	27	0	0	0	1	0	0	295
7 眼および付属器 の疾患 (H00-H59)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	18	0	0	0	0	113	0	133
8 耳および乳様突 起の疾患 (H60-H95)	4	0	0	0	5	0	0	0	0	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58
9 循環器系の疾患 (I00-I99)	73	14	4	25	98	5	2	0	13	467	93	0	194	3	5	0	0	0	0	1	0	997
10 呼吸器系の疾患 (J00-J99)	508	13	13	8	0	1	1	26	20	7	5	0	8	5	62	0	0	9	0	0	0	686
11 消化器系の疾患 (K00-K93)	86	9	3	457	0	1	0	1	18	1	1	0	1	478	55	0	0	0	0	0	14	1,125
12 皮膚および皮下 組織の疾患 (L00-L99)	30	0	1	0	0	1	91	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	5	137
13 筋骨格系および 結合組織の疾患 (M00-M99)	99	6	1	2	0	0	5	0	1	4	2	70	0	2	3	0	0	0	1	0	0	196
14 腎尿路生殖系 の疾患 (N00-N99)	191	131	2	4	1	439	1	0	1	2	0	0	6	8	38	0	20	1	0	0	0	845
15 妊娠、分娩およ び産じょく (O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	0	0	0	0	0	43
16 周産期に発生し た病態 (P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	3	0	0	0	8
17 先天奇形、変形 および染色体異 常 (Q00-Q99)	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
18 症状、徴候およ び異常臨床所 見・異常検査所 見で他に分類さ れないもの (R00-R99)	17	1	0	0	0	16	0	1	1	3	0	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0	51
19 損傷、中毒およ びその他の外因 の影響 (S00-T98)	39	9	7	14	81	17	7	0	0	26	4	409	6	9	33	0	0	0	0	3	4	668
20 傷病および死亡 の外因 (V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 健康状態に影響 をおよぼす要因 および保健サー ビスの利用 (Z00-Z99)	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	17	0	1	0	0	0	0	0	56
計	1,340	195	535	797	223	619	231	95	236	731	114	511	220	983	447	50	85	20	2	117	26	7,577

いづろ今村病院

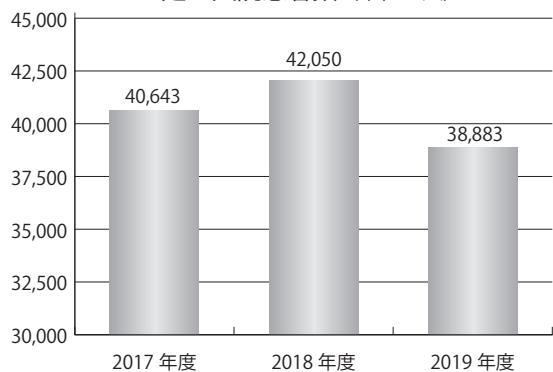
平均在院日数（単位：日）



病床利用率



延べ入院患者数（単位：人）



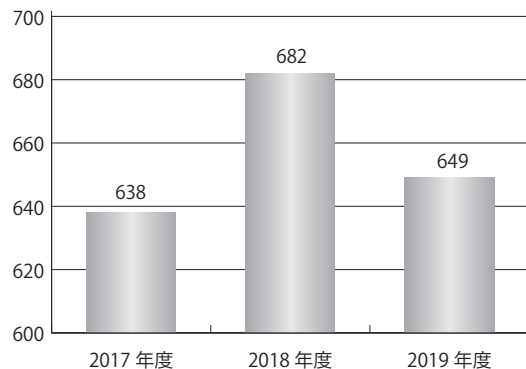
延べ外来患者数（単位：人）

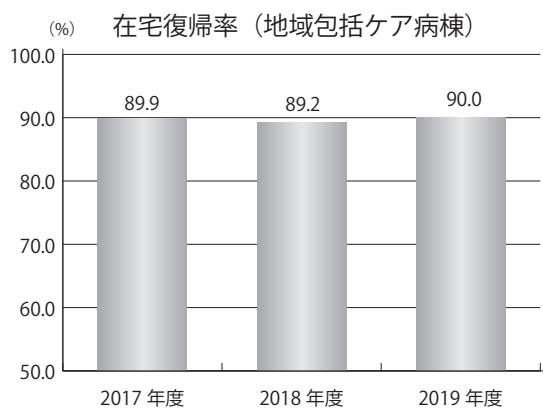
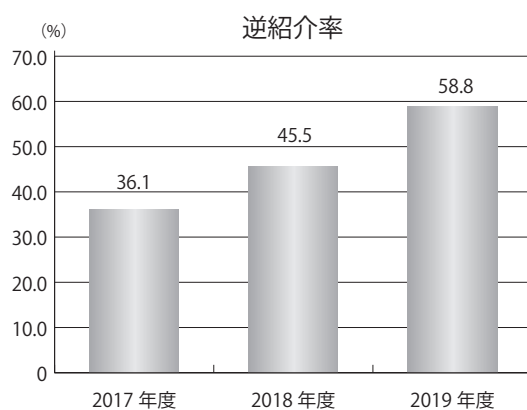
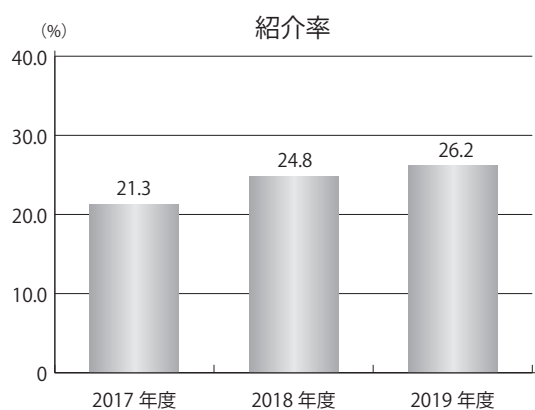
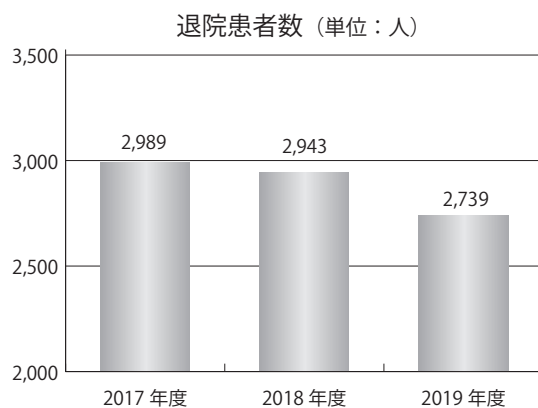
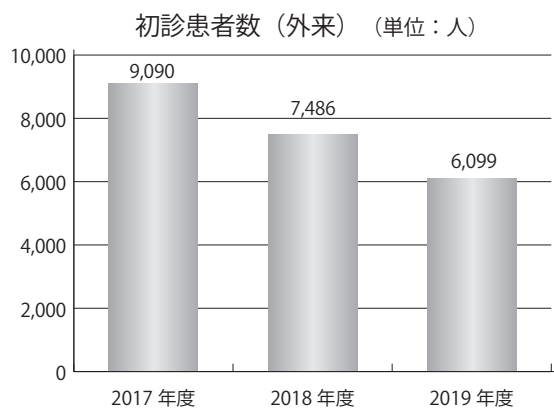


救急車受け入れ台数（単位：台）



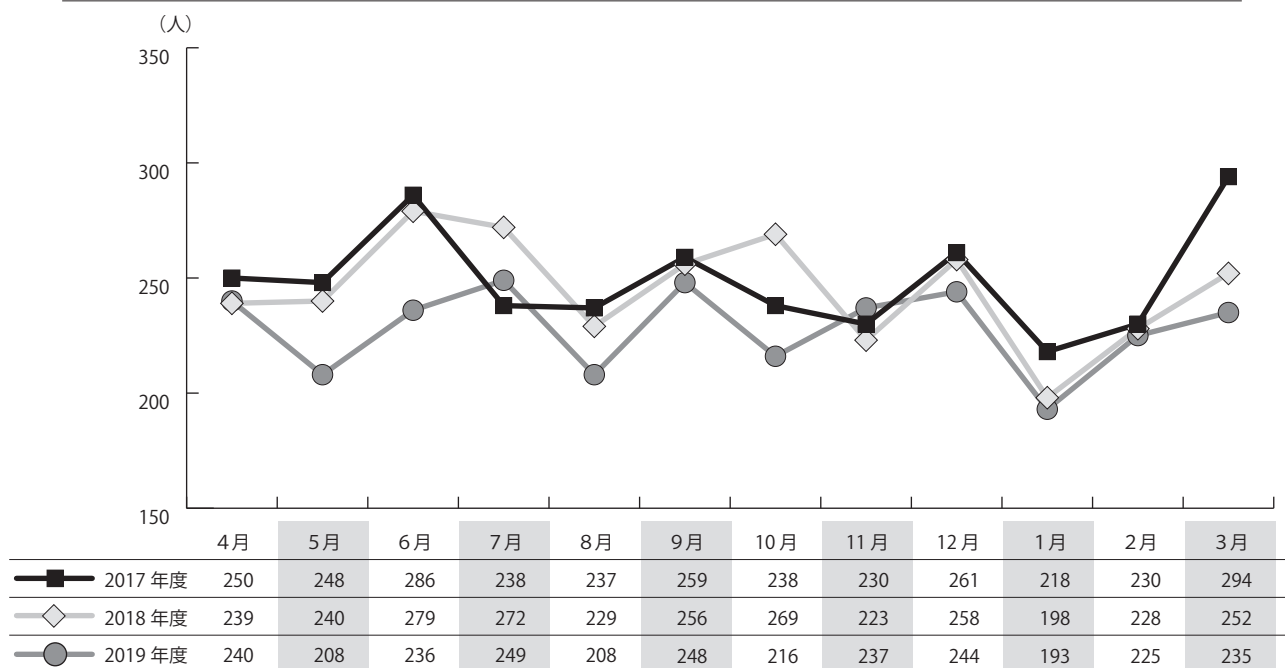
初診患者数（入院）（単位：人）



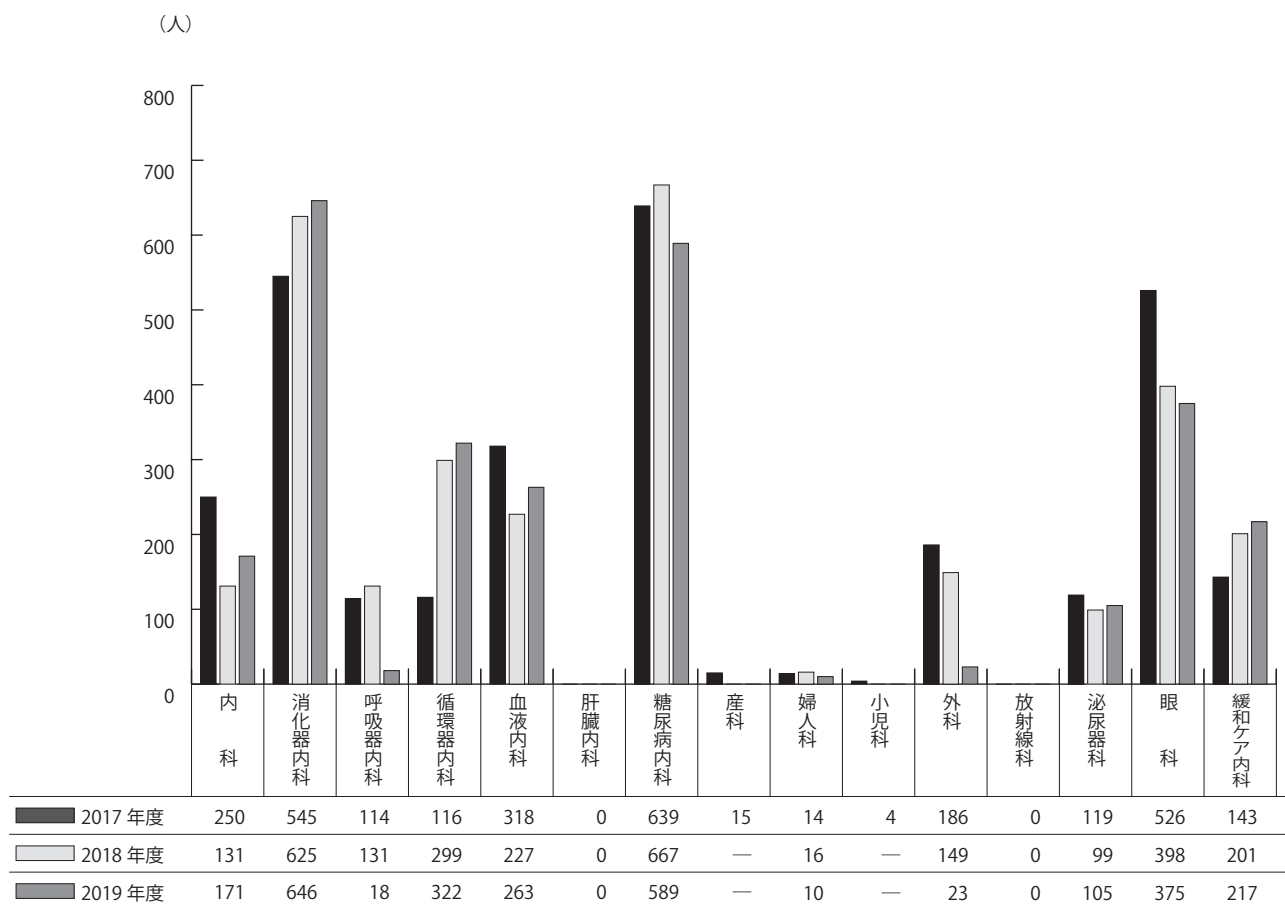


患者動向

年度別月別退院患者数

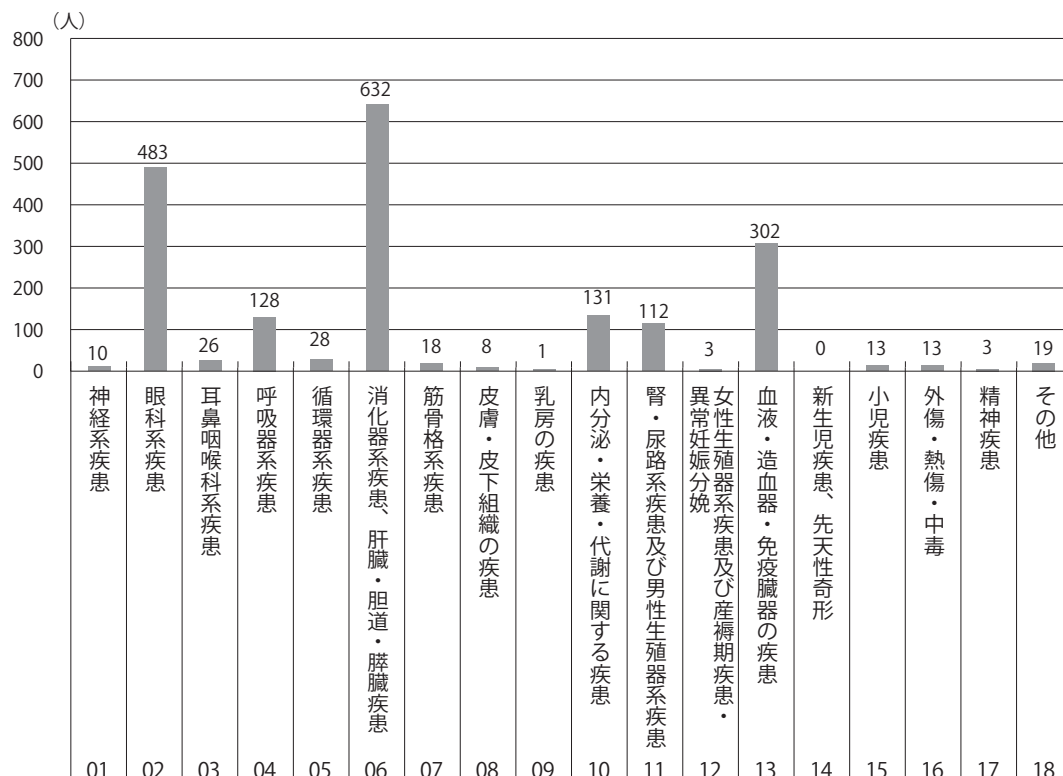


年度別診療科別退院患者数

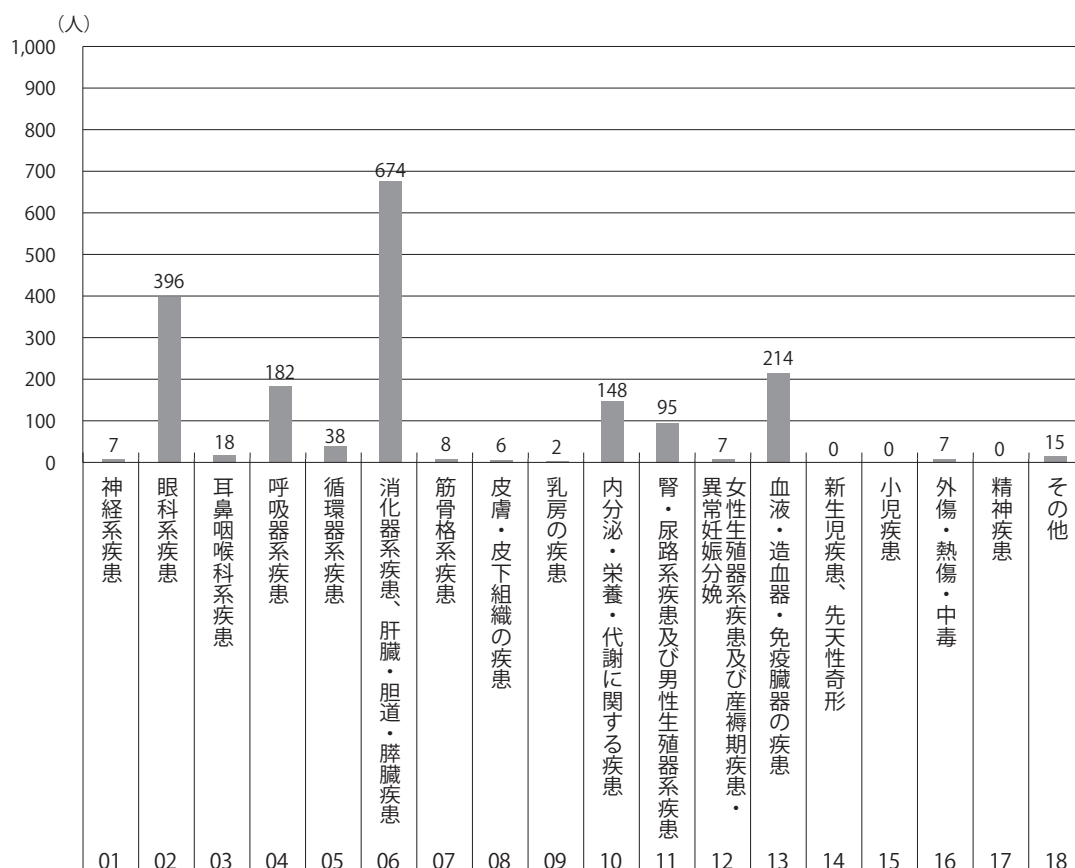


DPC 統計 (MDC、ICD)

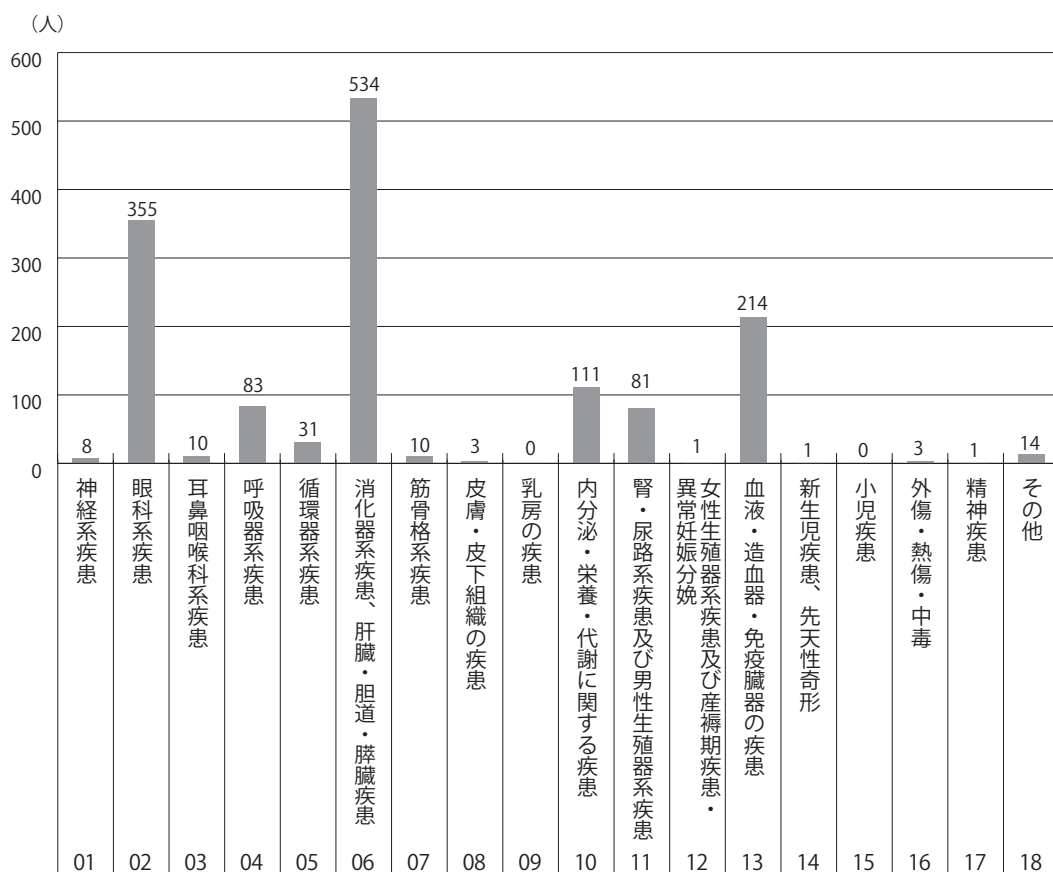
2017年度MDC別退院患者数



2018年度MDC別退院患者数



2019年度MDC別退院患者数



ICD-10 大分類による診療科別統計 (2017 年度) 2017 年 4 月～2018 年 3 月までの退院患者

大分類		内科	消化器 内科	血液 内科	糖尿病 内科	外科	産科	婦人科	小児科	放射線 科	呼吸器 内科	泌尿器 科	循環器 内科	緩和 ケア 内科	眼科	計
1	感染症および寄生 虫症 A00-B99	7	15	7	4	1			1		5	2				42
2	新生物 C00-D48	3	179	268	5	150		12			26	55		142		840
3	血液および造血器 の疾患ならびに免 疫機構の障害 D50-D89	2	1	17	1	2					3	1		1		28
4	内分泌、栄養およ び代謝疾患 E00-E90	3	4		595				3			1	1			607
5	精神および行動の 障害 F00-F99	2	3										1			6
6	神経系の疾患 G00-G99	2	1	1	1						14		6			25
7	眼および付属器の 疾患 H00-H59	180			5								56		525	766
8	耳および乳様突起 の疾患 H60-H95	1	1		4								1			7
9	循環器系の疾患 I00-I99	4	3	3		10							37			57
10	呼吸器系の疾患 J00-J99	20	5	9	9	2					60	2	6			113
11	消化器系の疾患 K00-K93	1	316	2	4	19						2				344
12	皮膚および皮下組 織の疾患 L00-L99	2	2	1	2						1	1				9
13	筋骨格系および結 合組織の疾患 M00-M99	13	5	7	3	1					3	1	2			35
14	腎尿路生殖器系の 疾患 N00-N99	6	5	3	2			2				50	2			70
15	妊娠、分娩および 産褥 O00-O99						14									14
16	周産期に発生した 病態 P00-P96						1									1
17	先天奇形、変形お よび染色体異常 Q00-Q99															
18	症状、徴候および 異常臨床所見・異 常検査所見で他に 分類されないもの R00-R99															
19	損傷、中毒および その他の外因の影 響 S00-T98	4	5		4	1					2	4	4		1	25
20	傷病および死亡の 外因 V01-Y98															
21	健康状態に影響を およぼす要因およ び保健サービスの 利用 Z00-Z99															
計		250	545	318	639	186	15	14	4		114	119	116	143	526	2,989

ICD-10 大分類による診療科別統計（2018 年度）
2018 年 4 月～2019 年 3 月までの退院患者

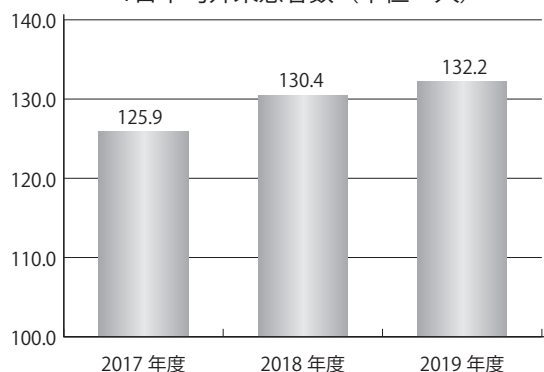
大分類	内科	消化器 内科	血液 内科	糖尿病 内科	外科	婦人科	呼吸器 内科	泌尿器 科	循環器 内科	緩和 ケア 内科	眼科	計
1 感染症および寄生 虫症 A00-B99	10	29	7	3			7	2	1			59
2 新生物 C00-D48	24	172	191	3	104	15	20	33	3	196		761
3 血液および造血器 の疾患ならびに免 疫機構の障害 D50-D89	2	3	14				1	1		1		22
4 内分泌、栄養およ び代謝疾患 E00-E90	6	11	1	607			1	2	3			631
5 精神および行動の 障害 F00-F99	5				1				1			7
6 神経系の疾患 G00-G99	12			3	1		16	1	1			34
7 眼および付属器の 疾患 H00-H59	5	1		10	1				246		397	660
8 耳および乳様突起 の疾患 H60-H95	3			1								4
9 循環器系の疾患 I00-I99	3	2	2	7	2			3	32			51
10 呼吸器系の疾患 J00-J99	34	3	8	18	1		85	1	7			157
11 消化器系の疾患 K00-K93	5	390	2	5	35					1		438
12 皮膚および皮下組 織の疾患 L00-L99	3			4		1						8
13 筋骨格系および結 合組織の疾患 M00-M99	13	1	1		1		2	4	4	1		27
14 腎尿路生殖器系の 疾患 N00-N99	2	5	1	4		1		52				65
15 妊娠、分娩および 産褥 O00-O99												
16 周産期に発生した 病態 P00-P96												
17 先天奇形、変形お よび染色体異常 Q00-Q99									1			1
18 症状、徴候および 異常臨床所見・異 常検査所見で他に 分類されないもの R00-R99												
19 損傷、中毒および その他の外因の影響 S00-T98	4	8		2	3						1	18
20 傷病および死亡の 外因 V01-Y98												
21 健康状態に影響を およぼす要因およ び保健サービスの 利用 Z00-Z99												
計	131	625	227	667	149	17	132	99	299	199	398	2,943

ICD-10 大分類による診療科別統計（2019 年度）
2019 年 4 月～2020 年 3 月までの退院患者

大分類			内科	消化器 内科	血液 内科	糖尿病 内科	外科	婦人科	呼吸器 内科	泌尿器 科	循環器 内科	緩和 ケア 内科	眼科	計
1	感染症および寄生 虫症	A00-B99	4	23	12	2			1		1			43
2	新生物	C00-D48	13	192	206	2	5	10	6	36	2	215	1	688
3	血液および造血器 の疾患ならびに免 疫機構の障害	D50-D89	5	7	24									36
4	内分泌、栄養およ び代謝疾患	E00-E90	9	4	1	545					2			561
5	精神および行動の 障害	F00-F99	6	2		1	1				6			16
6	神経系の疾患	G00-G99	7	1			2		2	2	1			15
7	眼および付属器の 疾患	H00-H59				12					250		373	635
8	耳および乳様突起 の疾患	H60-H95	5			2								7
9	循環器系の疾患	I00-I99	15	3	1	3	1			2	45			70
10	呼吸器系の疾患	J00-J99	49	15	11	11			9		11			106
11	消化器系の疾患	K00-K93	23	383	3	1	11			1	1			423
12	皮膚および皮下組 織の疾患	L00-L99	2	1	1	1								5
13	筋骨格系および結 合組織の疾患	M00-M99	19	7	3	1	2			1		2		35
14	腎尿路生殖器系の 疾患	N00-N99	10		1	6				62				79
15	妊娠、分娩および 産褥	O00-O99												
16	周産期に発生した 病態	P00-P96												
17	先天奇形、変形お よび染色体異常	Q00-Q99		1										1
18	症状、徴候および 異常臨床所見・異 常検査所見で他に 分類されないもの	R00-R99												
19	損傷、中毒および その他の外因の影 響	S00-T98	4	7		2	1			1	3		1	19
20	傷病および死亡の 外因	V01-Y98												
21	健康状態に影響を およぼす要因およ び保健サービスの 利用	Z00-Z99												
計			171	646	263	589	23	10	18	105	322	217	375	2,739

谷山病院

1日平均外来患者数（単位：人）



1日平均入院患者数（単位：人）



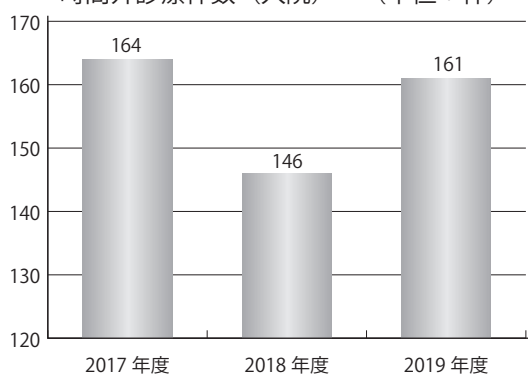
平均在院日数（単位：日）



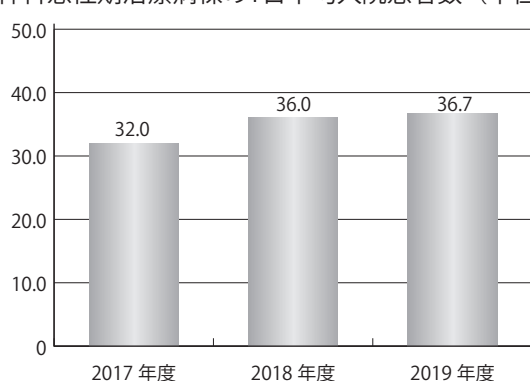
時間外診療件数（外来）（単位：件）



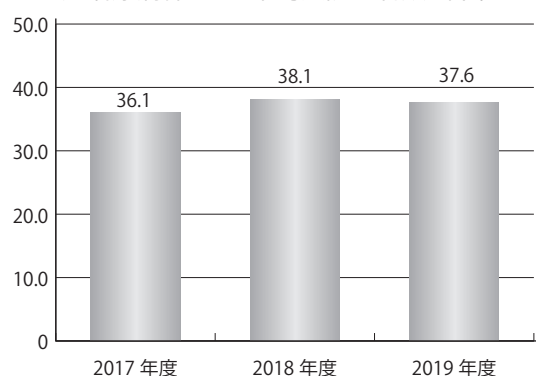
時間外診療件数（入院）（単位：件）



精神科急性期治療病棟の1日平均入院患者数（単位：人）



認知症治療病棟の1日平均入院患者数（単位：人）



3 精神科病院（谷山・奄美・徳之島）との人事交流者数（延べ人数）

		2019 年									2020 年			計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
谷山→奄美	精神保健福祉士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
谷山→徳之島	精神保健福祉士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	作業療法士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	医 師	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	看護師	0	4	2	1	2	4	0	0	1	3	0	0	17
奄美→谷山	看護師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

認定看護師養成コース修了、臨床実習指導者養成人数

	2017 年度	2018 年度	2019 年度
認 定 看 護 師	0	1	0
臨 床 実 習 指 導 者	2	0	2

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6 月 30 日現在の在院患者数

	2017 年度	2018 年度	2019 年度
F 00 アルツハイマー病型認知症	25	23	25
F 01 血管性認知症	3	2	3
F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	42	40	33
F 1 F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	12	13	13
F 1 覚せい剤による精神及び行動の障害	1	1	1
F 1 アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	0	0
F 2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	231	225	252
F 3 気分（感情）障害	23	27	13
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	10	15	15
F 5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	1	1	1
F 6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	1	2	1
F 7 精神遅滞〔知的障害〕	7	4	5
F 8 心理的発達の障害	1	2	2
F 9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	0	0
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	0	4	3
その他	0	6	0
計	357	365	367

b. 6 月中に退院した患者の退院先

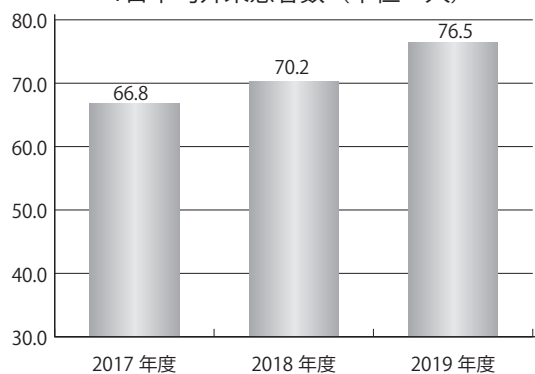
	2017 年度	2018 年度	2019 年度
家庭復帰等	52	34	31
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	9	3	2
高齢者福祉施設	2	5	10
転院・院内転科	13	11	9
死亡	1	1	0
その他			
計	77	54	52

630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

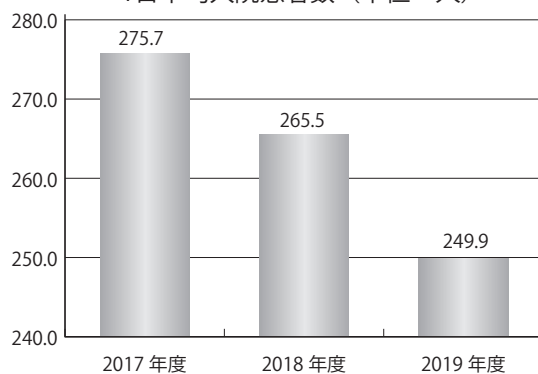
	2017 年度	2018 年度	2019 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	53	54	54
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	37	33	26
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	8	7	7
転院・院内転科	6	5	4
死亡	1	1	2
計	52	46	39
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	1	8	15

奄美病院

1日平均外来患者数（単位：人）



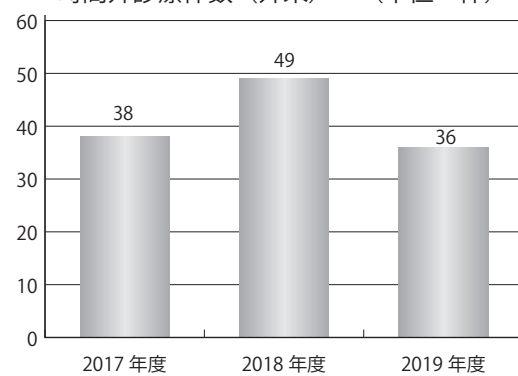
1日平均入院患者数（単位：人）



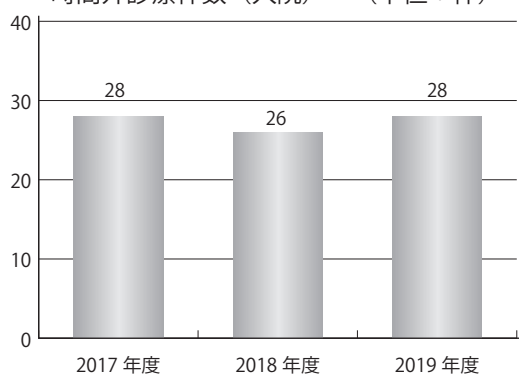
平均在院日数（単位：日）



時間外診療件数（外来）（単位：件）



時間外診療件数（入院）（単位：件）



精神科急性期治療病棟の1日平均入院患者数（単位：人）



認知症治療病棟の1日平均入院患者数（単位：人）



3 精神科病院（谷山・奄美・徳之島）との人事交流者数（延べ人数）

		2019 年									2020 年			計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
奄美→徳之島	看護師	0	1	0	1	2	0	3	0	0	0	0	0	7
奄美→谷山	看護師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
谷山→奄美	精神保健福祉士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

認定看護師養成コース修了、臨床実習指導者養成人数

	2017 年度	2018 年度	2019 年度
認 定 看 護 師	0	1	0
臨 床 実 習 指 導 者	0	0	0

無医地区への医師派遣回数（へき地医療支援）

2017 年度	2018 年度	2019 年度
13	12	13

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6 月 30 日現在の在院患者数

	2017 年度	2018 年度	2019 年度
F 00 アルツハイマー病型認知症	17	25	31
F 01 血管性認知症	8	9	6
F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	29	22	20
F 1 F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	14	20	13
F 1 覚せい剤による精神及び行動の障害	1	1	2
F 1 アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	0	0
F 2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	191	172	158
F 3 気分（感情）障害	10	9	17
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	3	6	6
F 5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	0	0
F 6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	0	0	1
F 7 精神遅滞〔知的障害〕	4	6	6
F 8 心理的発達の障害	0	0	0
F 9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	2	0	0
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	1	0	1
その他	1	0	1
計	281	270	262

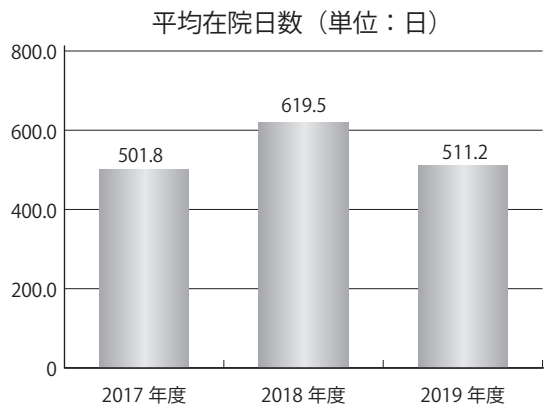
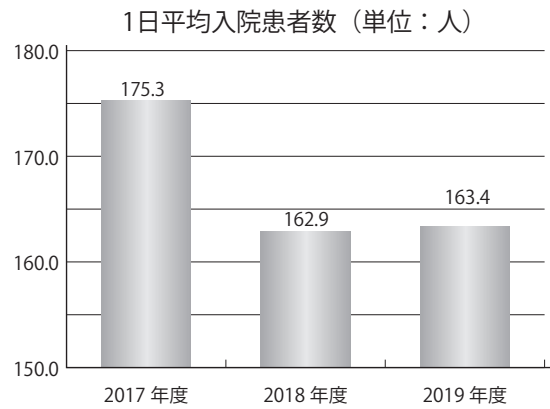
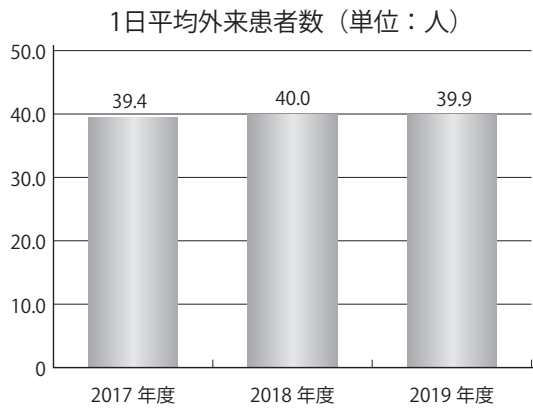
b. 6 月中に退院した患者の退院先

	2017 年度	2018 年度	2019 年度
家庭復帰等	15	23	20
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	2	4	3
高齢者福祉施設	1	1	2
転院・院内転科	5	5	5
死亡	0	0	0
その他	0	0	0
計	23	33	30

630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

	2017 年度	2018 年度	2019 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	33	41	36
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	25	26	26
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	3	8	3
転院・院内転科	5	1	6
死亡	0	0	0
計	33	35	35
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	0	6	1

徳之島病院



3精神科病院（谷山・奄美・徳之島）との人事交流者数（延べ人数）

		2019 年										2020 年			計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
奄美→徳之島	看護師	0	1	0	1	2	0	3	0	0	0	0	0	7	
谷山→徳之島	精神保健福祉士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
	作業療法士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
	医 師	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	看護師	0	4	2	1	2	4	0	0	1	3	0	0	17	

無医地区への医師派遣回数（へき地医療支援）

2017 年度	2018 年度	2019 年度
14	5	5

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6月30日現在の在院患者数

	2017 年度	2018 年度	2019 年度
F 00 アルツハイマー病型認知症	3	1	1
F 01 血管性認知症	0	0	0
F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	3	6	3
F 1 F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	2	1	2
F 1 覚せい剤による精神及び行動の障害	0	0	0
F 1 アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	0	0
F 2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	166	144	149
F 3 気分（感情）障害	0	0	0
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	0	0	0
F 5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	0	0
F 6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	0	0	0
F 7 精神遅滞〔知的障害〕	3	1	1
F 8 心理的発達の障害	0	0	0
F 9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	0	0
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	4	3	3
その他	3	0	5
計	184	156	164

b. 6月中に退院した患者の退院先

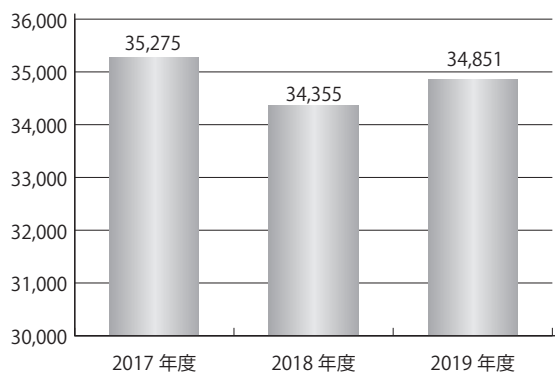
	2017 年度	2018 年度	2019 年度
家庭復帰等	5	2	6
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	0	0	0
高齢者福祉施設	0	0	1
転院・院内転科	3	4	1
死亡	0	2	0
その他	0	0	0
計	8	8	8

630 調査（1年前の6月中に入院した患者の1年後の残存率）

	2017 年度	2018 年度	2019 年度
入院患者数（前年の6月中）	2017 年度より様式が変更になった為項目なし	10	10
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等		8	5
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等		2	1
転院・院内転科		0	0
死亡		0	0
計		10	6
↓			
残留患者数（当該年の6月末）		0	4

介護老人保健施設 愛と結の街

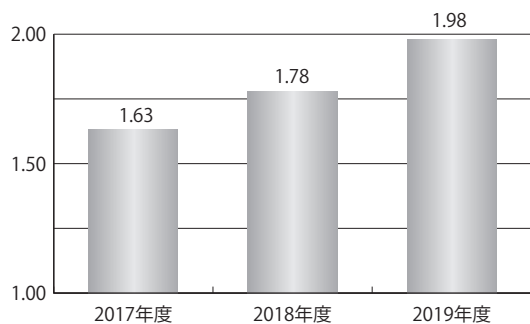
延べ入所者数（単位：人）



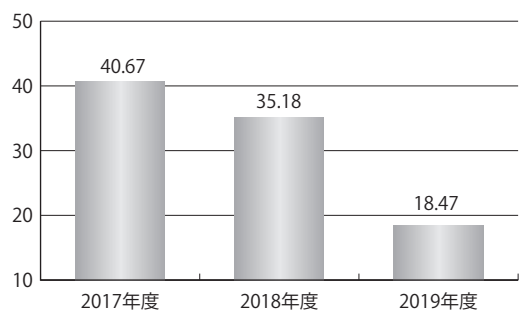
延べ通所者数（単位：人）



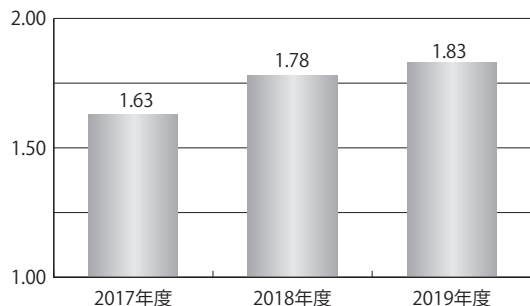
1 日平均入所者数（単位：人）

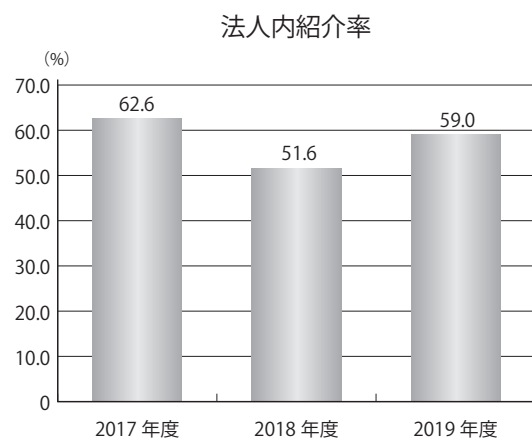
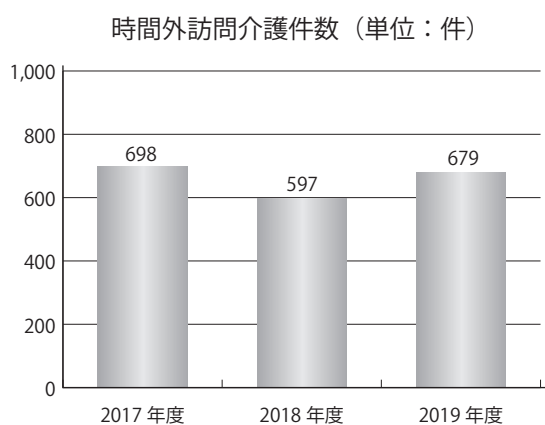
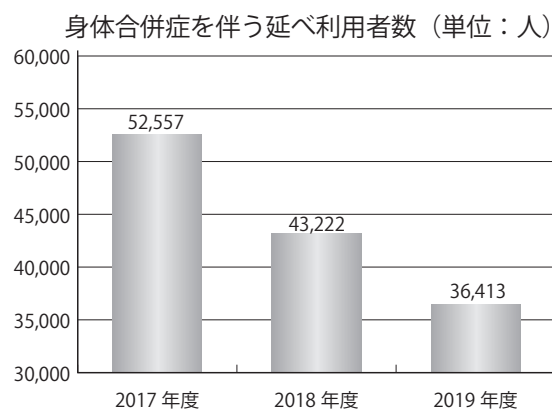
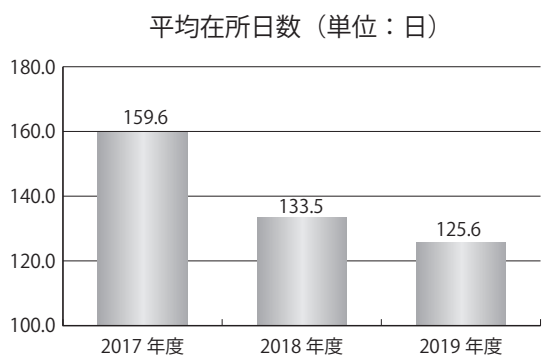
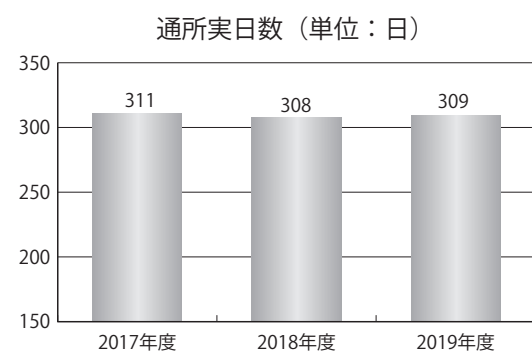
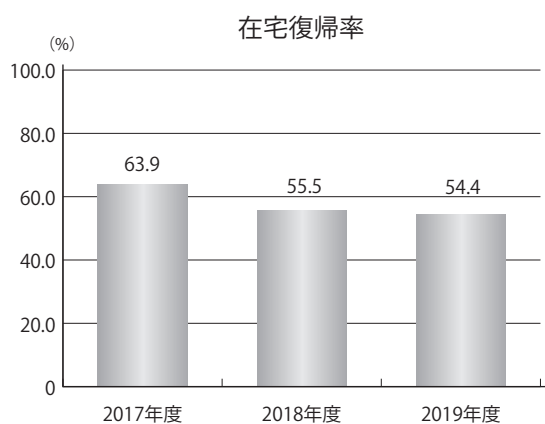
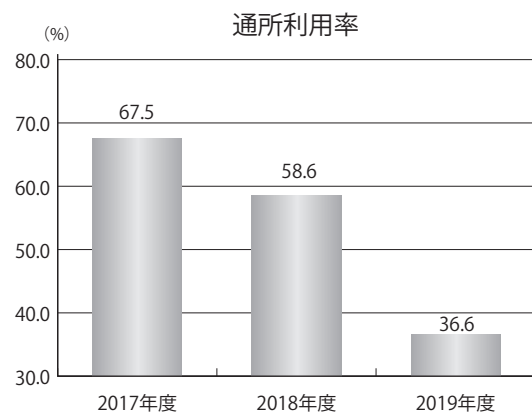
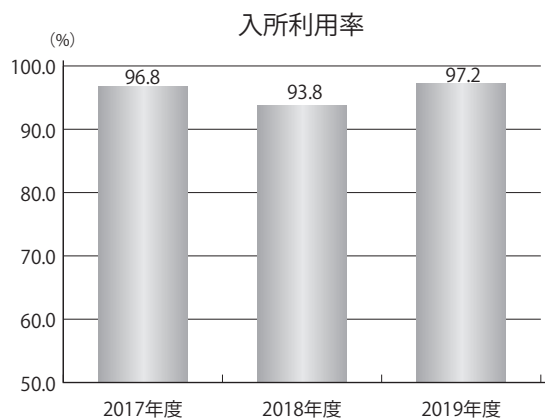


1 日平均通所者数（単位：人）



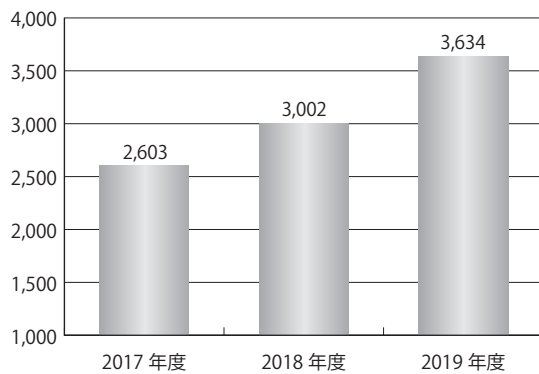
1 日平均退所者数（単位：人）



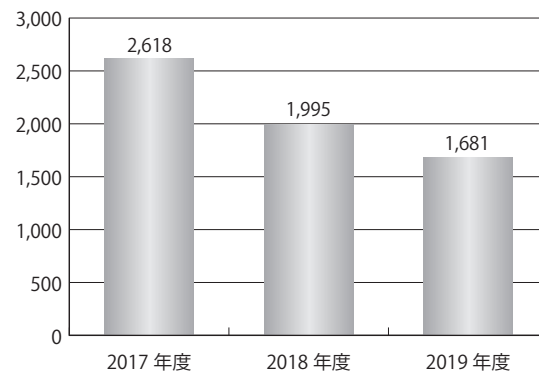


高麗町クリニック

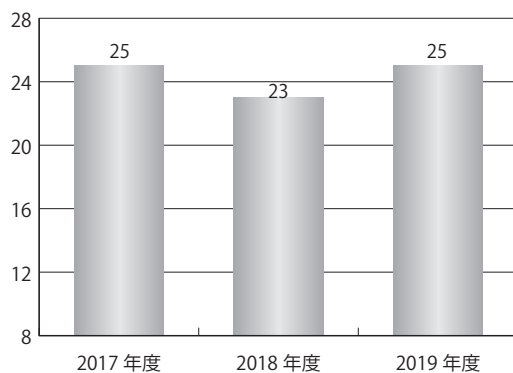
訪問診療延べ患者数（単位：人）



訪問リハ延べ患者数（単位：人）



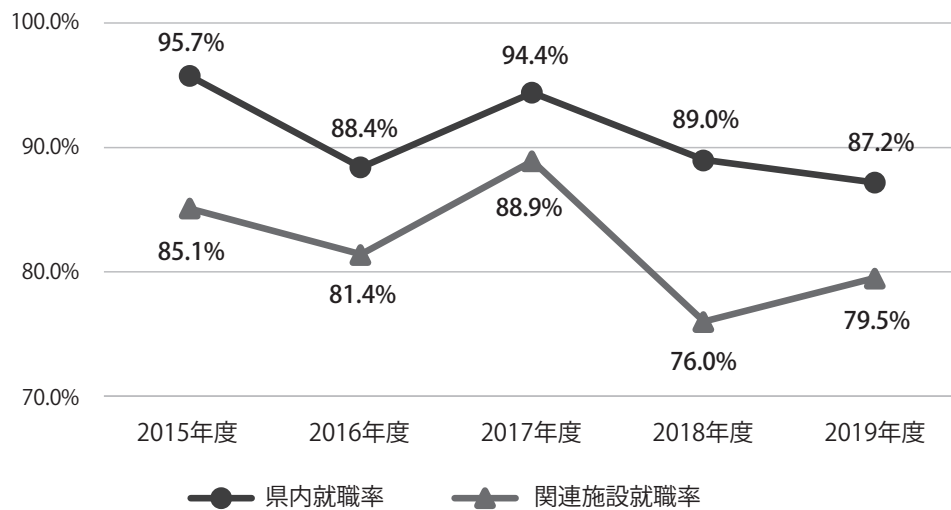
在宅看取り数（単位：人）



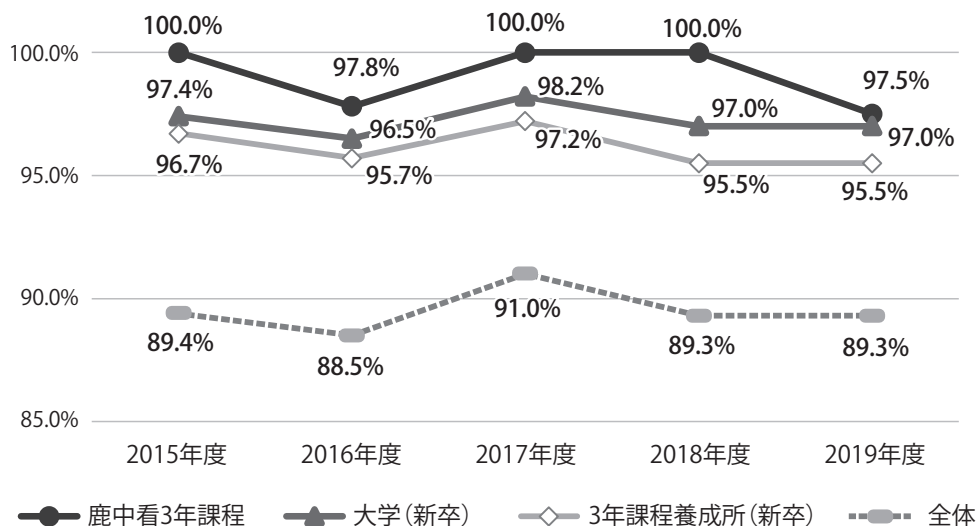
鹿児島中央看護専門学校

〈3年課程看護科〉

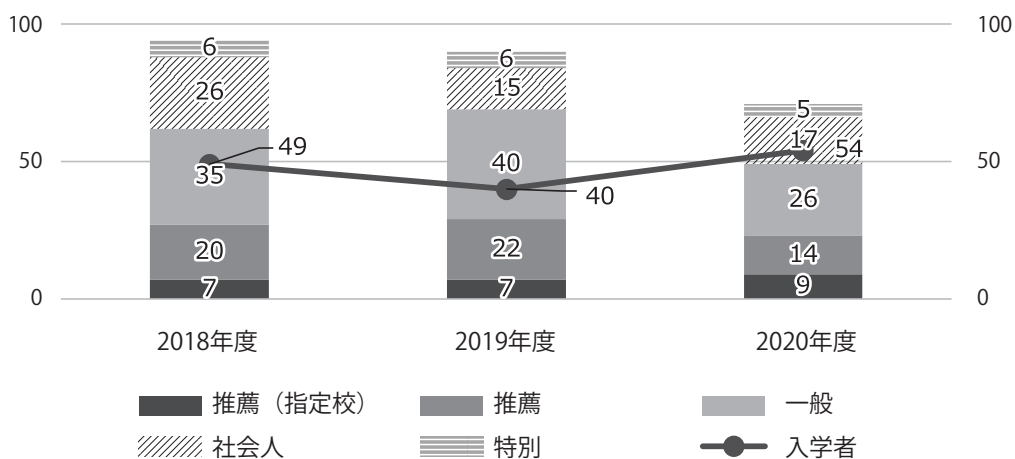
県内就職率・関連施設就職率



国家試験合格率の推移

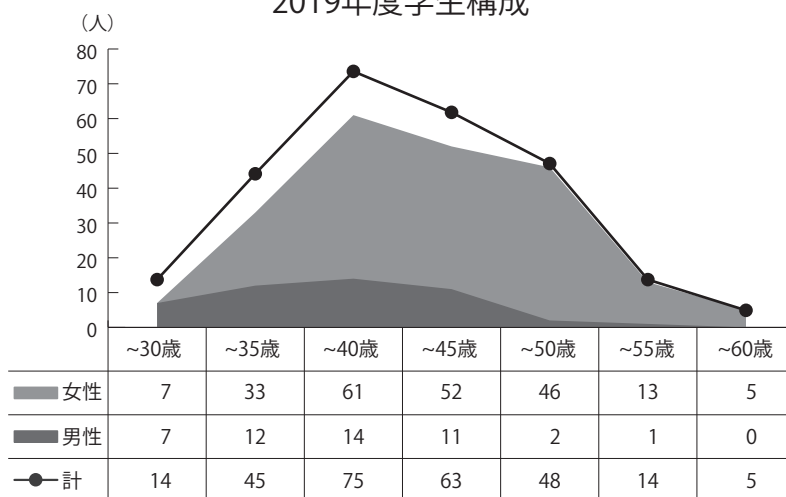


区分別受験者、入学者数推移（定員40名）

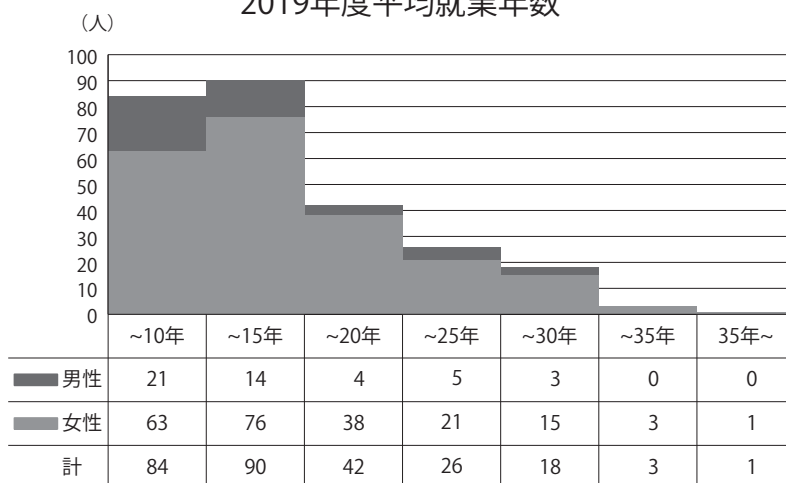


〈2年課程（通信制）看護科〉

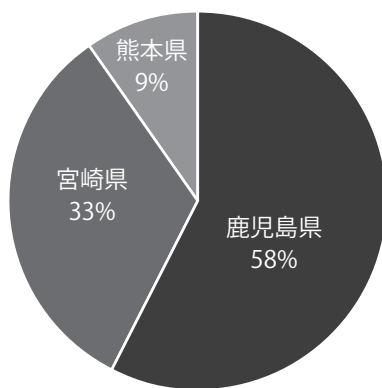
2019年度学生構成



2019年度平均就業年数



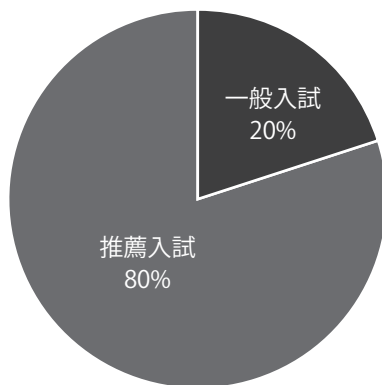
2019年度修了生県別割合



2019年度修了生県別構成

	女性	男性	総計
鹿児島県	56	16	72
宮崎県	33	8	41
熊本県	12	0	12
総 計	101	24	125

2019年度受験区分割合



2019年度受験区分内訳

	人数
一般入試	37
推薦入試	146
総 計	183

法人業績一覧

【論文】

血液内科

今村総合病院

<著書>

1. 宇都宮 典: 成人 T 細胞白血病・リンパ腫. 今日の治療指針 2019 年版 福井次矢, 高木誠, 小室一成. 医学書院, 東京, 2019, pp686-688

<欧文>

1. Fuji S, Inoue Y, Utsunomiya A, Moriuchi Y, Choi I, Otsuka E, Henzan H, Kato K, Nakachi S, Yamamoto H, Fukuda T : Impact of pretransplant central nervous system invasion in patients with aggressive adult T-cell leukemia lymphoma. Bone Marrow Transplant 54(1) : 134-137, 2019
2. Ishida T, Jo T, Takemoto S, Suzushima H, Suehiro Y, Choi I, Yoshimitsu M, Saburi Y, Nosaka K, Utsunomiya A, Kobayashi Y, Yamamoto K, Fujiwara H, Ishitsuka K, Yoshida S, Taira N, Imada K, Kato K, Moriuchi Y, Yoshimura K, Takahashi T, Tobinai K, Ueda R : Follow-up of a randomised phase II study of chemotherapy alone or in combination with mogamulizumab in newly diagnosed aggressive adult T-cell leukaemia-lymphoma : impact on allogeneic haematopoietic stem cell transplantation. Br J Haematol 184(3) : 479-483, 2019
3. Kato K, Uike N, Wake A, Yoshimitsu M, Tobai T, Sawayama Y, Takatsuka Y, Fukuda T, Uchida N, Eto T, Nakashima Y, Kondo T, Taguchi J, Miyamoto T, Nakamae H, Ichinohe T, Kato K, Suzuki R, Utsunomiya A : ATL Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. The outcome and characteristics of patients with relapsed adult T cell leukemia/lymphoma after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. Hematol Oncol 37(1) : 54-61, 2019
4. Cook LB, Fuji S, Hermine O, Bazarbachi A, Ramos JC, Ratner L, Horwitz S, Fields P, Tanase A, Bumbea H, Cwynarski K, Taylor G, Waldmann TA, Bittencourt A, Marçais A, Suarez F, Sibon D, Phillips A, Lunning M, Farid R, Imaizumi Y, Choi I, Ishida T, Ishitsuka K, Fukushima T, Uchimaru K, Takaori-Kondo A, Tokura Y, Utsunomiya A, Matsuoka M, Tsukasaki K, Watanabe T : Revised Adult T-Cell Leukemia-Lymphoma International Consensus Meeting Report. J Clin Oncol 37(8) : 677-687, 2019
5. Kubota A, Nakano N, Tokunaga M, Miyazono T, Tokunaga M, Makino T, Takeuchi S, Yonekura K, Takatsuka Y, Utsunomiya A : Prognostic impact of soluble interleukin-2 receptor level profiling in smoldering type adult T-cell leukemia-lymphoma. Hematol Oncol 37(2) : 223-225, 2019
6. Sawayama Y, Itonaga H, Fukushima T, Nakano N, Fujiwara H, Utsunomiya A, Fukuda T, Miyamoto T, Eto T, Miyashita K, Nakamae H, Ogata M, Yamanoha A, Miyazaki Y, Kanda J, Atsuta Y, Kato K: ATL Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Cytomegalovirus reactivation is associated with increased mortality more than 100 days after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for adult T-cell leukemia/lymphoma. Am J Hematol 94(5) : E143-E146, 2019
7. Yonekura K, Takeda K, Kawakami N, Kanzaki T, Kanekura T, Utsunomiya A : Therapeutic Efficacy of Etrretinate on Cutaneous-type Adult T-cell Leukemia-Lymphoma. Acta Derm Venereol 99(9) : 774-776, 2019
8. Yoshimitsu M, Utsunomiya A, Fuji S, Fujiwara H, Fukuda T, Ogawa H, Takatsuka Y, Ishitsuka K, Yokota A,

- Okumura H, Ishii K, Nishikawa A, Eto T, Yonezawa A, Miyashita K, Tsukada J, Tanaka J, Atsuta Y, Kato K: ATL Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. A retrospective analysis of haplo-identical HLA-mismatch hematopoietic transplantation without posttransplantation cyclophosphamide for GVHD prophylaxis in patients with adult T-cell leukemia-lymphoma. *Bone Marrow Transplant* 54(8) : 1266-1274, 2019
9. Fuji S, Yamaguchi T, Inoue Y, Utsunomiya A, Moriuchi Y, Owatari S, Miyagi T, Sawayama Y, Otsuka E, Yoshida SI, Fukuda T : VCAP-AMP-VECP as a preferable induction chemotherapy in transplant-eligible patients with aggressive adult T-cell leukemia-lymphoma : a propensity score analysis. *Bone Marrow Transplant* 54 : 1399-1405, 2019
10. Sakamoto Y, Fujii K, Murase S, Nakano S, Masaki A, Murase T, Kusumoto S, Iida S, Utsunomiya A, Ueda R, Ishida T, Inagaki H : CCR4 is rarely expressed in CCR4-mutated T/NK-cell lymphomas other than adult T-cell leukemia/lymphoma. *Int J Hematol* 110(4) : 389-392, 2019
11. Katsuya H, Islam S, Tan BJY, Ito J, Miyazato P, Matsuo M, Inada Y, Iwase SC, Uchiyama Y, Hata H, Sato T, Yagishita N, Araya N, Ueno T, Nosaka K, Tokunaga M, Yamagishi M, Watanabe T, Uchimarui K, Fujisawa JI, Utsunomiya A, Yamano Y, Satou Y : The Nature of the HTLV-1 Provirus in Naturally Infected Individuals Analyzed by the Viral DNA-Capture-Seq Approach. *Cell Rep* 29(3) : 724-735, 2019
12. Utsunomiya A : Progress in Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation in Adult T-Cell Leukemia-Lymphoma. *Frontiers in Microbiology* 10(Article 2235) : 1-16, 2019
13. Yamagishi M, Hori M, Fujikawa D, Ohsugi T, Honma D, Adachi N, Katano H, Hishima T, Kobayashi S, Nakano K, Nakashima M, Iwanaga M, Utsunomiya A, Tanaka Y, Okada S, Tsukasaki K, Tobinai K, Araki K, Watanabe T, Uchimarui K : Targeting Excessive EZH1 and EZH2 Activities for Abnormal Histone Methylation and Transcription Network in Malignant Lymphomas. *Cell Rep* 29(8) : 2321-2337, 2019
14. Nakano K, Iwanaga M, Utsunomiya A, Uchimarui K, Watanabe T : Functional Analysis of Aberrantly Spliced Caspase 8 Variants in Adult T-cell Leukemia Cells. *Mol Cancer Res* 17(12) : 2522-2536, 2019
15. Kato M, Nakasone H, Nakano N, Fuji S, Shinohara A, Yokoyama H, Sakashita K, Hori T, Takahashi S, Nara M, Kanda Y, Mori T, Takita J, Kawaguchi H, Kawakita T, Ichinohe T, Fukuda T, Atsuta Y, Ogata M : Transplantation Complication Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Clinical course of autologous recovery with chromosomal abnormalities after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Bone Marrow Transplant* 2019 [Epub ahead of print]
16. Yoshimitsu M, Fuji S, Utsunomiya A, Nakano N, Ito A, Ito Y, Miyamoto T, Suehiro Y, Kawakita T, Moriuchi Y, Nakamae H, Kanda Y, Ichinohe T, Fukuda T, Atsuta Y, Kato K: ATL Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Outcomes of Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for ATL with HTLV-1 Antibody-Positive Donors. *Biol Blood Marrow Transplant* 2019 [Epub ahead of print]
17. Fuji S, Kurosawa S, Inamoto Y, Murata T, Utsunomiya A, Uchimarui K, Yamasaki S, Inoue Y, Moriuchi Y, Choi I, Ogata M, Hidaka M, Yamaguchi T, Fukuda T : A decision analysis comparing unrelated bone marrow transplantation and cord blood transplantation in patients with aggressive adult T-cell leukemia-lymphoma. *Int J Hematol* 111(3) : 427-433, 2020
18. Oka T, Matsuoka KI, Utsunomiya A : Sensitive Photodynamic Detection of Adult T-cell Leukemia/Lymphoma and Specific Leukemic Cell Death Induced by Photodynamic Therapy : Current Status in Hematopoietic Malignancies. *Cancers (Basel)* 2020 [Epub ahead of print]
19. Nakahata S, Syahrul C, Nakatake A, Sakamoto K, Yoshihama M, Nishikata I, Ukai Y, Matsuura T, Kameda T, Shide K, Kubuki Y, Hidaka T, Kitanaka A, Ito A, Takemoto S, Nakano N, Saito M, Iwanaga M, Sagara Y,

Mochida K, Amano M, Maeda K, Sueoka E, Okayama A, Utsunomiya A, Shimoda K, Watanabe T, Morishita K :
Clinical significance of soluble CADM1 as a novel marker for adult T-cell leukemia/lymphoma. *Haematologica* 2020
[Epub ahead of print]

<和文>

1. 田淵智久, 中野伸亮, 小田原淳, 窪田歩, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 伊藤能清, 宇都宮與 : 胸壁濃瘍を合併した難治性急性骨髄性白血病に対して FLT3 阻害薬が奏功した一例. *鹿児島市医報* 58(4) : 23-25, 2019

皮膚科

今村総合病院

<欧文>

1. Baba N, Fujii K, Nomoto Y, Jimura N, Higashi Y, Takami S, Masamoto I, Yonekura K, Mera K, Kanekura T :
Sézary syndrome in an anti-human T-cell lymphotropic virus type 1 seropositive carrier. *J Dermatol* 46(1) :
e40-e41, 2019
2. Tsuruta N, Narisawa Y, Imafuku S, Ito K, Yamaguchi K, Miyagi T, Takahashi K, Fukamatsu H, Morizane S,
Koketsu H, Yamaguchi M, Hino R, Nakamura M, Ohyama B, Ohata C, Kuwashiro M, Sato T, Saito K, Kaneko
S, Yonekura K, Hayashi H, Yanase T, Morimoto K, Sugita K, Yanagihara S, Kikuchi S, Mitoma C, Nakahara T,
Furue M, Okazaki F : Cross-sectional multicenter observational study of psoriatic arthritis in Japanese patients :
Relationship between skin and joint symptoms and results of treatment with tumor necrosis factor- α inhibitors.
J Dermatol 46(3) : 193-198, 2019
3. Kubota A, Nakano N, Tokunaga M, Miyazono T, Tokunaga M, Makino T, Takeuchi S, Yonekura K, Takatsuka Y,
Utsunomiya A : Prognostic impact of soluble interleukin-2 receptor level profiling in smoldering type adult T-cell
leukemia-lymphoma. *Hematol Oncol* 37(2) : 223-225, 2019
4. Hamada T, Tokura Y, Sugaya M, Ohtsuka M, Tsuboi R, Nagatani T, Kiyohara E, Tain M, Setoyama M,
Matsushita S, Kawai K, Yonekura K, Saida T, Iwatsuki K : Long-term efficacy and safety of bexarotene for
Japanese patients with cutaneous T-cell lymphoma : The results of a phase 2 study (B-1201). *J Dermatol* 46(7) :
557-563, 2019
5. Yonekura K, Takeda K, Kawakami N, Kanzaki T, Kanekura T, Utsunomiya A : Therapeutic Efficacy of
Etretinate on Cutaneous-type Adult T-cell Leukemia-Lymphoma. *Acta Derm Venereol* 99(9) : 774-776, 2019
6. Kaneko S, Tsuruta N, Yamaguchi K, Miyagi T, Takahashi K, Higashi Y, Morizane S, Nomura H, Yamaguchi M,
Hino R, Sawada Y, Nakamura M, Ohyama B, Ohata C, Yonekura K, Hayashi H, Yanase T, Matsuzaka Y, Sugita
K, Kikuchi S, Mitoma C, Nakahara T, Furue M, Okazaki F, Koike Y, Imafuku S : Western Japan Inflammatory
Disease Research Group. Mycobacterium tuberculosis infection in psoriatic patients treated with biologics : Real-
world data from 18 Japanese facilities. *J Dermatol* 47(2) : 128-132, 2020

<和文>

1. 米倉健太郎 : 新・皮膚科セミナー 皮膚リンパ腫診療における他科連携と皮膚科医の役割 成人 T 細胞白血病
リンパ腫の最新の治療. *日本皮膚科学会雑誌* 129(3) : 333-40, 2019
2. 戸倉新樹, 宮垣朝光, 米倉健太郎, 藤村卓, 阿部理一郎, 菅谷誠 : モガムリズマブ (遺伝子組換え) 製剤の皮膚リ
ンパ腫使用に係る指針. *日本皮膚科学会雑誌* 129(3) : 331-332, 2019
3. 坪井一哉, 神崎保 : ファブリー病の皮膚病変. *BRAIN and NERVE* 71(4) : 354-359, 2019

4. 米倉健太郎：いま学びたい皮膚リンパ腫の診断と治療. MB Derma 291 : 55-64, 2020
5. 武田浩一郎, 玉井真理子, 川上延代, 佐藤浩子, 米倉健太郎, 神崎保：【爪および爪周辺の疾患】臨床例 爪部扁平上皮癌. 皮膚病診療 41(9) : 869-872, 2019

<その他>

1. 神崎保：《作成委員》ファブリー病診療ガイドライン 2019. 診断と治療社, 東京都, 2019

消化器内科

いづろ今村病院

<和文>

1. 大井秀久：診断編 バリウム X 線造影検査. IBD クリニックカンファレンス Vol.1 (4) : 114-115, 2019
2. 大井秀久：最近の慢性便秘症の治療. 鹿児島県内科医会報 51 : 16-17, 2020

脳神経内科

今村総合病院

<欧文>

1. Tomari S, Arima J, Yshida T, Yamashita H, Sata R, Hamada R, Kanda N : Effect of direct oral anticoagulant for acute major cerebral artery occlusion in cardioembolic stroke/transient ischemic attack patients with non-valvular atrial fibrillation. Journal of the Neurological Sciences 402 : 162-166, 2019

<和文>

1. 脇田政之, 長友理沙, 平嶺敬人, 大山賢, 濱田陸三, 神田直昭：直接経口抗凝固薬（DOAC）を用いた脳塞栓二次予防症例 161 例の検討. 鹿児島市医師会報 58(10) : 12-16, 2019

循環器内科

今村総合病院

<欧文>

1. Higo K, Tokushige A, Tezuka A, Ojima S, Miyauchi T, Saihara K, Sunahara N, Taketomi E, Ohishi M : Isolated distal deep vein thrombus detected before orthopedic surgery : Is preoperative anticoagulation preferable?. Annals of Vascular Diseases 12 : 354-361, 2019

<和文>

1. 手塚綾乃, 肥後建樹郎, 大石充：肺炎の治療中に突然出現した胆石. 総合診療 29(6) : 747-748, 2019

腎臓内科

今村総合病院

<欧文>

1. Uwatoko M, Tokunaga K, Kawano M, Kamimura M, Ibi Y, Otsuka M, Minami M, Yoshimine H, Hamada F, Ido

A : A case report with a literature review : cerebral meningioma diagnosed by convulsion and consciousness disorder on initiating hemodialysis. Renal Replacement Therapy, 2020 [Epub ahead of print]

<和文>

1. 上床美紀, 大保玲衣, 大塚彰行, 阿部正治, 吉嶺陽造, 屋万栄, 吉嶺陽仁, 曾我部篤史, 内田義男, 野崎剛, 徳永公紀, 井戸章雄 : 腎代替療法導入の選択およびバスキュラーアクセス作製に難渋した強皮症腎クリーゼの1例. 日本透析医学会雑誌 52(6) : 363-368, 2019

病理診断科

今村総合病院

<欧文>

1. Furukawa Y, Hamada H, Kamikawaji K, Unoki T, Inoue H, Tashiro Y, Okamoto M, Baba M, Hashiguchi T : Successful treatment of an AIDS patient with prolonged Mycobacterium avium bacteremia, high HIV RNA, HBV infection, Kaposi's sarcoma and cytomegalovirus retinitis. Infect Chemother 26(2) : 279-281, 2020

歯科口腔外科

今村総合病院

<和文>

1. 新田哲也, 坂元亮一, 平原成浩, 松村吉晃, 中村康大, 後藤雄一 : ビスフォスフォネート製剤の不適切な服用方法による発症が疑われた口腔粘膜潰瘍. 日本口腔外科学会雑誌 65(9) : 599-604, 2019
2. 新田哲也, 坂元亮一, 松村吉晃, 中村康大, 西慶太郎, 上川善昭 : 舌癌の術前化学療法開始後に発症した Ramsay Hunt 症候群の1例. 歯科薬物療法 38(3) : 201-205, 2019

緩和ケア内科

いづろ今村病院

<欧文>

1. Nakamura D, Yoshimitsu M, Tabuchi T, Arima N, Hayashida M, Inoue H, Matsushita K, Matsumoto T, Arima N, Ishitsuka K : Treatment of aggressive adult T-cell leukemia/lymphoma : a retrospective study in a hospital located in HTLV-1 highly endemic area. Int J Hematol 111(2) : 234-240, 2020

救急総合内科

今村総合病院

<著書>

1. 西垂水和隆, 林恒存, 市来征仁, 畠中成己, 伊藤加菜絵, 有馬丈洋, 大塚暢, 崎山隼人 : あなたも名医! 診断につながる病歴聴取 - 日常診療でここまでできる! . 日本医事新報社, 2019
西垂水和隆 : 巻頭言. 巻頭 問診票について - 問診票・バイタルサインからわかる情報. pp9-14 「P : 増悪因子 / 寛解因子 - どうしたら悪く / 楽になりますか?」. pp26-32 「Q : 表現するとどのような感じですか?」. pp33-37 「繰り返す疾患 - こういうことは初めてですか?」. pp54-59 「頭痛」. pp164-170

林恒存：「既往歴」. pp60-64 「胸痛 - 心疾患」. pp128-133
市来征仁：「よくわからない症状, あまり聞いたことのない症状」. pp94-99 「腹痛」. pp155-163
畠中成己：「O：いつから始まりましたか?」. pp20-25
有馬丈洋：「旅行・曝露・動物など」. pp74-78 「発熱 - 感染症か非感染症かを見きわめるポイント」. pp117-121
伊藤加菜絵：「Site：内臓? 内臓外? 臓器別の特徴」. pp89-93
大塚暢：「患者が一言目を離す前にわかること」. pp15-19 「体重減少」. pp145-149
崎山隼人：「生活歴・家族歴」. pp65-69

<その他の論文、誌上発表>

1. 林恒存：随筆 総合診療とは（その1）. 鹿児島市医師会報 58(6)：29-31, 2019
2. 西垂水和隆：特集：外来マネジメント 頭痛：自信をもって「片頭痛」を診断しよう！. Hospitaist 7(1)：83-97, MEDSi, 2019
3. 林恒存：随筆 総合診療とは（その2）. 鹿児島市医師会報 58(7)：26-29, 2019
4. 西垂水和隆：ER DESIGN 理想を現実にする. 救急医学 43（11）：1524-1527, へるす出版, 2019

リハビリテーション部

今村総合病院 言語聴覚士

<和文>

1. 西田信太郎：脳梁離断症候群を呈した一例～神経症状と自動車運転に及ぼす影響～. 鹿児島高次脳機能研究会会誌 30(1)：1-4, 2019

HTLV-1 研究センター

今村総合病院

<監修>

1. 宇都宮興：HTLV-1 について. 日本赤十字社九州ブロックセンター発行パンフレット, 2019
2. 宇都宮興：HTLV-1 感染の診断指針. 2019 年度日本医療研究開発機構委託研究開発費（AMED 補助金）新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業「HTLV-1 の疫学研究及び総合対策に資する研究」, 2019

看護部

徳之島病院

<その他の論文、誌上発表>

1. 上野博之, 福島絵理子, 吉田全子, 山上清美：「開放観察シート」で情報を共有し、開放時間を段階的に延長. 日精看ニュース, 2019 年 9 月号

【学会発表】

血液内科

今村総合病院

<国際>

1. Nakano N, Nakasone H, Fuji S, Shinohara A, Suzuki R, Utsunomiya A, Eto T, Sawayama Y, Nakachi S, Uchida N, Fukuda T, Kanda J, Atsuta Y, Ogata M : Impact of Pretransplant HTLV-1 Seropositivity on Hematopoietic Stem Cell Transplantation for the Diseases Other Than ATLL - an Analysis on Behalf of JSHCT Complication Working Group. 19th International Conference on Human Retrovirology HTLV and Related Viruses, Lima, Peru, 24-26 April, 2019
2. Utsunomiya A : Progress in allogeneic hematopoietic cell transplantation for ATLL. 19th International Conference on Human Retrovirology HTLV and Related Viruses, Lima, Peru, 24-26 April, 2019 (symposium)
3. Yonekura K, Kusumoto S, Nakano N, Ito A, Choi I, Imaizumi Y, Yoshimitsu M, Nosaka K, Ohtsuka E, Hidaka M, Jo T, Sasaki H, Moriuchi Y, Ogata M, Suehiro Y, Ueda R, Utsunomiya A, Ishida T : Mogamulizumab for Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma, interim report of the MIMOGA study. 19th International Conference on Human Retrovirology HTLV and Related Viruses, Lima, Peru, 24-26 April, 2019
4. Kubota A, Nakano N, Tokunaga M, Miyazono T, Odawara J, Tabuchi T, Tokunaga M, Makino T, Takeuchi S, Yonekura K, Tashiro Y, Takatsuka Y, Ito Y, Utsunomiya A : Prognostic factors for smoldering-type adult T-cell leukemia lymphoma. The 10th JSH International Symposium 2019, Ise-Shima, Mie, 17-18 May, 2019
5. Takizawa J, Suzuki R, Kawamoto K, Suzuki T, Kiguchi T, Masunari T, Utsunomiya A, Saburi S, Murakami J, Kitazume K, Suzuki Y, Takeuchi K, Nakamura N, Ohshima K, Aoki S, Suzumiya J : Expression of LEF1 in Japanese cases of CLL (CLLRSG-01 study). XVIII International Workshop on CLL, Edinburgh, UK, 20-23 September, 2019
6. Nakano N, Takatsuka Y, Kubota A, Tokunaga M, Miyazono T, Tabuchi T, Odawara J, Takeuchi S, Ito Y, Utsunomiya A : Cord Blood Transplantation with Non-TBI-RIC Regimen Using Fludarabine and Melphalan for Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma. 61th ASH meeting, Orlando, FL, USA, 7-10 December, 2019
7. Morishima S, Ishitsuka K, Izutsu K, Kusumoto S, Makiyama J, Utsunomiya A, Nosaka K, Ishida T, Imaizumi Y, Yamauchi N, Araki K, Adachi N, Yamashita T, Atsumi R, Tsukasaki K, Tobinai K : First-in-Human Study of the EZH1/2 Dual Inhibitor Valemetostat in Relapsed or Refractory Non-Hodgkin Lymphoma (NHL) - Updated Results Focusing on Adult T-Cell Leukemia-Lymphoma (ATL). 61th ASH meeting, Orlando, FL, USA, 7-10 December, 2019
8. Oka T, Mizuno H, Sakata M, Fujita H, Matsuoka K, Yoshino T, Yamano Y, Utsumi K, Masujima T, Maeda Y, Utsunomiya A : Early detection of adult T-cell leukemia/lymphoma and induction of specific leukemic cell death with 5-aminolevulinic acid mediated photodynamic therapy. Nature Conferences, "Transdisciplinary Cancer Interception : Leveraging Biology to Improve Prevention and Detection" , Salt Lake City, Utah, USA , 9-11 March, 2020

<国内>

1. 小田原千里, 兼石知香, 新屋果蓮, 牧野桃子, 中島彩乃, 藤山裕輝, 宮園卓宜, 宇都宮與, 帆北修一: 当院における動画, 模擬体験を用いた輸血教育研修の取り組みと効果について. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術総会, 2019 年 5 月 23-25 日, 熊本
2. 中島彩乃, 宮園卓宜, 藤山裕輝, 小田原千里, 兼石知香, 新屋果蓮, 牧野桃子, 久保友恵, 中野伸亮, 小田原淳, 宇都宮與, 帆北修一: 輸血マニュアルの改訂作業で明らかになった当院の輸血に関する問題点. 第 67 回日本輸血・

- 細胞治療学会学術総会, 2019 年 5 月 23-25 日, 熊本
3. 宮園卓宜, 中島彩乃, 藤山裕輝, 新屋果蓮, 小田原千里, 牧野桃子, 兼石知香, 久保友恵, 小田原淳, 中野伸亮, 宇都宮與, 帆北修一: 当院における輸血管管理室立ち上げまでの取り組みと, その後の効果について. 第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術総会, 2019 年 5 月 23-25 日, 熊本
 4. 窪田歩, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 小田原淳, 田淵智久, 田代幸恵, 米倉健太郎, 西田博利, 土器屋卓志, 竹内昇吾, 高塚祥芝, 伊藤能清, 宇都宮與: 成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する放射線治療による遠達効果と予後. 第 59 回日本リンパ網内系学会総会, 2019 年 6 月 27-29 日, 鳥根
 5. 宮園卓宜, 田代幸恵, 坂本佳奈, 田淵智久, 窪田歩, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 二之宮謙次郎, 竹内賢吾, 伊藤能清, 宇都宮與: 芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍 (Blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm (BDN)) 関連疾患が示唆されるも診断に難渋した一例. 第 59 回日本リンパ網内系学会総会, 2019 年 6 月 27-29 日, 鳥根
 6. 勝屋弘雄, Saiful Islam, 伊東潤平, 宮里パオラ, 内山良一, 畑裕之, 佐藤和雄, 八木下尚子, 新谷奈津美, 上野孝治, 野坂生郷, 徳永雅仁, 山岸誠, 渡邊俊樹, 内丸薫, 藤澤順一, 宇都宮與, 山野嘉久, 佐藤賢文: The nature of HTLV-1 in naturally infected individuals analyzed by viral DNA-capture-seq approach. 第 59 回日本リンパ網内系学会総会, 2019 年 6 月 27-29 日, 鳥根 ★優秀演題賞
 7. 岡剛史, 水野初, 阪田真澄, 藤田洋史, 吉野正, 山野嘉久, 内海耕造, 升島努, 宇都宮與: 成人 T 細胞白血病／リンパ腫 (ATL) 発症・進展における代謝異常と光動力学治療法による ATL 白血病細胞特異的細胞死の誘導. 第 59 回日本リンパ網内系学会総会, 2019 年 6 月 27-29 日, 鳥根
 8. 坂本祐真, 石田高司, 正木彩子, 藤井慶一郎, 村瀬貴幸, 伊藤旭, 楠本茂, 飯田真介, 田代幸恵, 宇都宮與, 上田龍三, 稲垣宏: ATL における CD28 遺伝子異常及び蛋白質発現の臨床病理学的意義. 第 59 回日本リンパ網内系学会総会, 2019 年 6 月 27-29 日, 鳥根
 9. 中野さつき, 坂本祐真, 村瀬駿士, 藤井慶一郎, 正木彩子, 村瀬貴幸, 飯田真介, 宇都宮與, 上田龍三, 石田高司, 稲垣宏: ATL 以外の T/NK 細胞性腫瘍における CCR4-C 末端領域遺伝子変異. 第 59 回日本リンパ網内系学会総会, 2019 年 6 月 27-29 日, 鳥根
 10. 宮園卓宜, 田淵智久, 小田原淳, 中野伸亮, 窪田歩, 徳永雅仁, 米倉健太郎, 伊藤能清, 宇都宮與: 当院における濾胞性リンパ腫に対する GB (obinutuzumab + bendamustine) 療法 4 例の使用経験. 第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2019 年 7 月 18-19 日, 京都
 11. 米倉健太郎, 徳永雅仁, 川上延代, 武田浩一郎, 佐藤浩子, 玉井真理子, 神崎保, 高塚祥芝, 竹内昇吾, 中野伸亮, 窪田歩, 田淵智久, 小田原淳, 宮園卓宜, 田代幸恵, 伊藤能清, 宇都宮與: Mogamulizumab treatment for newly diagnosed ATL patients influence high incidence of cutaneous adverse reaction. 第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2019 年 7 月 18-19 日, 京都
 12. 堀江良一, 中島誠, 矢持忠徳, 渡邊真理子, 内丸薫, 宇都宮與, 東原正明, 渡邊俊樹: The characteristics of CD30-positive HTLV-1-infected cells and the effects of Brentuximab Vedotin. 第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2019 年 7 月 18-19 日, 京都
 13. 勝屋弘雄, イスラムサイフル, タンベンジー, 伊東潤平, 宮里パオラ, 内山良一, 畑裕之, 佐藤和雄, 八木下尚子, 新谷奈津美, 上野孝治, 野坂生郷, 徳永雅仁, 山岸誠, 渡邊俊樹, 内丸薫, 藤澤順一, 宇都宮與, 山野嘉久, 佐藤賢文: ウイルス DNA カプチャーシーケンスはウイルス関連ヒト悪性腫瘍の病原性解明に有用である: HTLV-1 を例として. 第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2019 年 7 月 18-19 日, 京都
 14. 佐藤賢文, Benjy Tan Jek Yang, 松尾美沙希, 勝屋弘雄, 徳永雅仁, 宇都宮與: HTLV-1 感染病態解明へ向けた感染者血液のシングルセルトランスクリプトーム解析. 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月 23-25 日, 宮崎
 15. Iwanaga M, Sagara Y, Utsunoiya A, Ushimaru K, Koh K, Watanabe T, JSPFAD members: Long-term risk of ATL and HAM/TSP in HTLV-1 carriers: results from JSPFAD. 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月

- 23-25 日, 宮崎
16. 窪田歩, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 小田原淳, 田淵智久, 徳永真弓, 竹内昇吾, 田代幸恵, 米倉健太郎, 高塚祥芝, 伊藤能清, 宇都宮與: くすぶり型成人 T 細胞白血病 / リンパ腫における予後不良因子. 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月 23-25 日, 宮崎
 17. 中野和民, 宇都宮與, 渡邊俊樹, 内丸薫: HTLV-1 感染および腫瘍化と関連するエクソソーム表面高原マーカー同定の試み. 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月 23-25 日, 宮崎
 18. 石塚賢治, 森島聡子, 伊豆津宏二, 楠本茂, 牧山純也, 宇都宮與, 野坂生郷, 今泉芳孝, 山下知也, 荒木一司, 塚崎邦弘, 飛内賢正: Phase 2 design valemestostat in relapsed/refractory adult T-cell leukemia/lymphoma(ATL)patients. 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月 23-25 日, 宮崎
 19. 中野伸亮, 宇都宮與, 窪田歩, 田淵智久, 小田原淳, 米倉健太郎, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 伊藤能清: 当院における ATL に対するレナリドミド使用の有効性と安全性. 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月 23-25 日, 宮崎
 20. 徳永雅仁, 米倉健太郎, 田淵智久, 窪田歩, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永真弓, 宮園卓宜, 牧野虎彦, 竹内昇吾, 高塚祥芝, 田代幸恵, 伊藤能清, 宇都宮與: 再発難治性成人 T 細胞白血病 / リンパ腫における Mogamulizumab の著効例の検討. 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月 23-25 日, 宮崎
 21. 桑原彩夏, 山岸誠, 宇都宮與, 渡邊俊樹, 内丸薫: ATL 細胞におけるヒストンメチル化酵素複合体の解析. 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月 23-25 日, 宮崎
 22. 瀧澤絵梨奈, 山岸誠, 石崎伊純, 志賀遥菜, 中島誠, 新谷奈津美, 宇都宮與, 中村龍文, 田中勇悦, 山野嘉久, 渡邊俊樹, 内丸薫: HTLV-1 感染細胞における IFN- γ -JAK1-STAT1 経路の機能的意義. 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月 23-25 日, 宮崎
 23. タン ベンジージャックヤン, 勝屋弘雄, 宮里パオラ, 内山良一, 櫻井保志, 中村秀明, 末岡榮三朗, 宇都宮與, 佐藤賢文: Exploring the Transcriptome Differences between Asymptomatic Carriers and ATL at Single Cell Level. . 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月 23-25 日, 宮崎
 24. 水池潤, 山岸誠, 小林誠一郎, 中島誠, 新谷奈津美, 牧山純也, 宇都宮與, 田中勇悦, 渡邊俊樹, 山野嘉久, 内丸薫: HTLV-1 感染初期において Tax が宿主に与える影響の解析. 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月 23-25 日, 宮崎
 25. 岡剛史, 水野初, 阪田真澄, 藤田洋史, 吉野正, 山野嘉久, 内海耕造, 升島努, 松岡賢一, 前田嘉信, 宇都宮與: ATL 発症・進展における漸進的代謝異常と光動力学的治療法による ATL 白血病細胞特異的細胞死の誘導. 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月 23-25 日, 宮崎
 26. 米倉健太郎, 徳永雅仁, 武田浩一郎, 佐藤浩子, 玉井真理子, 高塚祥芝, 中野伸亮, 窪田歩, 宮園卓宜, 竹内昇吾, 田淵智久, 小田原淳, 田代幸恵, 伊藤能清, 宇都宮與: ATL 患者に対するモガムリズマブ投与後の皮膚障害は初発未治療例に発症しやすい. 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月 23-25 日, 宮崎
 27. 亀田拓郎, 片岡圭亮, 三好寛明, 幣光太郎, 北中明, 日高道弘, 宇都宮與, 柴田龍弘, 十時泰, 大島孝一, 小川誠司, 下田和哉: 臨床情報とゲノム情報を統合した予後予測モデルによる予後良好 aggressive ATL 抽出の試み. 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月 23-25 日, 宮崎
 28. 中野伸亮, 宇都宮與, 田淵智久, 小田原淳, 窪田歩, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 山野嘉久, 伊藤能清: HTLV-1 陰性血縁ドナーからの同種移植後急速進行性 HAM 及び ITP を併発した ATL 症例. 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月 23-25 日, 宮崎
 29. 李小寓, 山岸誠, 中島誠, 小林誠一郎, 牧山純也, 宇都宮與, 渡邊俊樹, 内丸薫: ATL における IKZF family の発現及び機能的意義の検討. 第 6 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019 年 8 月 23-25 日, 宮崎
 30. 中野伸亮, 窪田歩, 田淵智久, 小田原淳, 米倉健太郎, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 宇都宮與, 伊藤能清: ATL に対する lenalidomide 使用の安全性及び有効性. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019 年 10 月 11-13 日, 東京

31. 宮園卓宜, 田淵智久, 小田原淳, 中野伸亮, 窪田歩, 徳永雅仁, 田代幸恵, 伊藤能清, 宇都宮興：当院における GB (obinutuzumab + bendamustine) 療法を施行した濾胞性リンパ腫の 4 症例. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019 年 10 月 11-13 日, 東京
32. 窪田歩, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 小田原淳, 田淵智久, 徳永真弓, 牧野虎彦, 竹内昇吾, 米倉健太郎, 田代幸恵, 高塚祥芝, 伊藤能清, 宇都宮興：くすぶり型成人 T 細胞白血病・リンパ腫における予後因子. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019 年 10 月 11-13 日, 東京
33. 小田原淳, 田淵智久, 中野伸亮, 窪田歩, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 竹内昇吾, 高塚祥芝, 宇都宮興, 伊藤能清：WT1 と MFC-MRD を組み合わせた AML 病勢モニタリング法. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019 年 10 月 11-13 日, 東京
34. 田淵智久, 中野伸亮, 小田原淳, 窪田歩, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 田代幸恵, 安永純一朗, 伊藤能清, 宇都宮興：25 年の長期寛解後に再発を認めた成人 T 細胞白血病・リンパ腫の 1 例. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019 年 10 月 11-13 日, 東京
35. 新居亮彦, 吉満誠, 大塚眞紀, 伊藤能清, 中野伸亮, 小浜浩介, 宮園卓宜, 徳永雅仁, 小田原淳, 窪田歩, 田淵智久, 林田真衣子, 鎌田勇平, 中村大輔, 濱田平一郎, 藤野聡司, 井上大栄, 原口浩一, 大渡五月, 花田修一, 八幡美保, 内田友一朗, 石塚賢治：本態性血小板血症における非典型的ドライバ遺伝子変異の同定. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019 年 10 月 11-13 日, 東京
36. 佐々木謙介, 宮脇恒太, 仙波雄一郎, 加藤光次, 野上順平, 杉尾健志, 宮本敏浩, 伊藤能清, 長藤宏司, 前田高宏, 赤司浩一：Ph-like ALL の nCounter による迅速診断法. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019 年 10 月 11-13 日, 東京
37. 戸谷治仁, 楠本茂, 米倉健太郎, 中野伸亮, 伊藤旭, 崔日承, 今泉芳孝, 吉満誠, 野坂生郷, 日高道弘, 城達郎, 佐々木秀法, 森内幸美, 末廣陽子, 上田龍三, 宇都宮興, 石田高司：B 型肝炎ウイルス (HBV) 既往感染を有する成人 T 細胞性白血病リンパ腫のモガムリズマブ投与後の HBV 再活性化. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019 年 10 月 11-13 日, 東京
38. 井上明威, 中野伸亮, 藤重夫, 衛藤徹也, 河北敏郎, 内田直之, 諫田淳也, 熱田由子, 福田隆浩, 加藤光次：ATL 患者における移植前処置の強度およびレジメンが移植成績に与える影響. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019 年 10 月 11-13 日, 東京
39. 勝屋弘雄, 宮里パオラ, Saiful Islam, Benjy Yang, 稲田優紀, 松尾美沙希, 上野孝治, 徳永雅仁, 畑 裕之, 山岸誠, 藤澤順一, 渡邊俊樹, 内丸薫, 宇都宮興, 木村晋也, 佐藤賢文：HTLV-1 感染細胞におけるウイルスとホストキメラトランスクリプトの存在とクローン性増殖への関与の可能性. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019 年 10 月 11-13 日, 東京
40. 崔日承, 楠本茂, 中野伸亮, 伊藤旭, 米倉健太郎, 今泉芳孝, 吉満誠, 野坂生郷, 大塚英一, 日高道弘, 城達郎, 佐々木秀法, 森内幸美, 緒方正男, 末廣陽子, 上田龍三, 宇都宮興, 石田高司：モガムリズマブ併用化学療法を施行した ATL 患者の免疫モニタリング試験 (MMOGA study) の中間解析. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019 年 10 月 11-13 日, 東京
41. 伊藤歩, 中野伸亮, 田中喬, 藤重夫, 牧山純也, 井上明威, 崔日承, 中前博久, 長藤宏司, 高瀬謙, 町田真一郎, 高橋勉, 澤山靖, 上村智彦, 加藤光次, 河北敏郎, 緒方正男, 酒井リカ, 白鳥聡一, 稲本賢弘, 内丸薫, 宇都宮興, 福田隆浩：ATL 前向きコホート研究：アグレッシブ ATL に対する臍帯血移植・ハプロ移植と非血縁者間移植の比較. 第 81 回日本血液学会学術集会, 2019 年 10 月 11-13 日, 東京
42. 古川良尚, 大木浩, 宮園卓宜, 大塚眞紀, 花牟禮豊, 義永文一, 竹原哲彦, 砂原伸彦, 児玉健士, 田畑千穂子, 川上保浩, 野村秀洋：離島の中核病院における血液製剤利用に対して複数の医療機関が支援を行う事で有効利用を図る試み. 日本輸血・細胞治療学会九州支部会 第 66 回総会 第 87 回例会, 2019 年 12 月 14 日, 博多
43. 宮園卓宜, 中島彩乃, 藤山裕輝, 松山淳史, 新屋果蓮, 小田原千里, 牧野桃子, 兼石知香, 久保友恵, 小田原淳,

- 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮與, 帆北修一: 当院におけるヒト骨髄由来間葉系幹細胞テムセル HS 注の運用体制の構築について, 日本輸血・細胞治療学会九州支部会 第 66 回総会 第 87 回例会, 2019 年 12 月 14 日, 博多
44. 横山大樹, 松山淳史, 橋本直美, 堀口大輔, 木下大夢, 宮園卓宜, 伊藤能清, 鬼丸俊司: 当院での免疫放射線療法における薬剤師の関わり, 第 4 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2020 年 2 月 2 日, 鹿児島
45. 窪田歩, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 小田原淳, 田淵智久, 徳永真弓, 竹内昇吾, 田代幸恵, 米倉健太郎, 高塚祥芝, 伊藤能清, 宇都宮與: くすぶり型成人 T 細胞白血病 / リンパ腫における予後不良因子, 日本医療研究開発機構研究費 (革新的がん医療実用化研究事業)「成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL) 最適化医療の確立とハイリスクキャリアの同定」(研究開発代表者 下田和哉) 班会議, 2020 年 2 月 14 日, 東京
46. 中野伸亮, 高塚祥芝, 窪田歩, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 竹内昇吾, 田淵智久, 小田原淳, 伊藤能清, 宇都宮與: ATL に対する Flut125/Mel140 による non-TBI-RIC を用いた臍帯血移植, 第 42 回日本造血細胞移植学会総会, 2020 年 3 月 5-7 日, 東京 (誌上発表)
47. 森康雄, 吉本五一, 栗山拓郎, 衛藤徹也, 長藤宏司, 門脇賢典, 岩崎浩己, 小田原淳, 伊藤能清, 大野裕樹, 青木孝友, 上村智彦, 小川亮介, 白土基明, 竹中克斗, 宮本敏浩, 赤司浩一: Letemovir による同種移植後の CMV 再活性化予防効果: 福岡 BMT グループの多施設共同後方視的解析, 第 42 回日本造血細胞移植学会総会, 2020 年 3 月 5-7 日, 東京 (誌上発表)
48. 青木孝友, 上村智彦, 吉田周郎, 森康雄, 門脇賢典, 河野健太郎, 杉尾健志, 亀崎健次郎, 加藤光次, 伊藤能清, 衛藤徹也, 宮本敏浩, 赤司浩一: 造血細胞移植患者における生ワクチンの安全性と接種後抗体価陽転率, 第 42 回日本造血細胞移植学会総会, 2020 年 3 月 5-7 日, 東京 (誌上発表)
49. 田中喬, 中前博久, 伊藤歩, 廣瀬朝生, 衛藤徹也, 平安山英穂, 高瀬謙, 山崎聡, 森内幸美, 崔日承, 中野伸亮, 平本展大, 加藤光次, 佐藤貴彦, 澤山靖, 藤重夫, 金成元, 福田 隆浩: 成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する移植後シクロフォスファミドを用いた HLA 半合致移植の安全性・有効性検討試験, 第 42 回日本造血細胞移植学会総会, 2020 年 3 月 5-7 日, 東京 (誌上発表)
50. 宇都宮與, 徳永雅仁, 中野伸亮, 藤原弘, 宮本敏浩, 緒方正男, 宮崎泰彦, 石塚賢治, 一戸辰夫, 福田隆浩, 熱田由子, 加藤光次, 吉満誠: ATL 患者に対する自家造血幹細胞移植成績: JSHCT-ATL-WG 研究, 第 42 回日本造血細胞移植学会総会, 2020 年 3 月 5-7 日, 東京 (誌上発表)
51. 徳永雅仁, 中野伸亮, 田淵智久, 窪田歩, 小田原淳, 徳永真弓, 米倉健太郎, 宮園卓宜, 牧野虎彦, 竹内昇吾, 高塚祥芝, 田代幸恵, 伊藤能清, 宇都宮與: 成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL) に対する同種幹細胞移植の方針決定の流れ, 第 42 回日本造血細胞移植学会総会, 2020 年 3 月 5-7 日, 東京 (誌上発表)
52. 伊藤歩, 勝俣宏伸, 佐藤奈津子, 土屋加寿美, 渡辺恵理, 井上明威, 中野伸亮, 田中喬, 藤重夫, 崔日承, 川俣豊隆, 上村智彦, 中前博久, 高瀬謙, 緒方正男, 酒井リカ, 杉田純一, 町田真一郎, 河北敏郎, 高橋勉, 澤山靖, 谷本一史, 衛藤徹也, 大渡五月, 森内幸美, 稲本賢弘, 内丸薫, 宇都宮與, 福田隆浩: アグレッシブ ATL に対する同種移植後のフローサイトメトリーを用いた微小残存病変モニタリング, 第 42 回日本造血細胞移植学会総会, 2020 年 3 月 5-7 日, 東京 (誌上発表)
53. 佐々木謙介, 宮脇恒太, 仙波雄一郎, 加藤光次, 野上純平, 杉尾健志, 宮本敏浩, 伊藤能清, 長藤宏司, 前田高宏, 赤司浩一: MRD 測定結果に基づいた層別化治療は Ph-like ALL の予後を改善する, 第 42 回日本造血細胞移植学会総会, 2020 年 3 月 5-7 日, 東京 (誌上発表)
54. 伊藤能清, 長藤宏司, 衛藤徹也, 宮本敏浩, 上村智彦, 小川亮介, 谷口修一, 和氣敦, 藤崎智明, 大野裕樹, 高瀬謙, 奥村廣和, 高松泰, 河野徳明, 赤司浩一: 成人 Ph 陽性急性リンパ性白血病に対する福岡骨髄移植グループ ALL/MRD2008- 臨床第 2 相試験報告, 第 42 回日本造血細胞移植学会総会, 2020 年 3 月 5-7 日, 東京 (誌上発表)
55. 小田原淳, 田淵智久, 中野伸亮, 窪田歩, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 竹内昇吾, 高塚祥芝, 宇都宮與, 伊藤能清: 同種造血幹細胞移植における血清 β -D-グルカン値と予後の解析, 第 42 回日本造血細胞移植学会総会, 2020 年 3 月 5-7 日, 東京 (誌上発表)

56. 宮園卓宜, 田淵智久, 小田原淳, 窪田歩, 中野伸亮, 徳永雅仁, 竹内昇吾, 高塚祥芝, 宇都宮與, 伊藤能清: 当院における治療関連骨髄性腫瘍に対する同種移植の検討. 第42回日本造血細胞移植学会総会, 2020年3月5-7日, 東京 (誌上発表)

外科・消化器外科

今村総合病院

<国際>

1. Okubo K, Uenosono Y, Arigami T, Matsushita D, Yanagita S, Hokita H, Ishigami S, Maemura K, Natsugoe S: Clinical significance of altering epithelial-mesenchymal transition (EMT) in metastatic lymph nodes of gastric cancer. International Gastric Cancer Congress 2019, Prague, May 9, 2019

<国内>

1. 嶋田淳之介 (今村総合病院初期研修医), 大久保啓史, 馬場研二, 有馬豪男, 上之園芳一, 帆北修一, 春山真紀, 飯尾一登, 吉井紘興, 貴島理子: 術前診断が困難であった回盲部子宮内膜症の1例. 平成31年度鹿児島市外科医会 春季例会, 2019年4月22日, 鹿児島
2. 永峯佳尚, 大久保啓史, 馬場研二, 有馬豪男, 上之園芳一, 帆北修一: 鼠径ヘルニアに鼠径管内血管腫を合併した1例. 第56回九州外科学会, 2019年5月27日, 鹿児島
3. 永峯佳尚, 大久保啓史, 馬場研二, 有馬豪男, 上之園芳一, 帆北修一: 鼠径ヘルニアに鼠径管内血管腫を合併した1例. 第44回日本外科系連合学会学術総会, 2019年6月20日, 金沢
4. Kenji Baba, Taiki Nakashima, Keishi Okubo, Hideo Arima, Yoshikazu Uenosono, Shuichi Hokita, Kyoko Ikoma, Yoichi Sameshima, Hidehisa Ooi, Shoji Natsugoe: Risk factors for postoperative complication in surgery for patients with ulcerative colitis. 第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月17日, 東京
5. 大久保啓史, 上之園芳一, 有上貴明, 松下大輔, 柳田茂寛, 貴島孝, 平原徹志, 石神純也, 前村公成, 夏越祥次: 胃癌におけるSnail発現からみたEMTの機序. 第74回消化器外科学会, 2019年7月19日, 東京
6. 馬場研二, 永峯佳尚, 大久保啓史, 有馬豪男, 上之園芳一, 帆北修一, 夏越祥次: SOX+Bmab療法でCRが得られた腹水細胞診陽性上行結腸癌の一例. 第28回日本がん転移学会学術集会, 2019年7月26日, 鹿児島
7. 秋元遥 (今村総合病院初期研修医), 馬場研二, 大井秀之, 安留龍太郎, 田辺寛, 有馬豪男, 上之園芳一, 帆北修一: カンジダ感染が原因であった急性壊死性胆嚢炎の1手術例. 第78回鹿児島県臨床外科学会医学会, 2019年8月17日, 鹿児島
8. 馬場研二, 大井秀之, 安留龍太郎, 田辺寛, 有馬豪男, 上之園芳一, 帆北修一, 盛真一郎, 夏越祥次: 早期結腸癌に対する腹腔鏡下体内吻合法 (シンポジウム). 第43回日本大腸肛門病学会九州地方会, 2019年9月28日, 大分
9. 上之園芳一, 馬場研二, 田辺寛, 安留龍太郎, 大井秀之, 大久保啓史, 有馬豪男, 帆北修一: 当院における高齢者胃癌症例の検討. 第49回胃外科・術後障害研究会, 2019年11月1日, 鹿児島
10. 安留龍太郎, 大井秀之, 田辺寛, 馬場研二, 上之園芳一, 帆北修一, 田代幸恵, 二之宮謙次郎, 夏越祥次: 直腸間膜内に前立腺癌よりリンパ節転移を来した直腸がんの1切除例. 鹿児島市外科医会秋季例会, 2019年11月26日, 鹿児島
11. 永峯佳尚, 大久保啓史, 馬場研二, 有馬豪男, 上之園芳一, 帆北修一, 夏越祥次: 小腸悪性リンパ腫による小腸穿孔を認めた1例. 第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月5日, 横浜

皮膚科

今村総合病院

<国際>

1. Yonekura K, Tokunaga M, Kawakami N, Takeda K, Sato H, Tamai M, Kanzaki T, Takatsuka Y, Nakano N, Kubota A, Takeuchi S, Tabuchi T, Odawara J, Ito Y, Utsunomiya A: Mogamulizumab treatment for newly diagnosed ATL patients influence high incidence of cutaneous adverse reaction. The 19th international conference on human retrovirology, Lima, Peru, 24-26 April, 2019
2. Yonekura K, Kusumoto S, Nakano N, Ito A, Choi I, Imaizumi Y, Yoshimitsu M, Nosaka K, Ohtsuka E, Hidaka M, Jo T, Sasaki H, Moriuchi Y, Ogata M, Suehiro Y, Ueda R, Utsunomiya A, Ishida T: Mogamulizumab for ATL - interim report of the MIMOGA study-. The 19th international conference on human retrovirology, Lima, Peru, 24-26 April, 2019

<国内>

1. 上塘葉子, 武田浩一郎, 西村時紘, 市來征仁, 米倉健太郎: 気管内挿管・ICU 管理を必要とした血管性浮腫の1例. 第183回日本皮膚科学会鹿児島地方会, 2019年4月14日, 鹿児島
2. 米倉健太郎, 徳永雅仁, 川上延代, 武田浩一郎, 佐藤浩子, 玉井真理子, 中野伸亮, 窪田歩, 伊藤能清, 宇都宮與: ATL 患者に対するモガムリズマブ投与後の皮膚障害は初発未治療例への使用時に発症しやすい. 第35回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会, 2019年5月24-25日, 神戸
3. 米倉健太郎: 教育講演 53 これだけは知っておきたい! 皮膚リンパ腫 4. 皮膚リンパ腫の治療. 第118回日本皮膚科学会総会, 2019年6月6-9日, 名古屋
4. 武田浩一郎, 玉井真理子, 川上延代, 佐藤浩子, 米倉健太郎, 神崎保. 有孔網状オープンセルフフォームを使用した局所陰圧洗浄療法 (NPWTid) で治療した仙骨部褥瘡の1例. 第184回日本皮膚科学会鹿児島地方会, 2019年7月7日, 鹿児島
5. 米倉健太郎: Mogamulizumab treatment for newly diagnosed ATL patients influence high incidence of cutaneous adverse reaction. 第17回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2019年7月16-18日, 京都
6. 米倉健太郎, 徳永雅仁, 武田浩一郎, 佐藤浩子, 玉井真理子, 高塚祥芝, 中野伸亮, 窪田歩, 宮園卓宜, 竹内昇吾, 田淵智久, 小田原淳, 田代幸恵, 伊藤能清, 宇都宮與: ATL 患者に対するモガムリズマブ投与後の皮膚障害は初発未治療例に発症しやすい. 第6回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2019年8月23-25日, 宮崎
7. 武田浩一郎, 玉井真理子, 佐藤浩子, 米倉健太郎, 神崎保, 島田辰彦: 術後の瘻孔部に発症した基底細胞癌の1例. 第185回日本皮膚科学会鹿児島地方会, 2019年12月15日, 鹿児島
8. 米倉健太郎: 皮膚 T 細胞性リンパ腫の治療 up date (特別講演). 第106回日本皮膚科学会大分地方会, 2020年2月2日, 由布

消化器内科

今村総合病院

1. 岩田大輝, 鮫島洋一, 生駒今日子, 徳元攻, 大井秀久, 大井秀之, 野口智弘, 實操二, 緒方俊二, 小倉芳人: 下行結腸癌切除術 22 ヶ月で発症した原因不明の腸炎の1例. 第113回日本消化器病学会九州支部例会/第107回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2019年5月24-25日, 福岡
2. 鮫島洋一: 当院における抗 TNF- α 製剤無効のクローン病症例に対する ustekinumab 投与例の検討. 第105回日本消化器病学会総会, 2019年5月9-11日, 石川

いづろ今村病院

1. 生駒今日子, 大井秀久, 鮫島洋一, 徳元攻, 上田博一郎, 三重浩子, 塗木冬実: タクロリムスで寛解導入可能な潰瘍性大腸炎患者の検討. 第105回日本消化器病学会, 2019年5月9-11日, 金沢
2. 鮫島洋一, 大井秀久, 生駒今日子, 徳元攻, 上田博一郎, 三重浩子, 塗木冬実: 当院における抗TNF α 製剤無効のクローン病症例に対するustekinumab投与例の検討. 第105回日本消化器病学会, 2019年5月9-11日, 金沢
3. 小牧祐雅, 鮫島洋一, 大井秀久, 徳元攻, 生駒今日子, 上田博一郎, 三重浩子, 塗木冬実: クローン病のインフリキシマブ効果減弱例に対する強化療法の有効性の検討. 第113回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2019年5月24-25日, 福岡
4. 小野陽平, 大井秀久, 生駒今日子, 徳元攻, 上田博一郎, 三重浩子, 塗木冬実: 当院におけるクローン病の抗TNF α 製剤無効症例の検討. 第113回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2019年5月24-25日, 福岡
5. 岩田大輝, 鮫島洋一, 生駒今日子, 大井秀久, 徳元攻, 上田博一郎, 三重浩子, 塗木冬実: 下行結腸癌切除術22ヶ月で発症した原因不明の腸炎の1例. 第113回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2019年5月24-25日, 福岡
6. 小野陽平, 大井秀久, 生駒今日子, 徳元攻, 上田博一郎, 三重浩子, 塗木冬実, 水流弘文: 潰瘍性大腸炎における5-アミノサルチル酸製剤アレルギーの検討. 第74回日本大腸肛門病学会学術集会, 2019年10月11-12日, 東京
7. 小野陽平, 大井秀久, 生駒今日子, 徳元攻, 上田博一郎, 三重浩子, 塗木冬実, 水流弘文: アザチオプリンによる急性膵炎が疑われた潰瘍性大腸炎の2例. 第113回日本消化器病学会九州支部例会, 2019年11月8-9日, 宮崎

糖尿病内科

いづろ今村病院

1. 片山秀美, 大重聡彦, 新中須敦, 向井美希, 末永正俊, 長友理笑, 鎌田哲郎: 外来2型糖尿病患者の認知機能の経時的変化とその関連要因について. 第62回日本糖尿病学会年次学術集会, 2019年5月23-25日, 仙台
2. 上久保定一郎, 末永正俊, 長友理笑, 向井美希, 新中須敦, 大重聡彦, 有村泰一郎, 石橋和久, 鮫島久子, 鎌田哲郎: 当院における認知症合併2型糖尿病患者の治療法の変化. 第62回日本糖尿病学会年次学術集会, 2019年5月23-25日, 仙台
3. 大重剛志, 新中須敦, 長友理笑, 向井美希, 大重聡彦, 上久保定一郎, 鎌田哲郎: インスリンボールヘインスリン投与しSGLT2阻害薬関連糖尿病性ケトosisを来した1例. 第57回日本糖尿病学会九州地方会, 2019年10月25-26日, 佐賀
4. 新中須敦, 大重剛志, 長友理笑, 石橋和久, 向井美希, 大重聡彦, 上久保定一郎, 鎌田哲郎, 西尾善彦: 当院に再入院した高齢糖尿病患者背景の検討: 第57回日本糖尿病学会九州地方会, 2019年10月25-26日, 佐賀
5. 鎌田哲郎, 新中須敦, 向井美希, 長友理笑, 大重剛志, 大重聡彦, 上久保定一郎: 尿蛋白顕性化前に急激なeGFR低下を来し, その後ネフローゼとなった糖尿病性腎症. 第57回日本糖尿病学会九州地方会, 2019年10月25-26日, 佐賀
6. 向井美希, 大重剛志, 長友理笑, 石橋和久, 大重聡彦, 新中須敦, 上久保定一郎, 鎌田哲郎, 西尾善彦: リラグルチドを用いてミトコンドリア糖尿病の血糖コントロール改善を得た2例. 第57回日本糖尿病学会九州地方会, 2019年10月25-26日, 佐賀

七波クリニック

1. 上久保定一郎: 当院における認知症合併2型糖尿病患者の治療法の変化. 第62回日本糖尿病学会年次学術集会, 2019年5月23-25日, 仙台
2. 有村愛子: 表皮内神経線維密度は糖尿病性神経障害の発症前より半数は低下し, 肥満・脂質異常の影響を受ける.

第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2019 年 5 月 23-25 日, 仙台

3. 有村愛子: 表皮内神経線維密度は神経伝導検査で異常がない早期から肥満・脂質異常の影響を強く受け低下する.
第 34 回日本糖尿病合併症学会, 2019 年 9 月 27-28 日, 大阪
4. 有村愛子: 鹿児島県における特定健診の特徴について. 第 57 回日本糖尿病学会九州地方会, 2019 年 10 月 25-26 日, 佐賀

救急総合内科

今村総合病院

1. 林恒存: Oral session Chair 「Non communicable disease」. 世界家庭医療学会アジア支部会, 2019 年 5 月 17 日, 京都
2. 林恒存: Elderly Care Workshop 「Let' s challenge! Making diagnosis in cognitively impaired patients」. 世界家庭医療学会アジア支部会, 2019 年 5 月 17 日, 京都
3. 崎山隼人: 病院総合医養成の制度構築を考える. 第 10 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 2019 年 5 月 18 日, 京都
4. 崎山隼人: 高齢者心不全ってどうする? 病院総合医が教えます! 明日からつかえるエビデンス集. 第 10 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 2019 年 5 月 19 日, 京都

病理診断科

今村総合病院

1. 窪田歩, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 小田原淳, 田淵智久, 田代幸恵, 米倉健太郎, 西田博利, 土器屋卓志, 竹内昇吾, 高塚祥芝, 伊藤能清, 宇都宮興: 成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する放射線治療による遠達効果と予後. 第 59 回日本リンパ網内系学会総会, 2019 年 6 月 29 日, 出雲
2. 坂本祐真, 石田高司, 正木彩子, 藤井慶一郎, 村瀬貴幸, 伊藤旭, 楠本茂, 飯田真介, 田代幸恵, 宇都宮興, 上田龍三, 稲垣宏: ATL における CD28 遺伝子異常及び蛋白高発現の臨床病理学的意義. 第 59 回日本リンパ網内系学会総会, 2019 年 6 月 29 日, 出雲
3. 宮園卓宜, 田代幸恵, 坂本佳奈, 田淵智久, 窪田歩, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 二之宮謙次郎, 竹内賢吾, 伊藤能清, 宇都宮興: 芽球形質細胞様樹状細胞腫瘍 (Blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm (BPDCN)) 関連疾患が示唆されるも診断に難渋した一例. 第 59 回日本リンパ網内系学会総会, 2019 年 6 月 29 日, 出雲

小児科

今村総合病院

1. 溝田美智代, 関祐子, 柿本令奈, 森田智: 偽の不適切甲状腺刺激ホルモン分泌症候群と診断した 2 例. 第 92 回日本小児内分泌学会学術集会, 2019 年 5 月 9-11 日, 仙台
2. 柿本令奈, 徳永美菜子, 溝田美智代, 関裕子, 玉田泉, 森田智, 児玉祐一, 岡本康裕, 河野嘉文: 髄芽腫の加療後に内分泌合併症をきたした 5 症例の検討. 第 53 回日本小児内分泌学会学術集会, 2019 年 9 月 26-28 日, 京都
3. Nakamura T, Kakimoto H, Nagahama J, Morita S, Mizota M, Iwamoto J: Subacute thyroiditis presenting with creeping thyroiditis in a six-year-old boy. 第 53 回日本小児内分泌学会学術集会, 2019 年 9 月 26-28 日, 京都
4. 溝田美智代: 心理的要因が疑われ, 治療を中止できた複合型下垂体機能低下症の 1 例. 第 24 回鹿児島県小児内分泌研究会, 2019 年 10 月 19 日, 鹿児島

スポーツ整形外科

今村総合病院

1. 前園恵慈：スポーツ選手の難治性足底筋膜炎に対する ESWT の短期成績の検討. SHOCK WAVE JAPAN 2019, 2019 年 7 月 21 日, 東京
2. 前園恵慈：陸上長距離選手に生じた仙骨疲労骨折の検討. 第 45 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2019 年 8 月 30-31 日, 大阪
3. 前園恵慈：スポーツ選手に発症した立方骨疲労骨折の検討. 第 44 回日本足の外科学会学術集会, 2019 年 9 月 26-27 日, 北海道

脳神経内科

今村総合病院

1. 和田忠久, 重畠裕也, 大山賢, 徳永紘康, 濱田陸三, 神田直昭：脳梗塞超急性期における t-PA 投与までの時間短縮を目指した当院での試み. 第 60 回日本脳神経学会学術大会, 2019 年 5 月 25 日, 大阪
2. 大山賢：病的笑いを呈した急性期脳梗塞の 1 症例. 第 228 回日本神経学会九州地方会, 2019 年 12 月 7 日, 福岡

循環器内科

今村総合病院

1. 肥後建樹郎, 松本紀彰, 樋渡沙和子, 吉村あきの, 宮内孝浩, 大石充：D-dimer 陰性で発症した真性多血症患者における急性大動脈解離. 第 325 回日本内科学会九州地方会, 2019 年 5 月 18 日, 長崎
2. 松本紀彰, 吉村あきの, 樋渡沙和子, 肥後建樹郎, 大石充：初発から 9 年後に感染性心内膜炎を再発した大動脈四尖弁の一症例. 第 67 回日本心臓病学会学術集会, 2019 年 9 月 13-15 日, 名古屋

泌尿器科

今村総合病院

1. 一美貴弘：腹腔鏡下腎盂切石術を行った珊瑚状軟結石の 2 例. 第 33 回日本泌尿器内視鏡学会総会, 2019 年 11 月 21-23 日, 京都
2. 一美貴弘：細径トラクトを用いた ECIRS 合併症軽減の取り組み. 第 33 回日本泌尿器内視鏡学会総会, 2019 年 11 月 21-23 日, 京都

麻酔科

今村総合病院

1. 下野裕生：肩腱板断裂患者での全身麻酔併用の腕神経叢ブロック（斜角筋間法）における神経周囲デキサメタゾン併用の鎮痛効果持続時間に対する有効性の検討. 日本麻酔科学会第 66 回学術集会第 7 回東アジア麻酔科学会, 2019 年 5 月 30 日, 神戸
2. 鈴木有希, 川崎孝一, 東美木子, 下野裕生, 新村尚美, 上村裕一：経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR-BT）を施行した先天性第 V 因子欠乏症の一例. 九州麻酔科学会第 57 回大会, 2019 年 9 月 14 日, 福岡

眼科

<国際>

今村総合病院 いづろ今村病院

1. Doi N, Mizushima T, Mizushima Y, Fujiwara Y : A new endophotocoagulation technique for microaneurysms with diabetic macular edema. European Society of Retina Specialists Congress, Paris, France, 5-8 September, 2019

腎臓内科

今村総合病院

1. 水間英美子：当院における過去7年間のループス腎炎についての検討。第62回日本腎臓学会学術総会，2019年6月21-23日，名古屋

歯科口腔外科

今村総合病院

1. 新田哲也，坂元亮一，平原成浩：診断に苦慮した下唇に生じたび慢性大細胞型B細胞リンパ腫（DLBCL）の1例。第29回日本口腔内科学会，2019年9月20-23日，東京

輸血管理部

今村総合病院

1. 小田原千里，兼石知香，新屋果蓮，牧野桃子，中島彩乃，藤山裕輝，宮園卓宜，宇都宮與，帆北修一：当院における動画，模擬体験を用いた輸血教育研修の取り組みと効果について。第67回日本輸血・細胞治療学会学術総会，2019年5月23-25日，熊本
2. 中島彩乃，宮園卓宜，藤山裕輝，小田原千里，兼石知香，新屋果蓮，牧野桃子，久保友恵，中野伸亮，小田原淳，宇都宮與，帆北修一：輸血マニュアルの改訂作業で明らかになった当院の輸血に関する問題点。第67回日本輸血・細胞治療学会学術総会，2019年5月23-25日，熊本
3. 宮園卓宜，中島彩乃，藤山裕輝，新屋果蓮，小田原千里，牧野桃子，兼石知香，久保友恵，小田原淳，中野伸亮，宇都宮與，帆北修一：当院における輸血管理室立ち上げまでの取り組みと，その後の効果について。第67回日本輸血・細胞治療学会学術総会，2019年5月23-25日，熊本
4. 古川良尚，大木浩，宮園卓宜，大塚真紀，花牟禮豊，義永文一，竹原哲彦，砂原伸彦，児玉健士，田畑千穂子，川上保浩，野村秀洋：離島の中核病院における血液製剤利用に対して複数の医療機関が支援を行う事で有効利用を図る試み。日本輸血・細胞治療学会九州支部会 第66回総会 第87回例会，2019年12月14日，福岡
5. 宮園卓宜，中島彩乃，藤山裕輝，松山淳史，新屋果蓮，小田原千里，牧野桃子，兼石知香，久保友恵，小田原淳，中野伸亮，伊藤能清，宇都宮與，帆北修一：当院におけるヒト骨髄由来間葉系幹細胞テムセル HS 注の運用体制の構築について。日本輸血・細胞治療学会九州支部会 第66回総会 第87回例会，2019年12月14日，福岡

看護部

今村総合病院

1. 松山郁子，中重敬子，久徳美鈴：活用される看護記録のイノベーション。日本医療マネジメント学会，2019年9月20-21日，宮崎

2. 堂園涼子, 越路ゆかり: QC story を用いた妊娠早期からの切れ目ない社会的ハイリスク妊産婦支援体制構築に向けた取り組み. 第60回日本母性衛生学会総会・学術集会, 2019年10月11-12日, 千葉(Web)
3. 吉森みゆき, 岩元佳美, 内山政子, 鹿島千歌, 紀奈保美, 大西翼, 北原美代子, 久徳美鈴, 坂元亮一: 院内肺炎防止のための口腔ケアの効果. 第50回日本看護学会慢性期看護学術集会, 2019年11月14-15日, 鹿児島
4. 堂園涼子, 越路ゆかり, 久見木育代: 当院産科混合病棟における社会的ハイリスク妊産婦への切れ目のない支援の現状と課題. 第50回日本看護学会慢性期看護学術集会, 2019年11月14-15日, 鹿児島
5. 亀澤礼奈, 竹ノ内明日香, 山口美由子, 上山りえ, 谷村あゆみ, 池田清夏, 中野伸亮, 宇都宮興: 造血幹細胞移植を受けた患者の転倒・頭部打撲に関する実態調査. 第42回日本造血細胞移植学会総会, 2020年3月5-7日, 東京

いづろ今村病院

1. 濱田さゆり: 緩和ケア病棟におけるグリーフケアの質向上. 第24回日本緩和医療学会学術大会, 2019年6月21-22日, 横浜
2. 上原奈津美: 看護師・薬剤師の協働による専門性を活かした内服管理～開発した配薬カードの効果～. 日本医療マネジメント学会第18回九州・山口連合大会, 2019年9月20-21日, 宮崎
3. 尾堂ゆかり: 世界遺産の町で目指す糖尿病認定看護師への道 展示. 第24回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 2019年9月21-22日, 千葉
4. 小松友美: 内視鏡未経験者への教育～処置習得進捗一覧表の作成の取り組みと今後の課題. 第76回九州消化器内科内視鏡技師研究会, 2019年11月9日, 宮崎
5. 米永理恵: 高齢者に対する集団教育の有用性と課題. 第50回日本看護学会慢性期看護学術集会, 2019年11月14-15日, 鹿児島
6. 里之園美佐代: 腎盂バルーンカテーテルの自然抜去に関する背後要因分析. 第53回鹿児島県保健看護研究学会, 2020年2月1日, 鹿児島

谷山病院

1. 松竹尚紀, 山下喜美枝, 中藺安, 鎌倉克幸, 小林詩織, 吉井百合子: 退院への意欲を示さない長期入院患者の退院への思い. 第44回日本精神科看護学術集会, 2019年6月21-23日, 長崎
2. 吉永あかり, 永迫智子: 転倒転落対策における精神科看護師への教育的介入～インタビューから導き出されたシャドー研修の成果. 第50回日本看護協会看護教育学術集会, 2019年8月8-9日, 和歌山
3. 内田宏貴: 精神科看護師に特定行為は必要か? パート2 in 青森. 一般社団法人日本精神科看護協会日本精神科看護専門学術集会, 2019年11月9日, 青森

奄美病院

1. 村田めぐみ: 安全ベルトを使用しない看護をめざして～医療従事者の意識と見守り強化の重要性～. 第26回日本精神科看護専門学術集会, 2019年11月9-10日, 青森
2. 富地幸代: 介護福祉士・ナースエイドのやりがいからチーム力の向上へ. 第26回日本精神科看護専門学術集会, 2019年11月9-10日, 青森
3. 盛哲郎, 北郷有野: 精神科入院5年超の退院への取り組み～多職種連携の個別的アプローチを振り返って～. 第50回日本看護学会慢性期看護学術集会, 2019年11月14-15日, 鹿児島

徳之島病院

1. 上野博之, 福島絵理子, 吉田全子, 山上清美: 開放観察シートを活用した行動制限最小化への取り組み. 第44回日本精神科看護学術集会, 2019年6月21-23日, 長崎

愛と結の街

1. 末永真由美：鹿児島県の最南端の2つの島へ精神科看護を届けるシステムづくりとその活動報告。第50回日本看護学会-在宅看護-学術集会，2019年9月14日，宇都宮
2. 海平由紀子：認知症利用者のコミュニティ形成を目指して～ここが私たちの憩いの場～。全国介護老人保健施設大会 IN 別府，2019年11月21日，大分
3. 切田涼：クリニカルパスを活用して～目標に沿った個別支援計画の提供～。全国介護老人保健施設大会 IN 別府，2019年11月21日，大分

リハビリテーション部

今村総合病院 理学療法士（3F）

1. 徳留直樹，堂園浩一朗，村山芳博，武清孝弘，野崎聖矢，南濱希美，田淵智久，小田原淳，窪田歩，徳永雅仁，宮園卓宜，中野伸亮，伊藤能清，宇都宮與：化学療法を施行した急性骨髄性白血病患者への運動療法による身体機能変化。第2回がん理学療法研究会，2019年10月5-6日，埼玉
2. 野崎聖矢，武清孝弘，村山芳博，奈良聡一郎，伊藤能清，宇都宮與，堂園浩一朗：化学療法を施行した造血器腫瘍患者への運動療法効果～急性白血病と成人T細胞白血病リンパ腫の比較～。第7回がん理学療法カンファレンス，2019年12月14日，神戸
3. 松元龍，村山芳博，堂園浩一朗：当院のSCUにおける脳卒中患者の現状とリハビリテーションの課題。第34回鹿児島県リハビリテーション医学研究会，2020年2月29日，鹿児島
4. 武清孝弘，堂園浩一朗，森希美，村山芳博，吉田一成，奈良聡一郎，田淵智久，小田原淳，窪田歩，徳永雅仁，宮園卓宜，中野伸亮，伊藤能清，宇都宮與：同種造血幹細胞移植前後の運動療法により身体機能を維持した高齢ATL患者1例。第42回日本造血細胞移植学会総会，2020年3月5-7日，東京
5. 森希美，堂園浩一朗，奈良聡一郎，吉田一成，村山芳博，武清孝弘，田淵智久，小田原淳，徳永雅仁，窪田歩，宮園卓宜，中野伸亮，伊藤能清，宇都宮與：同種造血幹細胞移植患者の転倒・転落に対するリハビリテーションの関わり。第42回日本造血細胞移植学会総会，2020年3月5-7日，東京

今村総合病院 理学療法士（スポーツ整形リハセンター）

1. 鮫島徹也，前田和彦：前鋸筋のトレーニング前後の肩甲骨周囲筋の筋活動。第16回肩の運動機能研究会，2019年10月25-26日，長野
2. 濱田大介，前田和彦：条件の異なるシャドースローと実際の投球動作の相違について。第16回肩の運動機能研究会，2019年10月25-26日，長野

今村総合病院 作業療法士

1. 宮城里佳：脳梁離断症状を呈し，趣味活動に着目した介入によりその人らしい生活を再獲得した1症例。第53回日本作業療法学会，2019年9月6-8日，福岡

今村総合病院 言語聴覚士

1. 西田信太郎：脳梁離断症候群を呈した一例～神経症状と自動車運転に及ぼす影響～。第36回鹿児島高次脳機能研究会，2019年4月26日，鹿児島
2. 丸岡由佳：輪状咽頭筋弛緩不全を呈した症例に対するダブルバルーンの即時効果について。第9回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会長崎大会，2020年1月18日，長崎
3. 田中光：複数回舌圧測定における疲労の影響。第9回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会長崎大会，2020年1月

18日、長崎

谷山病院 作業療法士

1. 田畑典子: Opening Time Revolution ～ OT 室内の整理整頓による作業療法開始時の準備時間短縮～, 第 21 回フォーラム「医療の改善活動」全国大会 in 仙台, 2019 年 11 月 16 日, 宮城
2. 中山陽平: 当院の依存症プログラムにおける現状と課題, 第 30 回鹿児島県作業療法学会, 2019 年 11 月 23 日, 鹿児島

薬剤部

今村総合病院

1. 松山淳史, 八牟禮沙織, 國師奈緒美, 岩元美樹, 帖佐弘子, 神田直昭, 新納正毅, 鬼丸 俊司: エダラボンによる急性腎障害発現の危険因子解析, 第 29 回日本医療薬学会年会, 2019 年 11 月 24 日, 福岡
2. 橋本直美, 堀口大輔, 帖佐弘子, 鬼丸俊司, 中野伸亮: 当院におけるオビヌツズマブ + ベンダムスチン療法の現状と薬剤師介入の重要性について, 第 29 回日本医療薬学会年会, 2019 年 11 月 24 日, 福岡
3. 横山大樹, 松山淳史, 橋本直美, 堀口大輔, 木下大夢, 宮園卓宜, 伊藤能清, 鬼丸俊司: 当院での免疫放射線療法における薬剤師の関わり, 第 4 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2020 年 2 月 2 日, 鹿児島
4. 西元寺慧一, 橋本直美, 松山淳史, 岩坪真穂, 東牧里奈, 鬼丸俊司: 疑義照会集計業務を活用した新人薬剤師教育への取り組み, 第 4 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2020 年 2 月 2 日, 鹿児島

いづろ今村病院

1. 有間三香子, 神門孝典, 鶴田絵里子, 東條知子, 東屋敷史織, 野元優基, 内山ゆかり: 薬剤総合評価加算を算定した症例の報告～ポリファーマシーの解消を目指した取り組み～, 第 4 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2020 年 2 月 2 日, 鹿児島

谷山病院

1. 大平有紗, 四本晶子, 新村味穂子: アセナピンの著効例と薬剤師の介入, 第 4 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2020 年 2 月 2 日, 鹿児島

画像診断部

今村総合病院

1. 馬場隆行, 岩下昌平, 大坪丈太郎, 水流彩友美: 補助具・テンプレートを用いた股関節軸位およびマルチウス・グースマン法における高精度 X 線撮影, 第 35 回日本診療放射線技師学術大会 第 3 回補助具セミナー, 2019 年 9 月 13-16 日, 大宮
2. 馬場隆行, 岩下昌平, 大坪丈太郎, 中田有希乃: プレシヨットと補助具を活用した難易度の高い関節に対する低被ばく高精度撮影の実現, 第 14 回九州放射線医療技術学術大会, 2019 年 11 月 9 日, 熊本

臨床検査部

今村総合病院

1. 中島彩乃, 宮園卓宜, 藤山裕輝, 小田原千里, 兼石智香, 新屋果蓮, 牧野桃子, 久保友恵, 中野伸亮, 小田原淳, 宇都宮與, 帆北修一: 輸血マニュアルの改訂作業で明らかになった当院の輸血に関する問題点, 第 67 回日本輸血・

細胞治療学会学術総会，2019 年 5 月 23 日，熊本

2. 宮園卓宣，中島彩乃，藤山裕輝，新屋果蓮，小田原千里，牧野桃子，兼石智香，久保友恵，小田原淳，中野伸亮，宇都宮與，帆北修一：当院における輸血管理室立ち上げまでの取り組みとその後の効果について，第 67 回日本輸血・細胞治療学会学術総会，2019 年 5 月 23 日，熊本

視能訓練士室

いづろ今村病院

1. 栗尾暁：糖尿病とその予備群患者の眼合併症への関わり方と医師・看護師の取り組みに対する意識調査，第 36 回九州視機能研究会，2019 年 7 月 28 日，福岡

医療福祉相談部

今村総合病院

1. 神村優衣：生活の質を高める支援とは－終末期患者の退院支援を通して－，第 56 会九州医療ソーシャルワーカー研修会くまもと大会，2019 年 11 月 23-24 日，熊本

地域連携室

いづろ今村病院

1. 片山秀実，大重聡彦，長友理笑，末永正俊，向井美希，新中須敦，鎌田哲郎：外来 2 型糖尿病患者の認知機能の継続的変化とその関連要因について，第 62 回日本糖尿病学会学術集会，2019 年 5 月 23 日，宮城

臨床試験支援室

今村総合病院

1. 福山美智子，垣添有佳，中野伸亮，小田原淳，宇都宮與：高齢移植適応患者のコーディネートの難しさ，第 42 回日本造血細胞移植学会総会，2020 年 3 月 5-7 日，東京（誌上発表）

診療情報管理室

今村総合病院

1. 前田雄介，福康浩，常盤光弘：多職種監査による診療記録質評価の取り組み，第 45 回日本診療情報管理学会学術大会，2019 年 9 月 19-20 日，大阪

事務部

今村総合病院

1. 鈴木大輔，有島尚亮：「医師の働き方改革」と「医師の人事評価制度（ドクターパフォーマンスレビュー）」との関係性について，第 8 回 全国医療経営士実践研究大会，2019 年 11 月 9 日，宮城

かごしまオハナクリニック

1. 海江田貴憲, 崎山隼人: 急性期病院に社会的入院するも, 疎遠だった家族への理解を深めながら, 今後のケアの調整を行った事例. 日本プライマリ・ケア連合学会第15回九州支部総会・学術総会, 2020年2月23日, 大分

法人事業本部 教育開発センター

1. 中重敬子: 真のチーム医療体制構築のための組織づくり. 第4回日本臨床知識学会学術集会, 2020年1月25日, 東京

鹿児島中央看護専門学校

3年課程看護科

1. 高山理恵: 災害トリアージ演習における看護学生の心のケアを重視した教育方法の効果. 日本災害看護学会第21回年次大会, 2019年9月5-6日, 北海道北見

2年課程(通信制)看護科

1. 中村栄子, 豊田智子: 「2年課程(通信制)」学生の自己評価による看護過程学習達成度の現状と課題. 第50回日本看護学会, 2019年8月8-9日, 和歌山

【研究会・講演会】

血液内科

今村総合病院

1. 小田原淳: 当院における Multiparameter flow cytometry を用いた MRD 測定とその後の治療戦略. 鹿児島造血器腫瘍治療セミナー, 2019年4月12日, 鹿児島
2. 宇都宮興: ATL と出会って. 第20回日本橋血液交流会 NEXT, 2019年4月18日, 東京
3. 宇都宮興: ATL の造血幹細胞移植療法. Web ライブセミナー, 2019年5月30日, Web
4. 宇都宮興: ATL 治療の変遷. 第16回京都血液若手セミナー, 2019年6月8日, 京都
5. 宮園卓宜: ゼヴァリン治療について～よりよい効果を得る為に. Lymphoma Seminar in Kanoya, 2019年6月13日, 鹿屋
6. 伊藤能清: Ph 陽性 ALL 治療の過去・未来. 南九州スプリセル発売10周年記念講演会, 2019年6月14日, 鹿児島
7. 中野伸亮: 当院における ATL に対する同種移植の試み及び TRUMP データを用いた臨床研究. BMT Meeting in Kyoto, 2019年6月22日, 京都
8. 宇都宮興: Web セミナー対談(東京医科歯科大学免疫治療学分野 神奈木真理教授), 2019年6月25日, Web
9. 中野伸亮: 当院における ATL に対する同種移植, 白石区 ATL 講演会, 2019年7月2日, 北海道
10. 宇都宮興: 造血幹細胞移植の進歩. 第26回県民公開講座 骨髄移植を知ろう～がんのリハビリってどんなことをするのか?～, 2019年7月27日, 青森
11. 伊藤能清: Ph+ALL 治療-update. BMS HEMATOLOGY SEMINAR in FUKUOKA, 2019年8月3日, 福岡
12. 宇都宮興: ATL から学ぶチーム医療. 第53回福岡 BMT 研究会, 2019年8月2日, 福岡

13. 中野伸亮：当院における ATL に対する同種移植の試みと移植における新規治療薬の使用経験. 第 6 回 ATL 疾患検討会, 2019 年 8 月 3 日, 東京
14. 中野伸亮：ATL に対する治療戦略. Hematology Seminar 2019, 2019 年 10 月 26 日, 広島
15. 中野伸亮：ATL に対する同種移植の試み. Mogamulizumab AdBrd Meeting 沖縄, 2019 年 10 月 27 日, 沖縄
16. 中野伸亮：ATL に対する同種移植および新規薬剤使用に関する当院の試み. 東尾張血液懇話会, 2019 年 10 月 29 日, 名古屋
17. 中野伸亮：当院における ATL に対するレナリドミドの使用経験. 第 7 回南九州 2 大学連携血液疾患研究会, 2019 年 11 月 16 日, 宮崎
18. 宇都宮典：骨髄移植の進歩と未来. 第 3 回骨髄バンクチャリティ～愛のコンサート in 奄美～, 2019 年 11 月 16 日, 奄美
19. 宇都宮典：骨髄バンクって知っていますか. 奄美病院ミニレクチャー, 2019 年 11 月 17 日, 奄美
20. 伊藤能清：再生不良性貧血および特発性血小板減少性紫斑病の最新治療と療養上のポイントについて. 鹿児島市難病医療講演会及び相談会, 2019 年 11 月 28 日, 鹿児島
21. 中野伸亮：真性多血症に対する治療目標と治療のタイミング. Hematology Web Seminar, 2019 年 11 月 28 日, 鹿児島
22. 小田原淳：当院におけるエルトロンボパグの使用経験. Web ライブセミナー, 2019 年 12 月 4 日, Web

糖尿病内科

いづろ今村病院

1. 鎌田哲郎：地域包括ケア病棟を活かした糖尿病治療の取り組み. Diabetes Update Symposium, 2019 年 4 月 18 日, 宮崎
2. 鎌田哲郎：1 型糖尿病に対する SGLT2 阻害薬の使用 ～適正使用含めて～. SGLT2 Expert Seminar in Kagoshima, 2019 年 6 月 7 日, 鹿児島
3. 鎌田哲郎：メトホルミンの新情報と日常臨床での使い方～DPP4i 剤との併用から腸管の果たす役割まで～. 糖尿病カレントフォーラム in 玉名, 2019 年 6 月 18 日, 熊本
4. 鎌田哲郎：糖尿病日常臨床の疑問に答える. 第 10 回 始良霧島 Primary Meeting, 2019 年 6 月 26 日, 霧島
5. 鎌田哲郎：糖尿病性腎臓病 DKD をどう診ていくか? ～外来診療と指導のポイント～. 第 2 回 Delivery Meeting for Kagoshima, 2019 年 8 月 2 日, 鹿児島
6. 鎌田哲郎：認知症を持つ高齢者糖尿病患者の管理. 第 60 回鹿児島糖尿病ナース研修会 ミニレクチャー, 2019 年 9 月 1 日, 鹿児島
7. 鎌田哲郎：糖尿病の検査データと薬物療法. 2019 年度実践薬学セミナー, 2019 年 9 月 8 日, 鹿児島
8. 鎌田哲郎：糖尿病外来治療ワンポイントアドバイス⑤ 医師が行う食事と運動のアドバイス, SGLT2i の DKD への効果. 第 6 回糖尿病地域連携セミナー, 2019 年 9 月 11 日, 鹿児島
9. 鎌田哲郎：糖尿病治療を中断してしまう患者さんの心理. KCDEL スキルアップセミナー in 始良・霧島, 2019 年 9 月 14 日, 霧島
10. 鎌田哲郎：糖尿病について知っておきたいこと ～予防の重要性, 生活習慣のポイント～ 血管からみる生活習慣病重症化予防教室. 鹿児島市北部保健センター, 2019 年 9 月 18 日, 鹿児島
11. 鎌田哲郎：メトホルミンの新情報と日常臨床での使い方 ～DPP4i 剤との併用から腸管の果たす役割まで～. 日置市医師会学術講演会, 2019 年 10 月 8 日, 日置
12. 鎌田哲郎：Diabetic Foot ～糖尿病性足の病態とケアについて～. 第 2 回大隅地区足を学ぶ会, 2019 年 11 月 2 日, 鹿屋

13. 鎌田哲郎:DM 外来診療のコツ 運動嫌いな患者さん, 高齢者へのアドバイス. 第 18 回糖尿病医療連携体制講習会, 2019 年 11 月 19 日, 鹿児島
14. 鎌田哲郎:治療に難渋した症例 DKD その後の経過 ～腎硬化症, 糖尿病性糸球体硬化を併せ持つ病態?. SDM 研究会, 2019 年 11 月 30 日, 鹿児島
15. 鎌田哲郎:エンドステージの糖尿病治療 ～End of Life Care～. SDM 研究会, 2019 年 11 月 30 日, 鹿児島
16. 鎌田哲郎:鹿児島市の糖尿病性腎症重症化予防プログラムの現状と課題. Diabetes Update 2019 in 鹿児島, 2019 年 12 月 19 日, 鹿児島
17. 鎌田哲郎:糖尿病から透析にならないために. 第 9 回慢性腎臓病 (CKD) 予防セミナー, 2020 年 2 月 13 日, 鹿児島

外科・消化器外科

今村総合病院

1. 上之園芳一:当院における胃癌治療の現状. 今村総合病院薬業連携交流会, 2019 年 4 月 9 日, 鹿児島
2. 馬場研二:当地方で技術認定医取得は難しい?. 南のラパロの会, 2019 年 4 月 27 日, 鹿児島
3. 馬場研二:腹腔鏡下大腸手術のひと工夫～体内吻合への取り組み～. 第 56 回九州外科学会 ランチョンセミナー, 2019 年 5 月 17 日, 鹿児島
4. 馬場研二:安全な留置を目指した上腕埋め込み式 CV ポート. 第 2 回 CV ポートセミナー, 2019 年 6 月 1 日, 鹿児島
5. 馬場研二:ステント留置後大腸癌に対する手術例. 大腸ステント BTS セミナー, 2019 年 10 月 4 日, 熊本
6. 上之園芳一:進行胃癌に対する集学的治療. 第 49 回胃外科・術後障害研究会 ランチョンセミナー, 2019 年 11 月 1 日, 鹿児島
7. 田辺寛, 馬場研二, 大井秀之, 安留龍太郎, 上之園芳一, 帆北修一:内視鏡技術認定医への道のり半ば (大腸編). 若手隼人の会, 2019 年 11 月 9 日, 鹿児島
8. 上之園芳一:進行胃癌に対する集学的治療. 伊佐市胃癌セミナー, 2019 年 11 月 15 日, 伊佐

救急総合内科

今村総合病院

1. 西垂水和隆:病歴と見た目. 第 5 回神戸 GIMET, 2019 年 5 月 18 日, 兵庫
2. 西垂水和隆:病歴と見た目. 東部総合診療カンファレンス, 2019 年 5 月 31 日, 熊本
3. 林恒存:地域包括ケアシステム推進に私達がなすべきこと. 慈愛会 JSW 研修講演, 2019 年 6 月 15 日, 鹿児島
4. 林恒存:米国の高齢者を支える医療・介護・住まいのしくみ. 黒野塾, 2019 年 6 月 29 日, 鹿児島
5. 林恒存:総合診療にいかす老年医学. 第 3 回 鹿児島県総合診療研修合同プログラム説明会, 2019 年 7 月 13 日, 鹿児島
6. 林恒存:International Session の幅広い活用と国際的な活動・キャリア形成. 日本プライマリ・ケア連合学会 第 17 回秋季生涯教育セミナー, 2019 年 9 月 21 日, 大阪
7. 崎山隼人:病院と在宅で総合診療医が診る誤嚥性肺炎. 日本プライマリ・ケア連合学会 第 17 回秋季生涯教育セミナー, 2019 年 9 月 22 日, 大阪
8. 西垂水和隆:外来でみる不明熱. 始良地区医師会, 2019 年 11 月 22 日, 鹿児島

皮膚科

今村総合病院

1. 米倉健太郎：ATLの診断と病型分類. ミノファーゲン WEB ライブセミナー, 2019年5月30日, 東京
2. 米倉健太郎：当院におけるグセルクマブの使用経験. Biologic Clinical Seminar, 2019年6月22日, 鹿児島
3. 米倉健太郎：HTLV-1抗体陽性乾癬患者の全身療法について. 第3回西日本炎症性皮膚疾患研究会, 2019年7月13日, 福岡
4. 米倉健太郎：乾癬・乾癬性関節炎の診断と治療. 大隅地区学術講演会, 2019年8月1日, 鹿屋
5. 米倉健太郎：PsAの診断と治療. Psoriasis Web Conference, 2019年11月15日, 鹿児島
6. 武田浩一郎：糖尿病における皮膚疾患（薬剤性から足のケアまで）. 第18回糖尿病医療連携体制講習会, 2019年11月29日, 鹿児島
7. 米倉健太郎：mSWATスコアによる皮膚病変の抗腫瘍効果判定. DS-3201b（EZH1/2阻害剤）第II相試験キックオフ研究会, 2019年11月23日, 東京
8. 米倉健太郎：CTCLの最近の治療. 第3回鹿児島皮膚腫瘍研究会, 2020年1月18日, 鹿児島
9. 米倉健太郎：HTLV-1と乾癬. 西日本セルトリズマブベゴル適応追加記念講演会, 2020年2月1日, 福岡
10. 米倉健太郎：What is rising in Psoriasis? 私が考えるスキリージの有用性. SKY-RISE インターネットライブセミナー, 2020年3月13日, 鹿児島

消化器内科

いづろ今村病院

1. 大井秀久：当院におけるIBDチームの現状. IBDチーム交流会, 2019年11月30日, 熊本
2. 大井秀久：IBDの寛解維持療法の注意点. 大隅地区学術講演会, 2019年12月19日, 鹿屋

脳神経内科

今村総合病院

1. 神田直昭：脳梗塞に対する抗凝固療法. 脳血管疾患トータルケアセミナー, 2019年5月14日, 鹿児島
2. 脇田政之：心原性脳塞栓症の二次予防～当施設における新規抗凝固薬の選択基準～. 2019年6月20日, 鹿児島（インターネット講演会）
3. 脇田政之：当院における心原性脳塞栓症の救急期加療～新規抗凝固薬を中心に～. Heart Brain Conference, 2019年10月7日, 鹿児島

脳神経外科

今村総合病院

1. 永野祐志：血管内治療専門医合格への道のりとその後の取り組み. The 14th Kagoshima neurovascular Intervention Conference (KVIC), 2019年8月2日, 鹿児島

眼科

今村総合病院 いづろ今村病院

1. 土居範仁：糖尿病黄斑浮腫の毛細血管瘤に対する選択的眼内光凝固. 第262回鹿児島眼科集談会, 2019年9月

28 日, 鹿児島

小児科

今村総合病院

1. 溝田美智代:成長曲線を医療機関へ繋げるために-学校医との連携-, 平成 31 年度養護教諭等研修会, 2019 年 4 月 18 日, 鹿児島

緩和ケア内科

いづろ今村病院

1. 松下格司:全人的苦痛に対する緩和ケア. がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会, 2019 年 7 月 21 日・8 月 25 日, 鹿児島

精神科

今村総合病院

1. 永田青梅:エビリファイ LAI の使用経験からの考察. 第 3 回 DPA 研究会, 2019 年 5 月 28 日, 鹿児島

臨床研究センター

今村総合病院

1. 宇都宮興:臨床研究とは. 今村総合病院倫理審査委員会, 2019 年 6 月 11 日, 院内
2. 宇都宮興:介入と侵襲について. 今村総合病院倫理審査委員会, 2019 年 7 月 9 日, 院内
3. 宇都宮興:医学系研究の利益相反(COI)管理と最近の動向. 今村総合病院倫理審査委員会, 2019 年 9 月 10 日, 院内

HTVL-1 研究センター

今村総合病院

1. 宇都宮興:ATL 治療の進歩と未来. 令和元年度 HTVL-1 対策講演会~HTVL-1 についてもっと知りましょう~, 2019 年 11 月 10 日, 鹿児島県医師会館, 鹿児島

輸血管理部

今村総合病院

1. 藤山裕輝:当院輸血療法委員会の活動~輸血インシデントへの対応. 2019 年度 第 2 回輸血細胞治療部門研修会(鹿児島県臨床検査技師会)の輸血シンポジウム 2019 2nd 鹿児島, 2019 年 9 月 28 日, 鹿児島
2. 牧野桃子:自己血輸血看護師 認定取得前の当院の自己血貯血の課題と認定取得後の取り組み. 医師・看護師・臨床検査技師・薬剤師のための第 97 回日本自己血・周術期輸血学会教育セミナー 適正な自己血輸血の実施と自己血輸血医師看護師制度の拡充に向けて, 2019 年 11 月 16 日, 鹿児島
3. 新屋果蓮, 小田原千里:当院での輸血実施状況と臨床輸血看護師の役割. 令和元年度 第 3 回輸血細胞治療部門研修

会（鹿児島県臨床検査技師会）の輸血シンポジウム 2019 3rd 鹿児島 輸血管理体制（多職種連携），2019 年 12 月 21 日，鹿児島

看護部

今村総合病院

1. 小波津武志：脱毛時の対応について～頭皮ケアについて～，今村総合病院がん患者相談会，2019 年 4 月 12 日，鹿児島
2. 吉森みゆき：感染対策ワーキンググループアドバイザー，日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会，2019 年 5 月 10 日，鹿児島
3. 鶴田奈緒美：認知症の理解，慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院，2019 年 5 月 15 日，鹿児島
4. 中村倫丈：呼吸のフィジカルアセスメント，慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院，2019 年 6 月 5 日，鹿児島
5. 小波津武志：成人看護学方法論Ⅴ，鹿児島中央看護専門学校非常勤講師，2019 年 6-9 月，鹿児島
6. 中村倫丈：多重課題シミュレーション，慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院，2019 年 7 月 10 日，鹿児島
7. 吉森みゆき：感染対策ワーキンググループアドバイザー，日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会，2019 年 7 月 12 日，鹿児島
8. 中村倫丈：呼吸・循環のフィジカルアセスメント，2019 年度鹿児島看護協会鹿児島地区新人研修会，2019 年 7 月 27 日，鹿児島
9. 鶴田奈緒美：カンファブルケア，慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院，2019 年 8 月 2 日，鹿児島
10. 小濱奈々：SBAR について，慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院，2019 年 8 月 7 日，鹿児島
11. 吉森みゆき：感染予防について，企業内生涯学習セミナー，2019 年 8 月 18 日，鹿児島
12. 中村倫丈：クリティカル領域の安全管理，慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院，2019 年 8 月 21 日，鹿児島
13. 中村倫丈：急変に気付くフィジカルアセスメント，慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院，2019 年 9 月 4 日，鹿児島
14. 小濱奈々：窒息の対応，慈愛会認定看護師会出前講座 鴨池慈風苑，2019 年 9 月 12 日，鹿児島
15. 平川あゆみ：BLS 研修，慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院，2019 年 10 月 2 日，鹿児島
16. 吉森みゆき：鹿児島 7 施設を対象とした直接観察法による手指衛生実践評価，第 31 回鹿児島感染制御ネットワーク学術講演会，2019 年 10 月 19 日，鹿児島
17. 小濱奈々：誤嚥・窒息時の初期対応について，慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院，2019 年 11 月 6 日，鹿児島
18. 吉森みゆき：感染対策ワーキンググループアドバイザー，日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会，2019 年 11 月 8 日，鹿児島
19. 鶴田奈緒美：認知症の理解 疾患の特徴と治療・ケア，慈愛会認定看護師会出前講座 尾辻病院，2019 年 11 月 12 日，鹿児島
20. 牧野桃子：自己血輸血看護師認定取得前の当院の課題と認定取得後の取り組み，日本自己血輸血・周術期輸血学会教育セミナー，2019 年 11 月 16 日，広島

21. 切手康加：感染管理. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2019年11月20日, 鹿児島
22. 中村倫丈：せん妄のマネジメント. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2019年11月27日, 鹿児島
23. 前田真紀子：放射線治療が始まるまでの看護師の役割. 第2回今村総合病院トモセラピーの夕べ, 2019年11月30日, 鹿児島
24. 鶴田奈緒美：認知症の理解. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2020年1月8日, 鹿児島
25. 平川あゆみ：救急看護とは. 鹿児島中央看護専門学校 BLS 研修, 2020年1月20日, 鹿児島
26. 平川あゆみ：災害看護について. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2020年1月22日, 鹿児島
27. 福田美幸：伝えたい 看護師の魅力. 伊敷中学校1年生「社会人に学ぶ」, 2020年1月23日, 鹿児島
28. 中村倫丈：精神科におけるフィジカルアセスメント～急変させないためのコツ～. 日本精神科看護協会鹿児島県支部研修会, 2020年1月25日, 鹿児島
29. 恵真紀：看護研究活動支援体制の検討. 第53回鹿児島県保健看護研究学会, 2020年2月1日, 鹿児島
30. 川上千森：経験から考える洗浄. 第9回鹿児島滅菌供給を考える会, 2020年2月1日, 鹿児島
31. 切手康加：ノロウイルス感染対策. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人あおぞら会岩尾病院, 2020年2月27日, 鹿児島
32. 小濱奈々：急変のサインについて. 南部保健センター, 2020年2月27日, 鹿児島

いづろ今村病院

1. 大宮司直美：BLS インストラクター. 今村総合病院 AHA BLS プロバイダーコース, 2019年4月6日, 7月6日, 鹿児島
2. 中窪尊子：ELNEC - J. 鹿児島大学保健学科, 2019年7月16日, 鹿児島
3. 上野友佳：食中毒について～とくに夏は食中毒にご用心～. 易居町公民館生活講座, 2019年7月25日, 鹿児島
4. 大宮司直美：ICLS インストラクター. 今村総合病院 ICLS コース, 2019年7月28日, 鹿児島
5. 松下鮎美：サポートを必要とする高齢患者～インスリン導入時と導入後の看護について考える～. 第60回鹿児島県糖尿病教育看護師研究会, 2019年8月1日, 鹿児島
6. 尾堂ゆかり：外来での腎症療養支援のポイントとコツ. 鹿児島県地域糖尿病療養指導士認定機構第2回 Delivery Meeting for Kagoshima, 2019年8月2日, 鹿児島
7. 大宮司直美：ICLS インストラクター. 今村総合病院 ICLS コース, 2019年8月18日, 鹿児島
8. 中窪尊子：ELNEC - J. 鹿児島市立病院, 2019年9月14-15日, 鹿児島
9. 上野友佳：幼児期に起こりやすい感染症の基礎知識から感染対策について. 社会福祉法人慈愛会きずな保育園, 2019年9月26日, 鹿児島
10. 中窪尊子：実習や講義に役立つ看護学生のためのがん看護講座「看護学生ができるがんの痛みへの看護」. 鹿児島がん看護研究会, 2019年9月28日, 鹿児島
11. 大宮司直美：ICLS インストラクター. 今村総合病院 ICLS コース, 2019年10月26日, 鹿児島
12. 上野友佳：感染症について～インフルエンザのポイントを押さえて予防しましょう～. 易居町公民館生活講座, 2019年10月15日, 鹿児島
13. 上野友佳：環境整備から感染対策に関する研修. 社会福祉法人慈愛会サービス付高齢者向け住宅架け橋, 2019年10月24日, 鹿児島
14. 大宮司直美：ICLS インストラクター. 今村総合病院 ICLS コース, 2019年11月17日, 鹿児島
15. 上野友佳：インフルエンザ対策. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2019年12月11日, 鹿児島

鹿児島

16. 中窪尊子：緩和ケアについて。易居町公民館生活講座，2020年1月28日，鹿児島
17. 有村智子：ゼネラリストが生き活きと働き続けられる職場環境づくり～ナラティブ導入をめざして。鹿児島県看護協会保健看護研究会，2020年2月1日，鹿児島
18. 中窪尊子：ELNEC－J。鹿児島県看護協会，2020年2月15-16日，鹿児島

谷山病院

1. 加藤和広，今村健次：精神看護学方法論Ⅰ。学校法人赤塚学園，2019年8月28日-10月30日，鹿児島
2. 中尾明美：感染予防対策（基礎編）。公益社団法人鹿児島県看護協会鹿児島地区研修，2019年9月7日，鹿児島
3. 中蘭明子：統合演習Ⅰ。公益社団法人鹿児島県看護協会認定看護管理者ファーストレベル教育，2019年9月24日，鹿児島
4. 内田宏貴：認定看護セミナー。学校法人原田学園鹿児島医療技術専門学校講義，2019年10月15日，鹿児島
5. 加藤和広，今村健次，内田宏貴，杉田真人：精神科認定看護師企画研修会。日本精神科看護協会鹿児島県支部第7回研修，2019年11月30日，鹿児島
6. 中尾明美：今から急増するインフルエンザ対策について。慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人尚愛会小田原病院職員研修，2019年11月21日，鹿児島
7. 中尾明美：鹿児島県医師会医療関連感染対策 Q&A。鹿児島県医師会医療関連感染対策研修会，2019年12月11日，鹿児島
8. 加藤和広：うつ病と認知症について。鹿児島市石谷町仁田尾団地自治公民館市民講座，2019年12月19日，鹿児島

愛と結の街

1. 米澤美智代：褥瘡予防ケア「スキンケア」。第12回鹿児島県在宅褥瘡セミナー，2019年6月15日，鹿児島
2. 末永真由美：看護管理。学校法人南学園鹿児島医療福祉専門学校講義，2019年6月～，鹿児島
3. 米澤美智代：ストーマ・褥瘡管理。鹿児島中央看護専門学校老年看護学方法論Ⅰ，2019年7月11日，8月18日，9月5日，鹿児島
4. 米澤美智代：褥瘡ケアの基本。鹿児島厚生連病院新人研修，2019年9月4日，鹿児島
5. 米澤美智代：ストーマ装具選択。社会法人天陽会中央病院職員研修，2019年9月25日，鹿児島
6. 末永真由美：与論島の精神科訪問看護について。与論町保健センター精神科看護研修会，2019年9月17日，鹿児島
7. 末永真由美：訪問看護の実際。いづろ今村病院ラダーⅢ研修，2019年10月3日，鹿児島
8. 末永真由美：沖永良部島の精神科訪問看護について。和泊町・知名町保健センター精神科看護研修会，2019年10月17日，鹿児島
9. 末永真由美：離島僻地における顔の見える関係からの地域包括ケアシステム構築の試み。鹿児島県看護連盟シンポジウム，2019年11月24日，鹿児島
10. 末永真由美：訪問看護の実際。今村総合病院ラダーⅢ研修，2019年11月29日，12月4日，鹿児島
11. 末永真由美：老年看護学 在宅看護論。学校法人南学園鹿児島医療福祉専門学校看護師国家試験対策特別講義，2020年1月，鹿児島
12. 原口悦江：介護施設における事故予防と急変時の対応。公益社団法人鹿児島県看護協会一般研修，2020年2月19日，鹿児島

法人事業本部 看護部支援室

1. 木佐貫涼子：資源管理Ⅰ。公益社団法人鹿児島県看護協会認定看護管理者ファーストレベル教育，2019年10月3日，鹿児島

リハビリテーション部

今村総合病院 理学療法士 (3F)

1. 村山芳博, 川崎和也, 中島徳久: 鹿児島市地域リハ支援事業. (一社) 鹿児島県理学療法士作業療法士言語聴覚療法士連絡協議会, 年間 20 回, 鹿児島
2. 村山芳博: 社会の中の理学療法士. (公社) 鹿児島県理学療法士協会 新人オリエ, 2019 年 4 月 14 日, 鹿児島
3. 村山芳博: チーム医療の実践について. 鹿児島大学医学部保健学科, 2019 年 6 月 25 日, 鹿児島
4. 村山芳博: 理学療法士の医療政策論 1. (公社) 鹿児島県理学療法士協会, 2019 年 6 月 30 日, 鹿児島
5. 村山芳博: 理学療法士の医療政策論 2. (公社) 鹿児島県理学療法士協会, 2019 年 7 月 28 日, 鹿児島
6. 村山芳博: 内部障害に対する理学療法の進め方の基本. (公社) 鹿児島県理学療法士協会, 2019 年 8 月 4 日, 鹿児島
7. 村山芳博: C V A の理学療法の評価. 鹿児島大学医学部保健学科, 2020 年 1 月 24 日, 鹿児島
8. 村山芳博: 社会の中の理学療法士. 第一医療リハビリ専門学校理学療法学科, 2020 年 3 月 9 日, 鹿児島

今村総合病院 理学療法士 (スポーツ整形リハセンター)

1. 小森園眞紀, 多田克史, 坂上右弥, 轟原与織: ランニング障害予防教室. 2019 年 4 月 6 日, 鹿児島
2. 多田克史, 坂上右弥, 村山祐一郎, 前園恵慈: 障害予防教室 in 奄美. 2019 年 4 月 18-19 日, 奄美
3. 吉田研吾, 濱田大介, 鮫島智志, 前田和彦: 障害予防教室 in 奄美. 2019 年 4 月 20-21 日, 奄美
4. 白尾泰宏: 解剖学・運動学に基づく膝関節の捉え方. 鹿児島県理学療法士連盟 第 2 回研修会, 2019 年 5 月 12 日, 鹿児島
5. 轟原与織: かがしま国体に向けて福井国体帯同の実際. 鹿児島県アスレティックトレーナー連絡協議会, 2019 年 5 月 25 日, 鹿児島
6. 門元剛, 村山佑一郎, 多田克史, 轟原与織: サッカー障害予防教室. 鹿児島県サッカー協会医学委員会, 2019 年 6 月 2 日, 鹿児島
7. 轟原与織: スポーツ現場での理学療法士の役割. 鹿児島県理学療法士協会, 2019 年 6 月 8 日, 鹿児島
8. 坂上右弥: 鹿児島市地域リハビリテーション活動支援事業 腰痛予防教室. 2019 年 6 月 13 日, 鹿児島
9. 門元剛: 熱中症とその予防について. 2019 年度第 1 回サッカー医科学勉強会, 2019 年 6 月 18 日, 鹿児島
10. 轟原与織: 熱中症とその予防について. 鹿児島県サッカー協会医学委員会, 2019 年 6 月 23 日, 鹿児島
11. 白尾泰宏: 神経筋骨関節系機能障害に対する理学療法 (上部体幹編). 鹿児島県理学療法士協会専門領域研修会, 2019 年 6 月 24 日, 鹿児島
12. 轟原与織: スポーツ現場での頭頸部外傷の対応. 鹿児島県理学療法士協会, 2019 年 8 月 25 日, 鹿児島
13. 白尾泰宏: 解剖学・運動学に基づいた腰部・骨盤帯の評価と治療 病態と触診. 鹿児島県理学療法士協会鹿児島ブロック研修会, 2019 年 9 月 7 日, 鹿児島
14. 轟原与織: スポーツリーダー養成講習会 (トレーニング論). 鹿児島県体育協会, 2019 年 9 月 15 日, 鹿児島
15. 小森園眞紀, 多田克史, 村山祐一郎, 橋口由美子: ランニング障害予防教室. 2019 年 9 月 21 日, 鹿児島
16. 白尾泰宏: 神経筋骨関節系機能障害に対する理学療法 (下部体幹編). 鹿児島県理学療法士協会専門領域研修会, 2019 年 10 月 27 日, 鹿児島
17. 鮫島智志, 轟原与織, 鮫島徹也, 前田和彦: 障害予防教室 in 奄美. 2019 年 11 月 29-30 日, 奄美
18. 白尾泰宏: 解剖学・運動学に基づいた腰部・骨盤帯の評価と治療 徒手療法を中心に. 鹿児島県理学療法士協会鹿児島ブロック研修会, 2019 年 11 月 30 日, 鹿児島
19. 多田克史, 前園恵慈: ACL のリハビリテーションについて. 奄美セラピスト勉強会, 2019 年 11 月 30 日, 奄美
20. 多田克史, 小森園眞紀, 橋口由美子, 前園恵慈: 障害予防教室 in 奄美. 2019 年 11 月 30 日-12 月 1 日, 奄美
21. 轟原与織: 理学療法士のスポーツ貢献活動. 鹿児島医療福祉専門学校特別講話, 2019 年 12 月 18 日, 鹿児島
22. 轟原与織: スポーツリーダー養成講習会 (トレーニング論). 鹿児島県体育協会, 2020 年 1 月 19 日, 鹿児島

いづろ今村病院 理学療法士

1. 香川勇治：言語聴覚療法について。HR 株式会社 易居町公民館生活講座，2019 年 5 月 28 日，鹿児島
2. 土井敦：他職種連携について。鹿児島県理学療法士協会 生活環境支援部研修会，2019 年 6 月 2 日，鹿児島
3. 土井敦：腰痛予防について。HR 株式会社 易居町公民館生活講座，2019 年 6 月 25 日，鹿児島
4. 土井敦：多職種協働を考える。宮崎県理学療法士協会 生活環境支援部研修会，2019 年 7 月 28 日，宮崎
5. 土井敦：基本動作と環境設定。鹿児島県理学療法士作業療法士言語聴覚士連絡協議会 訪問リハビリテーション研修会，2019 年 10 月 6 日，鹿児島
6. 土井敦：福祉用具による生活を広げる取り組み。鹿児島県理学療法士作業療法士言語聴覚士連絡協議会 地域包括ケア推進リーダー及び介護予防推進リーダーステップアップ研修，2019 年 11 月 2 日，鹿児島
7. 下舞美和：冷水町公民館地域リハ活動。POS 連絡協議会，2019 年 11 月 6 日，鹿児島
8. 西洋樹：動きやすい身体をつくりかた。糖尿病患者会「ななみ会」宿泊研修，2019 年 11 月 10 日，鹿児島
9. 下舞美和：春山公民館地域リハ活動。POS 連絡協議会，2019 年 12 月 13 日，鹿児島
10. 土井敦：腰痛予防の為の介助技術とポジショニング。鹿児島県グループホーム連絡協議会研修，2020 年 2 月 22 日，鹿児島

谷山病院 作業療法士

1. 小澤孝典：健康講話。小原町高齢者クラブふれあい会食，2019 年 6 月 20 日，鹿児島
2. 古園龍也：認知症サポーター養成講座（県職員対象）。2019 年 7 月 9 日，鹿児島
3. 中山陽平：アルコール使用障害を抱える方や家族への支援。鹿児島県作業療法士協会大隅支部公開講座，2019 年 12 月 14 日，鹿屋
4. 黒木貴博：作業療法生涯教育論。鹿児島県作業療法士協会研修会，2020 年 1 月 17 日，鹿児島

徳之島病院 作業療法士

1. 真喜志元希：精神科における作業療法士の役割。与論保健センター，2019 年 11 月 13 日，鹿児島

薬剤部

今村総合病院

1. 橋本直美：消化器がん薬物療法における薬薬連携の取り組み。臨床薬学研究会，2020 年 2 月 17 日，鹿児島

画像診断部

今村総合病院

1. 市来守：トモセラピーシステムならではの症例報告。第 1 回九州・山口トモセラピーユーザーズフォーラム，2019 年 5 月 18 日，福岡
2. 馬場隆行：基礎講座 X 線撮影。第 16 回フレッシューズセミナー，2019 年 5 月 19 日，鹿児島
3. 浅井愛邦：画像解析技術を用いた大腿部の筋肉量測定。令和元年度鹿児島県診療放射線技師会 春季学術大会，2019 年 6 月 16 日，鹿児島
4. 浅井愛邦：CAS 前後の脳血流評価の症例。第 38 回鹿児島核医学技術検討会，2019 年 6 月 29 日，鹿児島
5. 市来守：TomoTherapy を用いた TBI の紹介。第 21 回 鹿児島県放射線治療技術研究会，2019 年 7 月 13 日，鹿児島
6. 浅井愛邦：リアルラジエーションハウス！？ 私たち診療放射線技師の日常をお話しします。みんなの健康を守るための放射線と医用画像展，2019 年 7 月 28 日，鹿児島

7. 馬場隆行：よくわかる脊椎 X 線撮影（頸椎～仙骨）の実践撮影法と補正法. 令和元年度 第 45 回大隅地域研修会, 2019 年 8 月 3 日, 鹿児島
8. 恵智徳：CT に関する認定資格 画像等手術支援認定放射線技師. 第 47 回鹿児島 CT 研究会, 2019 年 8 月 21 日, 鹿児島
9. 二間瀬竜太：CT に関する認定資格 Ai 認定放射線技師. 第 47 回鹿児島 CT 研究会, 2019 年 8 月 21 日, 鹿児島
10. 馬場隆行：手関節撮影の決め手はこれだ. 第 12 回鹿児島 X 線撮影研究会, 2019 年 9 月 21 日, 鹿児島
11. 馬場隆行, 岩下昌平：ポジショニングの実際（ハンズオン）. 第 12 回鹿児島 X 線撮影研究会, 2019 年 9 月 21 日, 鹿児島
12. 馬場隆行：股関節軸位およびマルチウス・グースマンにおける補助具・テンプレートをを用いた高精度撮影. 令和元年度鹿児島県診療放射線技師会 霧島・始良地域研修会・県秋季学術大会, 2019 年 10 月 26 日, 鹿児島
13. 岩下昌平：医療被ばく低減施設認定 準備から取得まで. 令和元年度鹿児島県診療放射線技師会 霧島・始良地域研修会・県秋季学術大会, 2019 年 10 月 26 日, 鹿児島
14. 岩下昌平：肘関節エコーについて. 鹿児島消化器画像・超音波研究会, 2019 年 10 月 30 日, 鹿児島
15. 馬場隆行：頸椎・腰椎 X 線撮影の基本とピットホール. 令和元年度北薩地域研修会・鹿児島県 X 線撮影研究会, 2019 年 11 月 30 日, 鹿児島
16. 市来守：放射線治療用固定具の紹介 各施設報告. 第 22 回鹿児島県放射線治療技術研究会, 2019 年 12 月 14 日, 鹿児島
17. 市来守：前立腺癌、頭頸部の治療（固定具作成～照射まで）. 第 2 回九州・山口トモセラピーユーザーズフォーラム, 2020 年 2 月 15 日, 福岡
18. 松下啓：救急 IVR における各施設の現状. 第 5 回鹿児島血管撮影技術研究会, 2020 年 2 月 22 日, 鹿児島

いづろ今村病院

1. 脇田慎一：炎症性腸疾患における画像検査～炎症性腸疾患における消化管造影検査のコツ～. 第 31 回日本消化器画像診断情報研究会東京大会, 2019 年 4 月 20-21 日, 東京
2. 脇田慎一：炎症性腸疾患における画像検査のコツ. 第 66 回鹿児島消化器画像研究会, 2019 年 6 月 29 日, 鹿児島
3. 上釜健作：上部消化管の解剖・基本走査. 第 16 回鹿児島超音波研究会, 2019 年 6 月 29 日, 鹿児島
4. 脇田慎一：実習指導者. 公益社団法人日本診療放射線技師会業務拡大に伴う統一講習会, 2019 年 7 月 20-21 日, 鹿児島
5. 上釜健作：腹部超音波実技指導 初心者コース. 第 19 回超音波実技講習会, 2019 年 8 月 4 日, 鹿児島
6. 脇田慎一：消化管疾患における画像検査のコツ～小腸を中心に～. 第 1 回九州消化管画像研究会, 2019 年 8 月 10 日, 熊本
7. 矢崎晃平：人間ドック腹部超音波検査を契機に発見された副腎骨髄脂肪腫の一症例. 第 49 回日本消化器がん検診学会九州地方会, 2019 年 9 月 21 日, 鹿児島
8. 脇田慎一：実習指導者. 公益社団法人日本診療放射線技師会業務拡大に伴う統一講習会, 2019 年 10 月 19-20 日, 鹿児島
9. 上釜健作：超音波で診る下部消化管疾患～炎症編～. 第 17 回鹿児島超音波研究会, 2019 年 10 月 30 日, 鹿児島
10. 脇田慎一：当院での画像診断について. 第 1 回職場の健康と健康経営を考える会, 2019 年 11 月 22 日, 鹿児島
11. 上釜健作：腹部超音波検査を契機に診断された胃無力症の一例. 第 301 回鹿児島県超音波医学研究会, 2019 年 11 月 22 日, 鹿児島
12. 上釜健作：知っておくべき装置設定のコツ（B モード編）. 第 18 回鹿児島超音波研究会, 2020 年 1 月 18 日, 鹿児島
13. 脇田慎一：実習指導者. 公益社団法人日本診療放射線技師会業務拡大に伴う統一講習会, 2020 年 2 月 2 日, 鹿児島

14. 川畑歳文：膀胱エコーの描出のコツ。第7回キヤノン鹿児島超音波セミナー，2020年2月15日，鹿児島

臨床検査部

今村総合病院

1. 藤山裕輝：多発性骨髄腫の治療薬グラツムマブ使用による輸血検査への影響と対応。第8回慈愛会検査合同研修会，2019年7月6日，鹿児島
2. 田代智香子：腹部超音波検査における胆嚢の観察と代表的な疾患。第8回慈愛会検査合同研修会，2019年7月6日，鹿児島
3. 藤山裕輝：当院輸血療法委員会の活動。2019年度第2回輸血細胞治療部門研修会，2019年9月28日，鹿児島

臨床検査科

いづろ今村病院

1. 竹之内敏典：返書からの情報の大切さ（腫瘍形成型肝内胆管癌）。第1回始良霧島エコー倶楽部勉強会，2019年6月22日，鹿児島
2. 泉琴美：人間ドックで指摘された肝腫瘍の一例。第1回始良霧島エコー倶楽部勉強会，2019年6月22日，鹿児島
3. 湯浅由合：NT-proBNP 心臓ストレスチェックについて。第1回職場の健康と健康経営を考える会，2019年11月22日，鹿児島
4. 竹之内敏典：健診にて経年観察中に経験した症例（脾リンパ管腫 or 脾過誤腫）。始良霧島エコー倶楽部勉強会，2019年12月7日，鹿児島
5. 紺屋仁：当院の輸血療法委員会活動について。鹿児島県合同輸血懇話会，2019年2月15日，鹿児島

栄養管理部

いづろ今村病院

1. 堀木まどか：学外実習事前事後指導。鹿児島女子短期大学，2019年5月10日，鹿児島
2. 中菌智美：腎臓を守る食事～たんぱく質の考え方～。糖尿病重症化予防従事者連携研修会，2019年9月23日，鹿児島
3. 中菌智美：健康食は糖尿病食。市民のための糖尿病講演会，2019年11月13日，鹿児島
4. 中菌智美：腎臓を守る食事治療～たんぱく質の考え方～。糖尿病重症化予防従事者連携研修会，2019年12月15日，鹿児島
5. 中菌智美：IBDの栄養・食事療法～最近の考え方も含めて。大隅地区学術講演会，2019年12月19日，鹿児島
6. 中菌智美：実践！重症化予防症例検討。糖尿病重症化予防従事者スキルアップ研修会，2020年2月16日，鹿児島

徳之島病院

1. 清水崇：一患者，一医療従事者としての双方の立場から。鹿児島糖尿病メディカルスタッフ連携セミナー ～治療中断を防ぐために～，2020年1月18日，鹿児島

医療福祉相談部

今村総合病院

1. 日高洋美：実習中止となってしまった学生への対応から考える学生へのケア・実習指導者へのケア。令和元年度 実習指導に関する研修，2019 年 1 月 18 日，鹿児島

地域連携室

いづろ今村病院

1. 南尚江：認知症のある糖尿病患者への退院支援。コメディカルのための糖尿病セミナー，2019 年 8 月 17 日，鹿児島
2. 南尚江：ケアマネジャーの育成とメンタルヘルス。NPO 法人介護支援専門員協会鹿児島 主任介護支援専門員フォローアップ研修，2019 年 11 月 30 日，鹿児島
3. 南尚江：ストレスマネジメントについて。鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会 実習指導者研修会，2020 年 1 月 18 日，鹿児島

精神科デイケア

奄美病院

1. 濱田凌：LGBT × 自己覚知～セクシャルマイノリティ。多職種交流研修会，2020 年 2 月 22 日，奄美

愛と結の街

1. 野村秀洋：小原町の健康講話「脳卒中」から身を守る生き方。小原町町内会教育講演，2019 年 5 月 16 日，鹿児島
2. 野村秀洋：鹿児島県の医療環境における薬剤師の役割（講演）。鹿児島県薬剤師会 実践薬学セミナー，2019 年 7 月 21 日，鹿児島
3. 野村秀洋：平成 31 年度認定看護管理者ファーストレベル研修会（講義）。鹿児島県看護協会，2019 年 9 月 30 日，鹿児島
4. 野村秀洋：令和 2 年度診療報酬改定の方針性。鹿児島県医師会 第 2 回保険診療研修会（講演），2019 年 12 月 12 日，鹿児島
5. 野村秀洋：令和 2 年度診療報酬改定の方針性。南薩医師会後期医学会（講演），2019 年 11 月 27 日，南さつま

かごしまオハナクリニック

1. 林恒存：熊本中央病院 JMECC/ICLS コース インストラクター。2019 年 10 月 20 日，熊本
2. 林恒存：総合診療体制の構築・これからの在宅医療。慈愛会任用候補者研修，2019 年 11 月 15 日，鹿児島
3. 林恒存：健やかなシニアライフを送るために。鴨池健康まつり，2019 年 12 月 7 日，鹿児島
4. 林恒存：Multimorbidity 時代の内科診療「症例提示 2」，「老年医学と multimorbidity」。日本内科学会九州地方会教育セミナー，2020 年 1 月 25 日，福岡
5. 林恒存：宮崎大学医学部 JMECC/ICLS コース インストラクター。2020 年 2 月 1 日，宮崎
6. 林恒存：「かかりつけ」再考～医療・介護連携推進につなげるひと工夫～。令和元年度 在宅医療・介護連携推進講演会，2020 年 2 月 20 日，鹿児島
7. 崎山隼人：指導医要請講習会。日本プライマリ・ケア連合学会 第 15 回九州支部総会・学術総会，2020 年 2 月 22 日，

大分

8. 崎山隼人：ワークショップ2 教育や指導でなんかうまくいかないと思ったら～教育の困難事例への挑戦。日本プライマリ・ケア連合学会 第15回九州支部総会・学術総会，2020年2月22日，大分
9. 林恒存：鹿児島県消防学校 救急科講義「高齢者」，2020年3月2日，鹿児島

法人事業本部 教育開発センター

1. 中重敬子：認定看護管理者セカンドレベル教育 経営資源と管理の実際（適切な療養環境の整備），鹿児島県看護協会，2019年10月28日，鹿児島

鹿児島中央看護専門学校

3年課程看護科

1. 久徳美鈴：みまもりに重点をおいた「オープン型ステーション」とセル看護方式。第48回日本医療福祉設備学会，2019年11月20-21日，東京

2年課程（通信制）看護科

1. 指宿敏江：進学に関する情報提供。公益社団法人鹿児島県看護協会，2019年8月3日，鹿児島
2. 南ひとみ：看護師資格取得について～2年課程通信制より～。人吉・球磨地域看護管理者検討会，2019年8月29日，熊本
3. 南ひとみ：准看護師から看護師へ ステップ・アップ～進学支援と情報提供～。公益社団法人宮崎県看護協会，2019年11月2日，宮崎
4. 南ひとみ：教育課程（2年課程通信制）。鹿児島県主催（鹿児島県看護協会受託）令和元年度実習指導者講習会，2019年12月11日，鹿児島

【受賞】

法人事業本部

1. 納光弘：第48回医療功労賞。読売新聞社，2020年2月3日

麻酔科

今村総合病院

1. 川崎孝一：国民健康保険関係功労受賞。厚生労働大臣表彰，2019年10月15日

画像診断部

今村総合病院

1. 市来守：第1回IMRT治療計画トライアル（CMPFG1901）スコアTop5（TomoTherapy部門）。臨床医学物理研究会，2019年8月31日

輸血管理部

今村総合病院

1. 牧野桃子：村上記念学会認定・自己血輸血看護師奨励賞。第 67 回日本輸血・細胞治療学会，2019 年 5 月 23 日

【マスメディア】

血液内科

今村総合病院

1. 宇都宮興：「また野球教えて」県内関係者エールを送る 北別府さん ATL 公表。南日本新聞，2020 年 1 月 22 日
2. 宇都宮興：血液のがん・白血病 病状や検査は？。MBC 南日本放送 ニュースナウ，2019 年 2 月 13 日
3. 中野伸亮：ピタッと教えて 白血病について。KYT 鹿児島読売テレビ かごビタ，2019 年 2 月 22 日

HTVL-1 研究センター

今村総合病院

1. 宇都宮興：スマイルリボン支援自販機設置（HTLV - 1 ウイルス対策）。2019 年 9 月 24 日，民放テレビ各社 南日本新聞社

外科・消化器外科

今村総合病院

1. 帆北修一：「有意注意」と慈愛の心でより良い医療を届ける。九州医事新報，2019 年 12 月 20 日

消化器内科

いづろ今村病院

1. 大井秀久，中村久恵，中蘭智美，飯山ひふみ，東屋敷史織：「患者の社会復帰」を実現すべく多職種による IBD チームの結成。Medical Network, Vol30 8-11, 2019

救急総合内科

今村総合病院

1. 林恒存：アルコールの上手な付き合い方。KKB 鹿児島放送 スーパー J チャンネル，2019 年 4 月 18 日
2. 市来征仁：熱中症について。KKB 鹿児島放送 スーパー J チャンネル，2019 年 6 月 12 日，
3. 福山一：あなたのその咳、大丈夫？。KKB 鹿児島放送 スーパー J チャンネル，2019 年 12 月 5 日
4. 有馬丈洋：新型コロナウイルス感染関連。南日本新聞，2020 年 2 月 22 日

眼科

今村総合病院 いづろ今村病院

1. 土居範仁：白内障と緑内障. KKB 鹿児島放送 スーパー J チャンネル, 2019 年 7 月 24 日
2. 土居範仁：VDT 症候群. KKB 鹿児島放送 スーパー J チャンネル, 2019 年 10 月 23 日

スポーツ整形外科

今村総合病院

1. 濱里雄次郎：ストレッチで安全にスポーツを楽しもう！. KKB 鹿児島放送 J チャンプラス すこやかライフ, 2019 年 5 月 1 日
2. 濱里雄次郎：肩こりについて. KYT 鹿児島読売テレビ かごピタ ピタッと教えてコーナー, 2019 年 7 月 26 日

脳神経内科

今村総合病院

1. 神田直昭：脳卒中について. KKB 鹿児島放送 スーパー J チャンネル, 2019 年 8 月 14 日

かごしまオハナクリニック

1. 林恒存：ヒートショックと浴室熱中症. KKB 鹿児島放送 スーパー J チャンネル, 2019 年 11 月 20 日

研修医育成への取り組み

初期研修プログラム『錦江湾プログラム』

公益財団法人慈愛会は、人材育成の重要な柱の一つとして、研修医（初期研修医ならびに後期研修医）の育成に力を注いできました。初期研修の制度ができた初年度の2004年度から今村病院（現 いづろ今村病院）を基幹型病院とする『じあいプログラム』をスタートさせました。その後、2010年度からは、『じあいプログラム』に併設する形で『錦江湾プログラム』をスタートさせました。『錦江湾プログラム』は今村総合病院が基幹型病院を務め、いづろ今村病院、谷山病院、奄美病院、鹿児島大学病院を含む16の協力病院群からなる初期研修プログラムです。発足初年度は規定により2名の定員枠でしたが、次年度は5名の定員枠が認められ、2012年度には定員枠が7名に増えました。『じあいプログラム』は10年目の2013年度をもって終了させ、2014年度より定員枠を10名に増やす形で『錦江湾プログラム』に一本化し、現在に至っています。この間、両プログラム合せて118名の研修医を育ててきました（現在進行中の研修医を含む）。『錦江湾プログラム』は学生の間で、今とても人気が高い状況です。人気が高い大きな理由は、各診療科の医療のレベルが高いだけでなく、スタッフの人材が揃っており、研修医を育てようという意気込みが学生に伝わっているからとのことです。私たちは、全国から人材が集まってくるような、日本有数の教育病院に育てようと全力を挙げて取り組んでいるところで、着実に研修医が育ちつつあります。

【初期研修医数の推移】

年度：2004年度～	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	総数（名）
じあいプログラム	1	4	6	6	2	3	10	10	6	1	－	－	－	－	－	－	49
錦江湾プログラム	－	－	－	－	－	－	2	5	7	5	8	7	6	10	9	10	69
計	1	4	6	6	2	3	12	15	13	6	8	7	6	10	9	10	118

【基本方針】

基本目標として将来の専門性にかかわらず医学・医療の社会ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるようにプライマリ・ケアの対応能力を習得することを基本方針とする。

【研修プログラム】

公益財団法人慈愛会 今村総合病院 臨床研修病院群	
基幹型臨床研修病院	公益財団法人慈愛会 今村総合病院（399床）
協力型臨床研修病院	公益財団法人慈愛会 いづろ今村病院（130床）
	公益財団法人慈愛会 谷山病院（392床）
	鹿児島大学病院
	鹿児島こども病院
	鹿児島医療センター
	麻生飯塚病院（福岡県）
	聖マリア病院（福岡県）
	浦添総合病院（沖縄県）
研修協力施設	公益財団法人慈愛会 奄美病院（348床）
	公益財団法人慈愛会 高麗町クリニック
	倶知安厚生病院（北海道）
	介護老人保健施設 愛と結の街
	五反田内科クリニック
	中央病院
	小林市立病院（宮崎県）

臨床研修は、下記の病院群と協力施設で機能を分担して実施する。

必修研修	内科 (24 週)	今村総合病院 いづろ今村病院 鹿児島大学病院	救 急 (12 週)	今村総合病院
	外科 (8 週)	今村総合病院	麻 酔 科 (8 週)	今村総合病院
	小 児 科 (4 週)	今村総合病院・鹿児島大学病院・鹿児島こども病院		
	産 婦 人 科 (4 週)	今村総合病院・鹿児島大学病院		
	精 神 科 (4 週)	今村総合病院・谷山病院・奄美病院・鹿児島大学病院		
	地 域 医 療 (4 週)	高麗町クリニック・五反田内科クリニック・倶知安厚生病院・小林市立病院		
自由選択	(36 週)	今村総合病院	全 診 療 科	
		いづろ今村病院	全 診 療 科	
		介護老人保健施設 愛と結の街	保 健	
		鹿児島大学病院	全 診 療 科	
		鹿児島医療センター	循環器内科	
		聖マリア病院	救 急	
		浦添総合病院	救 急	
		麻生飯塚病院	内 科	
		中央病院	循環器内科	

慈愛会内科専門研修プログラム

2018 年度にスタートした慈愛会内科専門研修プログラムは、急性期病院である今村総合病院を基幹施設として、鹿児島県・福岡県・東京都および北海道にある施設と連携して内科専門研修を行っており、6 名の専攻医が在籍しています。

総合内科専門医は単に各専門科を全て経験すれば良いということではなく、多くの診療科にまたがる症例や、逆にどこの専門科にも属しにくいような症例、症状を解決していく能力が必要となります。

当プログラムでは、総合内科の specialist を育成するため、最大の特徴として基幹病院である今村総合病院の救急・総合内科で研修を行うとともに、他の院内診療科や連携施設とは、より専門性の高い研修を受けることができるよう連携しています。

慈愛会総合診療専門研修プログラム

2018 年度にスタートした慈愛会総合診療専門研修プログラムには 3 名の専攻医が在籍しています。

当プログラムでは院内の各診療科はもとより連携施設とも連携し、総合診療医として、予防医療、プライマリケア（急性期対応）、総合内科知識・技能・亜急性期・慢性期、そして終末期のいずれの段階の医療に対応できる能力の習得、または病院総合医、地域の開業医、在宅医療、老健施設での慢性期医療など、将来どのような環境でも活躍できるようなオールラウンドプレイヤー養成を基本としています。

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

看護部門

中長期計画	2019年度 事業計画 (Stage3)	実施 2019.4月～2020.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
慈愛会の急性期医療・慢性期医療・終末期医療・在宅医療の連携強化 看護部支援室	①定期連携会議開催による情報共有と課題検討 (1回/1ヵ月or2ヵ月) ②中堅看護師の同行訪問研修継続	・地域医療連携会議を毎月実施。	・断らない地域連携の意識と行動があり、断る事例もなく、慈愛会連携、地域連携ができた。 ・連携の件数や連携した事例を検討しているが次へのステップにつがっていない。会議方法や会議内容の充実が求められる。	・会議の在り方を地域連携会議担当者で再考し、会議運営の方法、有効な事例検討によって次につなげる会議としている。
	①在宅医療推進会議実施による在宅医療の推進 (1回/2ヵ月) ②訪問看護ステーション「愛の街」への統合 (谷山病院の訪問看護：2019年8月～) ・学習 (勉強会・訪問同行等) による精神科と一般訪問看護師の協力関係構築と質向上 ③一般訪問件数の向上 (目標：1日一人平均4件) ・いづろ今村、今村総合急性期病院との連携 (カンファレンス参加またはMSW会議参加による情報交換) ・近隣の診療所、施設への周知活動の実施 ④サテライト設置検討 (訪問場所、訪問人数の増加との調整)	・在宅医療推進会議は2ヵ月に1回、年6回開催した。 ・8/1の統合を目指し検討会を毎月1回、7月には2回開催し問題点を解決しハード面ソフト面を整えた。谷山病院から異動する訪問看護スタッフと愛と結の街スタッフの統合したチームづくりへの支援を行った。8月1日は新訪問看護ステーションの理念を掲げオープンセレモニーを開催できた。統合後も笹貫訪問看護ステーション愛の街を支援する組織図を明確にし継続して毎月定期運営会議を行い支援している。 ・統合を機に慈愛会訪問看護能力開発プログラムを作成した。能力に応じた資格手当を導入し訪問看護の質の向上とともに職員へのやりがいにつなげることを目指した。 ■統合前の月平均 (4～7月) - 一般訪問件数2315件 (月平均利用者実人数37.8名) - 新規依頼数 一般14件 (年間月平均3.5件)、精神33件 (年間月平均8.0件) ■統合後の月平均 (8～3月) - 一般訪問・精神科訪問計901.0件 - 新規依頼数 一般43件 (年間月平均5.4件)、精神45件 (年間月平均5.6件) 上記の他、7月、新たに管理者を配置。新規依頼者の受け入れを積極的に実施した。7月以降は断らず依頼に応じることで実績値に反映することができた。 - 新規依頼件数 第1四半期月平均2.6件 →7月以降5.9件。月次推移でも着実に増加。 - 月の訪問看護件数 8月884件→3月929件。 - 月次推移での着実な増加にも寄与。 (実人数も260名～275名の間に安定的に推移)	・管理者を新たに配置、組織体制が整備できた。調整を重ねる事で年間通じて退職者等もなく安定的に運用できた。一般と精神科それぞれの強みを活かした訪問看護も徐々に展開できている。又、精神科看護師パート1名を11月に採用。精神科訪問看護の同行訪問件数増加 (加算増加) に寄与。増収に繋がった。 [左記実績再掲] - 一般訪問看護と精神科訪問看護スタッフによる同行訪問 (2020.2月より実施) 38件 (2ヵ月実績の月平均 19件) - 精神科訪問看護に係る同行訪問件数 統合前4ヵ月の月平均160件 → 統合後8ヵ月の月平均208件 (月平均48件増加) *1件当加算平均額 約4,500円 → 月平均約216千円の増収に寄与。 - その他、必要に応じて両スタッフによるカンファレンス実施。個別症例ごとにそれぞれの訪問看護の特徴を生かした支援について適宜検討することができている。 - 訪問看護体制をチーム制やエリアごとの体制など更に整備することで訪問看護の必要性に応じた対応ができると考える。 - 統合後も毎月1回定期運営会議を開催し支援できている。 - サテライト設置は具体化まで至っていない。 ・訪問看護師の看護職員能力プログラムを導入し、プログラムに沿った資質向上への取り組みができた。職員個々の意識も向上した。それぞれの専門性を活かしたチーム作りや専門性の向上がさらに必要となる。	・在宅医療推進会議の意義を見直す。 ・会議の在り方や方法、参加者の再検討を行い生産性のある会議とする。 ・いづろ今村病院、高麗町クリニック、かこしまオハナクリニック等との連携を強化し地域のニーズに応えていく。 ・サテライトの設置の必要性及び課題を検討し必要に応じたサテライトの実現に向けた取り組みを開始する。 ・精神・一般問わず、地域で生活する人をどう支え、利用者数、在宅訪問数を増加させるか、看護職員自ら企画し訪問看護チームづくりを充実させる。
看護管理者育成と組織が求める役割の評価と給与への反映構築	①クリニカルリーダー (認定管理) ・クリニカルリーダー認定の管理 ・マネジメントリーダー認定による昇格運用の管理 ・認定看護師リーダー管理 ②看護職の育成 ・管理者教育の継続 ・管理者任用候補者研修の共同開催 ・教育内容の調整 (本部、支援室、各病院の教育内容との調整) (教育時間のスリム化：eラーニングの活用)	①認定申請率45% 認定合格率 90.3% 2018年度認定証発行 4月～6月 ・クリニカルリーダー (いづろ31 今村総合165 谷山37 奄美9 徳之島15) ・マネジメントリーダー (いづろ6 今村総合20 谷山2 奄美1) ・クリニカルリーダー、マネジメントリーダー認定一覧表を作成し全体を可視化しクリニカルリーダー申請率が低い状況を分析した。管理者および職員の理解・職員への周知、認定申請への職員個々の意識向上や認定の評価方法等の課題が明らかになった。 ・課題をクリアし教育ツールとして活用を促進するための一般精神問わず慈愛会全体で目標や評価方法等を統一した看護職員能力開発プログラムを作成した。2020年度から活用するもので全職員に冊子で配布し活用する。 ・看護管理者に対しキャリア支援・クリニカルリーダーの教育ツールとしての意義と活用について周知し2020年4月活用への動機づけを行った。 ・クリニカルリーダーに慈愛会理念・方針に基づく目標として看護実践能力に「心に届く慈愛の看護」を設けた。具体的にどのような看護かを可視化し慈愛会として伝承していく必要性があると考え、「心に届く慈愛の看護」を語る会を毎年1回開催していく企画を立案した。第1回を2020年5月9日開催予定。それに際し、慈愛会看護職員からエピソードを募集し90作品の応募があった。 ②新人看護師とリーダー看護師を明確にしたストラップを導入し新人看護師支援、多職種連携強化に取り組んだ。 ③子育て支援便り発行 6月、12月、2回発行した ・訪問看護ラダーレベル資格手当の導入、ナースエイド・介護福祉士に特別手当の支給、看護師長役職手当の一律支給が認められた。	・慈愛会各施設でそれぞれの能力開発プログラムを作成活用していた。評価方法や申請方法、到達度等様々であった。慈愛会の目指す看護師像を共通理解しそのための教育理念と方針を明確にした慈愛会統一の看護職員能力開発プログラムを作成した。作成プロセスには特に教育を専任で担う教育担当看護師長と一つ一つ検討し統一した考え方をもとにしたプログラムが作成でき教育の体制が構築できた。慈愛会での看護職員の教育ツールとして看護管理者・職員共に活用できる内容となった。 ・慈愛会独自の「心に届く慈愛の看護」を目標に入れることで慈愛会看護師として目標が明確になった。 「心に届く慈愛の看護」を語る会企画により、看護職員の看護の可視化と職員への伝承、やりがいにつながる。 ・管理者任用候補者選考18名受験した。 ・2019年度は任用候補者登載者の中から7名副看護師長に昇任した。 ・ストラップ導入により新人やリーダーが一目でわかり支援と連携につながっている。 ・子育て支援便りは看護部支援室と各施設看護部長が協働発行し育児中職員の支援を行った。復帰に向けての意識向上や支援につながっている。 ・慈愛会全体で統一した資格手当等の見直しと導入ができた。	・新看護職員能力開発プログラムの活用を徹底する。クリニカルリーダーレベルV以上を目指し、全職員が自己の成長のためのツールとする。 ・2020年5月9日「心に届く慈愛の看護」を語る会を開催 選考委員長 詩人 三角みづ紀先生 他選考委員12名 最優秀作品1編 優秀作品2編 入選 10編表彰 全職員に冊子配布 ・新人看護師への教育支援がしっかり実践されているが、集合教育や研修時間が多い。新型コロナウイルス感染対策によって内定者研修等を中止した。それに伴い、各施設の工夫があり、OJTの充実につながっている。今後はこの機会を活かし、集合教育内容の精選・評価体制、プログラムの再構築とOJTの充実を行い、より実践力が向上できる効果的な研修にシフトしていく。 ・管理者任用候補者選考研修の意義が認識され意図的な支援が徹底してきた。マネジメントリーダーや長期研修 (教員養成、スペシャリスト育成等) に繋げて活かしていく。 ・縁結び応援プロジェクトでも子育て中の職員との交流を行うなど支援の輪を拡大していく。

中長期計画	2019年度 事業計画 (Stage3)	実施 2019.4月～2020.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
診療報酬および業務体制に見合う看護職の確保	①看護職の確保 ・ガイダンスへの積極的参加、業者活用による広告 ・学校訪問（看護学校、看護系大学、高校訪問） ・パンフレットの見直し、同窓生への案内 ・慈愛会就職説明会の実施 ・シニアの補助者活用推進 ②離職防止策 ・離職理由（危機管理室アンケート）の把握 ・離職理由の分析と対策 ・管理者の学習会開催（メンタルヘルスと定例業務困難者への対応） ・テレビ会議による対策会の実施（1～2回/月）	①看護職確保活動 【ガイダンス】 3看護学校 業者主催鹿児島会場参加 ハローワーク、ヤングハローワーク、シルバー人材センター訪問実施 【学校訪問】 看護学校 延べ24校 高校 延べ25校 【慈愛会就職説明会】 4/27 78名参加(鹿児島中央看護専門学校38名) 【看護師募集案内パンフレット発送】 沖縄・福岡・熊本 大学系21校 【資料請求者、就職説明会等参加者へ採用試験案内】 【看護師採用試験】 4回開催（8/21,10/26,11/30,1/25） 受験者61名 定期試験による採用55名 【離職状況】 全体10.0%（前年比-1.7%） 離職理由 健康上 転職 育児介護 家事専念 結婚 が多い。 毎月看護部長ミーティングや看護管理者協議会等の場で離職状況及び対策について検討し早めの対応に努力するとともに配置換え検討した。	・看護学校、高校訪問等、積極的に活動し学校訪問による人材確保に努力した。高校訪問によるナースエイド介護福祉士の採用活動を強化した。進路指導の開始となる2月～4月の進路指導教員への説明が効果的である。3月は新型コロナウイルスの関係で訪問を自粛し電話による案内を行った。 ・看護部長協議会や管理者研修等で離職防止について現状を分析した。管理者の意識がかわり積極的な対策が行われたことで離職が若干であるが減少し、4月1日付人員の確保はできた。個人個人のキャリア支援と共に離職の要因に応じた適切な支援を実施し質を担保していく必要がある。メンタルヘルスケアや疲弊感への介入が必要。 ・奄美病院は病棟集約によって看護職員は充足できた。徳之島病院が常時派遣看護師を採用している現状が継続している。	・看護師に関して大学生の就職活動が積極的となる5月から開始し、新卒者の獲得に努める。 2020年度採用試験計画 第1回 5月30日 第2回 8月19日 第3回 11月7日 第4回 1月30日 ・ナースエイド、介護福祉士確保活動は2月～3月、学校訪問し進路指導担当教員への広報を強化し慈愛会への理解を深めて進路指導に活かしてもらう活動の強化 ・徳之島病院の新人看護師の成長を伝え、ローテーション研修やJ-Seatyナース研修を活用し離島の看護職員確保は継続し取り組む。離島への異動者も増えているので異動者からの離島における精神看護のやりがいや魅力を伝え安定した看護職員確保に努める。 ・鹿児島中央看護専門学校との連携により、卒業後の支援を強化する。 ・管理者の意図的な支援の継続および職員個々のキャリアアップへの主体的参画に向けた取り組みを継続していく。
	①谷山病院発信による精神科看護職員教育研修の継続（Web研修） ②離島看護師確保対策（不足支援の継続）	①新人看護師教育 6/26 行動制限最小化看護 26名（院内外、徳之島病院） 7/30 気分障害看護 統合失調症看護 26名（院内外、徳之島） ②新人看護師 3名採用 谷山病院・奄美病院より支援体制継続	①新人看護師教育 7/30 気分障害看護 統合失調症看護 26名（院内外、徳之島） ②谷山病院 奄美病院交流研修継続 徳之島病院は新人看護師を継続して採用できた。しかし2～3名の派遣看護師を採用している現状が継続している。離島奨学金制度終了前の支援を充実させるなど働き続けられる体制や離島への希望者を増やすことが必要。	・今年度、交流研修の効果があつた。来年度は各施設・学校がトータルヘルスケアシステムの慈愛会の強みを活かした研修を主体的に企画し質の向上を図る研修企画としてJ-Seatyナース研修を実施する。5日間の研修をJ-Seatyナース研修として企画し各慈愛会職員の研修を受け入れ慈愛会看護部の活性化と離職率低下ややりがいにつながり質の向上に取り組む。
	①超過勤務の縮減（勤務開始の前後） ・業務改善、看護記録時間の短縮による超過勤務時間の縮減	①看護記録について検討継続（記録短縮、記録時間確保、セル方式看護導入） ・看護学生アルバイト募集計画 ・シルバー人材 ・定時に帰るビタッと帰るデイの活用 ・e-ラーニング活用 ・縁結びプロジェクト立ち上げ 広報 法人誌プロフェッショナル 企画メンバー募集 企画運営 月1回 イベント開催	①看護学生アルバイト導入（今村総合・いづろ今村） ・セル看護方式の導入によって超過勤務の縮減につながった部署があり、他部署のモデルとなった。 ・機能別看護方式を導入し術後看護の充実と超過勤務の縮減につながった看護管理者実践報告もあった。 ・看護管理者が夜勤応援する状況によって管理業務に専念できない状況も一部発生した。 ・縁結びプロジェクトは2回開催し、総勢85名の交流ができた。 ・継続的に開催予定であったが新型コロナウイルスの影響で延期している。次回に向けた準備を行っている。	・働き方改革とともに、時間外勤務の縮減など取り組み成果を出していく。 ・各職場に応じた看護方式を導入するなど患者・職員共にメリットの大きい体制にしてい。一人一人の職員の意識と行動も重要であり職員参画を主体的に出来る仕組みを作っていく。 ・職場風土分析を活用した職場改善と看護管理者が管理業務に専念できる体制を整えていく。 ・2019年度の縁結び応援プロジェクトは独身職員を中心にしたものであり今後は子育て世代や年齢に関係ない縁結び企画も準備し継続して慈愛会全体の交流を深め働きやすい職場づくり、社会貢献を目指す。

2019年度は病院機能評価を今村総合病院、谷山病院、奄美病院、徳之島病院が受審した。

各施設、認定を受け継続的質改善に取り組んでいる。

職員一人一人が働き甲斐のある働きやすい職場づくりの一環として慈愛会縁結び応援プロジェクトを立ち上げた。独身者・子育て世代等の積極的な交流の場を設け、人と人の縁を結ぶ企画が2回開催でき、参加者企画者共に成果を実感した。

看護職員に広く「心に届く慈愛の看護」エピソードを募集し全体で90作品の応募があり、「心に届く慈愛の看護」語る会の準備ができた。2020年5月に第1回を開催する。胸を打つエピソードを語り継ぎ、「慈愛の看護」を伝承し続けたい。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. 慈愛会の急性期医療・慢性期医療・終末期医療・在宅医療の連携強化

急性期医療の充実を目指し、2019年10月1日にいづろ今

村病院から急性期病床15床が今村総合病院に移動した。今村総合病院399床、いづろ今村病院が130床となった。

急性期病床が効率的に運用できるようになった。病床利用率を上げていくための取り組みが求められる。

2. 在宅事業部（訪問診療・訪問看護）の機能強化

1) 2019年8月1日に笹貫訪問看護ステーション愛と結の街と谷山病院訪問看護が統合し新体制となった。一般・精神が統合し、より専門性の高い訪問看護体制となった。新規利用者数は徐々に増加し、在宅療養を支える部門として体制が強化整備できた。訪問看護における資質の向上を目指し3精神病院統一した訪問看護能力開発プログラムを作成し、資格手当を導入した。徳之島病院の沖永良部、与論島への訪問看護も継続し、利用者の入院の減少や退院患者の増加につながってきた。

奄美病院は喜界島の精神訪問看護への取り組みが始まった。

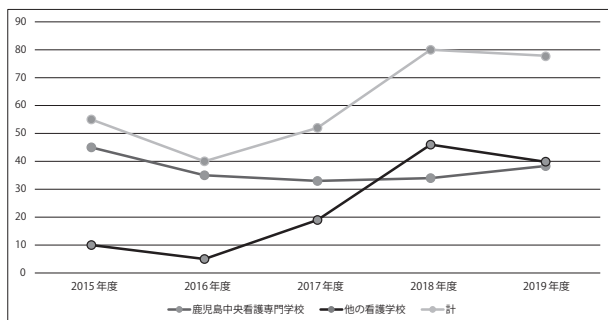
【2019年度在宅医療推進会議】

	開催日	議題
第1回	2019/4/17	1) 訪問看護ステーション実績報告 2) 谷山病院訪問統合の進捗状況 ・谷山病院精神科訪問看護と笹貫訪問看護ステーション愛の街の8月統合に向けた検討 3) 認知症初期集中支援チームについて ・症例紹介、各職種の役割、慈愛会の訪問看護・在宅医療の構築
第2回	2019/6/20	1) 訪問看護ステーション実績報告 2) 谷山病院訪問看護と笹貫訪問看護ステーション愛の街統合の進捗状況 ・8月1日の統合に向け、組織図と支援体制を構築 3) 症例報告（高麗町クリニック下本地院長） 4) 黒野企画部長より ・愛と結の街から考えられる在宅での課題 5) 在宅推進をはかる症例検討の定期的開催について
第3回	2019/8/8	1) 訪問看護ステーション実績報告 2) 谷山病院と笹貫訪問看護ステーション愛の街統合の進捗状況 ・8月1日新愛の街オープニングセレモニー開催報告 3) 症例報告 ・笹貫訪問看護ステーション愛の街事例 ・居宅支援事業所での事例：ACPについて
第4回	2019/10/10	1) 訪問看護ステーションの実績報告 2) 笹貫訪問看護ステーション愛の街 ①現在の契約利用者数 連携病院・クリニック一覧 ②新規利用状況 新規利用申し込み医療機関 ③訪問看護利用者エリア ④利用者拡大のための取り組み 3) 症例報告・・・笹貫訪問看護ステーション愛の街事例 4) 利用者を支える介護者の介護力支援 ・在宅療養を継続する上で必要となる経費と利用可能な社会資源 ・より個別的な支援につなげるために標準説明資料 5) かごしまオハナクリニック10月1日オープンについて ・地域の「かかりつけ医」 地域住民の健康意識を高める

	開催日	議題
第5回	2019/12/12	1) 訪問看護ステーションの実績報告 ①現在の契約利用者数…統合後、訪問件数は増加している ②新規利用状況…統合後、増加傾向 ③退院前カンファレンス、退院前・退院時同行訪問実績状況 2) 「病気になっても住み慣れた場所で安心してその人らしい生活ができることを支える」入院前から退院を視野に入れた支援状況 ・入退院支援から見た退院困難要因 3) 症例報告 ・離島訪問看護における特定行為研修修了者の活躍 ・高麗町クリニック ・かごしまオハナクリニック 4) 今後の在宅医療推進について ①地域包括ケアシステムにおける慈愛会内外での連携強化 ・症例検討会の開催を検討
第6回	2019/2/13	1) 訪問看護ステーションの実績報告 ①現在の契約利用者数 ②新規利用状況 ③退院前カンファレンス、退院前・退院時同行訪問実績状況 ④訪問件数目標達成状況および未達成要因分析と達成に向けた具体的取り組み 2) 来年度に向けての在宅医療推進会議について ①会議メンバーについて 地域医療連携室 PFM職員の参加検討 ②会議の在り方（今後進めるうえでの方向性） ・在宅医療推進会議は抽象的な概念を作る場所としての機能を充実させる 3) 症例報告…困難事例 ・居宅介護支援センター愛と結の街 ・笹貫訪問看護ステーション愛の街 ・高麗町クリニック ・かごしまオハナクリニック

3. 看護師確保状況について

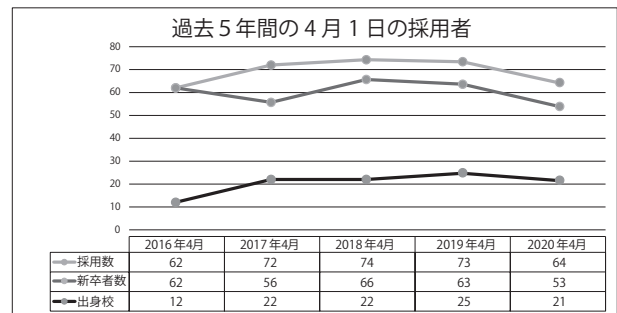
1) 慈愛会主催就職説明会の来場者状況



	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
鹿兒島中央看護専門学校	45	35	33	34	38
他の看護学校	10	5	19	46	40
計	55	40	52	80	78
採用者数	67	63	72	74	73

各病院のブランディングチームも活躍しており人材確保につながっている。

2) 4月1日付 看護師採用者状況

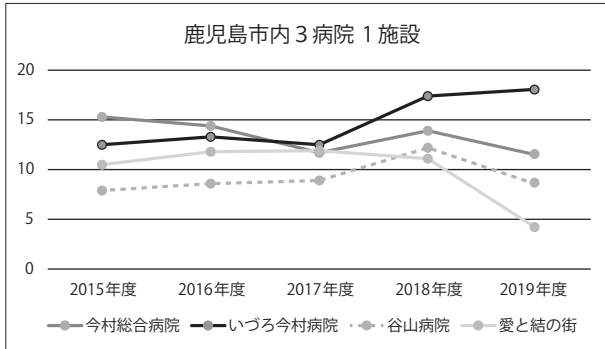


過去5年間の4月1日の採用者（病院別）

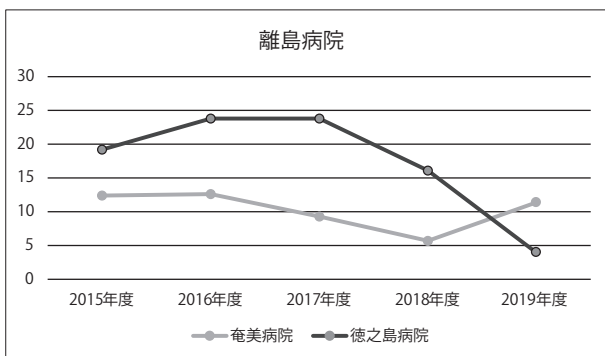
	2016年4月	2017年4月	2018年4月	2019年4月	2020年4月
今村総合病院	42	44	54	51	46
いづろ今村病院	9	12	8	11	9
谷山病院	9	5	9	9	6
奄美病院	2	8	2	0	1
徳之島病院	0	3	1	2	2

2019年度の採用活動の結果、2020年4月採用は慈愛会全体で64名（新卒者53名）であった。離職者が昨年に比較し減少したため例年に比較し10名程度少ない採用数で、適正人員は確保できた。徳之島病院では新人看護師の入職を昨年に引き続き確保できた。慈愛会内でローテーションしながら育成し、継続的に働き続けられる仕組みを定着していく。

3) 離職状況



	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
今村総合病院	15.3	14.4	11.7	13.9	11.4
いづろ今村病院	12.5	13.3	12.5	17.4	17.9
谷山病院	7.9	8.6	8.9	12.2	8.6
愛と結の街	10.5	11.8	11.9	11.1	4.5



	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
奄美病院	12.4	12.6	9.3	5.7	11.1
徳之島病院	19.2	23.8	23.8	16.1	4.5

2019年度の離職率は慈愛会全体で10.0%（前年12.7%）と減少した。特に今村総合病院、谷山病院で減少している。各施設で離職希望者への個別対応や看護管理者の積極的支援、教育の見直しや具体的な支援が離職を防止している。離職の理由は転職や結婚・健康上の理由であり、引き続き看護職員のワークライフバランスの充実への対策や支援を行い離職防止に努めていきたい。転職を考える年代への支援強化として看護学校との連携による適切な時期に支援活動を実施する予定である。

子育て世代へ子育て支援便りを年2回発行し継続的支援を行った。

ナースエイド、介護福祉士の応募が少なく、退職後の補充ができていない。働き方改革等、タスクシフトを組織的に考えていく際、ナースエイド、介護福祉士が働き甲斐をもって従事できるための支援体制が必要であり、給与面での処遇を見直し、改善として特別手当の支給や正職員での採用を行った。

合同研修会

	研修名	開催日	時間	場所	対象者	受講者	研修概況
管理者研修	看護部長・副学校長研修会	2019/10/31	9:00～17:30	かごしまオハナビル3階大会議室	看護部長 副校長	総合: 1名 いづろ: 1名 谷山: 1名 奄美: 1名 徳之島: 1名 愛結: 1名 鹿中看: 2名 合計: 8名	・講義: 「慈愛会を取り巻く社会の状況と人材育成」 慈愛会統括看護部長兼看護部支援室長 木佐貫涼子 「看護基礎教育の考え方 卒業時の達成目標について」 鹿児島中央看護専門学校3年課程 副校長 大保まり子 ・グループワーク: 能力開発プログラムのねらいと自病院(施設)の人材育成に関する方針 : クリニカルラダーの運用 ・意見交換: 新人看護師教育への切れ目ない支援の在り方・継続したキャリア支援 ...プログラムの活用 : 来年度に向けて人材育成への企画
	副看護部長研修	2019/8/30	8:30～17:30	ベイサイド錦江3階大会議室	副看護部長	総合: 2名 いづろ: 1名 谷山: 1名 奄美: 1名 徳之島: 1名 合計: 6名	・看護管理実践報告(各自発表)および意見交換: シャドー研修後の取り組み(成功事例)に学ぶ ・講義: 「問題解決思考を学ぶ」委員会(看護師長会)のあるべき姿と現在問題と考えていること 公式集団としての委員会(看護師長会)の位置づけ成果の得られた事例から考える 慈愛会統括看護部長兼看護部支援室長 木佐貫涼子 ・グループワーク: 副看護部長の役割 : 真の問題と問題解決(実践計画) : 具体的企画案作成 ・意見交換
	看護師長研修	2020/2/8	8:30～17:30	かごしまオハナビル3階大会議室	看護師長	総合: 14名 いづろ: 7名 谷山: 9名 奄美: 5名 徳之島: 3名 愛結: 3名 合計: 41名	・講義: 「看護職員能力開発プログラムの考え方と活用」 慈愛会統括看護部長兼看護部支援室長 木佐貫涼子 : 能力開発についてのアンケート結果から看護師長に期待すること 教育開発センター長 中重敬子 ・グループワーク: 「キャリア支援への積極的取り組み」 「発表の学びを自部署に活かすこと」 ・各部署の取り組み発表: 総合3題・いづろ2題・谷山2題・奄美1題・徳之島1題

	研修名	開催日	時間	場所	対象者	受講者	研修概況
管理者研修	4 新任看護部長研修	2019/7/26	8:30～17:30	ベイサイド錦江3階大会議室	2018年8月以降、看護部長に昇任したものの	総合:1名 いづろ:1名 奄美:1名 合計:3名	・グループワーク:①看護部長となつてぶつかっている壁～想いを吐き出そう～ ②看護部長が元気になる～視野を広げ具体的にみてみよう～ ・講義:看護部長の役割 「マネジメントラダー評価と看護管理者の資質」 「面接・コーチング」 教育開発センター長 中重敬子
	5 副看護部長研修	1回目 2019/9/28	8:30～17:30	ベイサイド錦江3階大会議室	副看護部長	総合:25名 いづろ:9名 谷山:16名 奄美:3名 愛結:2名 支援室:1名 合計:56名	・講義:「特定行為研修について」「副看護部長のキャリアプラン」 教育開発センター長 中重敬子 ・慈愛会・慈愛会看護部の動き 人材育成、J-Seatyナース(クリニカルラダー)活用 今村総合病院副看護部長 中谷明実 ・「生産性の高い職場では、コミュニケーションを活性化するリーダーが存在し、全員が一丸となって仕事にあたっている」 慈愛会統括看護部長兼看護部支援室長 木佐貫涼子 ・グループワーク:「チーム脳を活性化する質問リーダー」ロールプレイ 「看護を語る」
		2回目 2019/10/8	8:30～16:30	徳之島病院	副看護部長	奄美:3名 徳之島:5名	・講義:慈愛会・慈愛会看護部の動き 人材育成、J-Seatyナース(クリニカルラダー)活用 「生産性の高い職場では、コミュニケーションを活性化するリーダーが存在し、全員が一丸となって仕事にあたっている」 慈愛会統括看護部長兼看護部支援室長 木佐貫涼子 ・グループワーク:「チーム脳を活性化する質問リーダー」ロールプレイ 「看護を語る」
	6 新任看護部長研修				2018年8月以降副看護部長に昇任した者 その他 看護部長・副校長が受講を助める者	総合:1名 合計:7名	・講義:「管理・指導者の役割について～最前線で実践する為に～」 いづろ今村病院看護部長 飯下和代 「管理・指導する立場の資質～副看護部長・教員の資質を磨くために～」 教育開発センター長 中重敬子 ・先輩看護管理者の語り:慈愛会統括看護部長兼看護部支援室長 木佐貫涼子 今村総合病院副看護部長 飯ヶ谷尚美 今村総合病院看護部長 柏木恵美子
	7 職員研修	2019/8/10	8:30～17:30	ベイサイド錦江3階大会議室	①卒後3年目看護師 ②その他 オープン参加 看護部長、副看護部長、看護部長等は過去に参加したことのないものとする	総合41名 いづろ:20名 谷山:10名 愛結:2名 支援室:3名 合計:76名	・講義:「危機的状態の患者家族への看護」 ①ストレスと発病による危機 ②発病による危機のプロセスの理解 ③発病による危機のプロセスに沿ったケア ④再発・転移時の心理とケア 鹿児島大学保健学科臨床看護学講座 精神看護学教授 堤 由美子先生 ・グループワーク:学んだ講義を今後の実践にどう活かすか
	8 臨地実習	第一回臨地指導者・教員合同研修	2019/4/20	慈愛会ビル3階大会議室	教員 鹿児島市内施設実習指導者 教育担当副看護部長 教育担当看護部長	総合:22名 いづろ:12名 谷山:11名 愛結:5名 支援室:5名 3年課程:13名 2年課程:2名 合計:70名	・教員養成研修報告:今村総合病院 看護師 佐野聡美 いづろ今村病院 看護師 石牟礼ゆかり 鹿児島中央看護専門学校 教諭 兼石彰 ・グループワーク:指導者としての明日からの実践 「看護学生のメンタルケアを考える」
		第二回臨地指導者・教員合同研修	2019/10/19	慈愛会ビル3階大会議室	看護部長 看護部長 看護部長 副看護師	総合:22名 いづろ:12名 谷山:12名 愛結:6名 支援室:3名 3年課程:13名 2年課程:4名 合計:72名	・各施設・看護学校取り組み発表:「看護を伝承するには」～病棟全体で学生を育てる～ 鹿児島中央看護専門学校 教諭 井上美奈子 いづろ今村病院 看護師 牧原綾香 谷山病院 看護師 藤本幸一 今村総合病院 看護師 竹内満里奈 ・意見交換

技能・能力向上に向けた取り組み

キャリア開発

今年度はそれぞれ作成して活用していた看護職員能力開発プログラムを統合し精神・一般と慈愛会で共有し資質を高めるプログラムを作成した。看護職員能力開発プログラムの改訂では、看護職員能力開発プログラムを全職員が教育ツールとして積極的に活用できるように全般的に見直し、特に慈愛会の目指す看護師像の明確化、慈愛会看護能力プログラムの核となる実践能力に慈愛会独自の「心に届く慈愛の看護」の目標を掲げ、レベル毎の到達目標を明確にした。今後慈愛会全体で活用できるプログラムとなった。

徳之島病院交流研修に加えて、今年度は鹿児島市内4病院(施設間)で精神看護の専門、地域と病院との交流研修を実施し、研修による成果が得られた。次年度は、慈愛会のトータルヘルスケアを活かしたJ-Seatyナース研修を企画し、慈愛会全体の看護の資質向上を目指す。それによって、2～5年目看護職員の転職による離職防止にもつながると考える。

1) 看護師のクリニカルラダー取得状況(表1)

2019年度スタート時、看護職員能力開発プログラムのラダー申請及び認定への周知が不十分であり、クリニカルラダー申請率が低い状況であった。現状を分析しプログラムの改定や看護管理者教育等を通して改善に取り組んだ。2020年度は統一したプログラムを活用

し、各施設の看護部長、教育担当師長、看護管理者がキャリア支援のために意義を理解した職員個々への支援と職員自ら主体的にキャリアアップに臨む姿勢によりレベルアップへの変化が期待できる。

2) 認定看護師その他の資格保有状況（表2）

認定看護管理者1名、糖尿病認定看護師1名、救急看護認定看護師1名誕生した。慈愛会全体で認定看護師21名、認定看護管理者6名となった。2019年度は特定行為研修を5名受講した。研修修了後の活躍の場の提供が重要となる。

3) 看護管理者の育成とマネジメントリーダーレベル認定状況（表3、表4）

認定看護管理者教育課程、管理者任用候補者選考研修参加について計画的に支援できている。

各種指標

（表1） クリニカルリーダー認定状況

		1. 認定申請率 ※対象者に対する		2. 全体の認定率 ※対象者に対する		3. 2019年度の 認定合格率 ※申請者に対する		4. 認定合格者 (数)	5. 今年度の対象者(数) ※看護管理者除外 ・全体の対象者(数) ※看護管理者除外	6. これまでに1回も 申請がない(人数) ・これまでに1回も 認定されていない(人数)
		対象者の中での 申請者数	申請率	対象者の中での 認定者数	認定率	申請者のうち 認定合格者数	合格率			
今村総合病院	2019年度の 新たな認定者・更新者	168	57.1%	154	52.4%	154	91.7%	154	294	33
	全体の認定者	293	89.9%	300	92.0%	293	97.7%	300	326	26
いづろ今村病院	2019年度の 新たな認定者・更新者	48	55.8%	47	54.7%	47	97.9%	47	86	9
	全体の認定者	87	90.6%	87	90.6%	86	98.9%	87	96	9
谷山病院	2019年度の 新たな認定者・更新者	41	35.7%	37	32.2%	37	90.2%	37	115	6
	全体の認定者	113	95.1%	116	95.1%	113	97.4%	116	122	6
奄美病院	2019年度の 新たな認定者・更新者	39	61.9%	36	57.1%	36	92.3%	36	63	7
	全体の認定者	59	89.4%	60	90.9%	59	98.3%	60	66	6
徳之島病院	2019年度の 新たな認定者・更新者	12	46.2%	9	34.6%	9	75.0%	9	26	1
	全体の認定者	26	96.3%	26	96.3%	26	100.0%	26	27	1
全体の認定者		578	99.8%	589	91.2%	577	98.0%	589	584	56
									637	48

(注)

1. 認定申請率 …………… 対象者とは、副看護師長以上の看護管理者を除く看護師（助産師）
2. 全体の認定率 …………… 常勤（嘱託）の副師長以上の管理職を除く看護師（助産師）に対する認定率（レベル取得した者の率）
3. 2019年度の認定合格率 …………… 2019年度に申請し2019年の年度末に合格した合格率
4. 認定合格者 …………… 過去の認定者も含めて全体でレベルⅠ～Ⅳ
5. 対象者 …………… 年度末（2020年3月31日）時点の対象者総数とする

(表2) 看護師の有資格者 (カッコ内は 2019 年度の実績)

2020 年 3 月 31 日現在

		総合	いづろ	谷山	奄美	徳之島	老健	鹿中看	本部	計
認定看護師	救急看護	2 (1)								2
	皮膚・排泄ケア						1			1
	集中ケア	1								1
	緩和ケア		1							1
	がん化学療法	2								2
	がん性疼痛							1		1
	感染管理	2	1	1						4
	糖尿病		1 (1)							1
	脳卒中リハビリテーション	2								2
	精神科	1		4	1 (1)					6
認定看護管理者	ファーストレベル	23 (3)	14	28 (12)	12	7	3	4 (1)	1	92
	セカンドレベル	11 (3)	7 (1)	5 (2)	2	1	2	1 (1)	1	30
	サードレベル	1		1 (1)			1 (1)	1 (1)		4
	認定看護管理者	1 (1)		1			1	1	2	6
特定行為研修	皮膚創傷に係る薬剤投与関連	1								1
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	4 (3)		1 (1)			1 (1)			6
	呼吸器（人口呼吸療法に係るもの）関連	1								1
	循環器動態に係る薬剤投与関連	1								1
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連			1						1
	創傷管理関連	4 (3)		1 (1)			1 (1)			6
	ろう孔管理関連	1 (1)								1
その他の資格・研修	災害支援ナース	4	4 (1)	3 (1)			3			14
	教員養成課程修了	3 (1)	1	1						5
	糖尿病療養指導士	3 (2)	11 (1)				2			16
	呼吸療法士	5 (1)	2							7
	消化器内視鏡技師	3 (1)	3				1			7
	透析技術認定士	6 (2)								6
	日本救急学会認定 インストラクター ICLS コース	6	1			2	1			10
	アメリカ心臓病学会 インストラクター BLS コース	7 (2)	2			1				10
	栄養サポートチーム 専門療法士	3								3
	介護支援専門員	1 (1)	1 (1)							2
	訪問看護師 養成講習会修了者	2		1						3

(表3) 慈愛会看護部 管理者任用候補者選考結果及び昇任状況

病院		受験者 ()内 副看護師長	合格者 ()内 副看護師	合格率(%)	次年度 昇任者数	次年度以降の 昇任者数	受験者中 再受験者数
いづろ今村病院	2015年度	5	2	40.0%	2	0	0
	2016年度	4	3	75.0%	2	1	0
	2017年度	7 (5)	6 (5)	85.7%	0	0	0
	2018年度	4 (1)	4 (1)	100.0%	0	1	2
	2019年度	2	2	100.0%	1		0
今村総合病院	2015年度	15	11	73.3%	3	8	1
	2016年度	17 (11)	13 (9)	76.5%	2	1	3
	2017年度	11 (3)	10 (3)	90.9%	5	0	3
	2018年度	10	8	80.0%	0	0	1
	2019年度	6	5	83.3%	2		1
谷山病院	2015年度	8	8	100.0%	3	1	1
	2016年度	6 (3)	5 (2)	83.3%	1	2	0
	2017年度	3 (2)	1 (1)	33.3%	0	0	0
	2018年度	4 (1)	4 (1)	100.0%	1	1	2
	2019年度	1	1	100.0%	1		0
奄美病院	2015年度	2	2	100.0%	2	0	1
	2016年度	4 (2)	2 (1)	50.0%	1	0	0
	2017年度	5 (2)	4 (2)	80.0%	1	1	1
	2018年度	3 (2)	3 (2)	100.0%	1	0	0
	2019年度	4	3	75.0%	3		0
徳之島病院	2015年度	1	0	0.0%	0	0	0
	2016年度	4	3	75.0%	1	0	1
	2017年度	2	2	100.0%	2	0	1
	2018年度	2	2	100.0%	1	0	0
	2019年度	2	2	100.0%	0		0
愛と結の街	2015年度	2	2	100.0%	1	0	0
	2016年度	0	0	-			
	2017年度	2 (2)	2 (2)	100.0%	0	0	0
	2018年度	2 (2)	2 (2)	100.0%	0	0	0
	2019年度	3	3	100.0%	0		0
鹿児島中央看護専門学校	2019年度	1	1	100.0%	0		0
全体	2015年度	33	25	75.8%	11	9	3
	2016年度	35 (5)	26 (3)	74.3%	7	4	4
	2017年度	30 (22)	25 (19)	83.3%	8	1	5
	2018年度	25 (6)	23 (6)	92.0%	3	2	5
	2019年度	19	17	89.5%	7	0	1

※教員へ1

※教員へ1

(表4) 2019年度 マネジメントラダー 認定状況

		ラダーⅠ	ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ	副看護部長職	看護部長職
今村総合病院	認定数	2	1	0	0	0	0
	対象者	2	1			2	0
	認定率 (対象者に対する)	100.0%	100.0%			0.0%	
いづろ今村病院	認定数	2	1	2	1	0	0
	対象者	2	4			1	1
	認定率 (対象者に対する)	100.0%	100.0%				
谷山病院	認定数	1	0	7	2	0	0
	対象者	1	10			1	1
	認定率 (対象者に対する)	100.0%	90.0%			0.0%	0.0%
奄美病院	認定数	3	1	5	0		
	対象者	3	8				
	認定率 (対象者に対する)	100.0%	75.0%				
徳之島病院	認定数	4	2	0	0	0	0
	対象者	5	3			0	0
	認定率 (対象者に対する)	80.0%	66.7%				
認定の申請 5病院 計	認定数	12	5	14	3	0	0
	対象者	13	26			4	2
	認定率	92.3%	84.6%			0.0%	0.0%

業 績 一 覧

【論文】

徳之島病院

＜その他の論文、誌上発表＞

1. 上野博之, 福島絵理子, 吉田全子, 山上清美:「開放観察シート」で情報を共有し、開放時間を段階的に延長. 日精看ニュース, 2019年9月号

【学会発表】

今村総合病院

1. 松山郁子, 中重敬子, 久徳美鈴:活用される看護記録のイノベーション. 日本医療マネジメント学会, 2019年9月20-21日, 宮崎
2. 堂園涼子, 越路ゆかり:QC storyを用いた妊娠早期からの切れ目ない社会的ハイリスク妊産婦支援体制構築に向けた取り組み. 第60回日本母性衛生学会総会・学術集会, 2019年10月11-12日, 千葉(Web)
3. 吉森みゆき, 岩元佳美, 内山政子, 鹿島千歌, 紀奈保美, 大西翼, 北原美代子, 久徳美鈴, 坂元亮一:院内肺炎防止のための口腔ケアの効果. 第50回日本看護学会慢性期看護学術集会, 2019年11月14-15日, 鹿児島
4. 堂園涼子, 越路ゆかり, 久見木育代:当院産科混合病棟における社会的ハイリスク妊産婦への切れ目のない支援の現状と課題. 第50回日本看護学会慢性期看護学術集会, 2019年11月14-15日, 鹿児島
5. 亀澤礼奈, 竹ノ内明日香, 山口美由子, 上山りえ, 谷村あゆみ, 池田清夏, 中野伸亮, 宇都宮興:造血幹細胞移植を受けた患者の転倒・頭部打撲に関する実態調査. 第42回日本造血細胞移植学会総会, 2020年3月5-7日, 東京

いづろ今村病院

6. 濱田さゆり:緩和ケア病棟におけるグリーフケアの質向上. 第24回日本緩和医療学会学術大会, 2019年6月21-22日, 横浜
7. 上原奈津美:看護師・薬剤師の協働による専門性を活かした内服管理～開発した配薬カードの効果～. 日本医療マネジメント学会第18回九州・山口連合大会, 2019年9月20-21日, 宮崎
8. 尾堂ゆかり:世界遺産の町で目指す糖尿病認定看護師への道 展示. 第24回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 2019年9月21-22日, 千葉
9. 小松友美:内視鏡未経験者への教育～処置習得進捗一覧表の作成の取り組みと今後の課題. 第76回九州消化器内科内視鏡技師研究会, 2019年11月9日, 宮崎
10. 米永理恵:高齢者に対する集団教育の有用性と課題. 第50回日本看護学会慢性期看護学術集会, 2019年11月14-15日, 鹿児島
11. 里之園美佐代:腎盂バルーンカテーテルの自然抜去に関する背後要因分析. 第53回鹿児島県保健看護研究学会, 2020年2月1日, 鹿児島

谷山病院

12. 松竹尚紀, 山下喜美枝, 中蘭安, 鎌倉克幸, 小林詩織, 吉井百合子:退院への意欲を示さない長期入院患者の退院への思い. 第44回日本精神科看護学術集会, 2019年6月21-23日, 長崎
13. 吉永あかり, 永迫智子:転倒転落対策における精神科看護師への教育的介入～インタビューから導き出されたシャドー

研修の成果 第50回日本看護協会看護教育学会, 2019年8月8-9日, 和歌山

14. 内田宏貴:精神科看護師に特定行為は必要か?パート2 in 青森. 一般社団法人日本精神科看護協会日本精神科看護専門学会, 2019年11月9日, 青森

奄美病院

15. 村田めぐみ:安全ベルトを使用しない看護をめざして～医療従事者の意識と見守り強化の重要性～. 第26回日本精神科看護専門学会, 2019年11月9-10日, 青森
16. 富地幸代:介護福祉士・ナースエイドのやりがいからチーム力の向上へ. 第26回日本精神科看護専門学会, 2019年11月9-10日, 青森
17. 盛哲郎, 北郷有野:精神科入院5年超の退院への取り組み～多職種連携の個別的アプローチを振り返って～. 第50回日本看護学会慢性期看護学会, 2019年11月14-15日, 鹿児島

徳之島病院

18. 上野博之, 福島絵理子, 吉田全子, 山上清美:開放観察シートを活用した行動制限最小化への取り組み. 第44回日本精神科看護学会, 2019年6月21-23日, 長崎

愛と結の街

19. 末永真由美:鹿児島の最南端の2つの島へ精神科看護を届けるシステムづくりとその活動報告. 第50回日本看護学会-在宅看護-学会, 2019年9月14日, 宇都宮
20. 海平由紀子:認知症利用者のコミュニティ形成を目指して～ここが私たちの憩いの場～. 全国介護老人保健施設大会IN別府, 2019年11月21日, 大分
21. 切田涼:クリニカルパスを活用して～目標に沿った個別支援計画の提供～. 全国介護老人保健施設大会IN別府, 2019年11月21日, 大分

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 小波津武志:脱毛時の対応について～頭皮ケアについて～. 今村総合病院がん患者相談会, 2019年4-12月, 鹿児島
2. 吉森みゆき:感染対策ワーキンググループアドバイザー. 日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会, 2019年5月10日, 鹿児島
3. 鶴田奈緒美:認知症の理解. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2019年5月15日, 鹿児島
4. 中村倫丈:呼吸のフィジカルアセスメント. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2019年6月5日, 鹿児島
5. 小波津武志:成人看護学方法論V. 鹿児島中央看護専門学校非常勤講師, 2019年6-9月, 鹿児島
6. 中村倫丈:多重課題シミュレーション. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2019年7月10日, 鹿児島
7. 吉森みゆき:感染対策ワーキンググループアドバイザー. 日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会, 2019年7月12日, 鹿児島
8. 中村倫丈:呼吸・循環のフィジカルアセスメント. 2019年度鹿児島看護協会鹿児島地区新人研修会, 2019年7月27日,

鹿児島

9. 鶴田奈緒美:カンフォタブルケア. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2019年8月2日, 鹿児島
10. 小濱奈々:SBARについて. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2019年8月7日, 鹿児島
11. 吉森みゆき:感染予防について. 企業内生涯学習セミナー, 2019年8月18日, 鹿児島
12. 中村倫丈:クリティカル領域の安全管理. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2019年8月21日, 鹿児島
13. 中村倫丈:急変に気付くフィジカルアセスメント. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2019年9月4日, 鹿児島
14. 小濱奈々:窒息の対応. 慈愛会認定看護師会出前講座 鴨池慈風苑, 2019年9月12日, 鹿児島
15. 平川あゆみ:BLS研修. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2019年10月2日, 鹿児島
16. 吉森みゆき:鹿児島7施設を対象とした直接観察法による手指衛生実践評価. 第31回鹿児島感染制御ネットワーク学術講演会, 2019年10月19日, 鹿児島
17. 小濱奈々:誤嚥・窒息時の初期対応について. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2019年11月6日, 鹿児島
18. 吉森みゆき:感染対策ワーキンググループアドバイザー. 日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会, 2019年11月8日, 鹿児島
19. 鶴田奈緒美:認知症の理解 疾患の特徴と治療・ケア. 慈愛会認定看護師会出前講座 尾辻病院, 2019年11月12日, 鹿児島
20. 牧野桃子:自己血輸血看護師認定取得前の当院の課題と認定取得後の取り組み. 日本自己血輸血・周術期輸血学会教育セミナー, 2019年11月16日, 広島
21. 切手康加:感染管理. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2019年11月20日, 鹿児島
22. 中村倫丈:せん妄のマネジメント. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2019年11月27日, 鹿児島
23. 前田真紀子:放射線治療が始まるまでの看護師の役割. 第2回今村総合病院トモセラピーの夕べ, 2019年11月30日, 鹿児島
24. 鶴田奈緒美:認知症の理解. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2020年1月8日, 鹿児島
25. 平川あゆみ:救急看護とは. 鹿児島中央看護専門学校 BLS研修, 2020年1月20日, 鹿児島
26. 平川あゆみ:災害看護について. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院, 2020年1月22日, 鹿児島
27. 福田美幸:伝えたい 看護師の魅力. 伊敷中学校1年生「社会人に学ぶ」, 2020年1月23日, 鹿児島
28. 中村倫丈:精神科におけるフィジカルアセスメント～急変させないためのコツ～. 日本精神科看護協会鹿児島県支部研修会, 2020年1月25日, 鹿児島
29. 恵真紀:看護研究活動支援体制の検討. 第53回鹿児島県保健看護研究学会, 2020年2月1日, 鹿児島
30. 川上千森:経験から考える洗浄. 第9回鹿児島減菌供給を考える会, 2020年2月1日, 鹿児島
31. 切手康加:ノロウイルス感染対策. 慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人あおぞら会岩尾病院, 2020年2月27日, 鹿児島
32. 小濱奈々:急変のサインについて. 南部保健センター, 2020年2月27日, 鹿児島

いづろ今村病院

33. 大宮司直美：BLS インストラクター．今村総合病院 AHA BLS プロバイダーコース，2019 年 4 月 6 日，7 月 6 日，鹿児島
34. 中窪尊子：ELNEC - J. 鹿児島大学保健学科，2019 年 7 月 16 日，鹿児島
35. 上野友佳：食中毒について～とくに夏は食中毒にご用心～．易居町公民館生活講座，2019 年 7 月 25 日，鹿児島
36. 大宮司直美：ICLS インストラクター．今村総合病院 ICLS コース，2019 年 7 月 28 日，鹿児島
37. 松下鮎美：サポートを必要とする高齢患者～インスリン導入時と導入後の看護について考える～．第 60 回鹿児島県糖尿病教育看護師研究会，2019 年 8 月 1 日，鹿児島
38. 尾堂ゆかり：外来での腎症療養支援のポイントとコツ．鹿児島県地域糖尿病療養指導士認定機構第 2 回 Delivery Meeting for Kagoshima，2019 年 8 月 2 日，鹿児島
39. 大宮司直美：ICLS インストラクター．今村総合病院 ICLS コース，2019 年 8 月 18 日，鹿児島
40. 中窪尊子：ELNEC - J. 鹿児島市立病院，2019 年 9 月 14-15 日，鹿児島
41. 上野友佳：幼児期に起こりやすい感染症の基礎知識から感染対策について．社会福祉法人慈愛会きずな保育園，2019 年 9 月 26 日，鹿児島
42. 中窪尊子：実習や講義に役立つ看護学生のためのがん看護講座「看護学生ができるがんの痛みへの看護」．鹿児島がん看護研究会，2019 年 9 月 28 日，鹿児島
43. 大宮司直美：ICLS インストラクター．今村総合病院 ICLS コース，2019 年 10 月 26 日，鹿児島
44. 上野友佳：感染症について～インフルエンザのポイントを押さえて予防しましょう～．易居町公民館生活講座，2019 年 10 月 15 日，鹿児島
45. 上野友佳：環境整備から感染対策に関する研修．社会福祉法人慈愛会サービス付高齢者向け住宅架け橋，2019 年 10 月 24 日，鹿児島
46. 大宮司直美：ICLS インストラクター．今村総合病院 ICLS コース，2019 年 11 月 17 日，鹿児島
47. 上野友佳：インフルエンザ対策．慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人聖心会かごしま高岡病院，2019 年 12 月 11 日，鹿児島
48. 中窪尊子：緩和ケアについて．易居町公民館生活講座，2020 年 1 月 28 日，鹿児島
49. 有村智子：ゼネラリストが生き活きと働き続けられる職場環境づくり～ナラティブ導入をめざして．鹿児島県看護協会保健看護研究会，2020 年 2 月 1 日，鹿児島
50. 中窪尊子：ELNEC - J. 鹿児島県看護協会，2020 年 2 月 15-16 日，鹿児島

谷山病院

51. 加藤和広，今村健次：精神看護学方法論Ⅰ．学校法人赤塚学園，2019 年 8 月 28 日-10 月 30 日，鹿児島
52. 中尾明美：感染予防対策（基礎編）．公益社団法人鹿児島県看護協会鹿児島地区研修，2019 年 9 月 7 日，鹿児島
53. 中蘭明子：統合演習Ⅰ．公益社団法人鹿児島県看護協会認定看護管理者ファーストレベル教育，2019 年 9 月 24 日，鹿児島
54. 内田宏貴：認定看護セミナー．学校法人原田学園鹿児島医療技術専門学校講義，2019 年 10 月 15 日，鹿児島
55. 加藤和広，今村健次，内田宏貴，杉田真人：精神科認定看護師企画研修会．日本精神科看護協会鹿児島県支部第 7 回研修，2019 年 11 月 30 日，鹿児島
56. 中尾明美：今から急増するインフルエンザ対策について．慈愛会認定看護師会出前講座 医療法人尚愛会小田原病院職員研修，2019 年 11 月 21 日，鹿児島
57. 中尾明美：鹿児島県医師会医療関連感染対策 Q&A．鹿児島県医師会医療関連感染対策研修会，2019 年 12 月 11 日，鹿児島
58. 加藤和広：うつ病と認知症について．鹿児島市石谷町仁田尾団地自治公民館市民講座，2019 年 12 月 19 日，鹿児島

愛と結の街

- 59. 米澤美智代：褥瘡予防ケア「スキンケア」. 第12回鹿児島県在宅褥瘡セミナー, 2019年6月15日, 鹿児島
- 60. 末永真由美：看護管理. 学校法人南学園鹿児島医療福祉専門学校講義, 2019年6月～, 鹿児島
- 61. 米澤美智代：ストーマ・褥瘡管理. 鹿児島中央看護専門学校老年看護学方法論Ⅰ, 2019年7月11日, 8月18日, 9月5日, 鹿児島
- 62. 米澤美智代：褥瘡ケアの基本. 鹿児島厚生連病院新人研修, 2019年9月4日, 鹿児島
- 63. 米澤美智代：ストーマ装具選択. 社会法人天陽会中央病院職員研修, 2019年9月25日, 鹿児島
- 64. 末永真由美：与論島の精神科訪問看護について. 与論町保健センター精神科看護研修会, 2019年9月17日, 鹿児島
- 65. 末永真由美：訪問看護の実際. いづろ今村病院ラダーⅢ研修, 2019年10月3日, 鹿児島
- 66. 末永真由美：沖永良部島の精神科訪問看護について. 和泊町・知名町保健センター精神科看護研修会, 2019年10月17日, 鹿児島
- 67. 末永真由美：離島僻地における顔の見える関係からの地域包括ケアシステム構築の試み. 鹿児島県看護連盟シンポジウム, 2019年11月24日, 鹿児島
- 68. 末永真由美：訪問看護の実際. 今村総合病院ラダーⅢ研修, 2019年11月29日, 12月4日, 鹿児島
- 69. 末永真由美：老年看護学 在宅看護論. 学校法人南学園鹿児島医療福祉専門学校看護師国家試験対策特別講義, 2020年1月, 鹿児島
- 70. 原口悦江：介護施設における事故予防と急変時の対応. 公益社団法人鹿児島県看護協会一般研修, 2020年2月19日, 鹿児島

法人事業本部 看護部支援室

- 71. 木佐貫涼子：資源管理Ⅰ. 公益社団法人鹿児島県看護協会認定看護管理者ファーストレベル教育, 2019年10月3日, 鹿児島

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

リハビリテーション部門

中長期計画	2019年度 事業計画 (Stage3)	実施 2019.4月～2020.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
公益法人として県民への知識・技術の還元	①法人内リハ部門 生産性の向上 ・標準 18 単位／day／1 人（身障系 PT OT ST）、 ・20 件／day／1 人（精神科 OT）	今村総合病院では、標準 18 単位／day をキープする事で、セラピスト 1 人、約 1 千万／year の生産性を目標とした。 他病院・施設も生産性向上に努めた。	今村総合病院では、セラピスト 1 人、約 980 万／y の生産性をクリア。 今年度は OT4 人・PT2 人の産休・育休の影響が考えられた。 他施設でも、セラピストの産休・育休の報告あり。	産休・育休期間での、期間限定補充者の活用を積極的に行う。
	②地域への貢献活動・脳卒中地域連携ネットワーク他	奄美大島、沖永良部への障害予防教室（年 2 回） 鹿児島市地域リハ支援事業へ講師として PT OT ST 参加 糖尿病患者会、小原町内会、鴨池・いづろ健康祭りへの協力 鹿児島脳卒中・糖尿病・地域連携活動への参加 スポーツ大会へのトレーナー業務にて PT（AT）派遣	医療保険での急性期・回復期・地域包括・緩和ケア病棟でのセラピスト、介護保険での地域・訪問リハ、また精神科領域リハのセラピストそれぞれが、専門性の中で地域貢献活動を行っている。	専門性に基づいた地域貢献活動は、これからも慈愛会リハビリ部として継続していくことが、公益法人として重要である。
	③各自のレベル向上（専門家としてのスキルアップ）	リハスタッフ各自、PT OT ST 協会主催研修会受講 認定理学療法士（脳卒中・呼吸）・CDE・呼吸療法認定士・心臓リハ指導士・福祉住環境用具相談・認知症専門士・介護予防推進・地域包括ケアリーダー養成・他資格取得	専門家としてのスキルアップと、治療の質向上を目的に各自活動。 認定・専門セラピスト含め、他資格取得にてリハ治療の幅が広がる。	各自に対し、モチベーションアップの為の環境づくり。 2020 年度からの、慈愛会リハスタッフ教育ラダーの実施
医療から介護への「地域」へ（地域包括ケアシステム）から	①地域包括ケア・介護予防リーダー指導者育成（講習会年 2 回）	地域包括ケアシステム理解も含め、鹿 PT OT ST 協議会主催の各リーダー研修会受講にて指導者へのスキルアップと同時に、各地域での様々な講演・指導を開催	今年度は、今村総合病院 PT1 名が、地域包括ケア・介護予防リーダー研修受講。県内での研修会が、離島と大開開催であった。	地域包括ケアシステムの基礎となり、在宅復帰指導にも役立つ為、他施設にも、再啓発を実施。
	②慈愛会内各リハ施設のリハスタッフローテーション（PT OT ST 1 人ずつ／2～3 年）	今村総合病院（キュア）と老健（ケア）との（ST）スタッフ 10 月異動 老健、いづろ今村病院、今村総合病院、訪問間、また、精神科 OT 領域での定期的スタッフ異動にてスキルアップを検討	医療保険と介護保険施設勤務の言語聴覚士同士の異動にて、個人と慈愛会リハビリ部の経験値向上に繋がった。 精神科作業療法士は、離島と谷山病院との OT 治療の幅の広さ・違いを経験・伝達した。	2020 年度は、5 月に今村総合病院の OT を老健へ異動、10 月には谷山病院と今村総合病院の OT 同士の異動、また今村総合病院からいづろ今村病院へ ST 異動も予定。
	③施設から自宅へのシームレスな支援	下半期、老健短時間デイケアへの移行 老健居宅サービスの実施・充実（デイサービスとの統合） 徳之島病院：沖永良部と与論への訪問看護（OT 同行）を奇数月に実施	老健での通所と介護のリハ開始で、お互いの長所を出して運用。 自宅・地域への退院へ向けてのアプローチとなっている。	デイケア・デイサービス、また訪問リハ等を組み合わせ、在宅への橋渡しができるスキルを磨くと同時に、病院から自宅へ帰られる時の退院時リハ指導や退院前自宅訪問を積極的に展開する必要性あり。
Big Data の確立（慈愛会リハの存在意義）	①慈愛会各施設内でのアウトカムデータの蓄積・講演活動・症例発表	慈愛会各施設での治療後のアウトカムデータ蓄積と分析 蓄積アウトカムデータに基づいた各セラピストの県内での講演・講師活動（地域貢献） 今村総合病院：30、いづろ今村病院：10、谷山病院：4、徳之島病院：1 それぞれのリハスタッフが講師となり実施	毎日の臨床業務で培ったデータ等を基に、鹿児島県（市）にて、経験のあるセラピストが対外講師活動を展開し慈愛会の広報に繋がっている。	部署リーダーや中堅層のスキルアップと、講演ができる現場の体制づくりが必要。様々な経験ができる機会を増やしていく。
	②慈愛会リハ合同活動発表会から九州・全国学会へ	今村総合病院での全国・九州学会発表 11 演題（昨年は 17 演題） ・脳卒中関係演題（PT5・OT1・ST3 演題） ・スポーツ整形関係 PT2 演題 ・谷山病院 OT 学会発表 2 演題 対象患者のリハ効果、顔面麻痺患者の心理調査	毎年開催している、慈愛会リハスタッフ活動発表会（スポーツ整形・一般身障・精神科リハ）での発表を、九州・全国学会への登壇と位置づけて、各自に指導を実施。	毎年 4・5・12 月に向けての、部門での活動継続 スキルのある経験者が、新人指導・相談が出来る環境設定
	③精神科病院での身体リハへの取り組み・院内外身障・精神科リハ講演活動	谷山病院・奄美病院に理学療法士それぞれ 1 名ずつを配置 ・身体リハの点数化→小グループでのリハを PT・OT が共同 ・呼吸介助・ボジョニング（今村総合病院）、院内カフェ・精神科 OT に対する院内研修会実施	認知症ケア病棟・急性期病棟を中心に活動 精神科 OT の身体リハを PT がフォロー 看護師・介護士を対象に院内研修会を開催しチーム医療に繋げる。	2020 年度の診療報酬改定にて、精神科療養病棟での疾患別リハの算定が可能となった事で、今年度、各精神科施設でのリハに関して情報収集、準備等を検討する。 実技講習を積極的に取り入れる。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会リハビリ部は、約140人のPT・OT・STが所属しております。

一般急性期病院として、いづろ今村病院・今村総合病院、介護保険領域として、老健愛と結の街グループ・高麗町クリニック、精神科領域では、谷山病院・奄美病院・徳之島病院があり、それぞれの施設で、臨床・教育・研究に携わっています。(慈愛会リハ施設概況表参照)

1. 慈愛会各施設リハビリ部責任者TV会議(4回/年)

(一般身障：いづろ今村病院・今村総合病院・愛と結の街・高麗町クリニック、精神科：谷山病院)

2019年5月22日、8月28日、11月27日、2020年2月26日

※各施設のリハ責任者が集合し、村山慈愛会リハビリ統括室長の下、

- ①各施設リハ部門の現状報告と展望
- ②今年度の慈愛会リハ活動発表会準備会議
- ③人事異動

(いづろ今村病院と今村総合病院、今村総合病院と愛と結の街にて、セラピストの人事異動を実施。慈愛会内での環境変化にて更なるスキルアップに繋げる)

- ④物品有効活用
(老健愛と結の街のリハ機器を今村総合病院へ。有効活用へ結びつける)
- ⑤その他

(慈愛会フィロソフィ、事業計画・報告、教育・研修、診療報酬改定、飲酒運転防止等)

以上について話し合い、各施設の情報共有と連携向上に繋げている。

2. 慈愛会精神科リハビリTV会議(12回/年)

(精神科：谷山病院・奄美病院・徳之島病院)

2019年4月12日～2020年3月17日(原則、毎月第2月曜日)

※各精神科施設のリハ責任者が集合し、村山慈愛会リハ統括室長の下、

- ①各精神科施設リハ部門の現状報告と展望
- ②今年度の慈愛会精神科リハ活動発表会準備会議
- ③人事異動

(谷山病院と奄美病院、谷山病院と徳之島病院にて、セラピストの人事異動を実施。慈愛会内での環境変化にて更なるスキルアップに繋げる)

④物品有効活用

⑤その他

(慈愛会フィロソフィ、事業計画・報告、教育・研修、診療報酬改定、飲酒運転防止等)

以上について話し合い、各施設の情報共有と連携向上に繋げている。

合同研修会

「第8回 慈愛会リハビリスタッフ合同活動発表会」

(慈愛会身障系の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を中心に、日頃の業務、研究の結果や活動の内容を発表)

・2019年4月13日(土) 17:00-19:10

・ベイサイド錦江3階 大会議室

・参加者所属施設：今村総合病院、いづろ今村病院、谷山病院、高麗町クリニック、愛と結の街、奄美病院、徳之島病院

・司会：今村総合病院 作業療法士 日高 まり子

【内容】

1. 開会の挨拶 公益財団法人 慈愛会
リハビリテーション統括室長 村山 芳博
2. 理事長挨拶
公益財団法人 慈愛会 理事長 今村 英仁
3. 活動発表

第1セッション 座長 今村総合病院 リハビリテーション部 理学療法士副主任 桑野 大介

①「ビフォーアフターの地域リハを経験して ～慈愛会での応用を考える～」いづろ今村病院 リハビリテーション部 理学療法士 土井 敦

②「地域包括ケア病棟での取り組み ～報告と今後の課題について～」いづろ今村病院 リハビリテーション部 理学療法士 森永 恭子

③「地域包括ケア病棟での情報共有の重要性 ～在宅復帰に向けて～」いづろ今村病院 リハビリテーション部 理学療法士 西 賢一郎

④「膝前十字靱帯再建術後における再損傷と脛骨後方傾斜角度の関連性」今村総合病院 リハビリテーション部 理学療法士 村山 佑一郎

第2セッション 座長 今村総合病院 リハビリテーション部

ション部 作業療法士副主任 新福 友果子

⑤「脳梁梗塞により脳梁離断症候群を呈した1症例
～自動車運転に着目して～」。 今村総合病院 リ
ハビリテーション部 作業療法士 宮城 里佳

⑥「純粋な脳梁離断症状を呈した一症例 ～神経症
状と自動車運転に及ぼす影響～」。 今村総合病院
リハビリテーション部 言語聴覚士 西田 信太郎

⑦「老健におけるシームレスな生活期リハへの取り組
み～生活機能向上連携加算を通して～」。 介護老
人保健施設 愛と結の街 理学療法士 原田 良二

4. 総括 公益財団法人 慈愛会 リハビリテーション部
部長 堂園 浩一郎

「第8回 慈愛会精神科リハビリテーション合同活動発表会」

・2019年5月18日（土）17：00-19：15

・メイン会場：谷山病院 じあいホール サブ会場：奄
美病院、徳之島病院

・総合責任者：島崎 康子、実行委員長：小川 晃久、総
合司会：田畑 典子

【内容】

1. 理事長挨拶 公益財団法人 慈愛会 理事長 今村 英仁

2. 活動発表

第1セッション 座長 谷山病院 作業療法士 東泊
由紀

①「当院の依存症プログラムにおける現状と課題」。

谷山病院 作業療法士 中山 陽平

②「慈愛会精神科病院3施設を経験して」。 奄美病
院 作業療法士 椿山 直己

③「作業時間短縮を目指し、手順書の作成と活用を実
施した発達障害の一例」。 就労支援センターステッ
プ 作業療法士 鯉坂 憲弘

④「徳之島病院でのデイケアの取り組み」。 徳之島
病院 作業療法士 古田 真悟

第2セッション 座長 谷山病院 作業療法士 向原
美夏

⑤「地域で過ごす一利用者にとってのデイケアとは
～」。 谷山病院 作業療法士 城間 いずみ

⑥「徳之島病院での一年」。 就労支援センターステッ
プ 作業療法士 榎田 ちひろ

⑦「隔離処遇中の症例に対する個別作業療法の導入」。
奄美病院 作業療法士 久保 楓

⑧「基礎訓練調理プログラムにおける取り組みの効果
と今後の課題」。 就労支援センターステップ 作
業療法士 大西 京子

3. シリーズ病院紹介

谷山病院TQM活動紹介

「Opening Time Revolution ～落ち着いて個別OT
を始めよう～」。 リハビリテーション科QCサーク
ル“ヴィーナス”2018年度リーダー 田畑 典子

4. 総括 公益財団法人 慈愛会 リハビリテーション
統括室長 村山 芳博

技能・能力向上に向けた取り組み

主な資格取得状況（2019年度内取得）

- ・脳卒中認定理学療法士：PT 2名（今村総合病院）
- ・呼吸認定理学療法士：PT 1名（いづろ今村病院）
- ・糖尿病療養指導士（CDE）：PT 2名（いづろ今村病院）
- ・3学会合同呼吸療法認定士：PT 3名（今村総合病院）
- ・心臓リハビリテーション指導士：PT 1名（今村総合病院）
- ・福祉住環境コーディネーター2級：PT 1名（いづろ今村病院）、PT 2名（高麗町クリニック）
- ・福祉用具専門相談員：PT 1名（高麗町クリニック）
- ・認知症ケア専門士：OT 1名（谷山病院）1名（愛と結の街）
- ・介護予防推進リーダー：PT 1名（今村総合病院）
- ・地域包括ケアリーダー：PT 1名（今村総合病院）
- ・厚労省の臨床実習指導者講習会受講：PT 2名（今村総合病院）、OT 4名（谷山病院）
- ・BLSヘルスケアプロバイダーコース：OT 1名（今村総合病院）
- ・訪問型職場適応援助者（ジョブコーチ）：OT 1名（谷山病院）

※各リハスタッフ、PT・OT・STの国家資格だけでなく、配属先の臨床に役立つ資格を取得し、各個人のスキルアップと、他職種とのチーム医療に役立てている。

公益財団法人慈愛会 各施設リハビリ概況表 (2020 年 4 月現在)

施設名	今村総合病院			リハビリテーション基準			脳血管Ⅰ・運動器Ⅰ・呼吸器Ⅰ・廃用Ⅰ・がんリハ		
病床数	399 床	外来患者：600 名／日			リハビリ対象患者：入院 260 ～ 270 名、外来 120 名／日				
職員数	理学療法士	49 名 (内 1 名育休)	作業療法士	19 名 (内 1 名育休)	言語聴覚士	17 名	リハ助手	5 名 (内パート 1 名)	
参考事項	脳血管障害等の急性期 (ICU・SCU 含む) と回復期を中心に、リハビリ専門医 4 名、回復期リハビリ病棟 Ns と共に PT・OT・ST アプローチを密に行い、MSW (常勤 10 名) の協力のもと早期の家庭・社会復帰を目指します。その他、運動器・呼吸・廃用症候群への PT、血液・消化器等のがんに対しての PT、高次脳機能障害・病棟 ADL 重視の OT、失語症・摂食嚥下アプローチの ST、急性期身体症状発症の精神科患者への廃用予防リハ等、様々な経験が可能です。そして、これから循環器リハにも注力したいと考えています。また、スポーツ整形外科も 10 年前に開設 (スポーツ専門 Dr.3 名) し、1 階のスポーツ整形リハセンターにて PT (14 名) と AT (アスレチックトレーナー) が協力した、機能回復・スポーツ復帰へのリハビリと、障害予防の為に活動 (離島等への出張教室開催) に力を入れています。								

施設名	いづろ今村病院			リハビリテーション基準			脳血管Ⅲ・廃用Ⅲ・運動器Ⅱ・呼吸器Ⅰ・がんリハ		
病床数	130 床	外来患者：200 名／日			リハビリ対象患者：入院 25 ～ 35 名／日、外来 0 名／日				
職員数	理学療法士	8 名 (内通所 2 名)	作業療法士	2 名 (内通所 1 名)	言語聴覚士	2 名 (うち通所 1 名)	リハ助手	0 名	
参考事項	当院には DPC 病棟 (57 床) 以外に地域包括ケア病棟 (53 床)、緩和ケア病棟 (20 床) があり、全病棟のリハ指示に対応します。対象者によって病期は異なりますが、急性期～回復期～維持期～緩和期～終末期までリハビリ専門職として関与し、“積極的な能力向上” から“在宅調整”まで幅広い支援を行います。主な診療科は糖尿病内科、消化器内科、血液内科、循環器内科で、個別リハビリ以外にリハビリ料算定外で運動療法講義や自主訓練指導、集団体操も行います。総合病院と異なりリハビリ専門医は在籍しないため、「疾病の状態を加味した ADL の予後予測」を見極め、多職種に情報を提供して対象者の生活をプロデュースする重要な役目はリハビリスタッフが担います。また健康管理センター (人間ドック) との連携で特定保健指導での運動指導も担当し、生活習慣病などの疾病予防分野にも携わっています。さらに通所リハビリや訪問リハビリにも従事しており、介護保険分野の事業にも力を入れています。今後はリハビリ栄養の領域を充実させるべく準備中です。								

施設名	高麗町クリニック			リハビリテーション基準			訪問リハビリテーション (介護・医療)		
病床数	0 床	外来患者：64 名／日			リハビリ対象患者：5.9 名／日				
職員数	理学療法士	2 名	作業療法士	0 名	言語聴覚士	0 名	リハ助手	0 名	
参考事項	当クリニックの訪問診療部門や各利用者の主治医・事業所と密な連携を図りつつ訪問リハビリテーションを提供しています。理学療法士が利用者の状況やニーズに合わせ、心身機能・活動・参加などの「生活機能の維持又は向上」を図るように支援を行っています。								

施設名	老健施設愛と結の街グループ			老健施設基準			超強化型老健		
病床数	100 床	外来患者：0 名／日			リハビリ対象患者：入所 100 名、通所リハ 50 名／日 (午前・午後 25 名ずつ)				
職員数	理学療法士	6 名 (内 2 名育休)	作業療法士	6 名	言語聴覚士	2 名	歯科衛生士	1 名	
参考事項	慈愛会内外の病院・施設と連携をとり、在宅復帰・支援に向けて様々なリハビリテーションを展開しています。生活を見る視点として、環境調整 (シーティング、ポジショニング、福祉用具等) や作業機会の積極的な提供を行うとともに、認知症のケア、リハビリテーションにも力をいれています。ST は歯科衛生士と訪問歯科と連携し、口腔機能への専門的なアプローチを行っています。在宅支援として通所リハ、訪問リハビリ、併設施設で精神科訪問看護事業を行い、目標達成型のリハビリテーションを多職種協働にて行っています。								

施設名	谷山病院			リハビリ基準		精神科作業療法・精神科デイナイトケア・認知症患者リハビリテーション			
病床数	392 床	外来患者：130 名／日			リハビリ対象患者：入院 110 名、外来 15 名、デイケア 50 名／日				
職員数	理学療法士	1 名	作業療法士	17 名	言語聴覚士	0 名	音楽療法士	(非常勤職員) 3 名	
参考事項	精神一般病棟に加え、急性期治療病棟・療養病棟・認知症治療病棟の機能を持つ病院です。24 時間 365 日の精神科救急への対応を備えており、早期作業療法に取り組んでいます。心理教育、ARP (アルコールリハビリテーションプログラム)、退院準備プログラム、SST にも力を入れています。デイケアや就労支援センターなどの在宅部門でも作業療法士が勤務、また常勤の理学療法士と連携を取りながら身体機能への対応を進めています。								

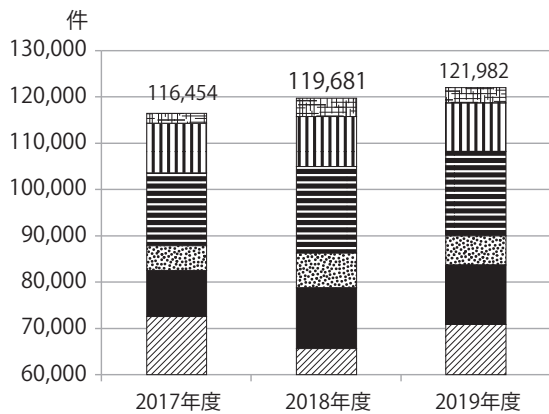
施設名	奄美病院			リハビリ基準		精神科作業療法・精神科デイナイトケア・認知症患者リハビリテーション			
病床数	348 床	外来患者：77 名／日			リハビリ対象患者：入院 200 名、デイケア 40 名／日				
職員数	理学療法士	1 名	作業療法士	8 名 (内 1 名育休)	言語聴覚士	0 名	リハ助手	0 名	
参考事項	現在作業療法士 7 名 (精神科作業療法 5 名、認知症病棟 1 名、デイケア 1 名) 勤務しております。急性期治療病棟における早期作業療法の充実・長期入院患者の退院促進を特に重点的に実施しています。また、2017 年度より理学療法士が常勤配置となっており、認知症疾患リハビリテーションや、身体的リハビリテーション (非算定) を実施しています。2018 年度よりデイケアが大規模となり、年々マンパワーが増えており、地域移行定着の充実力を入れています。								

施設名	徳之島病院			リハビリテーション基準			精神科作業療法・精神科デイケア		
病床数	206 床	外来患者：45.8 名／日			リハビリ対象患者：入院 140 名、デイケア 12 名／日				
職員数	理学療法士	0 名	作業療法士	6 名	言語聴覚士	0 名	リハ助手	0 名	
参考事項	作業療法士 6 名 (精神科作業療法 4 名、デイケア 1 名) の配置となっています。選択できるプログラムの充実と長期入院患者の退院促進を重点的に行っています。また、積極的に島内・島外の訪問看護へも同行し地域定着・地域移行に取り組んでいます。								

各種指標

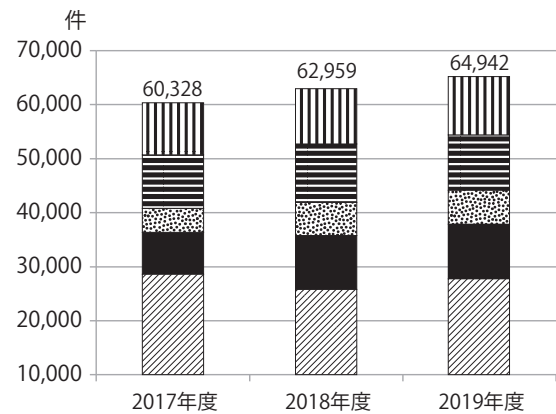
今村総合病院

3Fリハセンター 実施件数



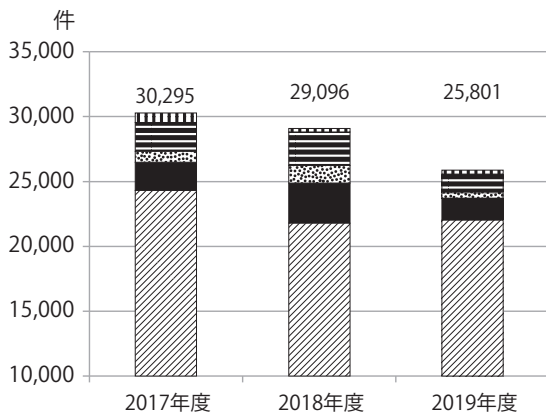
	2017年度	2018年度	2019年度
■実施件数	116,454	119,681	121,982
▨脳血管	72,602	65,659	71,173
■運動器	9,909	13,108	12,435
▨呼吸	5,343	7,456	5,922
▨廃用	15,758	18,733	17,237
▨がん	10,672	10,822	11,736
▨摂食	2,170	3,903	3,479

3F PT実施件数



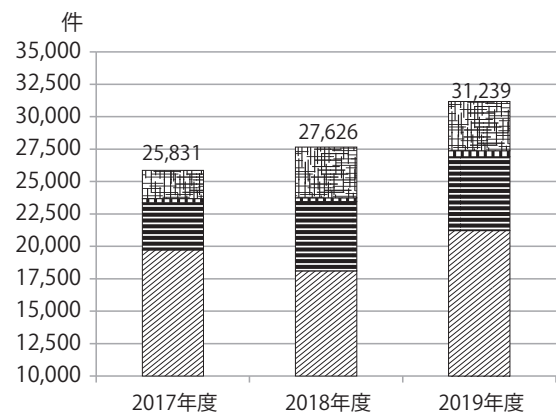
	2017年度	2018年度	2019年度
■実施件数	60,328	62,959	64,942
▨脳血管	28,595	25,789	27,175
■運動器	7,735	10,005	10,806
▨呼吸	4,496	6,096	5,536
▨廃用	9,880	10,809	10,332
▨がん	9,622	10,260	11,093

OT件数



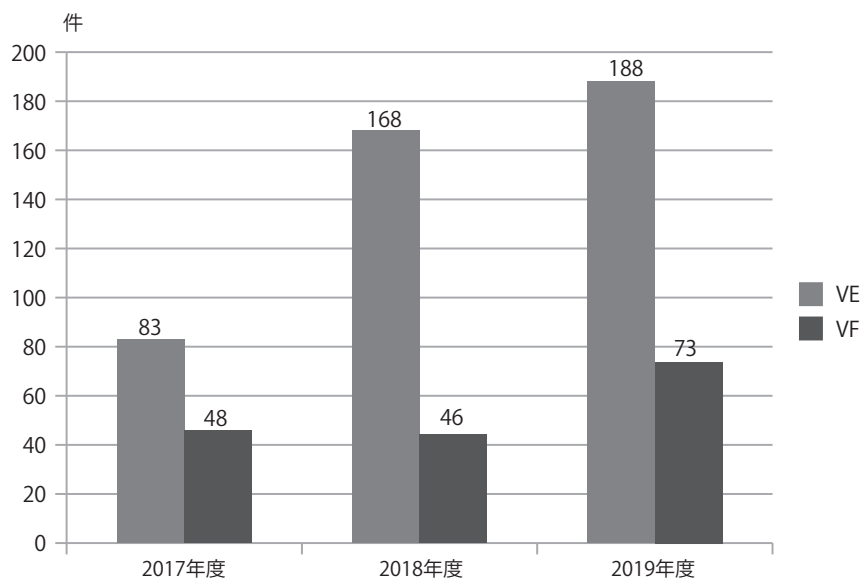
	2017年度	2018年度	2019年度
■実施件数	30,295	29,096	25,801
▨脳血管	24,297	21,776	22,282
■運動器	2,174	3,103	1,629
▨呼吸	847	1,360	386
▨廃用	2,242	2,582	1,304
▨がん	735	275	200

ST件数



	2017年度	2018年度	2019年度
■実施件数	25,831	27,626	31,239
▨脳血管	19,710	18,094	21,716
▨廃用	3,636	5,342	5,601
▨がん	315	287	443
▨摂食	2,170	3,903	3,479

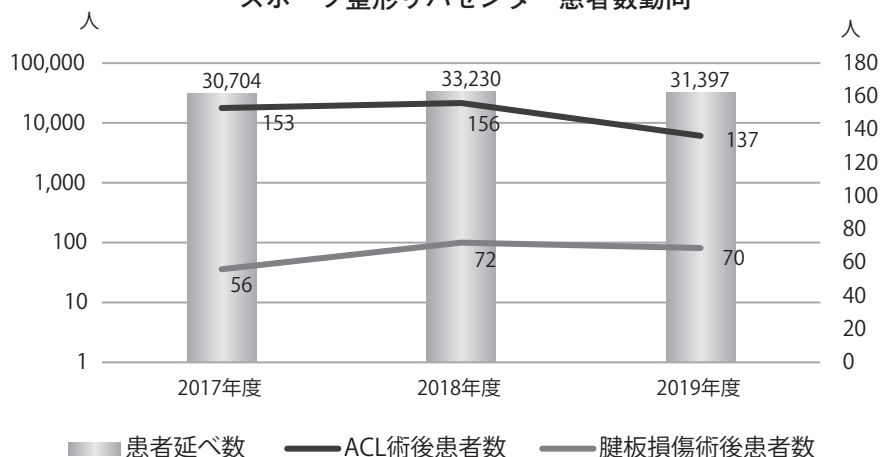
嚥下内視鏡検査（VE）、嚥下造影検査（VF）実施件数



【今村総合病院 3階リハビリテーションセンターの実績・特色】

- ・リスク管理のもと、入院後すぐにリハビリテーションを開始し、365日（土日・祝日も）継続して実施します。
- ・脳卒中、呼吸器、運動器、がん、外科術後・内科治療後の廃用症候群、嚥下障害、高次脳機能障害等について、専門セラピスト（PT・OT・ST）による質の高いリハビリテーションを提供します。
- ・麻痺の回復を助ける・運動量増加に繋がる電気刺激装置、体重の一部を免荷しながら歩く練習ができる歩行装置、身体の筋肉量等を測定できる装置、その他の最新の機器を用いて実施します。
- ・鹿児島市地域リハビリテーション支援活動に協力しています。

スポーツ整形リハセンター患者数動向

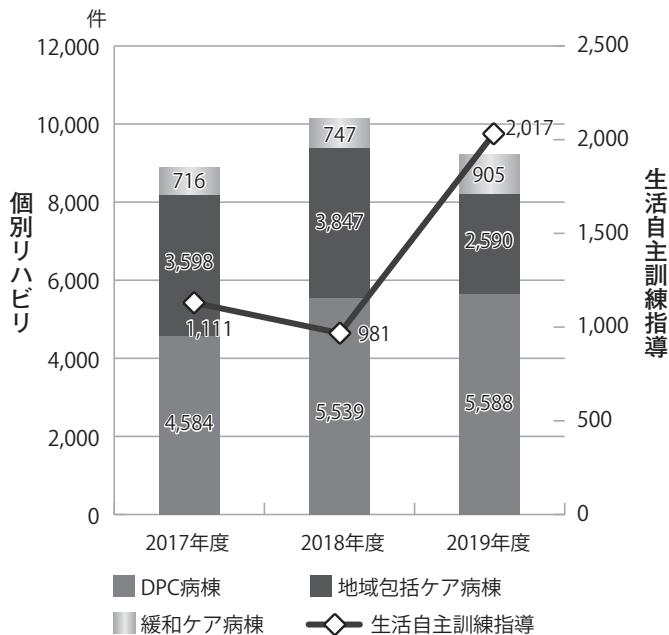


【スポーツ整形リハセンターの実績・特色】

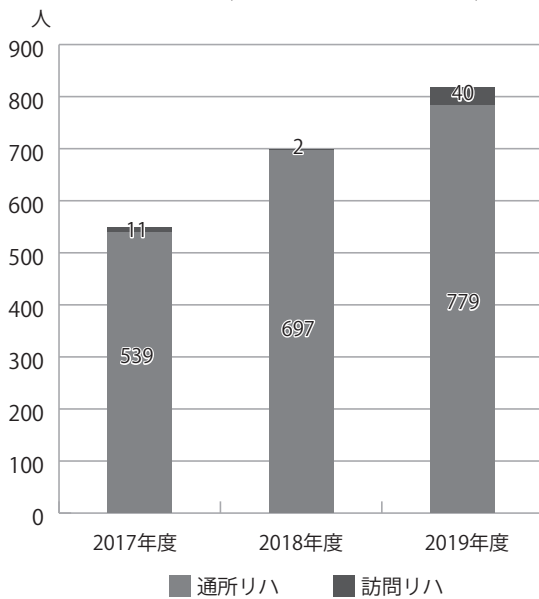
- ・2019年度は延べ患者数、各手術後リハ数ともに横ばいでした。
- ・従来行っているACL教室・投球教室や奄美での障害予防教室を開催しました。
- ・また、院内職員向けに、労働安全委員会依頼の労働安全講習会（腰痛予防等）も継続実施しました。

いづろ今村病院

個別リハビリ・生活自主訓練指導
総実施件数（入院リハ）



利用者数（訪問リハ・通所リハ）



【いづろ今村病院 入院リハビリテーションの実績・特色】

- ・地域包括ケア病棟、DPC病棟、緩和ケア病棟とも、退院後により安心して在宅生活へ移行できるよう、積極的に多職種による退院前カンファレンス等を行い、後方支援先との密な連携にも心がけ、退院支援を充実させています。
- ・入院患者様への個別リハビリは勿論ですが、それとは別に「糖尿病療養中の方の運動支援」や「消化器疾患での療養中の方への安全で持続可能な自主訓練メニューの指導」等にも関与しています。
- ・入院リハビリ部門では、健康管理センター（人間ドック）と連携し特定保健指導にも関わっています。ここでは健康診断でメタボリックシンドローム等の判定が出た方に対し、運動習慣の聴取や体力測定、個々の状態に応じた運動療法の提案、具体的な運動指導などを行い、離島を含めた県民の方々の健康教育を支援しています。

【通所リハビリテーション ウェルネスじあいの実績・特色】

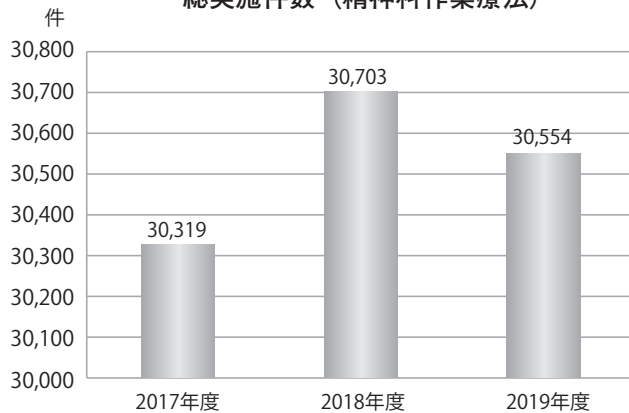
- ・新規でご利用を検討されている方に対し、施設の体験ご利用をお勧めしています。2019年度は年間11件の体験ご利用があり、うち9件はご利用開始となりました。
- ・要介護利用者さまにはリハビリ会議にて現状の報告を行い、同時に施設に対するご要望を聴取し、サービス向上に繋げています。また必要に応じてリハビリ計画の見直しや目標修正も行い、個々の需要に応じたサービス提供を心がけています。
- ・ケアマネとの連携を充実させ、必要に応じ主治医へ情報提供を依頼することでより安全なリハビリを提供しています。
- ・年間2回、施設スタッフ全員参加で消防訓練を行い、緊急時対応が速やかに行えるよう備えています。

【指定訪問リハビリテーション ウェルネスじあいの実績・特色】

- ・2019年度は理学療法士と言語聴覚士が訪問リハビリに出向き、個々の目標に応じてリハビリプログラムを計画し、在宅での生活を支援しました。
- ・当院退院後に訪問リハビリを導入される方に対しては、早い時期から入院担当スタッフと密に情報共有を行い、在宅生活を送る上での課題を協議し、課題解決に向け支援しています。
- ・体調次第で入退院を繰り返す方もいらっしゃいますが、訪問リハビリ担当のスタッフが入院リハビリも兼務しているため、状況に応じてご自宅・病院で同じスタッフが対応できる利点もあります。

谷山病院

総実施件数（精神科作業療法）

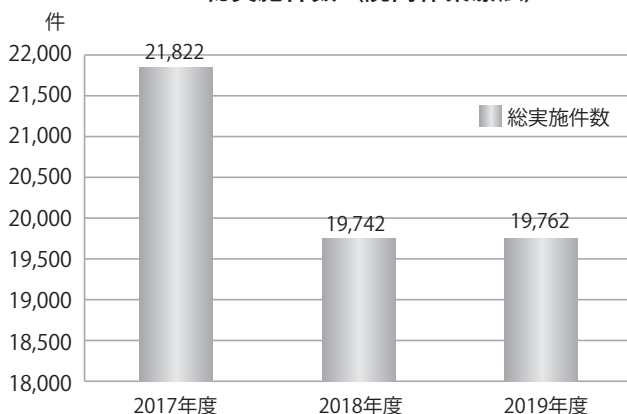


【谷山病院 精神科作業療法の実績・特色】

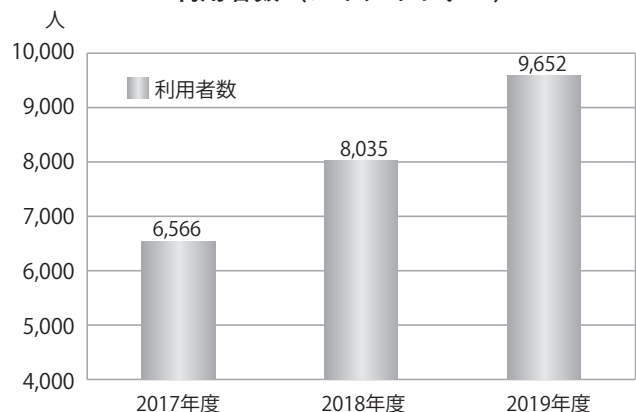
- ・急性期治療、退院支援、在宅部門、と作業療法士の職域が広く、作業療法士の視点で切れ目ない支援の提供ができます。
- ・患者様のニーズに応えられるよう様々な個別・集団プログラムを実施しています。
- ・院内の教育的プログラム（心理教育、退院準備プログラム、アルコール学習会、健康教室など）は作業療法士が中心となり多職種と共に実施しています。
- ・理学療法士の常勤、作業療法士による嚥下機能評価や訓練など、身体的リハビリテーションにも力を入れています。

奄美病院

総実施件数（院内作業療法）



利用者数（デイナイトケア）



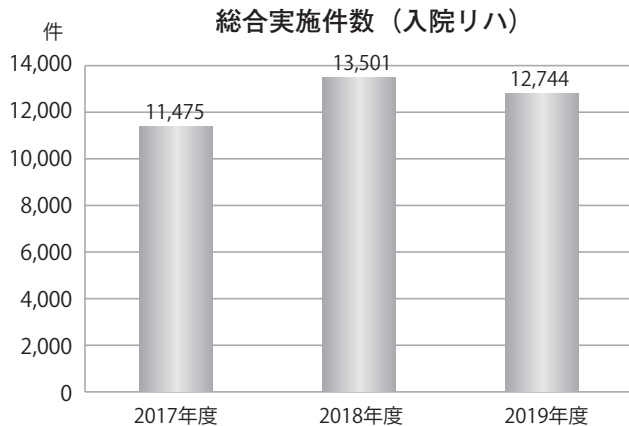
【奄美病院精神科作業療法の実績・特色】

- ・早期に作業療法を実施しています（基本1週間以内の開始）。
- ・長期入院患者に対して退院準備プログラム及び個別OTを実施しており、多職種との協働の元、地域移行が充実してきています。
- ・RPTを配置したことにより身体的リハビリテーションが充実しています。
- ・認知症病棟において精神科作業療法を開始しアプローチが充実しています。

【奄美病院デイナイトケアの実績・特色】

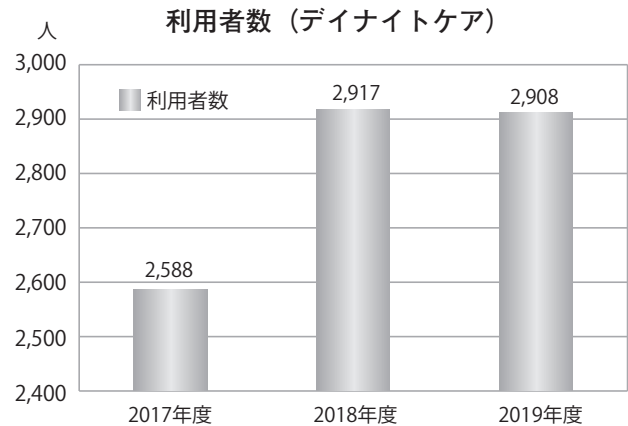
- ・様々なニーズに対応できるように職員を2名増員（計8名）。個々の状態に合わせた対応が可能になりました。
- ・多方面の送迎を開始しており、参加しやすい環境になっています。
- ・入浴サービス（身体的・環境的理由が対象）を開始しました。

徳之島病院



【徳之島病院リハビリ部門の実績・特色】

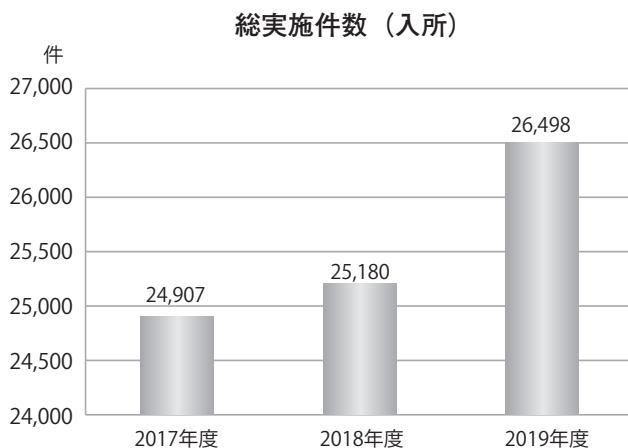
- ・選択できるプログラムの充実と長期入院患者の退院促進を重点的に行っています。
- ・退院準備プログラムを開始。作業療法士を中心に多職種協働で行っています。
- ・患者様、病棟スタッフのニーズに応じて柔軟にプログラムの設定・変更を行っています。
- ・積極的に島内外の訪問看護へも同行しており、入院～退院後まで作業療法士が関わる体制が出来ています。



【徳之島病院デイナイトケアの実績・特色】

- ・病院併設のデイケアのため、他部署と連携し安全かつ円滑にサービスを提供しています。
- ・島内全域を対象に送迎サービスを実施しています。
- ・利用者が主体的に取り組めるよう、活動の多様化を図っています。

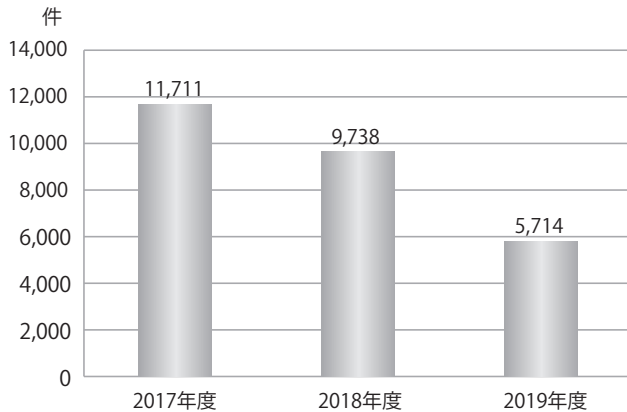
介護老人保健施設 愛と結の街



【入所リハビリの実績・特色】

- ・当施設は在宅復帰・在宅療養支援機能をもつ超強化型老健として2018年より稼働しています。各階に専従・専任セラピストが配置されています。
- ・入所前後訪問、退所前後訪問、在宅復帰シミュレーション等を実施し、在宅復帰を支援します。
- ・退所後も通所リハビリ、訪問リハビリ、ショートステイ等を実施し、在宅支援に向けシームレスな取り組みを行っています。
- ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士が常勤で勤務しています。
- ・主な対象疾患は脳血管障害、整形疾患、認知症等となっています。
- ・リハビリは目標を設定して、ADLやIADLが向上するように多職種協働で生活リハビリを支援しています。
- ・在宅生活に必要な作業ができるようにAMPS（標準化された観察型のADL等の評価法）を行い、その結果を基にリハビリを実施します。
- ・老健以外の他事業所と連携する等、外部での活動を積極的に行っています。

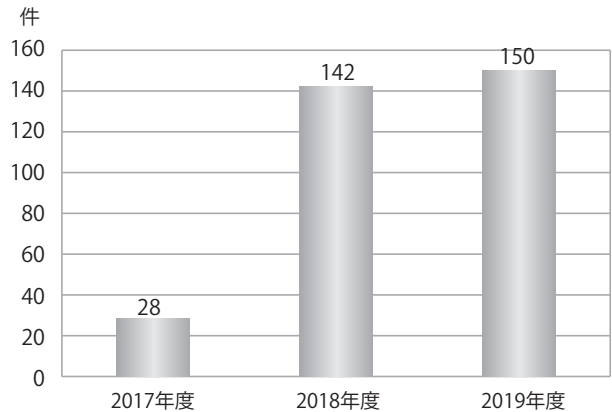
総実施件数（通所）



【通所リハビリの実績・特色】

- ・2019年度より、デイケアはリハビリ特化型の短時間通所リハ（午前・午後2～3時間/定員各25名）へと生まれ変わりました。
- ・リハビリマネジメントⅢ、Ⅳに対応しています。
- ・在宅訪問指導や医師が参加するリハビリ会議等を行いながら、目標達成型のリハビリをデイケア専従のセラピストや介護福祉士等と多職種協働で支援します。
- ・管理栄養士と連携し、栄養マネジメントに対応しています。
- ・2020年1月より、デイサービス（はなぶさ）が老健1階に移動し、入浴や食事、生活リハビリ等の通所介護（6～7時間/定員30名）を提供しています。セラピストが同フロアに常駐しておりますので、必要に応じて、助言・指導が可能です。

総実施件数（訪問）



【訪問リハビリの実績・特色】

- ・訪問リハビリは、退所後も入所担当セラピストが引き続き行い、在宅生活を支援します。
- ・実際の生活の場である自宅での動作確認を行い、ご利用者様とご家族が互に行いやすい介助方法等の助言・指導を行います。また、家事動作や実際の外出等も確認し、助言・指導を行います。
- ・自宅での福祉用具の使用の確認やアドバイス等を行います。
- ・理学療法士や作業療法士だけでなく、言語聴覚士の訪問リハビリが提供できます。
- ・言語聴覚士の訪問リハビリは、言語機能だけでなく摂食嚥下機能の訓練の他、食事に関する助言・指導を行います。

高麗町クリニック

訪問リハ担当数



訪問リハ実施件数



【高麗町クリニック訪問リハの実績・特色】

- ・基本的な歩行練習や応用歩行練習、日常生活活動などの応用動作練習に加え、生活への楽しみ作り、ご家族の健康や運動の相談、介助方法の指導・助言などを行っています。
- ・要支援1～要介護5といった幅広い要介護度の方の支援を担当。また、疾患も整形外科疾患や脳梗塞のみならず糖尿病、腎不全、呼吸器疾患やがんなど、幅広い疾患の利用者様支援を行っています。
- ・南は坂之上、北は玉里団地まで、幅広い地域へ訪問しています。
- ・慈愛会内施設、特にいづろ今村病院や愛と結の街との連携が強い。
- ・緊急時には在宅診療を行っている当クリニック医師に相談し対応しています。

業 績 一 覧

【論文】

今村総合病院 言語聴覚士

1. 西田信太郎：脳梁離断症候群を呈した一例～神経症状と自動車運転に及ぼす影響～．鹿児島高次脳機能研究会会誌 30 (1)：1-4, 2019

【学会発表】

今村総合病院 理学療法士 (3F)

1. 徳留直樹, 堂園浩一郎, 村山芳博, 武清孝弘, 野崎聖矢, 南濱希美, 田淵智久, 小田原淳, 窪田歩, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮與：化学療法を施行した急性骨髄性白血病患者への運動療法による身体機能変化. 第2回がん理学療法研究会, 2019年10月5-6日, 埼玉
2. 野崎聖矢, 武清孝弘, 村山芳博, 奈良聡一郎, 伊藤能清, 宇都宮與, 堂園浩一郎：化学療法を施行した造血器腫瘍患者への運動療法効果～急性白血病と成人T細胞白血病リンパ腫の比較～. 第7回がん理学療法カンファレンス, 2019年12月14日, 神戸
3. 松元龍, 村山芳博, 堂園浩一郎：当院のSCUにおける脳卒中患者の現状とリハビリテーションの課題. 第34回鹿児島県リハビリテーション医学研究会, 2020年2月29日, 鹿児島
4. 武清孝弘, 堂園浩一郎, 森希美, 村山芳博, 吉田一成, 奈良聡一郎, 田淵智久, 小田原淳, 窪田歩, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮與：同種造血幹細胞移植前後の運動療法により身体機能を維持した高齢ATL患者1例. 第42回日本造血細胞移植学会総会, 2020年3月5-7日, 東京
5. 森希美, 堂園浩一郎, 奈良聡一郎, 吉田一成, 村山芳博, 武清孝弘, 田淵智久, 小田原淳, 徳永雅仁, 窪田歩, 宮園卓宜, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮與：同種造血幹細胞移植患者の転倒・転落に対するリハビリテーションの関わり. 第42回日本造血細胞移植学会総会, 2020年3月5-7日, 東京

今村総合病院 理学療法士 (スポーツ整形リハセンター)

6. 鮫島徹也, 前田和彦：前鋸筋のトレーニング前後の肩甲骨周囲筋の筋活動. 第16回肩の運動機能研究会, 2019年10月25-26日, 長野
7. 濱田大介, 前田和彦：条件の異なるシャドースローと実際の投球動作の相違について. 第16回肩の運動機能研究会, 2019年10月25-26日, 長野

今村総合病院 作業療法士

8. 宮城里佳：脳梁離断症状を呈し, 趣味活動に着目した介入によりその人らしい生活を再獲得した1症例. 第53回日本作業療法学会, 2019年9月6-8日, 福岡

今村総合病院 言語聴覚士

9. 西田信太郎：脳梁離断症候群を呈した一例～神経症状と自動車運転に及ぼす影響～. 第36回鹿児島高次脳機能研究会, 2019年4月26日, 鹿児島
10. 丸岡由佳：輪状咽頭筋弛緩不全を呈した症例に対するダブルバルーンの即時効果について. 第9回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会長崎大会, 2020年1月18日, 長崎

11. 田中光：複数回舌圧測定における疲労の影響。第9回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会长崎大会，2020年1月18日，長崎

谷山病院 作業療法士

12. 田畑典子：Opening Time Revolution ～ OT 室内の整理整頓による作業療法開始時の準備時間短縮～，第21回フォーラム「医療の改善活動」全国大会 in 仙台，2019年11月16日，宮城
13. 中山陽平：当院の依存症プログラムにおける現状と課題。第30回鹿児島県作業療法学会，2019年11月23日，鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院 理学療法士（3F）

1. 村山芳博，川崎和也，中島徳久：鹿児島市地域リハ支援事業。（一社）鹿児島県理学療法士作業療法士言語聴覚療法士連絡協議会，年間20回，鹿児島市
2. 村山芳博：社会の中の理学療法士。鹿児島県理学療法士協会新人オリエ，（公社）鹿児島県理学療法士協会，2019年4月14日，鹿児島
3. 村山芳博：チーム医療の実践について。鹿児島大学医学部保健学科，2019年6月25日，鹿児島
4. 村山芳博：理学療法士の医療政策論1。（公社）鹿児島県理学療法士協会，2019年6月30日，鹿児島
5. 村山芳博：理学療法士の医療政策論2。（公社）鹿児島県理学療法士協会，2019年7月28日，鹿児島
6. 村山芳博：内部障害に対する理学療法の進め方の基本。（公社）鹿児島県理学療法士協会，2019年8月4日，鹿児島
7. 村山芳博：CVAの理学療法の評価。鹿児島大学医学部保健学科，2020年1月24日，鹿児島
8. 村山芳博：社会の中の理学療法士。第1医療リハビリ専門学校理学療法学科，2020年3月9日，鹿児島

今村総合病院 理学療法士（スポーツ整形リハセンター）

9. 小森園真紀，多田克史，坂上右弥，轟原与織：ランニング障害予防教室。2019年4月6日，鹿児島
10. 多田克史，坂上右弥，村山祐一郎，前園恵慈：障害予防教室 in 奄美。2019年4月18-19日，奄美
11. 吉田研吾，濱田大介，鮫島智志，前田和彦：障害予防教室 in 奄美。2019年4月20-21日，奄美
12. 白尾泰宏：解剖学・運動学に基づく膝関節の捉え方。鹿児島県理学療法士連盟 第2回研修会，2019年5月12日，鹿児島
13. 轟原与織：かごしま国体に向けて福井国体帯同の実際。鹿児島県アスレティックトレーナー連絡協議会，2019年5月25日，鹿児島
14. 門元剛，村山祐一郎，多田克史，轟原与織：サッカー障害予防教室。鹿児島県サッカー協会医学委員会，2019年6月2日，鹿児島
15. 轟原与織：スポーツ現場での理学療法士の役割。鹿児島県理学療法士協会，2019年6月8日，鹿児島
16. 坂上右弥：鹿児島市地域リハビリテーション活動支援事業 腰痛予防教室。2019年6月13日，鹿児島
17. 門元剛：熱中症とその予防について。2019年度第1回サッカー医科学勉強会，2019年6月18日，鹿児島
18. 轟原与織：熱中症とその予防について。鹿児島県サッカー協会医学委員会，2019年6月23日，鹿児島
19. 白尾泰宏：神経筋骨関節系機能障害に対する理学療法（上部体幹編）。鹿児島県理学療法士協会専門領域研修会，2019年6月24日，鹿児島

20. 轟原与織：スポーツ現場での頭頸部外傷の対応。鹿児島県理学療法士協会，2019年8月25日，鹿児島
21. 白尾泰宏：解剖学・運動学に基づいた腰部・骨盤帯の評価と治療 病態と触診。鹿児島県理学療法士協会鹿児島ブロック研修会，2019年9月7日，鹿児島
22. 轟原与織：スポーツリーダー養成講習会（トレーニング論）。鹿児島県体育協会，2019年9月15日，鹿児島
23. 小森園真紀，多田克史，村山祐一郎，橋口由美子：ランニング障害予防教室。2019年9月21日，鹿児島
24. 白尾泰宏：神経筋骨関節系機能障害に対する理学療法（下部体幹編）。鹿児島県理学療法士協会専門領域研修会，2019年10月27日，鹿児島
25. 鯨島智志，轟原与織，鯨島徹也，前田和彦：障害予防教室 in 奄美。2019年11月29 - 30日，奄美
26. 白尾泰宏：解剖学・運動学に基づいた腰部・骨盤帯の評価と治療 徒手療法を中心に。鹿児島県理学療法士協会鹿児島ブロック研修会，2019年11月30日，鹿児島
27. 多田克史，前園恵慈：ACLのリハビリテーションについて。奄美セラピスト勉強会，2019年11月30日，奄美
28. 多田克史，小森園真紀，橋口由美子，前園恵慈：障害予防教室 in 奄美。2019年11月30日 - 12月1日，奄美
29. 轟原与織：理学療法士のスポーツ貢献活動。鹿児島医療福祉専門学校特別講話，2019年12月18日，鹿児島
30. 轟原与織：スポーツリーダー養成講習会（トレーニング論）。鹿児島県体育協会，2020年1月19日，鹿児島

いづろ今村病院 理学療法士

31. 香川勇治：言語聴覚療法について。HR 株式会社 易居町公民館生活講座，2019年5月28日，鹿児島
32. 土井敦：他職種連携について。鹿児島県理学療法士協会 生活環境支援部研修会，2019年6月2日，鹿児島
33. 土井敦：腰痛予防について。HR 株式会社 易居町公民館生活講座，2019年6月25日，鹿児島
34. 土井敦：多職種協働を考える。宮崎県理学療法士協会 生活環境支援部研修会，2019年7月28日，宮崎
35. 土井敦：基本動作と環境設定。鹿児島県理学療法士作業療法士言語聴覚士連絡協議会 訪問リハビリテーション研修会，2019年10月6日，鹿児島
36. 土井敦：福祉用具による生活を広げる取り組み。鹿児島県理学療法士作業療法士言語聴覚士連絡協議会 地域包括ケア推進リーダー及び介護予防推進リーダーステップアップ研修，2019年11月2日，鹿児島
37. 下舞美和：冷水町公民館地域リハ活動。POS連絡協議会，2019年11月6日，鹿児島
38. 西洋樹：動きやすい身体づくりかた。糖尿病患者会「ななみ会」宿泊研修，2019年11月10日，鹿児島
39. 下舞美和：春山公民館地域リハ活動。POS連絡協議会，2019年12月13日，鹿児島
40. 土井敦：腰痛予防の為の介助技術とポジショニング。鹿児島県グループホーム連絡協議会研修，2020年2月22日，鹿児島

谷山病院 作業療法士

41. 小澤孝典：健康講話。小原町高齢者クラブふれあい会食，2019年6月20日，鹿児島
42. 古園龍也：認知症サポーター養成講座（県職員対象）。2019年7月9日，鹿児島
43. 中山陽平：アルコール使用障害を抱える方や家族への支援。鹿児島県作業療法士協会大隅支部公開講座，2019年12月14日，鹿屋
44. 黒木貴博：作業療法生涯教育論。鹿児島県作業療法士協会研修会，2020年1月17日，鹿児島

徳之島病院 作業療法士

45. 真喜志元希：精神科における作業療法士の役割。与論保健センター，2019年11月13日，鹿児島

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

薬 剤 部 門

中長期計画	2019年度 事業計画 (Stage3)	実施 2019.4月～ 2020.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
薬 剤 部	薬剤師確保対策 ①薬剤師の確保計画 ・新卒薬剤師 (7名) ・薬剤師採用試験 (2回) ・病院間薬剤師職員の定期 (臨時) 異動 (2回) ・奄美・徳之島病院薬剤師の常勤補充数 (2名) ・新採薬剤師の離島での実地研修 ・薬学実務実習生の受け入れ (4名) ・薬学生の病院見学の受け入れ (15名) ・各薬科大学への薬剤師募集の情報発信 (2回)	①薬剤師の確保計画 ・新卒薬剤師 (4名) ・薬剤師採用試験 (3回) ・病院間薬剤師職員の定期・臨時異動 (4名) ・奄美・徳之島病院薬剤師の常勤補充数 (1名) ・新採薬剤師の離島での実地研修なし 奄美応援体制 (いづろ: 2名、谷山2名) ・薬学実務実習生の受け入れ (総合: 3名、いづろ: 4名) ・薬学生の病院見学の受け入れ (10名) ・各薬科大学への薬剤師募集の情報発信 (1回)	①薬剤師の確保計画について ・新卒薬剤師確保希望は7名で採用試験3回行い通知6名であったが採用は4名となった。 ・奄美・徳之島の離島病院の薬剤師の確保 奄美1名採用できたが退職者1名あり。 11月～3月谷山より1名、2月3月いづろより各1名短期応援 3月より1カ月谷山1名より応援体制 ・薬学実務実習生の受け入れ慈愛会で7名良好 ・薬学生の病院見学は毎年ピークとなる3月に新型コロナの影響もあり例年よりも少なかった。	①薬剤師の確保について ・新卒採用人数は5名程度でとどまっているため退職者を減らすような工夫を行っていく。 ・徳之島は定着しているが奄美については今年度短期応援を継続し現地での採用も考えていく。 ・今年度薬学生の見学の受け入れができない状況にあるため各薬科大学への薬剤師募集に関し積極的な情報発信を行っていくことと新しい発信手段を考える必要がある。
	人材育成 ①各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成 ・日病薬病院薬学認定薬剤師 (新規目標) 5名 ・日薬研修センター認定 (〃) ・糖尿病療養指導士 (〃) 1名 ・外来がん治療認定薬剤師 (〃) 1名 ・精神科薬物療法認定薬剤師 (〃) ②慈愛会薬剤部合同研修会の実施 ③各種研修会、学会での発表 ・慈愛会合同研修会 (8題) ・各種学会発表 (院外) (8題)	①各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成 ・日病薬病院薬学認定薬剤師 (新規) 5名 ・糖尿病療養指導士 (〃) 1名 ②慈愛会薬剤部合同研修会の実施 ③各種研修会、学会での発表 ・慈愛会合同研修会 (8題) ・各種学会発表 (院外) (6題)	①各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成 計画には少し足りないがほぼ計画通り取得できた。 ②予定通り行えた。 ③新型コロナの影響もあり学会の中止などがあったため院外発表は6題となった。	今後もこれを継続しより専門性を持った薬剤師の育成を行っていく。
	薬剤業務の効率化・生産性向上 ①薬剤管理指導業務の推進 (物から人への業務比率を高め、入院から外来へのスムーズな移行を図る) ・薬剤管理指導目標件数 (算定) /年: 目標 今村 総合8,700 (同)、いづろ 今村4,200 (3,000)、谷山2,000 (1,500)、奄美1,200、徳之島510 (260) ・退院時服薬指導目標件数 (算定) /年: 目標 今村 総合4,800 (同)、いづろ 今村1,320 (780)、谷山40 (30)、奄美80、徳之島30 (同) ②医薬品採用品の統一化 (慈愛会統一電子カルテへの対応及び医薬品ロスの縮小を図る) 目標: 30品目 ③後発医薬品の変更 (数量ベースの80%確保を目指す) ④業務の標準化を図る (効率化・生産性向上のための取り組み) ⑤薬局長WEB会議での情報共有化 (毎月: 第3水曜日)	①薬剤管理指導業務の推進 (物から人への業務比率を高め入院から外来へのスムーズな移行を図る) ・薬剤管理指導目標件数 (算定) /年: 目標 今村 総合9,725 (同)、いづろ 今村4,663 (3,383) 谷山1,028 (539)、奄美280、徳之島610 (320) ・退院時服薬指導目標件数 (算定) /年: 目標 今村 総合4,898 (同)、いづろ 今村1,367 (681) 谷山107 (26)、奄美10、徳之島26 (17) ②医薬品採用品の統一化 13品目変更 ③後発医薬品の変更 (数量ベースの80%確保を目指す) 各病院後発品へスムーズに変更 ④業務の標準化を図る 総合: 薬業連携交流会2回 いづろ: 薬剤助手業務の標準化 谷山: 退院時服薬指導の手順見直し 奄美: 持参薬と調剤業務の標準化 徳之島: 医師への検査依頼の手順のマニュアル ⑤薬局長WEB会議での情報共有化 (必要時: 第3水曜日)	①薬剤管理指導業務の推進 ・薬剤管理指導については総合、いづろ、徳之島は達成。奄美病院は退職者あったため指導業務は行えない状況。また谷山より派遣しているため谷山も減となった。 ・退院指導についても同上であるが谷山は業務改善により退院指導件数は増加。 ②新規発売の後発品はWEB会議にて選定。 ③5病院すべて85%以上を達成できた。 ④5病院とも計画を達成し業務につなげることができた。 ⑤WEB会議開催は毎月を予定していたが必要時行い年5回の開催と1回の報告となった。 奄美病院の派遣についてなど臨時で市内の3病院で会合を行った。	①薬剤管理指導業務の推進 薬剤助手の業務の拡大などで病棟業務にかかる時間を増やしていく。 ②③継続して行い経費削減に貢献していく。 ④今年度の目標を達成することで業務の効率化を進めていく。 ⑤継続して行っていく。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1 薬局長会議の開催（適宜第3水曜日にWEB会議を開催）

《主な協議・確認事項》

- ・人事配置について
- ・業務計画及び進捗状況の確認について
- ・新規後発医薬品の統一品目の選定について
- ・医薬品卸の変更について
- ・薬剤師合同研修会について

2 薬業連携交流会の開催

①公益財団法人慈愛会 第2回薬業連携交流会（参加者65名）

- ・2019年4月9日（火）19：00 - 20：00
- ・今村総合病院A棟4階 大会議室
- ・講演

1）当院における胃癌治療の現状

今村総合病院消化器外科

上之園 芳一 主任部長

2）トレーシングレポートを使った薬局トリアージ症例

きたもと薬局管理薬剤師 北元 啓資 先生

②公益財団法人慈愛会 第3回薬業連携交流会（参加者47名）

- ・2019年9月9日（火）18：45 - 20：30
- ・ベイサイド錦江3階 大会議室
- ・講演

松波式入退院支援に活かす薬剤師の力

－取り組んできたこと、これから目指すもの－
松波総合病院薬剤部主任 長谷川 裕矢 先生

合同研修会

「第9回 薬剤部合同研修会」

- ・2019年11月16日（土）15：00 - 18：00
- ・今村総合病院A棟4階 大会議室

1. 第1部

座長 今村総合病院薬局長 鬼丸 俊司

講演：「医療環境の変化と地域包括ケアシステム」

講師：（株）アステム 参与 山本 隆文先生

2. 第2部

1）座長 今村総合病院 薬局長代理 松山 淳史

①インスリン抗体の影響により血糖不安定性をきたした2型糖尿病患者の1例。

いづろ今村病院 野元 優基

②ゼヴァリン[®]療法における薬剤師の関わり。

今村総合病院 横山 大樹

③当院における糖尿病患者の向精神病薬の選択。

谷山病院 田代 佳代

④薬剤総合評価加算を算定した症例の報告 ～ポリファーマシーの解消を算定した症例の報告～。

いづろ今村病院 有間 三香子

2）座長 谷山病院 主任 四本 晶子

⑤クリニカルパスを活用した薬剤管理指導業務について。

今村総合病院 横山 英華

⑥抗精神病薬の使用適正化に向けて ～当院の取り組みと今後の展望～。

奄美病院 作山 順

⑦アセナピンの著効例と薬剤師の介入。

谷山病院 大平 有紗

⑧中心静脈栄養剤調製業務導入に伴う当院での成果と課題。

今村総合病院 平松 愛理

技能・能力向上に向けた取り組み

1. 人材育成、指導等の取り組み

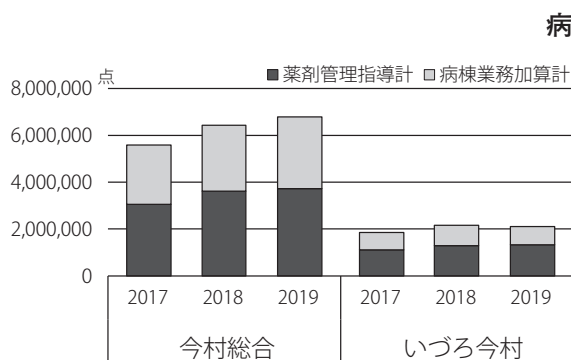
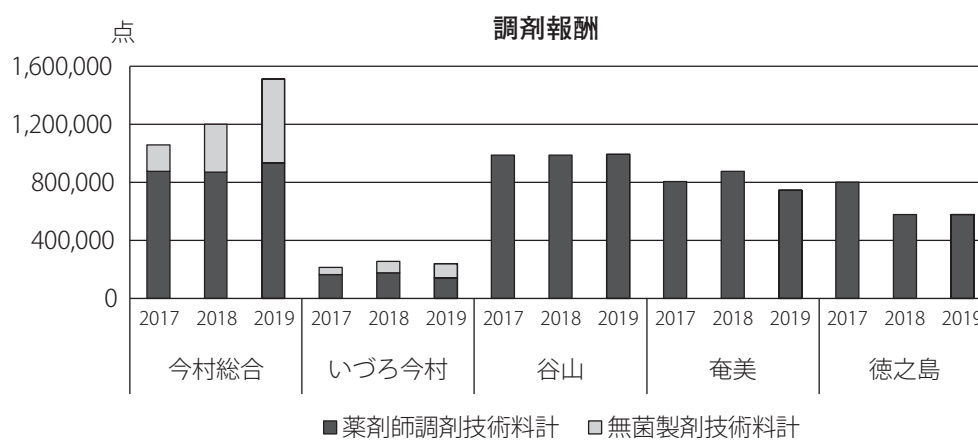
- ・各病院において、薬剤部クリニカルリーダーに基づく人材育成
- ・ジェネラリスト薬剤師として日病薬病院薬学認定薬剤師の単位取得を推進

2. 資格取得状況（新規）

- ・日病薬病院薬学認定薬剤師（今村総合：4名、いづろ今村：1名）
- ・糖尿病療養指導士（いづろ今村：1名、）

	資 格	2018年度	2019年度 計 画	2019年度 実 績
今村総合	・がん専門薬剤師 ・がん薬物療法認定薬剤師 ・外来がん治療認定薬剤師 ・感染制御認定薬剤師 ・NST専門薬剤師 ・糖尿病療養指導士 ・インфекションコントロールドクター（ICD） ・スポーツファーマシスト ・実務実習指導薬剤師 ・日病薬病院薬学認定薬剤師	1 1 0 1 2 3 1 2 2 5	4	4
いづろ今村	・糖尿病療養指導士 ・日病薬病院薬学認定薬剤師	4 1	1 1	2 1
谷 山	・精神科薬物療法認定薬剤師 ・糖尿病療養指導士	1 3		

各種指標



業 績 一 覧

【学会発表】

今村総合病院

1. 松山淳史, 八牟禮沙織, 國師奈緒美, 岩元美樹, 帖佐弘子, 神田直昭, 新納正毅, 鬼丸俊司: エダラボンによる急性腎障害発現の危険因子解析. 第29回日本医療薬学会年会, 2019年11月2-4日, 福岡
2. 橋本直美, 堀口大輔, 帖佐弘子, 鬼丸俊司, 中野伸亮: 当院におけるオビヌツズマブ+ベンダムスチン療法の現状と薬剤師介入の重要性について. 第29回日本医療薬学会年会, 2019年11月2-4日, 福岡
3. 横山大樹, 松山淳史, 橋本直美, 堀口大輔, 木下大夢, 宮園卓宜, 伊藤能清, 鬼丸俊司: 当院での免疫放射線療法における薬剤師の関わり. 第4回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2020年2月2日, 鹿児島
4. 西元寺慧一, 橋本直美, 松山淳史, 岩坪真穂, 東牧里奈, 鬼丸俊司: 疑義照会集計業務を活用した新人薬剤師教育への取り組み. 第4回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2020年2月2日, 鹿児島

いづろ今村病院

5. 有間三香子, 神門孝典, 鶴田絵里子, 東條知子, 東屋敷史織, 野元優基, 内山ゆかり: 薬剤総合評価加算を算定した症例の報告～ポリファーマシーの解消を目指した取り組み～. 第4回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2020年2月2日, 鹿児島

谷山病院

6. 大平有紗, 四本品子, 新村味穂子: アセナピンの著効例と薬剤師の介入. 第4回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2020年2月2日, 鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 橋本直美: 消化器がん薬物療法における薬薬連携の取り組み. 臨床薬学研究会, 2020年2月17日, 鹿児島

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

画像診断／放射線治療部門

中長期計画	2019年度 事業計画 (Stage3)	実施 2019.4月～ 2020.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
放射線治療部門 安定稼働に向けて スキルアップによる人材育成 画像診断部	放射線治療部門 安定稼働に向けて	214症例を実施（前年度比119.6%） 照射件数 3,507件（前年度比127%） ローテータ可能な人員を1名増（ローテータ4名体制になった） 放射線治療専門技師取得・更新に必要なカウント取得 第2回 トモセラピーの夕べを開催し、院内外へアピール 九州・山口トモセラピーユーザーフォーラムにて発表・座長	放射線治療専門医確保によりスループット向上、IMRT,IGRTの算定 Arc CHECK導入によりQAの向上、業務の効率化を行えた。 放射線治療専門技師の更新 外部からの紹介受け入れ（17施設） 世話人施設として九州内の連携強化	医学物理士の必要性、品質管理の向上 加算取得に向けた人員確保（増員） 超過勤務減少への取り組み ローテータ育成の継続（ソフト面での安定稼働） 院内外へのアピールを継続し、年間4,000件照射を目標とする。
	①新人・若手技師 ②中堅技師 ③役職者 ④施設認定取得への取り組み	新人技師1名、2年目技師1名に対し、育成チェックシートを用いて教育 各種認定資格の取得・更新 【今村総合病院】 ・胃がん検診専門技師認定 更新 ・放射線治療専門技師 更新 ・医療被ばく低減施設 取得 ・臨床実習指導施設 取得 （一般撮影、高度画像診断、核医学、放射線治療） 【いづろ今村病院】 ・アドバンス診療放射線技師 取得 ・胃がん検診専門技師認定 更新 ・放射線機器管理士 取得 学会・研究会等での発表の推進、研修会・講習会への積極的な参加 法改正業務拡大に伴う統一講習会の受講 医療法一部改正（2020.04）への対応準備	育成チェックシートを用いたことで予定通りスキルアップできている。 それぞれの施設が専門分野で発表・講師等を行った。 業務拡大に伴う統一講習会、受講率を100%達成できた。 年度内に両施設とも予定していた資格認定を取得更新することができた。 必要な講習会等にも参加し、情報収集が行われている。 医療被ばく低減施設取得することにより、線量の管理、記録へ対応。	慈愛会キャリア開発ラダーを導入し、技師教育の向上を図る。 それぞれの施設に必要な資格・認定などを今後も積極的に取得し、技師のスキルアップに努めていく。 若い技師に発表の場を提供していく必要がある。 日本乳がん検診精度管理中央機構のマンモグラフィ検診施設画像施設認定の取得準備（資格、研修、計測等）
	①各部門の検査件数増加、安定稼働 ・一般撮影系（49,200件） ・CT（16,800件） ・MRI（8,160件） ・透視（3,240件） ・Angio（480件） ・RI（300件） ・腹部超音波（8,400件） ・乳腺撮影（2,400件） ②慈愛会技師人材支援体制の強化	【今村総合病院】 45,193件（前年度比：97.7%） 【いづろ今村病院】 12,136件（前年度比：93.8%） 【全体】 57,329件 【今村総合病院】 15,594件（前年度比：105.1%） 【いづろ今村病院】 2,901件（前年度比：82.9%） 【全体】 18,495件 【今村総合病院】 8,603件（前年度比：108.6%） 【いづろ今村病院】 888件（前年度比：105.2%） 【全体】 9,491件 【いづろ今村病院】 1,389件（前年度比：91.7%） 【今村総合病院】 521件（前年度比：142.0%） 【今村総合病院】 238件（前年度比：102.6%） 【いづろ今村病院】 7,424件（前年度比：100.2%） 【いづろ今村病院】 2,380件（前年度比：107.1%） 今村総合病院からいづろ今村病院への当直明け助働の継続 いづろ今村病院から今村総合病院・谷山病院への午後助働の継続 モダリティ間での助働	【今村総合病院】 救急・脳卒中受け入れ、各診療科の術前・術後・フォロー等の症例増加に伴いCT、MRI、Angioは件数増加であった。 整形領域エコーの準備をすることができた。 【いづろ今村病院】 呼吸器内科閉科による影響が、一般撮影・CTの件数減の影響と思われる。検診における部分では、前年度とは変わらない件数であった。 【全体】 大きな事故・トラブル、ダウンタイムが発生せず、安定稼働することができた。 施設間で連携がとれ、協力体制が整っている。問題等あれば一体化会議で報告が行われている。	【今村総合病院】 機器の安定稼働を継続 業務拡大の検討 認定資格・施設認定を取得することによる院内外へのアピール継続 【いづろ今村病院】 ・検診マンモグラフィ施設認定の取得準備 ・新たな検診オプションの開拓 ・営業活動の継続による検査紹介患者数増を目指す。 【全体】 連携施設からの検査予約システムを構築運用し、スループットを向上させ検査紹介増加を図る。 引き続き、慈愛会画像診断部の連携強化を図る。 ローテータの育成

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. 画像診断部一体化会議

毎月第3火曜日、いづろ今村病院・今村総合病院の
役職者により開催。

- ・施設間の報告による情報共有
- ・モダリティごとの技術・情報共有、業務支援
- ・人材交流、育成
- ・病欠時業務サポート

2. いづろ今村病院技師による今村総合病院の当直業務

・月に3～4回当直業務を行っており、翌日の明けは
今村総合病院技師によるいづろ今村病院勤務を実施

3. いづろ今村病院技師による午後からの今村総合病院 への助勤

・助勤による若手技師のスキルアップを実施

4. 谷山病院技師の支援実施

2)「IVRにおける被ばく低減の取り組み」。

今村総合病院 松下 啓

3)「胃がん検診における被ばく低減目標値との
比較」。

いづろ今村病院 上舞 優介

3. 新人紹介

今村総合病院 中田 有希乃、蓑田 辰則

4. 理事長総括代読

慈愛会統括技師長 馬場 隆行

5. 総括

今村総合病院放射線科 西田 博利主任部長

「第14回 慈愛会画像診断部合同研修会」

・2019年9月5日（木）18：30 - 20：00

・ベイサイド錦江3階 大会議室

・司会進行 今村総合病院 大坪 丈太郎

【内容】

1. 研究発表

1)「一般撮影における臓器別被ばく線量の算出」。

今村総合病院 中田 有希乃

2)「緊急血管内治療におけるIVR看護師の必要性」。

今村総合病院 富田 桃子

3)「TBI（全身照射）の照射方法と生着率・肺炎に
ついて」。

今村総合病院 高山 大史

4)「診療放射線技師における医療機関訪問の現状
報告」。

いづろ今村病院 脇田 慎一

2. 理事長総括

公益財団法人慈愛会 今村 英仁理事長

3. 閉会の挨拶

慈愛会統括技師長 馬場 隆行

合同研修会

「第13回 慈愛会画像診断部合同研修会」

・2019年4月6日（土）15：00 - 17：35

・今村総合病院4階 大会議室

・司会進行 いづろ今村病院 上釜 健作

【内容】

1. 特別教育講演

司会 いづろ今村病院 日浅 有紗

『ヨード造影剤の安全対策』

今村総合病院放射線科 濱田 裕幸部長

『咯血に対する気管支動脈塞栓術』

今村総合病院放射線科 佐藤 昌之部長

2. テーマ「被ばく低減」

I. 基調講演『医療被ばく低減施設認定取得に向け て』

司会 いづろ今村病院 矢崎 滉平

1)「医療被ばく低減施設認定について」。

今村総合病院 市来 守

2)「当施設での取り組みについて」。

今村総合病院 岩下 昌平

II. 研究発表

司会 いづろ今村病院 勝目 綾那

1)「小児科領域撮影における補助具使用の有意性」。

今村総合病院 別府 あゆみ

技能・能力向上に向けた取り組み

取得認定資格一覧	今村総合 病院	いづろ 今村病院
第一種放射線取扱主任者	2	
放射線治療専門放射線技師	1	
放射線治療品質管理士	1	
超音波検査士	1	3
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	1	2
胃がん検診専門技師	3	3
肺がん CT 検診認定技師	1	
X 線 CT 認定技師	4	
日本血管撮影・インターベンション専門認定技師	1	
放射線管理士	3	
放射線機器管理士	5	1
医療画像情報精度管理士		1
臨床実習指導教員	3	
Ai 認定診療放射線技師	2	
画像等手術支援認定診療放射線技師	1	
アドバンスド診療放射線技師	6	2
シニア診療放射線技師	2	1
エックス線作業主任者	3	
ガンマ線透過写真撮影作業主任者	3	
IT パスポート	1	

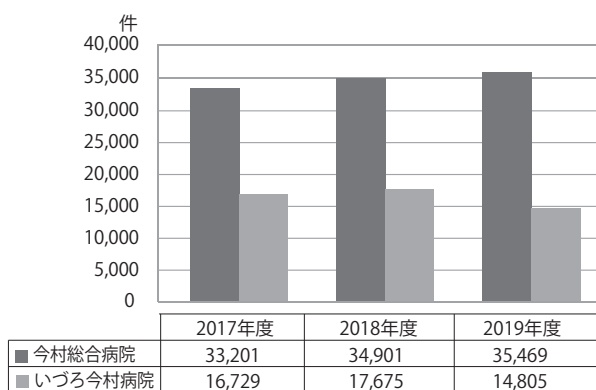
○2019年度実績

認定資格	取得・更新 の実績	
胃がん検診専門技師	更新	恵 智徳、脇田 慎一
放射線治療専門放射線技師	更新	市来 守
アドバンスド診療放射線技師	取得	上舞 優介
放射線機器管理士	取得	上舞 優介

施設認定	実績	
医療被ばく低減施設	取得	今村総合病院
臨床実習指導施設（一般撮影、高度画像診断、核医学、放射線治療）	取得	今村総合病院

各種指標

一般撮影検査



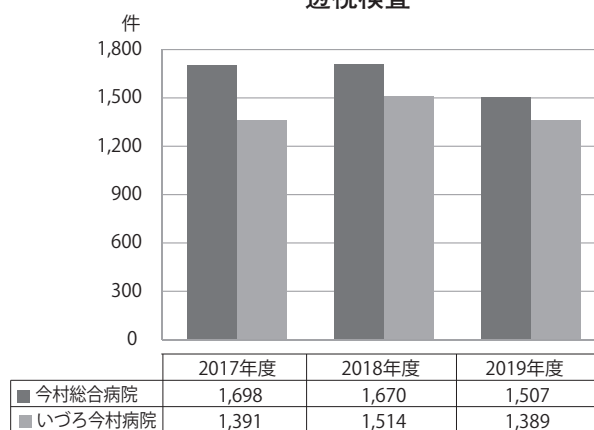
MRI検査



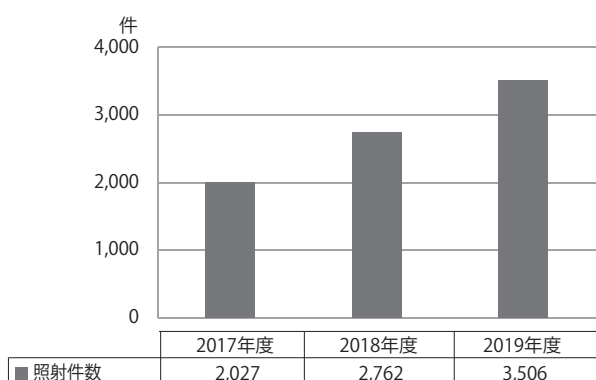
CT検査



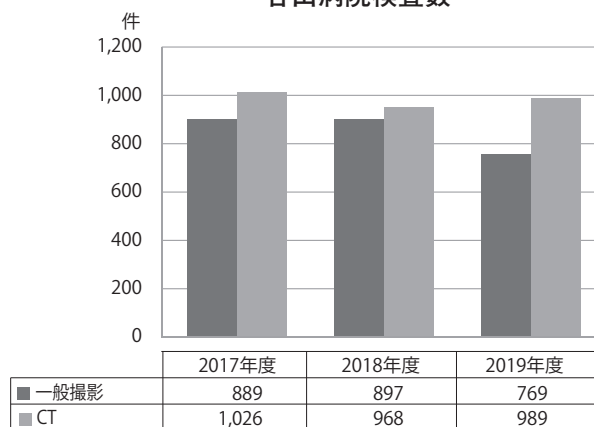
透視検査



放射線治療



谷山病院検査数



業 績 一 覧

【学会発表】

今村総合病院

1. 馬場隆行, 岩下昌平, 大坪丈太郎, 水流彩友美: 補助具・テンプレートを用いた股関節軸位およびマルチウス・グースマン法における高精度 X 線撮影. 第 35 回日本診療放射線技師学術大会 第 3 回補助具セミナー, 2019 年 9 月 13-16 日, 大宮
2. 馬場隆行, 岩下昌平, 大坪丈太郎, 中田有希乃: プレシヨットと補助具を活用した難易度の高い関節に対する低被ばく高精度撮影の実現. 第 14 回九州放射線医療技術学術大会, 2019 年 11 月 9 日, 熊本

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 市来守: トモセラピーシステムならではの症例報告. 第 1 回九州・山口トモセラピーユーザーズフォーラム, 2019 年 5 月 18 日, 福岡
2. 馬場隆行: 基礎講座 X 線撮影. 第 16 回フレッシューズセミナー, 2019 年 5 月 19 日, 鹿児島
3. 浅井愛邦: 画像解析技術を用いた大腿部の筋肉量測定. 令和元年度鹿児島県診療放射線技師会 春季学術大会, 2019 年 6 月 16 日, 鹿児島
4. 浅井愛邦: CAS 前後の脳血流評価の症例. 第 38 回鹿児島核医学技術検討会, 2019 年 6 月 29 日, 鹿児島
5. 市来守: TomoTherapy を用いた TBI の紹介. 第 21 回 鹿児島県放射線治療技術研究会, 2019 年 7 月 13 日, 鹿児島
6. 浅井愛邦: リアルラジエーションハウス!? 私たち診療放射線技師の日常をお話しします. みんなの健康を守るための放射線と医用画像展, 2019 年 7 月 28 日, 鹿児島
7. 馬場隆行: よくわかる脊椎 X 線撮影 (頸椎～仙骨) の実践撮影法と補正法. 令和元年度 第 45 回大隅地域研修会, 2019 年 8 月 3 日, 鹿児島
8. 恵智徳: CT に関する認定資格 画像等手術支援認定放射線技師. 第 47 回鹿児島 CT 研究会, 2019 年 8 月 21 日, 鹿児島
9. 二間瀬竜太: CT に関する認定資格 Ai 認定放射線技師. 第 47 回鹿児島 CT 研究会, 2019 年 8 月 21 日, 鹿児島
10. 馬場隆行: 手関節撮影の決め手はこれだ. 第 12 回鹿児島 X 線撮影研究会, 2019 年 9 月 21 日, 鹿児島
11. 馬場隆行, 岩下昌平: ポジショニングの実際 (ハンズオン). 第 12 回鹿児島 X 線撮影研究会, 2019 年 9 月 21 日, 鹿児島
12. 馬場隆行: 股関節軸位およびマルチウス・グースマンにおける補助具・テンプレートを用いた高精度撮影. 令和元年度鹿児島県診療放射線技師会 霧島・始良地域研修会・県秋季学術大会, 2019 年 10 月 26 日, 鹿児島
13. 岩下昌平: 医療被ばく低減施設認定 準備から取得まで. 令和元年度鹿児島県診療放射線技師会 霧島・始良地域研修会・県秋季学術大会, 2019 年 10 月 26 日, 鹿児島
14. 岩下昌平: 肘関節エコーについて. 鹿児島消化器画像・超音波研究会, 2019 年 10 月 30 日, 鹿児島
15. 馬場隆行: 頸椎・腰椎 X 線撮影の基本とピットホール. 令和元年度北薩地域研修会・鹿児島県 X 線撮影研究会, 2019 年 11 月 30 日, 鹿児島
16. 市来守: 放射線治療用固定具の紹介 各施設報告. 第 22 回鹿児島県放射線治療技術研究会, 2019 年 12 月 14 日, 鹿児島

17. 市来守：前立腺癌、頭頸部の治療（固定具作成～照射まで）．第2回九州・山口トモセラピーユーザーズフォーラム，2020年2月15日，福岡
18. 松下啓：救急IVRにおける各施設の現状．第5回鹿児島血管撮影技術研究会，2020年2月22日，鹿児島

いづろ今村病院

19. 脇田慎一：炎症性腸疾患における画像検査～炎症性腸疾患における消化管造影検査のコツ～．第31回日本消化器画像診断情報研究会東京大会，2019年4月20-21日，東京
20. 脇田慎一：炎症性腸疾患における画像検査のコツ．第66回鹿児島消化器画像研究会，2019年6月29日，鹿児島
21. 上釜健作：上部消化管の解剖・基本走査．第16回鹿児島超音波研究会，2019年6月29日，鹿児島
22. 脇田慎一：実習指導者．公益社団法人日本診療放射線技師会業務拡大に伴う統一講習会，2019年7月20-21日，鹿児島
23. 上釜健作：腹部超音波実技指導 初心者コース．第19回超音波実技講習会，2019年8月4日，鹿児島
24. 脇田慎一：消化管疾患における画像検査のコツ～小腸を中心に～．第1回九州消化管画像研究会，2019年8月10日，熊本
25. 矢崎晃平：人間ドック腹部超音波検査を契機に発見された副腎骨髄脂肪腫の一症例．第49回日本消化器がん検診学会九州地方会，2019年9月21日，鹿児島
26. 脇田慎一：実習指導者．公益社団法人日本診療放射線技師会業務拡大に伴う統一講習会，2019年10月19-20日，鹿児島
27. 上釜健作：超音波で診る下部消化管疾患～炎症編～．第17回鹿児島超音波研究会，2019年10月30日，鹿児島
28. 脇田慎一：当院での画像診断について．第1回職場の健康と健康経営を考える会，2019年11月22日，鹿児島
29. 上釜健作：腹部超音波検査を契機に診断された胃無力症の一例．第301回鹿児島県超音波医学研究会，2019年11月22日，鹿児島
30. 上釜健作：知っておくべき装置設定のコツ（Bモード編）．第18回鹿児島超音波研究会，2020年1月18日，鹿児島
31. 脇田慎一：実習指導者．公益社団法人日本診療放射線技師会業務拡大に伴う統一講習会，2020年2月2日，鹿児島
32. 川畑歳文：膀胱エコーの描出のコツ．第7回キヤノン鹿児島超音波セミナー，2020年2月15日，鹿児島

【受賞】

今村総合病院

1. 市来守：第1回IMRT治療計画トライアル（CMPFG1901）スコアTop5（TomoTherapy部門）．臨床医学物理研究会，2019年8月31日

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

臨床検査部門

中長期計画	2019年度 事業計画 (Stage3)	実施 2019.4月～2020.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
臨床検査部	・ 外部精度管理参加とデータ分析 ・ 各施設間、メーカーとの情報共有 ・ JSCC標準化試薬への変更終了 ・ 外注検査センターとのデータ共有化 ・ 毎日のコントロール測定 of 徹底 ・ 各学術団体、日本医師会の動向監視 ・ 医療法等の(臨床検査に係る)一部改正に伴う各種標準作業書・日誌及び台帳等の作成への対応 ・ 臨床検査部一体化による業務改善 ・ 検査機器の更新、新規導入による検査の効率化 ・ 新規検査項目の導入 臨床検査業務の改善で、より質の高い臨床検査結果の提供を行う 数値目標を前年度実績比103% 2018年度実績 (件数) 〈総合・いづろ〉 生化学検体 (139,407件) 〈92,898 ・ 46,509〉 心電図検査 (16,119件) 〈6,029 ・ 10,090〉 心血管超音波検査 (6,583件) 〈4,814 ・ 1,769〉 フローサイト検査 (572件) 病理組織検査 (4,525件) 細胞診検査 (5,035件)	・ 日本臨床検査技師会、日本医師会、鹿児島県医師会の外部精度管理調査の受検 ・ 細菌検査Web導入の検討。細菌検査外注先のCRCへMIRAI端末上のオーダーリングとWeb上での結果閲覧システムを継続検討 ・ 毎日の内部精度管理実施 (生化学検査項目・血算): 55項目/日 (総合)、46項目/日 (いづろ) ・ 病院機能評価受審 (総合) ・ いづろ今村の検体機器更新時、総合・いづろ間での生化学検査試薬一本化 ・ 超音波検査報告のペーパーレス化を行う。(総合) Hi-medion (いづろ) NEXUS ・ ホルター心電図解析の総合病院への一元化 ・ 次年度の機器更新をシステム導入の検討 ・ 新規検査項目の導入と稼働 4月: 語音聴力検査を開始 (総合) 6月: 呼気NO測定、気道可逆性検査を開始 (総合) 12月: ホルター心電図 (いづろ) 1月: 精密肺機能検査 (DLCO、FRC) を開始 (総合) 3月: 体組成計検査を開始 (いづろ) 関節超音波検査導入準備 (総合) 2019年度実績 (件数) 〈総合・いづろ〉 生化学検体 (142,212件) 〈98,396 ・ 45,996〉 心電図検査 (17,295件) 〈6,684 ・ 10,611〉 心血管超音波検査 (7,131件) 〈5,510 ・ 1,621〉 フローサイト検査 (477件) 病理組織検査 (4,225件) 細胞診検査 (5,105件)	・ 外部精度管理結果 日臨技臨床検査精度管理 A+B 97.2% (総合) 日本医師会 総合評点 97.8点 鹿児島県医師会 1/24項目 (2SD↑) (いづろ) 日臨技臨床検査精度管理 A+B 99.2% 鹿児島県医師会 0/24項目 (2SD↑) ・ 細菌検査Webシステムの導入は、MIRAI上の検査結果閲覧と、検査依頼の医事システムとの連携ができず、導入できず ・ 機能評価に向けて、各種標準作業書、台帳等の再確認をおこない受審 ・ 検査試薬の一本化によるコスト削減、依頼件数の少ない検査項目の外注によるコスト削減を提案し実施した ・ いづろで外注していたホルター心電図検査解析を総合で実施。検査結果はWeb 閲覧でペーパーレス化し、コスト削減した ・ 次年度法人3施設 (今村総合病院・いづろ今村病院・谷山病院) 検査マスターの統合と試薬の統一で、検査システムと機器更新を行い検査業務の効率化を図る ・ 診療科の要望に応え、新規検査項目を導入し検査開始。検査機器の導入と検査方法の習得のため研修を行い速やかに対応した ・ 体組成計検査はリハビリ科と検査科共同で検査を実施 (4件)	・ 細菌検査Webシステム導入は、次年度各部門システムとの連携、導入検討を継続 ・ コロナの影響で機器の導入後のメーカーの出入りができないため、機器のHi-medion接続できず稼働延期

中長期計画	2019年度 事業計画 (Stage3)	実施 2019.4月～ 2020.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
臨床検査部	教育・人材育成、検査技術のスキルアップを行う ・新人職員教育 ・高い専門性を有し、知見を得て迅速で正確な検査で診療に貢献するため各検査技術の習熟度を深め、スキルアップにチャレンジする ・各種認定資格取得を目指す 超音波検査士 (学会入会後3年で受験資格) 輸血検査技師 (規定50単位取得後受験) JHRS認定心電図専門士 (3年以上実務経験) 細胞検査士 (病理経験1年で受験資格) 細胞治療認定管理師 (細胞調製実績2年以上) など	・病理部：4月新卒1名、1月経験者1名入職、7月検体検査より1名が部署異動 ・総合：検体検査：10月病理部より1名部署異動（前年度12月異動1名が研修） ・いづろ：7月病理部より1名が部署異動 ・各々が検査技術の習熟度を深めるために、検査手順書にそって教育、後輩技師への指導を行う ・担当する各検査技術のスキルアップ、学会・講習会へ参加し、臨床検査の上位資格取得へ挑戦 ・慈愛会全体の能力開発システムとして、クリニカルラダーに臨床検査部参加 ・資格取得のための受験 細胞治療認定管理師（日本輸血・細胞治療学会） 2名受験 超音波検査士資格試験 4名受験 JHRS認定心電図専門士 1名受験	・新入職員、異動者への教育は、各担当部門で計画的に実施。検体検査の当直業務は、3～5カ月で1名での日当直業務を実施できるように教育 ・新規の検査項目を開始するのに際し、担当者に向けての基本的な知識と検査技術習得のため講習会を実施 ・2020年度より、技師のスキルアップにクリニカルラダーの活用を検討する ・2019年度の各種認定資格取得実績 細胞治療認定管理師 2名合格 超音波検査士 3名合格 JHRS認定心電図専門士 1名合格 精度管理責任者育成講習会 1名修了	・年度中産休育休取得者2名、業務の補充優先での教育になった
	輸血管理室の安全で適正な業務運用を行う ・学会認定臨床輸血看護師研修施設として適切な輸血療法の指導を行う ・移植関連業務の電子カルテ化を図る ・I&A認定施設の維持 数値目標を前年度比103% 2018年度実績（件数） 〈総合・いづろ〉 血液型検査（2,858件） 〈2,212 ・ 646〉 不規則抗体スクリーニング検査（2,305件） 〈1,856 ・ 449〉 交差適合試験検査（3,245件） 〈2,555 ・ 690〉	・テムセル導入：ヒト由来stem cell（幹細胞）を使用した慢性GVHDの治療開始 ・病院機能評価受審（総合） ・FFP融解方法の院内統一を図る ・廃棄血液製剤減を目指したブラッドローテーション（鹿児島血液センター主導）への新規参加、院内マニュアルの作成 ・輸血ラウンドに参加し定期チェックと指導を行う（4回開催/10～12月） ・院内在庫血を開始、運用 ・いづろ：輸血オーダリングシステムの検討 2019年度実績（件数） 〈総合・いづろ〉 血液型検査（2,651件） 〈2,166 ・ 485〉 不規則抗体スクリーニング検査（2,484件） 〈2,052 ・ 432〉 交差適合試験検査（3,591件） 〈2,857 ・ 734〉	・テムセル（再生医療製品）検査実績 9件/年 ・輸血部門として、病院機能評価で、評価Sを取得した ・使用物品を統一し、講習会の開催、業務マニュアル整備を行う ・ブラッドローテーションへの継続参加と情報収集への協力を実施 ・輸血拒否フローチャートと、自己血廃棄についてのマニュアルを改訂、文書化し運用 ・いづろ：輸血同意書・輸血感染案内・輸血検体保管同意書の改訂 前年度比 92.8% 前年度比 107.8%（目標達成） 前年度比 110.7%（目標達成）	

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

【人事交流】

- ・いづろ今村病院技師が、今村総合病院で日当直業務を実施
- ・今村総合病院技師が、いづろ今村病院で腹部超音波検査業務を実施
- ・今村総合病院病理部と臨床検査部間の2名、今村総合病院病理部からいづろ今村病院へ1名の異動

【情報共有】

- ・今村総合病院臨床検査適正化委員会（隔月実施、臨床検査部・病理検査部・看護部・事務部）
- ・臨床検査部一体化会議（隔月実施、今村総合病院・いづろ今村病院）
- ・次年度、慈愛会臨床検査部一体化に向けて検査機器、検査部門システム、検査マスターの統一を検討
- ・ホルター心電図解析の一元化（いづろ今村病院依頼分を総合病院にて解析）
- ・（今村総合）外注細菌検査のMIRAI上の検査オーダーリング、閲覧システム化をWebシステム導入で検討
- ・（今村総合）腹部超音波診断装置機器更新に併せて、生理検査部門のMIRAI画面上での超音波検査結果閲覧〔Hi-medion〕全面实施
- ・（いづろ今村）生理検査部門のMIRAI画面上での超音波検査結果閲覧〔NEXUS〕を開始

合同研修会

「第8回慈愛会 検査合同研修会」

- ・2019年7月6日（土） 15：00-17：00
- ・今村総合病院A棟4階大会議室

【内容】

1. 一般演題4題

- ①「多発性骨髄腫の治療薬グラツマブ使用による輸血検査への影響と対応」 今村総合病院検査部 藤山 裕輝
- ②「腹部超音波検査における胆嚢の観察と代表的な疾患」 今村総合病院検査部 田代 智香子
- ③「NT-proBNP とBNPのCKD分類による比較検討」 いづろ今村病院検査部 神園 歩実
- ④「LBC（液状化検体細胞診）について」 今村総

合病院病理部 宮原 加奈子

2. 特別講演

「より正確な凝固検査を目指して」

講師：シスメックス株式会社福岡支店 学術サポート課 白井 淳道 先生

3. 挨拶

「慈愛会 検査合同研修会に寄せて」

公益財団法人慈愛会理事長 今村英仁 先生（代読）

4. 総括 今村総合病院検査部 坂江 清弘 部長

技能・能力向上に向けた取り組み

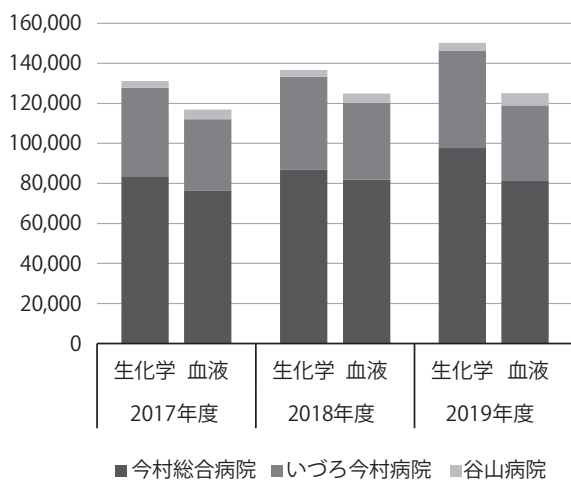
- ・年間で新入職員2名、異動者3名を各部門内で研修
- ・今村総合・いづろ今村病院臨床検査部一体化で、全臨床検査技師による今村総合病院の日当直業務の研修（24時間365日稼働）
- ・今村総合病院で、新規検査項目の語音聴力検査、呼気NO測定、気道可逆性検査、精密肺機能検査（DLCO, FRC）の検査技術と知識の習得のために講習会を実施
- ・今村総合病院臨床検査部、1回/月のミーティング後の勉強会を実施
- ・資格取得、資格維持のため院内外研修会・各種学会への参加
- ・慈愛会能力開発システムへの参加、臨床検査技師のクリニカルラダーの作成

○各種認定資格取得状況

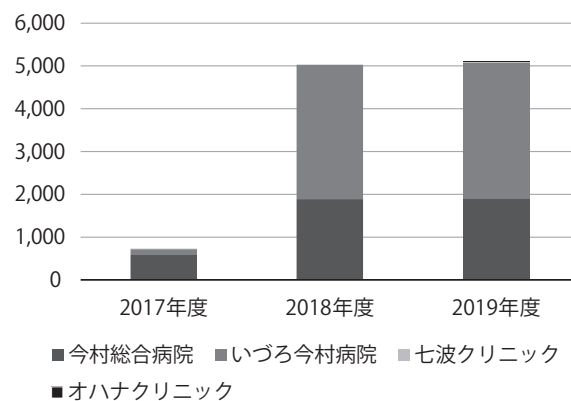
資格名	総数	2019年	新たな取得者
超音波検査士（7領域）	7（10領域）	3	常盤 成彦 （今村総合病院） 塩浦 卓也 （今村総合病院） 泉 琴美 （いづろ今村病院）
細胞検査士	4		
細胞治療認定管理師	3	2	藤山 裕輝 （今村総合病院） 中島 彩乃 （今村総合病院）
睡眠学会認定検査技師	1		
2級甲類臨床病理技術士	1		
JHRS 認定心電図専門士	1	1	白田 歩美 （いづろ今村病院）
病院感染制御スタッフ	1		

各種指標

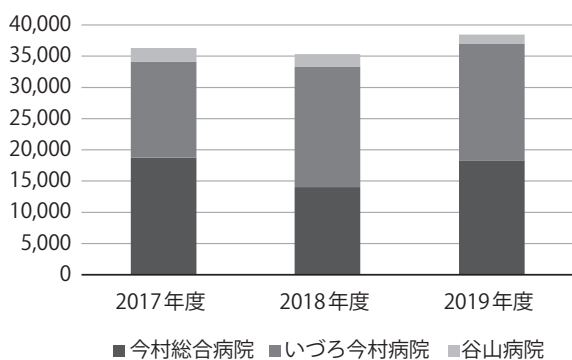
検体検査件数



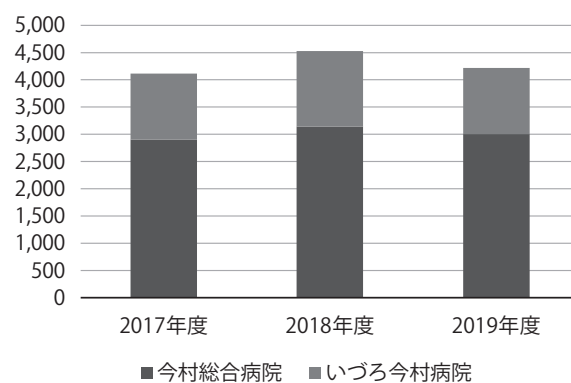
病理細胞診



生理検査件数



病理組織診



業 績 一 覧

【学会発表】

今村総合病院

1. 中島彩乃, 宮園卓宣, 藤山裕輝, 小田原千里, 兼石智香, 新屋果蓮, 牧野桃子, 久保友恵, 中野伸亮, 小田原淳, 宇都宮與, 帆北修一: 輸血マニュアルの改訂作業で明らかになった当院の輸血に関する問題点. P2-1-5 第67回日本輸血・細胞治療学会学術総会 熊本, 2019年5月23日, 熊本 - 日本輸血細胞治療学会誌 65 (2): 428-428, 2019 -
2. 宮園卓宣, 中島彩乃, 藤山裕輝, 新屋果蓮, 小田原千里, 牧野桃子, 兼石智香, 久保友恵, 小田原淳, 中野伸亮, 宇都宮與, 帆北修一: 当院における輸血管理室立ち上げまでの取り組みとその後の効果について. P2-11-5 第67回日本輸血・細胞治療学会学術総会 熊本, 2019年5月23日, 熊本 - 日本輸血細胞治療学会誌 65 (2): 462-462, 2019 -
3. 藤山裕輝: 当院輸血療法委員会の活動. 鹿児島県臨床検査技師会 2019年度第2回輸血細胞治療部門研修会, 2019年9月28日, 鹿児島

いづろ今村病院

4. 紺屋仁: 「当院の輸血療法委員会活動について」. 鹿児島県合同輸血懇話会, 2019年2月15日, 鹿児島

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

栄養管理部門

中長期計画	2019年度 事業計画 (Stage3)	実施 2019.4月～2020.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
栄養部門における病院・施設の連携強化 「食事の質の向上及び栄養管理の充実」と「費用の極小化」 管理栄養部	①給食のスリム化 (業務効率・連携に繋げる) ②鹿児島市内4施設の連携会議開催 (月1回) ③合同研修会の開催 (慈愛会栄養部門、栄養士、調理スタッフ)	・各施設の名称 (主食、カット)、トロミ剤の種類、酵素の使用有無など給食提供における情報を集約して一覧表を作成し、共通フォルダで共有。 ・毎月第2金曜日 16時から開催 ・調理スタッフWG 3回実施 ・栄養士:10/12 (土) 参加者17名 Web参加6名 「高齢者のサルコペニア予防とリハ栄養」 ・厨房:12/5 (木) 参加者18名 (鹿児島市内のみ) 「スチコン実演」「GW」 ・全体:2/1 (土) 参加者20名 Web参加11名 「給食提供に関すること」「GW」	・各施設の治療食一覧、アレルギー対応、食事形態、主食やカットの名称・対応が異なり、施設の特徴から統一は困難と判断した。共通フォルダ内にて施設毎に作成しているものを共有し連携をはかる。 ・参加しやすい日程で継続 ・調理スタッフは、勤務調整して参加 ・栄養士向け研修:共通するテーマを選択 各施設のスタッフへ意向を伺い決定した ・厨房向け研修:実演を含めて実施 調理における共通課題と情報共有を兼ねたGW ・全体向け研修:各施設の取り組みと共通テーマ 給食提供維持に向けて、情報共有とGWを実施	・共有フォルダ内で、給食に関する情報を一元化。 非常食などの情報も共有できるようになったため、各施設にて検討する際の参考や連携へと繋がる。 ・各施設の状況を確認して、参加メンバーを調整、離島とのTV会議も検討していく。 ・栄養士、厨房、全体と対象者毎に研修会を開催 各々に於いて充実した内容となったが、研修会の企画や準備に追われた面があった。来年度以降、スリム化できるよう検討していく。 (前半:全体研修、後半:職種や業種毎など)
	①給食提供の維持 ②給食費用の極小化 ③栄養管理の充実 ④栄養相談の拡充・栄養改善・経口維持 (目標件数) ※診療・介護報酬加算点数の獲得へ取り組む ・今村総合 個別70件 ・いづろ今村 個別100件 ・谷山 個別20件 ・慈愛会CL 個別10件 ・七波CL 個別60件 ・愛と結の街 栄養改善2件 経口維持10件	・人員数やスタッフ層をみながら、提供できる給食を都度検討し、給食提供を維持できた。 ・鹿児島市内4施設において、必要に応じて比較検討・情報共有を継続している。 ・栄養サポートチームの加算算定継続 (総合) 低栄養に陥らないよう、取り組み継続。 ・今年度実績 (月平均) 集団:いづろ 54件 谷山 1件 個別:総合 77件 いづろ 110件 谷山 12件 慈愛会CL 11件 七波CL 59件 透析予防:いづろ 20件 慈愛会CL 226件 介護関連 (愛結):経口維持 20件	・スタッフの数や状況に合わせた給食内容を検討 品数、作業工程を見直して対応した。 ・鹿児島市内4施設にて、米と乳製品に限定してスケールメリット等を検討した。 ・栄養管理計画書、栄養アセスメントの作成など各施設毎に取り組んでいた。 ・各施設、概ね目標件数を達成できた。 ・透析予防算定の院内基準を決め、取り組んだ。 (いづろ 2019年7月より) ・栄養指導算定に取り組んだ。 (徳之島 2019年9月より)	・給食提供維持に向けて、食事提供状況の情報や献立等の連携に努める。 ・年2回の棚卸し、新米時期、新しい業者や食材の情報を共有して適正化に努めた。 ・月1回から毎週 (カンファ)での確認へ。(いづろ) ・診療、介護報酬加算点数の獲得に取り組んだ。 ・来年度は、奄美と徳之島においても目標件数を設定し取り組んでいく。 2019年度実績 (個別年間) 奄美病院 32件 (うち、加算16件) 徳之島病院 62件 (うち、加算62件)
	①業務体制の検討 ②地域貢献 (院外活動) の充実 ③人材育成 (専門資格取得、維持・更新、各職種キャリアアップシステムの構築推進、実習生受け入れ、院内外研修会、部署内勉強会の充実等)	・新人教育およびスタッフの業務拡充、業務体制の検討など施設毎に取り組んだ。 ・患者会への協力、栄養士会や他団体からの要請に協力できた。 ・資格取得、資格更新およびそのための単位取得が達成できた。 ・栄養士実習受け入れ (愛結) ・各疾患、栄養関連など学会やセミナー、研修会へ参加して自己研鑽に努めた。	・人員不足などによる負担軽減として、食材・商品情報、調理済み食品など情報共有。各施設にて必要に応じて検討・導入してスタッフ疲弊の防止に努めた。 ・各研修会やイベントに協力できるよう、勤務調整やスタッフ振り分けを行った (担当が偏らないよう)。 ・学会や研修会、セミナー等の情報を共有して参加する環境を作った。 ・部署内勉強会の充実、院内発表会への参加	・業務体制を変更するには至っていないが、いろんな形で共有することにより、作業過程の見直しに繋がる。 ・地域貢献 (院内外活動) できることは、継続して取り組んでいく。 ・学会や研修会へ参加して自己研鑽に努める。 専門資格取得、また資格維持のための単位取得に努める。 ・部署内勉強会の継続、レシピ発表会など検討する。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

毎月1回、今村総合病院、いづろ今村病院、谷山病院、愛と結の街の管理栄養士が集まり、合同会議を開催している。今年度は新たに、調理スタッフ連絡会議も同施設が集まり年3回開催した。

いずれも、いづろ今村病院にて行われた。

①栄養部門における病院・施設の連携強化

・給食のスリム化（連携に向けて）

各施設の治療食一覧（給食対応食種）、アレルギー対応、食事形態、主食の種類や副食の大きさ（カット）の名称など現状把握した。施設の特性から統一は困難と判断し、集約できる情報は一覧表を作成した。各施設給食情報の詳細は、共有フォルダで共有できるようにした。

②食事の質向上及び栄養管理の充実と費用の極小化

・給食提供の維持

各施設の情報（作業内容、食事対応など）を共有することにより、作業工程や食材（商品）の見直しに活用できた。自施設の状況に応じた給食提供が維持できた。

・給食費用の極小化

米と乳製品に限り、調査・スケールメリット等を検討した結果、一元化は出来なかった。今後も情報共有、年2回棚卸の検討など継続して行い給食費用の最適化をはかっていく。

・栄養管理の充実

各施設に適した方法で、栄養アセスメントをすすめ、低栄養に陥らないよう介入した。栄養サポートチーム加算の継続（総合）、サポート頻度（共有）の改善（いづろ）。

③次世代を担う人材育成と環境整備

・業務体制の検討

新人およびスタッフの業務拡充に向けて、慈愛会栄養部内で情報共有を行い、各施設の状況に応じて検討・業務の見直しを行った。

・学会、院外セミナー、研修会への参加

第7回日本糖尿病療養指導学会

第57回日本糖尿病学会九州地方会

第9回日本リハビリテーション栄養学会 学術集会

第23回日本病態栄養学会年次学術集会

2019年度日本病態栄養学会教育セミナー

ク 日本病態栄養学会透析予防指導セミナー

第14回九州・沖縄ActiveSMBG糖尿病セミナー

第4回NSTスキルUP講習会

糖尿病カンパセションマップ ファシリテーター・トレーニング

第49回胃外科・術後障害研究会

第16回鹿児島NST研究会

鹿児島県栄養士会研修会

精神科栄養士研修会

糖尿病重症化予防従事者研修会

鹿児島県栄養士会 生涯教育研修会

びくるすの会研究会

特定保健指導関連研修会（スキルアップ）

第3回糖尿病医療学研究会inかごしま

第24回鹿児島糖尿病スタッフセミナー

給食施設従事者研修会

・部署内勉強会の充実

給食に関連づけて調理スタッフへ勉強会を行った（いづろ；年間10回開催）。

各施設、部署内勉強会を開催している。

合同研修会

●対象を栄養士・厨房・全体と3回開催した。

「第2回 慈愛会栄養士合同研修会」（栄養士）

・2019年10月12日（土）15：00～17：00

・いづろ今村病院別館 3階会議室 参加者17名
奄美・徳之島 Web参加 6名

【内 容】

I. 講演：「高齢者のサルコペニア予防とリハ栄養」

大塚製薬工場

II. グループワーク

・栄養指導や患者様への対応について

・他職種との連携について（自部署/他部署）

「第1回 慈愛会厨房スタッフ合同研修会」（厨房）

・2019年12月5日（木）15：00～17：30

・ホシザキ南九株式会社（ショールーム1階）

・参加者18名（鹿児島市内4施設のみ）

【内 容】

I. 実演

「スチームコンベクションを活用した調理法
～肉料理・魚料理、煮物・炒め物～」

ホシザキ南九株式会社

コンサル室 青木 美樹子 氏

II. グループワーク

- ・アレルギー、好き嫌いの対応について
- ・行事食や特殊メニュー、力を入れているメニューへの取り組み

「第6回 慈愛会栄養部門合同研修会」(全体)

- ・2020年2月1日(土) 15:00-18:00
- ・いづろ今村病院別館3階会議室 参加者20名
奄美・徳之島 Web参加 11名

【内容】

I. 講演

- 「病院・施設における給食管理の特性」
公益社団法人栄養士会 会長 児玉 敬三氏

II. 研究発表

- 1)「栄養部WG事業計画と進捗状況について」
いづろ今村病院 管理栄養士 中藺 智美
- 2)「新メニュー提案への取り組み
～調理師としての挑戦～」
愛と結の街 調理師 滝寺 雅之
- 3)「多職種連携の取り組み(栄養相談も含めて)」
徳之島病院 管理栄養士 清水 崇

III. グループワーク

- *全体テーマ
 - ・人員不足でできること、効果のあったこと
 - ・災害を想定した非常食利用の訓練
 - ・新人教育/中途採用者への指導
- *職種別(調理スタッフ)
 - ・肉料理(美味しく硬すぎないための工夫)
 - ・タイムスケジュール/改善に繋がった事
- *職種別(管理栄養士)
 - ・各施設の専門的な取り組み
 - ・クリニカルパスへの関わり
 - ・栄養指導関連
 - ・栄養補助食品について

技能・能力向上に向けた取り組み

資格取得(2019年度に取得した資格)

- ・管理栄養士
いづろ今村病院 堀木 まどか

・調理師

奄美病院 重村 ゆきみ

・糖尿病カンパセーションマップ ファシリテーター

いづろ今村病院 中藺 智美

七波CL 芹ヶ野 志弥

資格更新(2019年度に更新した資格)

・病態栄養専門管理栄養士

今村総合病院 七枝 美香

いづろ今村病院 内田 紗弥

・糖尿病カンパセーションマップ ファシリテーター

慈愛会CL 加藤 実穂

院内外活動

・糖尿病ウォークラリー

2019年4月14日, 鹿児島 いづろ1名

・栄養士会イベント(クッキング)

2019年6月23日, 鹿児島 いづろ 1名

・垂水研究(栄養士会へ協力)

2019年7月13日, 9月8日, 鹿児島 いづろ 1名

・鹿児島小児糖尿病サマーキャンプ

2019年8月23-25日, 鹿児島 総合 1名、いづろ 2名、
慈愛会CL 1名、徳之島病院 1名

・いづろ今村病院 健康まつり

2019年10月5日, いづろ 2名

・谷山病院 愛と結の街 合同秋まつり

2019年10月20日, 谷山 1名、愛結2名

・市民健康まつり

2019年11月10日, 鹿児島 いづろ 1名

・世界糖尿病デーイベント 2019年11月12日, 鹿児島

いづろ 1名、徳之島病院 1名

・今村総合病院 冬の健康まつり

2019年12月7日, 総合 2名

・鹿腎協 透析クッキングレシピ提供 総合

・糖尿病療養指導士会役員 いづろ1名

・糖尿病患者会(企画・参加/事務局)

「ななみ会」「いづみ会」

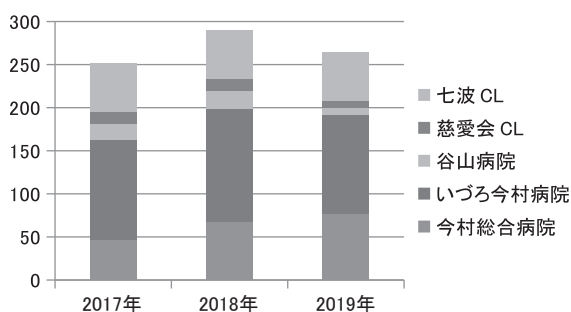
いづろ、七波CL、慈愛会CL

・鹿児島中央看護学校講師

慈愛会CL 1名

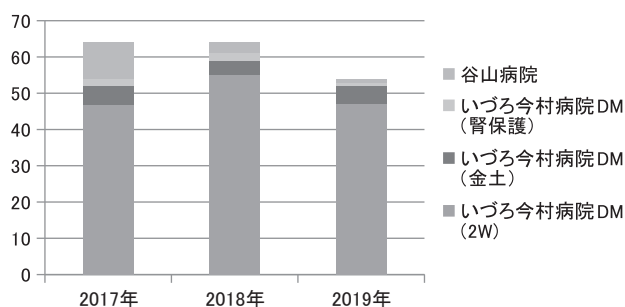
各種指標

個別栄養食事指導件数（件／月）



	2017年	2018年	2019年
今村総合病院	46	67	77
いづろ今村病院	117	132	110
谷山病院	18	20	12
慈愛会 CL	15	15	11
七波 CL	56	56	59
合計	252	290	290

集団栄養食事指導件数（件／月）



	2017年	2018年	2019年
いづろ今村病院 DM (2W)	47	55	47
いづろ今村病院 DM (金土)	5	4	5
いづろ今村病院 DM (腎保護)	2	2	1
谷山病院	10	3	1

※いづろ今村病院：個別栄養食事指導件数に透析予防管理料の数を含む（2017-2018年度）
2019年度から別途集計（2019年7月～算定の院内取り決めを行う）

*奄美病院

個別栄養食事指導：32件/年、集団：0件

*徳之島病院

個別栄養食事指導：62件/年、集団：0件

*糖尿病透析予防指導管理料

いづろ今村病院 236件/年（2018年度 166件/年）

慈愛会 CL 2708件/年（2018年度 2385件/年）

*無料栄養相談（公益法人事業）

慈愛会 CL 38件/年（2018年度 19件/年）

*介護関連

愛と結の街 経口維持20件/月

業 績 一 覧

【研究会・講演会】

いづろ今村病院

1. 堀木まどか：学外実習事前事後指導。鹿児島女子短期大学，2019年5月10日，鹿児島
2. 中蘭智美：腎臓を守る食事～たんぱく質の考え方～。糖尿病重症化予防従事者連携研修会，2019年9月23日，鹿児島
3. 中蘭智美：健康食は糖尿病食。市民のための糖尿病講演会，2019年11月13日，鹿児島
4. 中蘭智美：腎臓を守る食事治療～たんぱく質の考え方～。糖尿病重症化予防従事者連携研修会，2019年12月15日，鹿児島
5. 中蘭智美：IBDの栄養・食事療法～最近の考え方も含めて。大隅地区学術講演会，2019年12月19日，鹿児島
6. 中蘭智美：実践！重症化予防症例検討。糖尿病重症化予防従事者スキルアップ研修会，2020年2月16日，鹿児島

徳之島病院

7. 清水崇：一患者、一医療従事者としての双方の立場から。鹿児島糖尿病メディカルスタッフ連携セミナー～治療中断を防ぐために～，2020年1月18日，鹿児島

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

ソーシャルワーカー部門 (JSW)

中長期 計 画	2019年度 事業計画 (Stage3)	実施 2019.4月～2020.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
地域貢献	①社会福祉、精神保健福祉に関する知識の普及啓発	■健康まつり、秋祭り■ 【いづろ今村病院、今村総合病院、谷山病院・愛と結の街】 相談ブース設置 ■講師派遣■ 【いづろ今村病院】 コメディカルのための糖尿病セミナー NPO法人介護支援専門員協会鹿児島 【いづろ今村病院、今村総合病院】 鹿児島県MSW協会	普及・啓発活動を積極的に行った年であった。地域の身近な存在になるため、院内・院外問わず、健康まつり等の開催時に相談ブースとしての役割を担えた。各種研修会等へ講師派遣を行った。認知症サポーターは行政、企業、町内会、慈愛会新入職者に講義を行い、認知症についての正しい理解について普及啓発を行った。奄美地区の中高生に対して専門職種の紹介や理解等、将来的に地元で活躍できる人材確保への活動とすることができた。	院内外への普及・啓発活動によりいっそう努め、人材育成に努める。 今後も同企画に対し協力すること、法人や専門職種の人材確保に努めていく。 研修依頼があれば断らない体制を取っているが、公休でも研修参加できる体制が得られる様に事務部と協議していく。
	②認知症疾患医療センターの役割の充実化と機能の強化	【谷山病院】 認知症サポーター養成講座(講師 5回) 脳活性チャレンジ講座 南部保健センター 92名 世界アルツハイマーデー(年1回 街頭活動) 【奄美病院】 就業ガイダンス(精神保健福祉士・社会福祉士)への参加 【谷山病院】 認知症疾患医療センター 認知症疾患に関する専門医療相談(相談件数604件、外来件数4,171件、うち鑑別診断件数257件) 鑑別診断とそれに基づく初期対応(初期診断件数212件、鑑別診断件数・治療方針の選定257件、入院先紹介88件) 合併症と周辺症状への急性期対応(4,301件) 認知症疾患医療連携協議会の開催(1回) 情報発信(研修会開催15件、出席11件、認知症カフェ 3回)	認知症カフェ「あいカフェ」は年に3回実施となり、前年よりも1回減少となったが、地域包括支援センターが開催した【家族の集い】に参加し、鹿児島市南部地区の認知症カフェ運営者との情報共有、民生委員らとの交流を図ることができた。医療従事者向け研修は、当法人介護老人保健施設愛と結の街職員に、施設で行っている認知症ケアについて講話をして頂いた。副センター長の黒野医師の助言も頂きながら進めた本研修会は、参加者から自身の認知症ケアについて振り返る良い機会となったとの声を頂いた。	今後の認知症カフェ運営や、外来患者家族等へ、鹿児島市南部地区の認知症カフェについて情報提供を行っていく。今年度は、コロナウイルス感染防止のため、年度末の研修会を中止するなど臨機応変な対応が求められた1年であった。来年度は、今年度実施できなかった研修会や協議会の議題を練り直し、新たな準備を進めて行きたいと考えている。
地域貢献	③無料低額診療事業実施(無料健康相談会)	【今村総合病院】 土、日、祝日を除く全ての日 【谷山病院】 12回(毎月第3土曜日午後) 【奄美病院】 12回(毎月第2土曜日午後) 2月に1回家族教室同時開催 【徳之島病院】 12回(毎月第3水曜日午後)	【今村総合病院】 新規相談:4件 判定会議:3件 該当者:2名(継続者含む) 【谷山病院】 新規相談:9件 判定会議:1件 該当者:1名 【奄美病院】 新規相談:1件 判定会議:1件 該当者:1名 【徳之島病院】 新規相談:1件 判定会議:1件 該当者:2名(継続者含む)	生活困窮者に対するアプローナや掘り起こし、行政機関等への関わりを強める必要がある。
	④与論、沖永良部の巡回相談、診療	【徳之島病院】 沖永良部島 巡回診療 知名町:4回(2カ月に1回) 和泊町:4回(2カ月に1回)	精神科医療が整わない地域で暮らす患者への安定した治療を提供すること、また相談に対して直接的な支援を継続的に実施することが出来た。与論町への巡回診療を実施することが出来なかった。	知名町、和泊町、与論町へ定期的な巡回診療、巡回相談を継続していく。
地域貢献	⑤鹿児島県精神科救急医療相談事業への継続参加	■精神科救急医療電話相談■ 【今村総合病院、谷山病院、奄美病院】 計32回	救急医療を必要とする精神障がい者について、精神科救急医療相談に応じ、その状態に応じて医療機関の調整・紹介を行い、早期に適切な医療に結び付けることができた。また、患者や家族等の相談に対し、適切な助言も行うことができ、患者等の不安の軽減を図り、地域生活が維持できるよう貢献できた。	継続した同事業への参加を図っていく。
	⑥行政機関への人材派遣・協力	【谷山病院】 介護予防地域ケア会議(鹿児島市南部)(年3回) 【奄美病院】 介護・障がい認定審査会(奄美地区)	人材派遣により、行政への協力ができた。	同事業への協力も含め、必要な人材を派遣できるよう積極的に行動していく。
地域連携	①外部機関との連携関係を構築し、慈愛会の広報活動に努める	【いづろ今村病院・今村総合病院】 いづろ今村病院・今村総合病院合同地域連携のつどい 【いづろ今村病院】 関係機関との連携(面会):358事業所827件(3回以上:84事業所) 【今村総合病院】 関係機関との連携(面会):221事業所557件(3回以上:43事業所) 【谷山病院】 医療機関(一般科、精神科)、クリニック、警察、消防を訪問(不定期) 【奄美病院】 奄美地区自立支援協議会(各種部会参加) 奄美地区地域医療連携室協議会 【徳之島病院】 徳之島地区自立支援協議会(地域移行・地域定着部会参加)	【いづろ今村病院・今村総合病院】 外部参加:183施設351名 【いづろ今村病院】 地域連携プロジェクト推進委員会と共同での挨拶回りを実施したが、担当職員の異動により下半期の訪問数が減ってしまった。介護連携や情報共有等の来院が多数を占めた。 【今村総合病院】 経営幹部同伴での挨拶回りは定期的に行っているが、部署単体での挨拶回りはできなかった左記の数字は関係機関の来院が多数を占めた 【谷山病院】 年末年始やお盆の時期に、公的機関、医療機関、施設等を回り関係構築に力を入れた。 【奄美病院】 各種協議会や連携室協議会を通じ、各方面への顔の見える関係継続に役立てることができた。また、積極的な発言や委員としての活動により、当法人からの影響力を強めることもできた。 【徳之島病院】 徳之島地区で唯一の精神科病院として、部会において中心的役割を果たし、外部機関との円滑な連携関係の構築に努めた。	【いづろ今村病院・今村総合病院】 年々、参加数の増加を認めるため、事故が無いよう運営を行う。 【いづろ今村病院】 引き続き地域連携プロジェクト推進委員会と共同での訪問を計画していく。 【今村総合病院】 定期的な訪問活動を計画する。 【谷山病院】 不定期ではあるが、関係機関への挨拶回りを継続していく。 【奄美病院】 今後も積極的な関わりにより、良好な関係継続を図っていく。 【徳之島病院】 今後も部会の中心的な役割を果たし、自立支援協議会への積極的な参加を継続していく。

中長期計画	2019年度 事業計画 (Stage3)	実施 2019.4月～2020.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
慈愛会ソーシャルワーカー (JSW) 部	地域連携	【全施設】 JSW代表者会議 (1回/月) JSW教育委員会 (1回/月) JSW総会班 (1回/月) 【いづろ今村病院・今村総合病院・谷山病院・愛と結の街】 慈愛会地域連携会議 【いづろ今村病院・今村総合病院】 いづろ今村病院・今村総合病院 合同カンファ (第1木曜日) 地域連携のつとめ実行委員会	【全施設】 JSW代表者会議 (12回/年) JSW教育委員会 (12回/年) ※2019年4月、教育プログラム作成委員会より名称変更 2019年4月27日 慈愛会ソーシャルワーカー 初任者研修①開催 2019年11月9日 慈愛会ソーシャルワーカー 初任者研修②開催 2020年3月14日 慈愛会ソーシャルワーカー 初任者研修③延期 JSW総会・合同研修会準備班 (5回/年) 法人内連携の数値化や症例発表により、他施設間の連携状況も把握することで、連携強化に繋がっているものと考え。	【全施設】 法人内の連携強化の継続を図る。 本年度は、初任者研修として初の合同研修会を開催することが出来た。今後、クリニカルラダーとの摺り合わせを行い継続して運営していきたい。 今後も継続し、よりいっそう連携強化に努めていく。
	教育体制	■合同研修会■ 2019年4月27日 慈愛会ソーシャルワーカー初任者研修会① (参加者: 22名) 2019年6月15日 慈愛会ソーシャルワーカー部門総会・合同研修会 (参加者: 63名) 2019年11月9日 慈愛会ソーシャルワーカー初任者研修会② (参加者: 21名) ■幹部管理者任用候補者研修■ 【いづろ今村病院】1名 (内: 1名合格) 【今村総合病院】3名 (内: 3名合格) 【奄美病院】2名 (うち2名合格) ■勉強会■ 【いづろ今村病院】 第2火曜日: 症例検討会 【今村総合病院】 第3金曜日: e-ランニング視聴、 第4水曜日: 症例検討会 【奄美病院】 第2土曜日: PSW定例会 【谷山病院】 第3土曜日: スタッフ会議 第3火曜日PSW定例会 ■現場実習生受け入れ■ 【今村総合病院】社会福祉士実習生: 1名 【奄美病院】精神保健福祉士実習生: 3名 【谷山病院】精神保健福祉士実習生: 3名 ■学会発表■ 【今村総合病院】第56回九州医療ソーシャルワーカー研修会くまもと大会	初任者研修として、入職1～3年目を対象としたJSW新人教育プログラムが作成し、年3回の合同研修会を企画。講師もJSW内より選定し、2回開催することができたが、3回目はCOVID-19関連の影響で開催中止となった。各施設とも、各々の勉強会開催を行っておりスキルアップに繋げることができた。今後も実習生の受け入れを社会福祉、精神保健福祉に関する知識の普及啓発、人材確保の視点からも積極的に行っていきたい。	クリニカルラダーとの運用と併せて、来年度も続けていきたい。
	退院支援 (在宅支援を含む)	①病棟担当制を維持し、早期介入に努める 【全施設】 担当制により、早期介入の支援が行えた。 ②地域移行への取り組み強化 【谷山病院】 地域移行実施加算: 7名必要の7名退院 7名が確定 鹿児島市保健所と相談支援事業所と医療機関で協力し、ピアサポーターを活用した、地域移行地域定着事業を実施。 ピアサポーターによる体験発表 (ピアサポーター 3名、事業所職員2名が来院し、5名の患者が参加) 地域移行地域定着事業 対象者5名中、うち1名退院。3名申請。 【奄美病院】 退院準備プログラム強化、療養病棟退院支援委員会開催 退院前訪問指導料、介護支援連携指導料の積極的算定 在宅系各種委員会の積極的活用 地域移行実施加算算定: 6名必要の7名退院7名が確定 【徳之島病院】 退院準備プログラム継続 自立支援協議会 (地域移行・地域定着部会) の活用 地域移行実施加算算定: 4名必要のうち4名退院 4名が確定	人材確保はできていると考えるが、離職者もいた。 【谷山病院】 地域移行実施加算は、達成できた。しかし、年々家族も高齢になり支援者がいなくなる方、債務整理が必要な方など退院調整の課題が多い方がいる。 【奄美病院】 入院ベッドに頼らない、地域移行を推進する形での精神障害者にも対応する地域包括ケアシステムの構築に役立てることができた。また、地域移行実施加算の連続算定達成も大きな評価と言える。 【徳之島病院】 地域移行実施加算は達成できたが、計画的な支援を進めることが出来ず、患者及び退院後の支援者らに大きな負担となる支援となってしまった。	各施設間の人材交流を積極的に行い、人材の確保に努めマンパワーの強化を図っていく。 【谷山病院】 退院支援委員会で対象者を挙げて、病院全体で協力して退院支援を行っていく。 【奄美病院】 今後も地域移行実施加算の算定継続と、既存の地域包括ケアシステムの充実にも努めていきたい。 【徳之島病院】 地域移行実施加算の継続算定に向けて、退院準備プログラム等を活用して院内全部署との連携及び自立支援協議会 (地域移行・地域定着部会) を活用して関係機関との連携を強化し、計画的な退院支援を進めていく。
	財務	①診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス報酬改定に対応し、取得可能な加算を積極的に取得していく 【特定相談支援事業所あゆみ】 特定事業所加算の算定継続 各種支援体制加算算定継続 ②相談支援専門員を増員し、契約者数の増を目指す 【指定特定相談支援事業所あゆみ】 相談支援専門員の養成、2019年度中に1名養成 契約者数200名以上	【指定特定相談支援事業所あゆみ】 5名以上の相談支援専門員と現任者研修修了者を配置することができ、より上位の特定事業所加算を算定することができた。また、地域において数少ない全支援体制加算算定事業所となることができた。 【指定特定相談支援事業所あゆみ】 年度中の新規養成完了。見識を広げることや新年度に向け異動に役立てることができた。また、契約者も202名で報酬増加に繋がりを、目標を達成することができた。	【指定特定相談支援事業所あゆみ】 今後は、主任相談支援専門員研修の受講を目指し、より上位の特定事業所加算の算定と、各種支援体制加算の継続算定を目指す。 【指定特定相談支援事業所あゆみ】 引き続き、幅広く室員が同資格を取得することを目標とし、ジェネラリストの養成に力を入れていく。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会ソーシャルワーカー部 (JSW)

いづろ今村病院：4名

今村総合病院：13名

谷山病院：26名

奄美病院：14名

徳之島病院：4名

介護老人保健施設愛と結の街：6名 計 67 名

【人事交流・施設間の協力体制】

谷山病院より奄美病院（1名）と徳之島病院（2名）へ精神保健福祉士を派遣

いづろ今村病院より今村総合病院への人事異動（1名）

【2019年度の活動】

1. JSW代表者会議（12回/年）

（目的）

慈愛会内のソーシャルワーカー間の情報共有を図ることで、質の高いマネジメントを行い、互いの業務、役割、現状を知ること、法人内の連携を強化することを目的としている。

2. JSW総会・合同研修会準備班（5回/年）

（目的）

総会準備、合同研修会の企画立案を目的としている。

3. JSW教育委員会（2017年12月より教育プログラム作成委員会として活動。2019年4月名称変更）（12回/年）

（目的）

統一した教育プログラムの作成、運用により、援助の質の担保、離職防止を図ることを目的としている。

合同研修会

「慈愛会ソーシャルワーカー部門総会・合同研修会」

・2019年6月15日（土）14:30-17:30

・今村総合病院A棟4階大会議室

・参加者：61名

【内容】

- ①各病院・各事業所からの事業報告
- ②生活困窮者会議からの報告
- ③JSW教育プログラム委員会からの報告
- ③研修会「地域包括ケアシステム」

講師：今村総合病院総合内科 林 恒存部長

「慈愛会ソーシャルワーカー 初任者研修①」

・2019年4月27日（土）8:30-17:30

・今村総合病院A棟4階大会議室

・参加者：22名

【内容】

- ①慈愛会でのSWの役割、JSWについて
- ②慈愛会における各施設の機能や連携について
- ③倫理綱領、SWの価値・倫理について
- ④面接技法、コミュニケーションスキル、スーパービジョンについて
- ⑤メンタルヘルスについて

「慈愛会ソーシャルワーカー 初任者研修②」

・2019年11月9日（土）8:30-17:30

・かごしまオハナビル 3階会議室

・参加者：21名

【内容】

- ①社会保障、社会資源について（生保、無料低額診療等）
- ②精神保健、障害者福祉について
- ③介護保険について
- ④ケース記録の必要性、個人情報の取り扱いについて
- ⑤意見交流会

技能・能力向上に向けた取り組み

【2019年度取得資格】

2020年1月 認知症ケア専門士

今村総合病院：梅木 亮太

【有資格者数】

社会福祉士：45名（実習指導者9名）

いづろ今村病院4名

今村総合病院13名（実習指導者6名）

谷山病院18名（実習指導者0名）

奄美病院6名（実習指導者1名）

愛と結の街4名（実習指導者2名）

精神保健福祉士：48名（実習指導者：15名）

いづろ今村病院1名

今村総合病院5名（実習指導者：1名）

谷山病院25名（実習指導者：10名）

奄美病院12名（実習指導者：4名）、徳之島病院5名
介護福祉士：5名
今村総合病院1名、愛と結の街2名、奄美病院2名
介護支援専門員：11名
いづろ今村病院2名、今村総合病院2名、
愛と結の街5名、奄美病院2名
相談支援専門員：23名
谷山病院15名、奄美病院7名、徳之島病院1名
サービス管理責任者：13名
今村総合病院1名、谷山病院7名、
奄美病院3名、徳之島病院2名
国立がん研究センター認定がん専門相談員：1名
今村総合病院
福祉住環境コーディネーター：2名
今村総合病院1名、愛と結の街1名
レクリエーション・インストラクター資格認定証：1名
今村総合病院
公認心理士：1名
いづろ今村病院
認知症ケア専門士：1名
愛と結の街
看護師：3名
今村総合病院1名、愛と結の街2名

合い予防を考える）谷山病院：住吉亜紀美
・鹿児島市介護予防地域ケア会議（南部ブロック）
谷山病院：内門直人、住吉亜紀美、別府千尋
・鹿児島市脳活性チャレンジ講座（鹿児島市南部保健セ
ンター主催）谷山病院：内門直人、川添悠希
・薬物事犯者引受人・家族会（年3回）/地域支援連絡協
議会 谷山病院：久保早苗、宮竹敦史
・鹿児島県医療観察制度地域連絡協議会（鹿児島市保健
所管内）
谷山病院：内門直人

指定通院医療機関の役割について発表

・認知症疾患医療連携協議会（年1回）（パルランド病
院と共催）谷山病院：川添悠希
・奄美地区就業ガイダンス
精神保健福祉士、社会福祉士…中高生向けガイダンス
・地域連携セミナー（愛と結の街 年6回）
（参加居宅事業所）谷山地区事業所のケアマネジャー
・小原町内会高齢者クラブでの講話（聴覚障害者とのか
かわりについて）愛と結の街：平田博子
・男性介護者の集い 男性介護者のための料理について
（地域包括支援センター主催）
愛と結の街：佐別當誠子、今村瑞香管理栄養士
・谷山病院、愛と結の街 合同秋祭り
介護、健康相談の設置
・認知症カフェ
谷山病院：あいカフェ 年3回
愛と結の街：あしたの風 月1回

【院外活動】

・易居町公民館 地域住民向け生活講座 講師派遣
いづろ今村病院：南 尚江
・鹿児島県がん診療連携協議会 がん相談支援部門会
今村総合病院：淵上隆実
・始良市地域包括支援センター運営協議会
今村総合病院：淵上隆実
・鹿児島脳卒中地域連携ネットワーク研究会
今村総合病院：豊饒愛
・鴨池商店街振興会委員会
今村総合病院：地頭所孝之、梅木亮太
・介護認定審査会（奄美地区）
奄美病院：西牟田智子、有村裕志、盛谷竜男

院内外活動

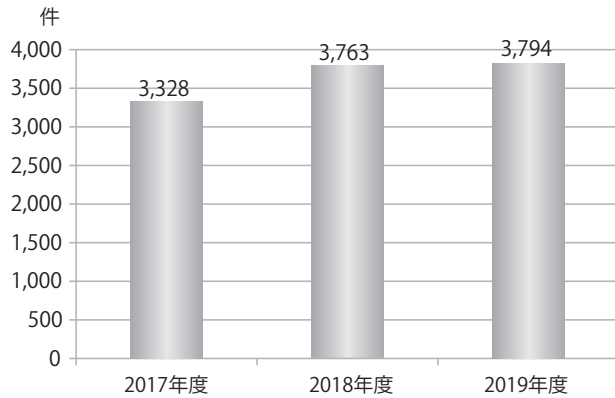
【啓発活動】

- ・世界アルツハイマーデー街頭活動
（参加施設）今村総合病院、いづろ今村病院、谷山病
院、愛と結の街
- ・上町地区介護支援専門員向け研修・意見交流会
（いづろ今村病院：年1回）
- ・いづろ今村病院健康まつり
相談ブース設置
- ・つながる想いinかごしま～がんとともに生きる～
今村総合病院：淵上隆実 がん専門相談員として派遣
- ・冬の健康まつり（イオン鴨池店）
今村総合病院：原田美和 相談ブース設置
- ・認知症サポーター養成講座（院内+院外：7回）
谷山病院：川添悠希、住吉亜紀美、春山大道、内門直
人 講師として派遣
- ・小原町内会ふれあい給食での健康講話（認知症と向き

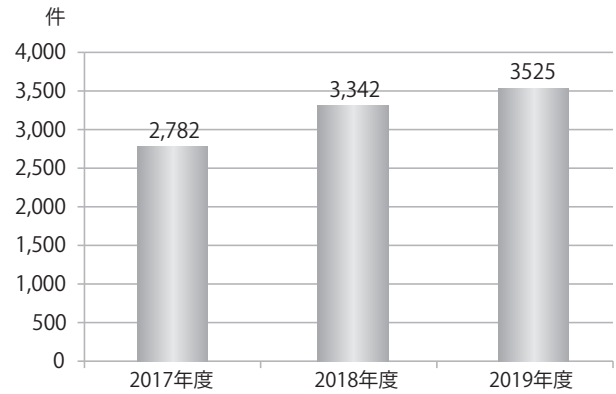
各種指標

今村総合病院

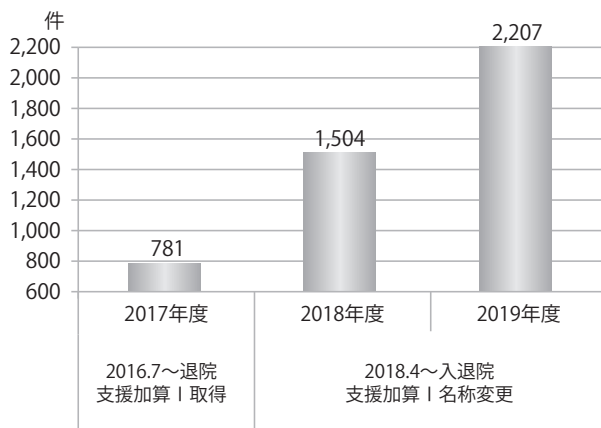
介入者数（延べ患者数）



終了者数（延べ患者数）



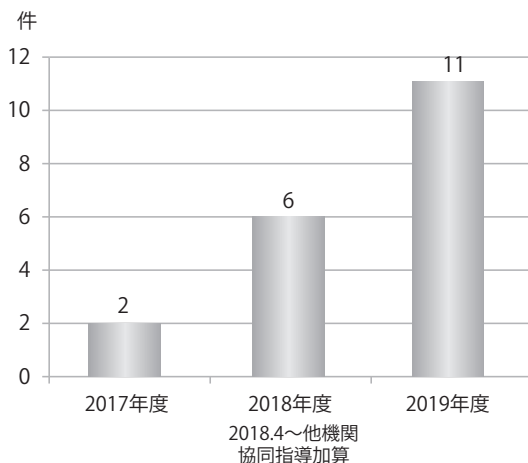
退院支援加算



退院時共同指導料2



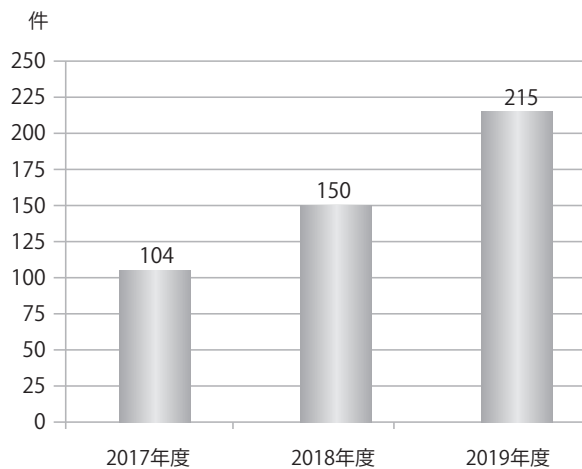
保険医等3者以上共同指導料



介護支援連携指導料

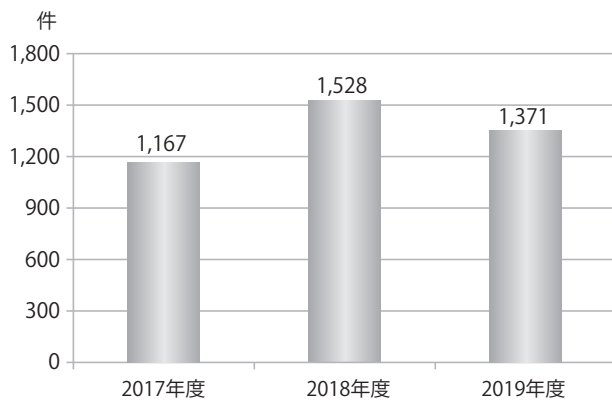


地域連携診療計画加算

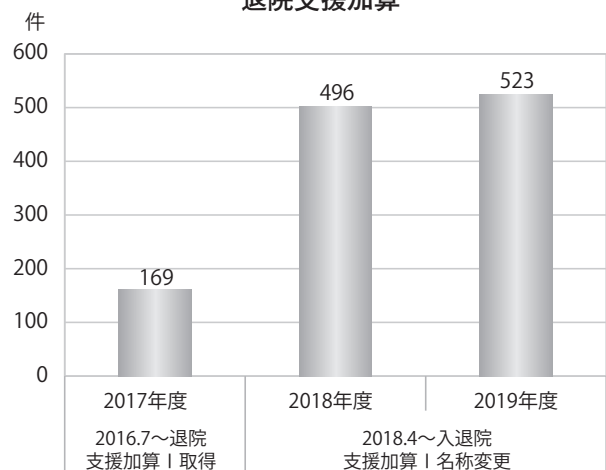


いづろ今村病院

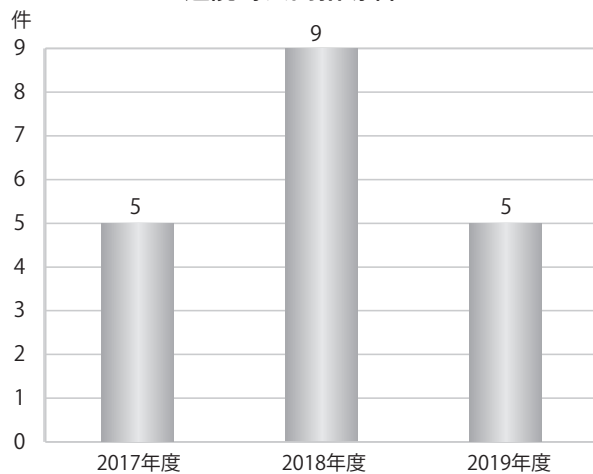
介入者数（延べ患者）



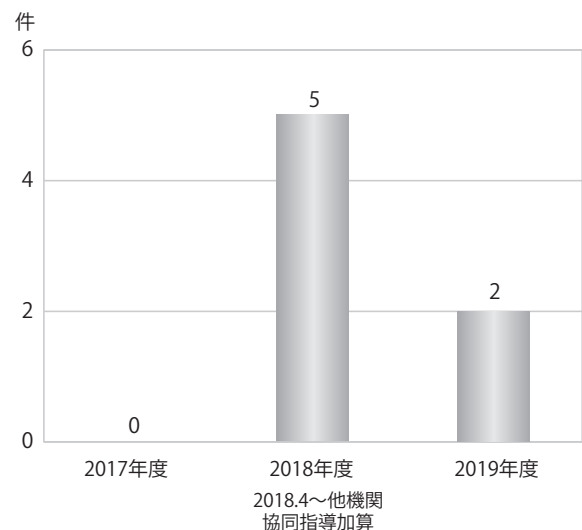
退院支援加算

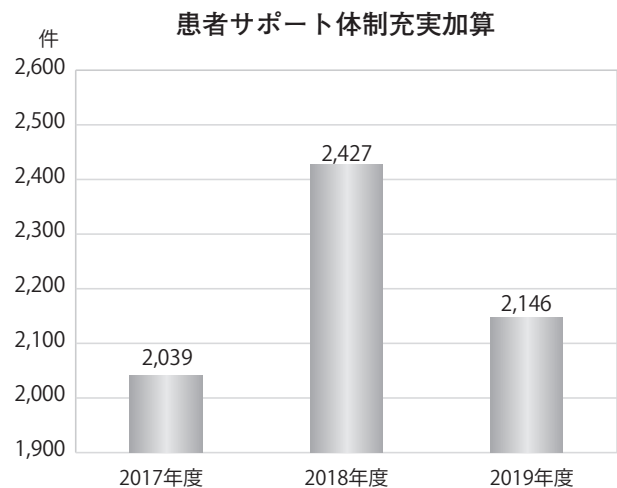
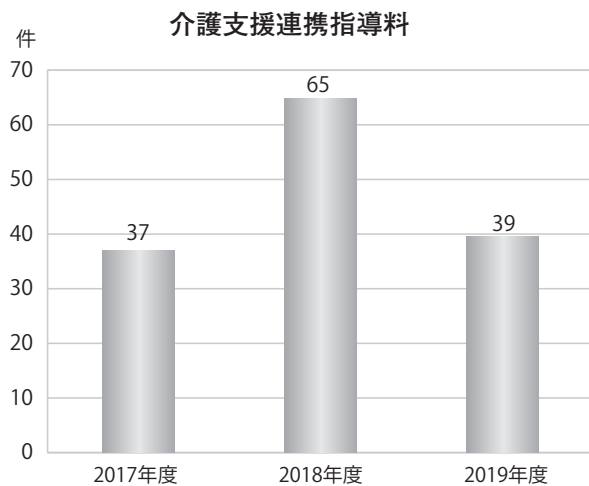


退院時共同指導料2

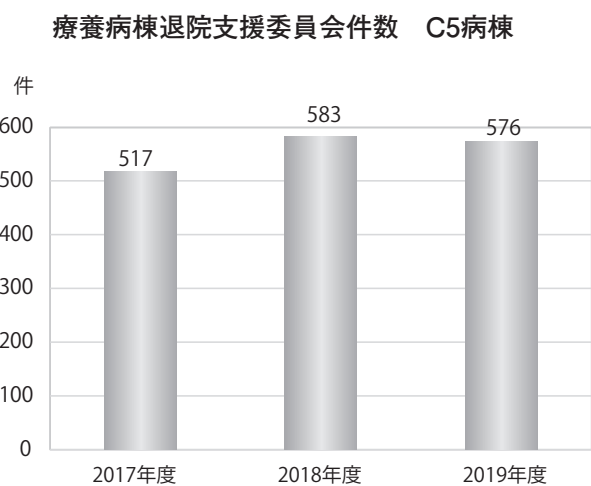
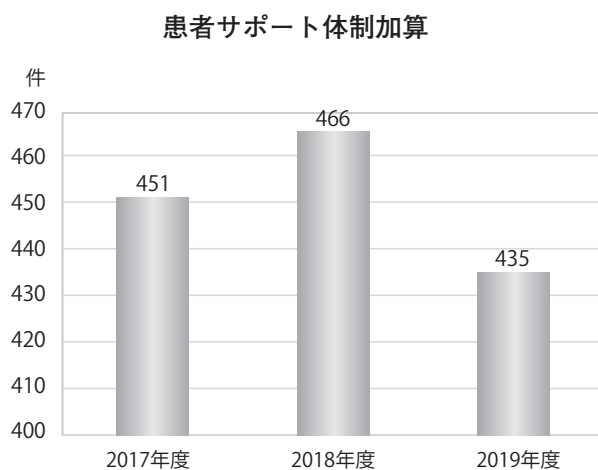
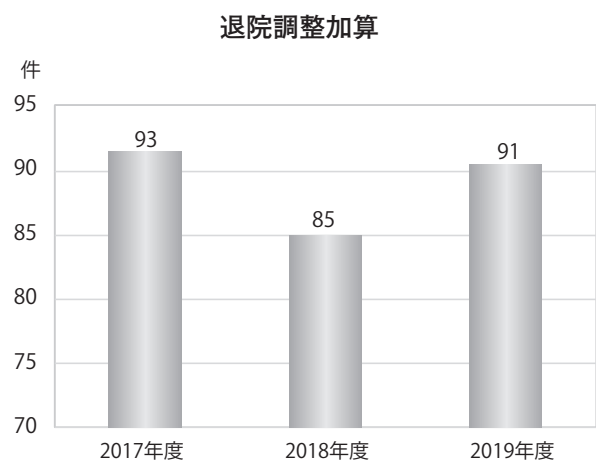


保険医等3者以上共同指導料

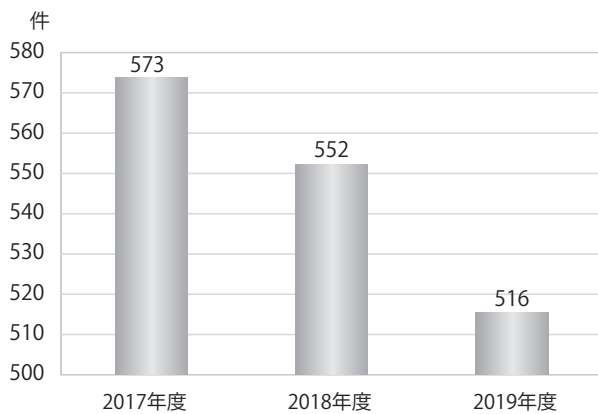




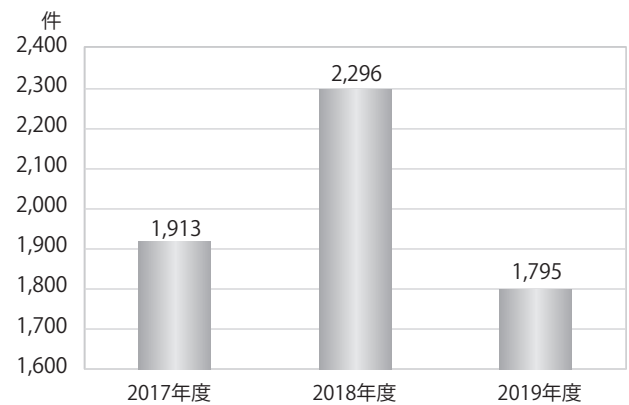
谷山病院



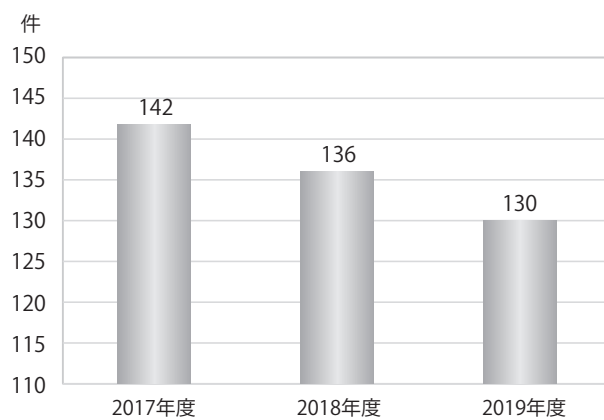
療養病棟退院支援委員会件数 C6病棟



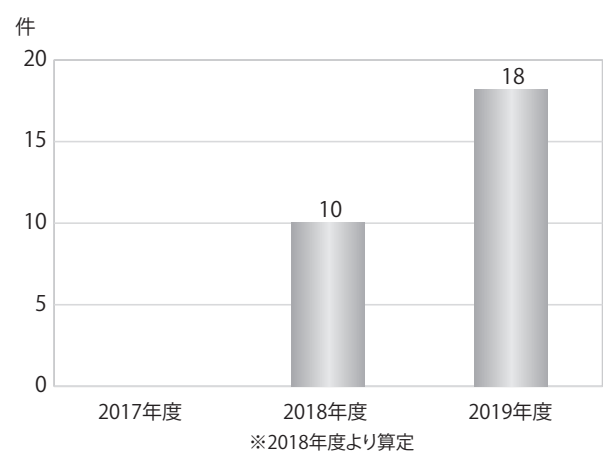
受診入院相談件数



退院前訪問指導料

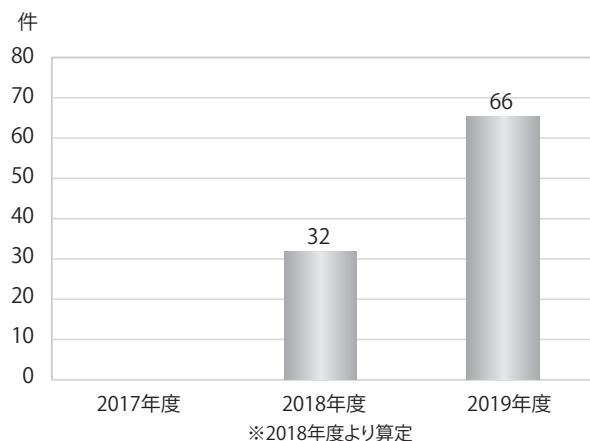


介護支援連携等指導料

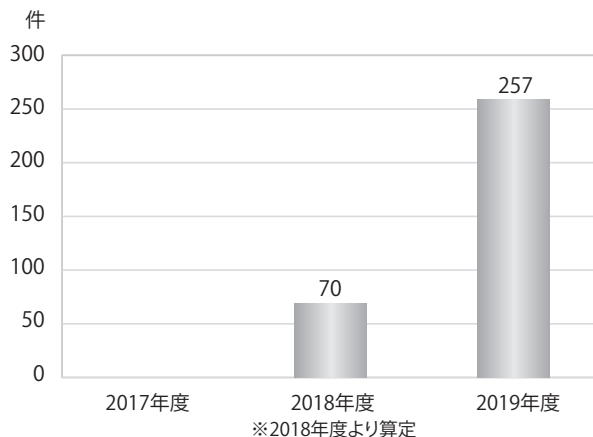


奄美病院

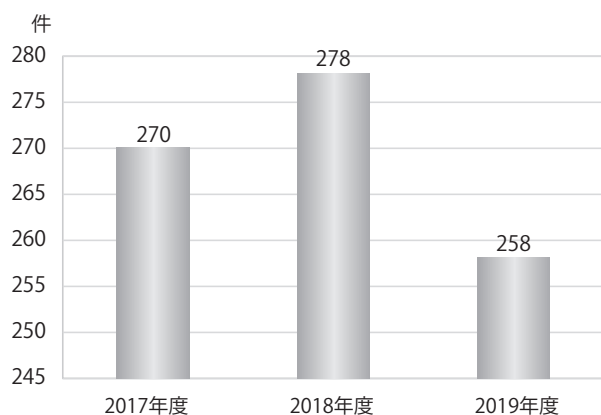
退院調整加算



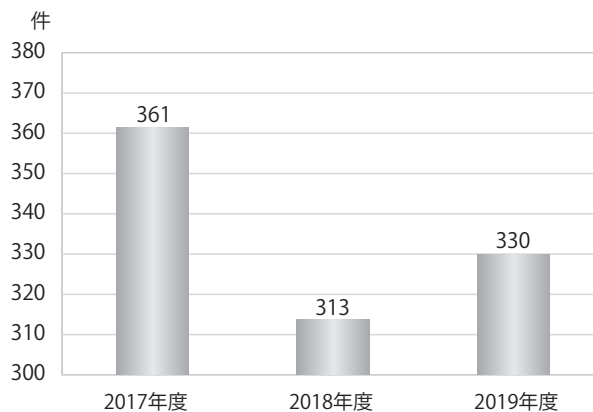
患者サポート体制加算



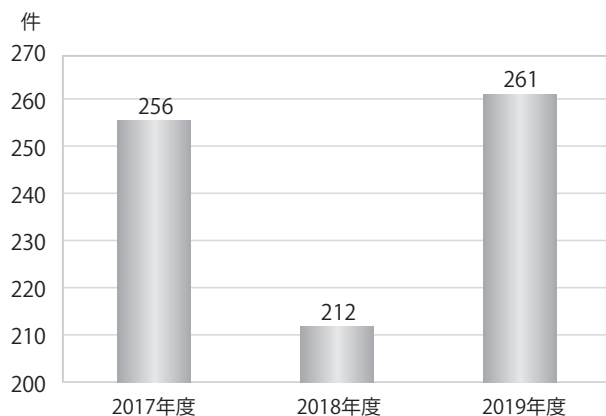
療養病棟退院支援委員会件数 (2東病棟)



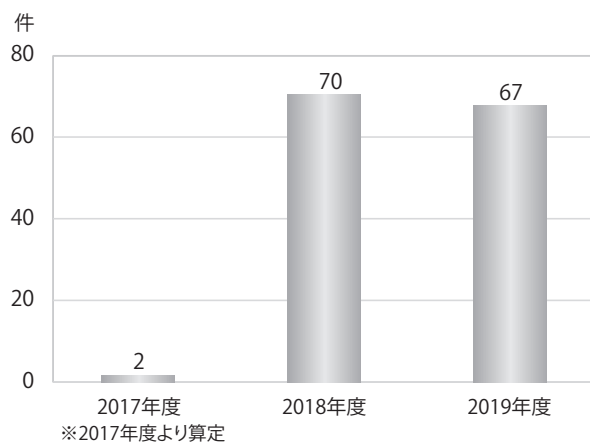
療養病棟退院支援委員会件数 (2西病棟)



退院前訪問指導料

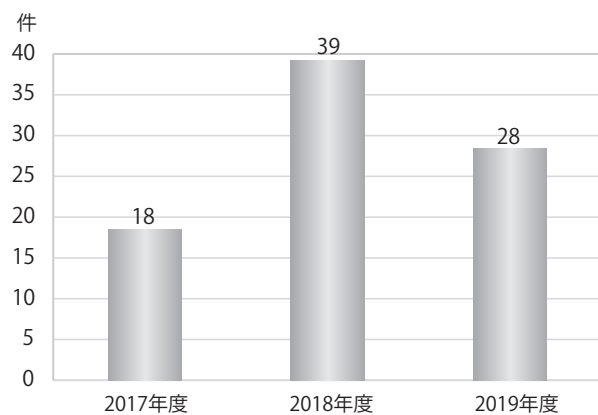


介護支援連携等指導料

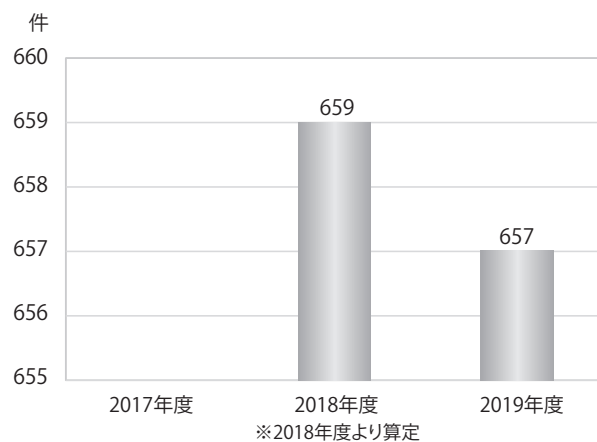


徳之島病院

退院前訪問指導料

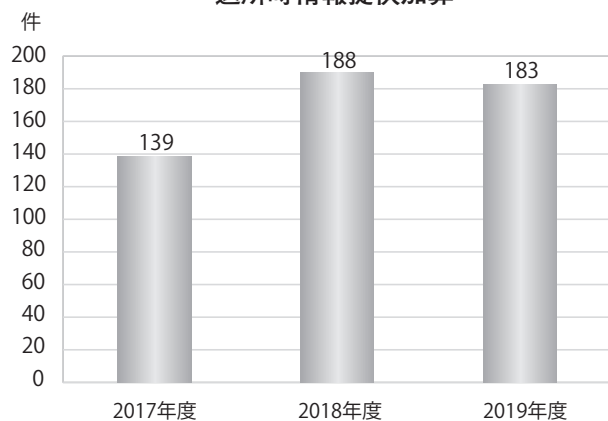


療養病棟退院支援委員会（2病棟）

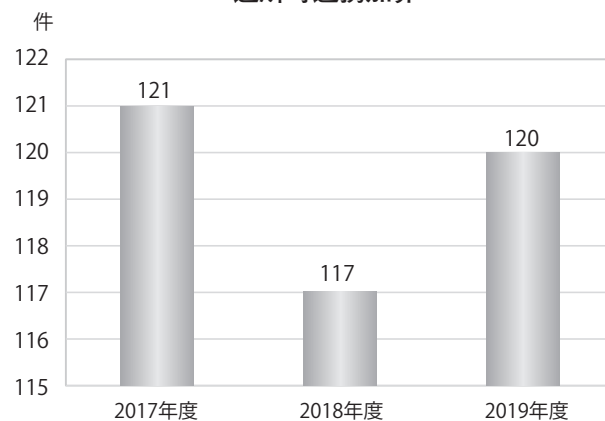


介護老人保健施設 愛と結の街

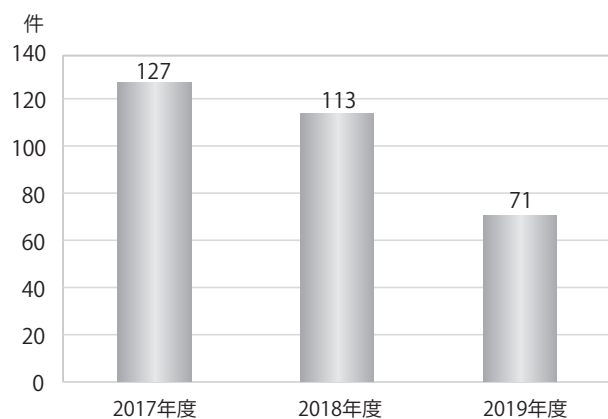
退所時情報提供加算



退所時連携加算



退所時指導加算



業 績 一 覧

【学会発表】

今村総合病院

1. 神村優衣：生活の質を高める支援とは－終末期患者の退院支援を通して－. 第56回九州医療ソーシャルワーカー研修会くまもと大会, 2019年11月23－24日, 熊本

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 日高洋美：実習中止となってしまった学生への対応から考える学生へのケア・実習指導者へのケア. 令和元年度実習指導に関する研修, 2019年1月18日, 鹿児島

いづろ今村病院

2. 南尚江：認知症のある糖尿病患者への退院支援. コメディカルのための糖尿病セミナー, 2019年8月17日, 鹿児島
3. 南尚江：ケアマネジャーの育成とメンタルヘルス. NPO法人介護支援専門員協会鹿児島 主任介護支援専門員フォローアップ研修, 2019年11月30日, 鹿児島
4. 南尚江：ストレスマネジメントについて. 鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会 実習指導者研修会, 2020年1月18日, 鹿児島

奄美病院

5. 濱田凌：LGBT × 自己覚知～セクシャルマイノリティ. 多職種交流研修会, 2020年2月22日, 奄美

臨床工学部門

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

2018年から進めたいづろ今村病院との業務統合が進み2名とも今村総合病院に移籍することができた。いづろ今村病院へは計画どおり1カ月交代で技士のローテーションを行っているが今のところ何の問題もなく経過している。いづろ今村病院へのオンコール体制も問題なく機能し対応ができています。

実力ある2名の技士が増えたが本年度も中堅の技士が2名退職することとなり組織力の強化が進まない状況ではあったが、今まで以上に手術室への関わりを深めていくことを目的とし11月から技士業務の業務分けを行った。透析センターの技士数を1日に8名固定とした透析センターグループと、越智科長、原主任、高岡副主任を中心に手術室、ICU、病棟透析、高気圧酸素を担当するグループに分けることで、透析室も手薄にせず、そのほかの臨床工学技士業務に対応することとし、その日の人員が少ない日はお互いにカバーしあいながら業務分けを行っている。

研修会

「谷山病院医療機器安全管理研修『輸液ポンプについて』」

- ・2019年9月3日、9月12日
- ・谷山病院

「いづろ今村病院医療機器安全管理研修『AEDと除細動器について』」

- ・2019年11月
- ・いづろ今村病院

「いづろ今村病院医療機器安全管理研修『人工呼吸器について』」

- ・2019年8月、9月
- ・いづろ今村病院

技能・能力向上に向けた取り組み

資格取得（2019年度に取得した資格）

- ・第11回日本医療機器学会MDIC認定：1名
- ・第24回3学会合同呼吸療法認定士：1名
- ・第2回認定血液浄化臨床工学技士：1名

参加学会・研修会

- ・第29回日本臨床工学技士学会：3名
2019年5月18-19日 岩手県
- ・第64回日本透析学会学術集会：2名
2019年6月28-30日 神奈川県
- ・造血幹細胞移植推進拠点病院事業
九州大学病院 臨床工学技士研修コース：1名
2019年9月9日 福岡県
- ・第26回鹿児島県臨床工学会：4名
2019年9月14日 鹿児島県
- ・第14回九州・沖縄臨床工学会：1名
2019年10月5-6日 沖縄県
- ・第1回内視鏡業務基礎研修会：1名
2019年11月20日 東京都
- ・第24回エンドトキシン血症救命治療研究会：2名
2020年1月31-2月1日 福岡県
- ・第10回日本腎臓リハビリテーション学会：2名
2020年2月22-23日 東京都

各種指標

2019年4月-2020年3月業務実績

透析センター血液透析	25,375件
ICU血液透析	92件
ICU持続ろ過透析	333件
二重ろ過血漿交換	68件
単一膜血漿交換	16件
LDL吸着	13件
高気圧酸素療法	622件

単位：件

業 績 一 覧

【学会発表】

今村総合病院

1. 竹下佳希, 坂口政人, 越智秀美, 森田恵一, 原康隆, 高岡大, 樋元祐輔, 中川辰徳, 井上元紀, 川井田季睦, 岡田翔, 雪松慎太郎, 家村央士朗: TE-28 型の導入について～看護師へのアンケートを実施して～. 第 29 回日本臨床工学技士会, 2019 年 5 月 18-19 日, 岩手
2. 高岡大, 坂口政人, 井上元紀, 川井田季睦, 竹下佳希, 三重陽一, 大久保珠里, 渡邊喜代美, 新村由梨, 上荒磯ひとみ: 当院の SPP 低下症例における合併症の有無について検討. 第 64 回日本透析医学会学術集会総会, 2019 年 6 月 28-30 日, 横浜
3. 高岡大, 坂口政人, 越智秀美, 森田恵一, 原康隆, 樋元祐輔, 井上元紀, 川井田季睦, 岡田翔, 竹下佳希, 雪松慎太郎, 家村央士朗, 徳満拓実, 早水健人, 松元彰洋: 当院の CIED s 関連業務の現状と今後の課題. 第 26 回鹿児島県臨床工学会, 2019 年 9 月 14 日, 鹿児島
4. 竹下佳希, 坂口政人, 越智秀美, 森田恵一, 原康隆, 高岡大, 樋元祐輔, 井上元紀, 中川佳奈恵, 川井田季睦, 岡田翔, 雪松慎太郎, 家村央士朗, 徳満拓実, 早水健人, 松元彰洋: TE-28I の使用経験. 第 26 回鹿児島県臨床工学会, 2019 年 9 月 16 日, 鹿児島
5. 高岡大, 竹下佳希, 坂口政人, 越智秀美, 原康隆, 森田恵一, 樋元祐輔, 井上元紀, 川井田季睦, 岡田翔, 竹下佳希, 雪松慎太郎, 家村央士朗, 竹之内聖三, 三重陽一: PMX - DHP 施行症例における比較～下部消化器穿孔症例との検討～. 第 24 回エンドトキシン血症救命治療研究会, 2020 年 1 月 31-2 月 1 日, 福岡

部門別 事業報告(PDCA) 総括

総務人事部門

中長期計画	2019年度 事業計画 (Stage3)	実施 2019.4月～ 2020.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
総務人事部	円滑な連携が図れる組織態勢の構築	①・急性期統括事務長、精神科統括事務長によるマネジメントの展開 各統括事務長による定例会議出席、経営幹部との協議実施 ②・4/1より統括看護部長の再配置実施、および精神科統括看護部長（谷山病院看護部長兼務）の配置 ③・薬剤部～2018.10より空席となっていた慈愛会薬剤部長についてリクルート活動を展開⇒2020.4からの入職決定 奄美病院へ製薬会社定年退職者（薬剤師）1名採用 ・画像診断部～任期満了に伴う統括技師長の交代人事実施 ・医療情報室長～MICからの出向者を室長として継続	①・介入度合いは増えているが十分とはいえない。 ②・看護部内の統括的組織運営が積極的に展開されている。 ③・薬剤部～部長採用により薬剤部の横断的組織運営が可能となる。部長不在の薬剤部へ積極的に本部として支援を行った。 ・画像診断部～当初の予定通り任期2年での統括技師長の交代を実施できた。 ・医療情報室～2020.4以降においてMICからの室長派遣継続できず。	①・事務長を配置していない奄美、徳之島病院事務管理部門への人材投入が課題である。 ②・看護部リクルート活動も含め看護部門の統括と他部門との円滑な連携を実現していく。 ③・薬剤部～2020.4より慈愛会薬剤部長とともに、薬剤師リクルート活動、特に奄美病院薬剤師配置を進めていく。 ・医療情報室～室長人事…MICから受け入れできず。 ⇒IT部門のMIC統括態勢継続が必要である。
	地域社会に貢献できる人材の育成	①・キャリア開発推進会議開催～5回実施 入職後6年目までのキャリアラダーを診療支援・事務部門でも策定 ②・「管理者任用候補者選考制度」の運営・実施＜診療支援・事務部門＞ 受験者56名→最終合格者51名 ③・階層別研修見直しについては具体的対応は未実施 ④・2019.10より徳之島病院にてミランマーからの技能実習生（介護職）3名を受け入れ⇒3名とも介護職としての技能実習継続中 ⑤・医師のリクルート 奄美病院 1名（精神保健指定医）、老健 1名採用 他 4名と交渉⇒2020.4より2名入職決定（徳之島1名、谷山1名） ・職員による入職希望者紹介制度の検討 人材紹介会社と連携したリファーマル制度の策定	①・キャリアラダーおよび評価表の内容において、職種部門間でバラツキが見受けられる。 ②・診療支援、事務部門における2年目の実施であった。今年度で、既指導1級昇格者の受講・受験が全員終了となる。 ④・徳之島病院受け入れ担当スタッフの支援のもと順調に進んでいる。2020年の追加受け入れは予定せず。 ⑤・医師のリクルート 2020.4より徳之島病院へ精神保健指定医を採用できることは、病院の運営に大いにプラスとなる。 ・職員による入職希望者紹介制度紹介会社との妥結遅延により4月入職に間に合わせる事ができず。	①・各部門においてキャリアラダーと評価表の内容検証を行い、制度についての周知をはかる。人事考課との連動を3年度から予定している。 ②・各部署の責任者を指す上級管理者への選考制度導入検討が必要である。 ④・今後の外国人労働力の活用については、徳之島病院における3名の技能実習生の状況把握、コロナウイルス感染状況による影響等、また他の監視団体の活用を含め検討していく。 ⑤・医師のリクルート ・精神科3病院および老健、高麗町クリニック（在宅医）のリクルートを継続していく。 ・職員による入職希望者紹介制度「慈愛会職員リファーマル（知人紹介）制度」を確実に運営していく。
	やりがいの持てる労働環境の実現	①・「働き方改革関連法案」に則した労務管理の実施 ・「労働時間乖離実態調査表」を奄美、徳之島病院に加え本部、谷山、老健においても活用を開始 ・「同一労働同一賃金」に対応した給与規程への改定実施 ②・「ドクターパフォーマンスレビュー」の展開 ・2019年度の目標設定、多面評価等、一連の項目の実施 ③・パート賃金表の見直し実施 ④・再雇用者の雇用期間統一化の実施 ⇒誕生日月更新を雇用期間4月～3月、毎年4月更新へ統一	①・慈愛会全体での取り組みとして意識付けを行い対応した。 ・医師の在院時間把握のシステムが開始できたことは、医師の働き方改革を進めるうえで大いにプラスとなり得る。 ②・日本経営のコンサルのもと一連の対応を着実に実行した。 ③・職種毎給与のベンチマークを行い、次期における見直しへ着手した。 ④・業務効率にもつながった。	①・有給休暇5日取得については継続事業として取得の管理を行う。 ・医師についての働き方改革に関する労務管理への取り組みを強化する。 ・「労働時間乖離実態調査表」による実態把握を推奨していく。 ・2020.4より嘱託、パート職員へ正職員同等の手当支給を開始する。 ②・2019年度の実績について振り返り面談を実施、「ドクターパフォーマンスレビュー」による評価を行い結果を『医師給与規程』により年俸額へ反映させる。 ③・一般職員給与水準の確認を行い、見直しが必要な職種については対応を行う。 ④・2020年度より、年俸制職員は前年度の成果を年俸へ反映させるため、雇用期間7月～6月、毎年7月更新とする。

中長期計画	2019年度 事業計画 (Stage3)	実施 2019.4月～2020.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
総務人事部門	法人運営の健全化と経営基盤の強化	①・自己資金による設備投資額を加味した目標設定 償却前利益目標額＞長期借入返済額＋自己資金設備投資額 ＜結果（決算修正前）＞ 償却前利益1,397百万円【対予算-108百万円、対前年-145百万円】 C/F残16百万円 ②・賞与支給方法の変更 ⇒年3回支給へ【夏季上限1.8、冬季上限2.0、期末0.2】 夏季・冬季は病院・施設毎業績連動、期末は固定年間2.7～4.0カ月 ③・適正人員管理手法の確立については具体的対応未実施 ④・病院・施設の売店レジ消費税対応と、会計システム本体の対応実施 ⑤・2019.11給与支給より全病院、施設において給与明細電子化開始	①・キャッシュフロー経営への意識転換がはかれた。 ②・冬季賞与1.8カ月支給の病院・施設へは4月に差額0.2カ月支給を約束した対応であったが、初めての病院・施設間での差が生じたことへのインパクトはあったと思われる。 ④・研修等実施により問題となるようなトラブル発生はなかった。 ⑤・給与明細のペーパーレス化で、業務軽減に加えコスト減もはかれた。	①・2020年度の予算は将来の設備投資準備資金を加味した償却前利益予算を設定する。 = 長期借入返済額＋自己資金設備投資額＋設備投資準備資金 ②・賞与計算期間と会計年度との不一致は正の検討を開始する。 賞与引当期間の是正 夏季12-5月 ⇒ 10-3月 冬季6-11月 ⇒ 4-9月
	医療正に関わる物的効活用適	①・資産管理システム導入対応 今村総合病院臨床工学部にて導入・活用中（日本光電） ②・本部管財課での取りまとめ交渉実施 検査システム・検査機器、エコー、血球分析装置、温冷配膳車、複合機 ③・遊休資産の売却 土地2件について実施（奄美市および鹿児島市の土地2筆）	①・現段階では、今村総合病院臨床工学部内での活用に残っている。 ②・各病院・施設における設備投資（機器購入等）情報の本部管財課における一元管理の効果が顕在化してきている。 ③・鹿児島市物件については競争入札にて売却先を決定した。 ・売却益：27,250千円/2件	①・2020年度中に本システムを今村総合病院内の総務課購買担当とも共有 ②・今後においても、機器購入計画の策定と購入時にける本部での価格交渉を進めていく。 ③・土地のみならず、駐車場・借家等についても有効活用を検討していく。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. 統括部長配置の実施

- 2019年4月より各病院・施設看護部長の指導・管理監督、看護部業務の統括を目的として統括看護部長を再配置した。また精神科3病院を統括する精神科統括看護部長（谷山病院看護部長を兼務）を新設配置した。

- 薬剤師のリクルート活動、各病院薬局長の支援、薬剤部門の横断的な取り組みを目的としてこれまで空席であった慈愛会薬剤部部長の再配置に向けた活動を展開し、2020年4月からの配置者を決定した。

2. ドクターパフォーマンスレビューの展開

医師給与規程及び医師給与表を策定した。今後、今村総合病院、いづろ今村病院においてドクターパフォーマンスレビューによる評価を行い、結果を医師給与規程により年俸額へ反映させていく。

3. 働き方改革への対応

- 有給休暇取得義務化への対応
有給休暇取得義務化にともない年間5日間の有給休暇取得状況の管理を開始した。

(2) 同一労働同一賃金への対応

同一労働同一賃金に対応した給与規程への改定を実施。2020年4月より嘱託・パート職員へ正職員同等の手当を支給していく。

(3) 医師の出退勤管理の開始

勤怠管理システムによる医師の在院時間の把握を開始した。

4. 賞与支給方法の変更

賞与支給方法を年3回支給へ変更（夏季賞与、冬季賞与、期末賞与）

夏季・冬季賞与については病院・施設ごと業績連動とし、期末賞与の支給率は固定とした。2019年12月支給の冬季賞与より業績連動による賞与支給を実施している。

5. 給与明細書のペーパーレス化実施

2019年11月より給与明細書のWEB配信による電子化を実現した。業務効率化、コストダウンにつながっている。

6. 総務担当者合同研修会の実施

総務担当者合同研修会を実施。（年3回）

- 第1回（2019年7月17日開催）

＜主なテーマ＞

- ・年次有給休暇取得義務について
- ・給与明細書のペーパーレス化について
- ・勤怠システム タイムプロについて

(2) 第2回 (2019年11月14日開催)

＜主なテーマ＞

- ・年末調整について
- ・年金事務所の社会保険加入調査について
- ・401K関係書式変更等について

(3) 第3回 (2020年3月9日開催)

＜主なテーマ＞

- ・就業規則等の改定について
- ・各種改訂・改正事項等について
- ・パワーハラスメント防止について

7. 消費税法改正に対応した厳正な経理処理の実施

各病院・施設の売店レジ消費税対応と、会計システム本体の対応を実施した。

8. 財務目標の設定

各病院・施設ごとの目標利益（償却前利益）について、自己資金による設備投資額を加味した目標設定へ移行した。

* 償却前利益目標額＞長期借入返済額＋自己資金設備投資額

技能・能力向上に向けた取り組み

1. 「キャリア開発推進者会議」におけるキャリアアラダー策定に向けた取り組み

2カ月に1回実施しているキャリア開発推進者会議（2019年度は5回実施）において入職後6年目までのキャリアアラダーを診療支援・事務部門でも策定した。

2. 外国人技能実習生受け入れ

2019年10月より徳之島病院へ介護職としてミャンマーより3名受け入れを開始し、技能実習継続中である。

3. 診療支援・事務部門における「管理者任用候補者選考制度」の実施継続

診療支援・事務部門において「管理者任用候補者選考制度」を昨年に続き実施した。今年度は受験者56名のうち最終合格者51名であった。

合同研修会

I 新入職員研修会

1. 合同入職式（参加者：新入職員全員）

- ・2019年4月1日
- ・鹿児島県水産会館

【内容】理事長式辞、会長祝辞、各病院施設長他紹介、辞令交付、新入職員代表挨拶

2. オリエンテーションⅠ・新入職員歓迎会（参加者：新入職員全員）

＜ねらい＞

- ①社会人としての心構え、職場におけるルールを学ぶ。
- ②慈愛会の理念、基本方針、概要を知る。
- ③同期入職者としての連帯感・協調性を養う。

- ・2019年4月1日（既卒者は午前中のみ） 121名参加
- ・鹿児島県水産会館

【内容】院長・精神科病院統括看護部長による講話、慈愛会概要説明（理念・基本方針・行動規範・病院施設概要）社会人としての心構え、接遇マナー、コミュニケーション、401K説明、健全な生活設計（消費者トラブルの対処 他）、新入職員歓迎会（懇親会）

3. オリエンテーションⅡ（参加者：研修医を除く新卒新入職員全員）

＜ねらい＞

- ①お互いに抱えている悩み・不安を共有する。
- ②同期職員の親睦とそれぞれの職種についての相互理解をはかる。
- ③職場における自分の役割を考え、自己目標を設定する。
- ④医療機関における災害発生時の対応について理解を深める。
- ⑤医療機関に求められるホスピタリティを考える。

1泊2日の宿泊研修（キャンプ）

- ・2019年5月24日－25日、5月31日－6月1日 2回に分けて実施

*いずれかの回へ参加 88名参加

- ・1日目午前中：（1回目）泉町慈愛会ビル、（2回目）ベイサイド錦江

1日目午後～2日目：南薩少年自然の家（南さつま市）

【内容】 共同討議（悩み・不安について、今後の自己目標設定）

被災病院における発災直後の対処行動、医療機関に求められるホスピタリティ、先輩職員との座談会、野外炊飯、野外活動（ウォークラリー）

4. オリエンテーションⅢ（参加者：研修医を除く新卒新入職員全員）

<ねらい>

- ① 今後の課題、目標を見出す。（オリエンテーションⅡでの設定目標の評価）

② 悩み・不安の共有と対処方法の模索。

③ 医療に関する基礎知識、慈愛会の概要を確認する。

・ 2019年12月に2回に分けて実施（1日研修）

＊ いずれかの回へ参加 83名参加

・ かごしまオハナビル 大会議室

【内容】 共同討議（悩み・不安について、自己目標の評価と新たな課題の設定）、慈愛会検定実施

<「入職式」、「オリエンテーションⅠ」カリキュラム>

○合同入職式

8:45 までに	合同入職式会場に集合		新卒・既卒 入職者全員
9:00 ～ 10:20	理事長式辞	理事長	
	会長祝辞	会長	
	各病院長・看護部長・事務長紹介	本部総務人事課	
	辞令交付	理事長より辞令を手交	
	新入職員代表挨拶	新入職員代表	

○オリエンテーションⅠ

10:30 ～ 11:30	新入職員へのメッセージ（30分）	今村総合病院院長	新卒・既卒 入職者全員
	医療従事者としての心構え（30分）	精神科病院統括看護部長	
11:30 ～ 12:45	昼 食 各人の写真撮影	本部総務人事課	新卒入職者 （研修医は15：40以降別メニュー）
12:45 ～ 13:30	慈愛会の概要説明 理念、基本方針、行動規範 慈愛会の概要、構成	本部総務人事部長	
13:40 ～ 15:40	社会人としての心構え 医療機関に求められる接遇 コミュニケーションの実践 身だしなみ、挨拶、言葉遣い、態度	九州経済研究所	
15:50 ～ 16:30	健全な生活設計 消費者トラブルの対処	鹿児島市消費生活センター	
16:40 ～ 18:10	401 k 説明	鹿児島銀行 地域支援部	
18:10 ～ 18:30	懇親会場設営	全員	

○新入職員歓迎会

18:30 ～ 19:40	理事長挨拶	各病院長・看護部長 事務長 他 (立食形式)	新卒入職者
	乾杯（新入職員）		
	閉会の辞（新入職員）		

Ⅱ 中途入職者研修会

1. 研修の目的

- (1) 慈愛会の理念を知り、受講者それぞれの職種・業務において何を実践すべきか考える。
- (2) 就業規則・各種規程を通じ、慈愛会職員として身に付けるべき就業上の知識・ルールについて学ぶ
- (3) 慈愛会の組織・各施設の概要について理解する。
- (4) 基本的な接遇・ビジネスマナーについて学ぶ。
- (5) メンタルヘルス（セルフケア）について学ぶ。

(6) 「慈愛会フィロソフィ」について知る。

(7) 「自身の現状と将来のビジョン」について考える。

2. 実施概要

(1) 対象者：医師以外の中途入職者（正職、嘱託職員）

(2) 開催月：年6回実施（4月、6月、8月、10月、12月、2月） 計114名参加

※入職後、直後開催される研修会へ参加

(3) 時間：1日研修

<「中途入職者研修会」カリキュラム>

時 間	研 修 内 容	担 当
8：25	受講者集合	
8：30－8：40	開講の挨拶	本部 総務人事部長
8：40－8：45	庶務事項説明	本部 総務人事課
8：50－9：50	1. 慈愛会の概要について① ・慈愛会の理念・慈愛会フィロソフィ	本部 総務人事課
10：00－10：30	2. 理事長講話	理事長
10：30－11：05	3. 慈愛会の概要について② ・基本方針・行動規範 ・組織・職種別人員 ・雇用形態 ・正職員任用制度 ・各病院、施設の施設概要	本部 総務人事課
11：15－12：05	4. 人事制度について ・人事考課 ・資格・役職位 ・退職金制度	本部 総務人事課
12：05－13：05	昼食・休憩	
13：10－13：50	5. 就業規則のポイント ・有給休暇取得 ・時間外勤務のやりかた ・手当の支給（住宅・扶養手当等） ・産前産後休業・育児休業 ・賞与の支給要件、昇給の実施要件 ・欠勤、休職 ・福利厚生制度	本部 総務人事課
14：00－15：30	6. 接遇について ・接遇の基本について ・クレームへの原因と対処法について	本部 総務人事課
15：40－16：20	7. メンタルヘルスケア（セルフケア）について	本部 総務人事課
16：30－17：15	8. 入職後の自身の現状と将来のビジョンについて （発表・グループディスカッション）	本部 総務人事課
17：15－17：25	9. 研修振り返り・研修アンケート記入	
17：30	閉会・解散	

部門別 事業報告(PDCA) 総括

医療情報室 慈愛会総合情報システム (J-TIS)

中長期計画	2019年度 事業計画 (Stage3)	実施 2019.4月～ 2020.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
慈愛会総合情報システム (J-TIS)	システム管理と構築	①J-TISの検証とロードマップの見直し 慈愛会のシステム一覧を作成 J-TISロードマップを作成 健診システム更新 (いづろ今村) ネットワーク環境整備 (いづろ今村・奄美) RPA稼働 ToDoシステム導入 奄美病院電子カルテ導入準備のための調査 法人事業本部PCのWindows10対応 谷山病院検査システム更新 ③法令改正等へ向けた準備と対応 元号改元対応 消費税改定・軽減税率対応	システム一覧、J-TISロードマップを作成。 SE内製システムのパッケージへの切り替えとして、いづろ今村病院の健診システムを更新した。 従来の懸案事項であった、いづろ今村病院のネットワーク環境を整備。基幹系/情報系ネットワークを切り離し、老朽化した機器の更新も完了した。 RPAは、作成したロボの数が増やせていない。 ToDoシステムについては、概ね高評価である。 奄美病院のネットワークを整備したが電子カルテ導入計画が進まず、ネットワーク整備による情報共有の仕組みを構築できていない。 消費税改定・軽減税率対応・新元号対応を行った。	J-TISロードマップに、各システムの状況を反映し、システムの更新時期や、新規システムの導入時期をより具体的に把握できる環境を構築していく。 SE内製システムのパッケージ切替として、医療安全管理システムの導入を検討中。 ネットワークに関しては、離島の施設とのリモート環境を整備し、保守体制を整えていく。 RPAのロボを増やし、定型業務の効率化を図る。 奄美病院内のIT環境整備（文書管理・オーダリング・院内ホームページなど）を検討していく。
	データマネジメント	①DWH/MotionBoardを使用したデータマネジメントの推進 DWHの利用部署、使用用途の拡大。 ②データマネジメント部署との連携強化 総合病院データマネジメント室と連携して、BIツール作成の支援を行った。 ③連携強化に向けたデータ収集の拡大 谷山病院の検査システム更新に伴い、いづろ今村・今村総合とのシステム統合に向けた作業を開始。 訪問看護統合に伴うシステム連携対応。	院内DWHは、各部署からの要望で、データ抽出を行い定期的にデータ提供を行っている。 BIツールによるボードの作成数が増やせていない。 いづろ今村、今村総合、谷山の各施設の検査部で、検査システムのマスタ統合に向けての作業を始めている。 訪問看護と谷山病院で情報を共有できる環境が構築できた。	事務系（医事課・総務課）での活用が少ない。 今後、事務系での活用を検討していく。 BIツールデータマネジメントに関する人材の育成を行う。 マスタ統合について、引き続き作業を行う。
	人材育成	①慈愛会SEの統合の推進 月次の定例会、グループ週報による報連相の実施、情報共有。 精神・介護GのSE体制見直し ②SEの質の向上 ホスピタルショウ参加 VHJ-IT部会参加	精神介護GのSE退職があった。 ホスピタルショウ、VHJ-IT部会への参加。	離島のIT環境整備が必須となるため、精神介護Gだけでなく、急性期Gも含めて、離島のフォローを検討していく。 引き続き、学会やホスピタルショウなどへ参加。 Webセミナーなども活用し、情報収集を行う。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. DWH（データウェアハウス）・BIツールの活用

- いづろ今村病院と今村総合病院の電子カルテ・医
事データをDWHに連携。
- 定期的なデータ抽出を自動化。
- 今村総合病院データマネジメント室と共同で入院
状況モニタリングボード作成。

2. ネットワーク環境の整備

- いづろ今村病院のネットワークを整備。
セキュリティ向上のため、基幹業務系と情報系の
ネットワークを分離。
2020年2月運用開始。
- 慈愛会WAN環境の整備
徳之島病院のインターネットVPNに、beat-box を
導入し、他施設のbeat-boxも更新。
慈愛会ネットワーク（WAN）環境を最新環境に
整備。
2019年8月更新。

3. 業務システム構築の推進

- 看護勤務管理システム導入
奄美病院、徳之島病院、愛と結の街に看護勤務管
理システム（CWS）を導入。
2019年8月より稼働。
- 健診システムの導入
いづろ今村病院に健診システムを導入。
2019年9月稼働。
- 検査システムの更新
谷山病院の検査システムを更新。いづろ今村病院
や今村総合病院と同一メーカーの検査システムを
導入。
2020年3月稼働。
- ToDoシステムの導入
いづろ今村病院にToDoシステムを導入。
2019年12月稼働。
- 入退院支援加算取得支援システムの導入
入退院支援加算を取得するための支援システムを
開発。今村総合病院で運用開始。
2020年1月運用開始。

部門別 事業報告(PDCA) 総括 業績一覧

教育開発センター

中長期計画	2019年度 事業計画 (Stage3)	実施 2019.4月～2020.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
特定行為研修指定研修機関の開設 教育開発センター 事務部・診療支援部の能力開発構築支援	① 2区分 10名の研修実施 ・標準コース 7月科目修了試験全員合格 ・標準コース 区分別 8月から e-ラーニング開始 10月 11月 修了試験 3月までに実習修了 ・共通科目免除コース 4月 e-ラーニング開始 5月 6月 修了試験 実習 7月までの修了 ・次年度研修募集開始 12月中旬から ② 区分パッケージ化に向けた取り組み計画 ・次年度の追加区分の決定 ⇒ 5月 ・九州厚生局に申請 ⇒ 11月 ・追加区分の認可 ⇒ 2月 ③ 厚生労働省からの補助金獲得 収支による黒字化 ・運営に係る費用 495万円以内 (補助金基準額以内) ・受講料：標準コース 9名 共通科目免除コース 1名 480.5万円	① 2区分 10名の研修実施 ・標準コース：研修内容及びスケジュールは予定通り実施。9名中7名が全ての研修を修了し認定した。 1名が共通科目の演習不合格、1名が区分別科目実習に至らず、合計2名が研修を修了出来なかった。 ・免除コース 1名は2区分科目修了し認定した。 ・次年度の研修2区分を12月に申請、2月に承認された。 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ろう孔管理関連 ② 区分パッケージ研修は検討した結果、指導者不足のため申請まで至らなかった。 ③ 厚生労働省からの補助金は、2,607,432円となった。 運営の費用人件費・消耗品は 8,910,476円となった。 (人件費：7,664,000円) 受講料は、4,805,000円となった。 1,498,044円の赤字となった。	① 標準コース・免除コース共に内容もスケジュールにも特に大きな問題もなく研修を実施出来た。 ・症例の確保もできたが確保方法に課題が残った。 ・標準コース2名の不合格者にはかなり支援を行ったが研修中のオリエンテーションや研修生同士の連携指導に課題があった。実習の症例確保方法を変更する。 ② 次年度パッケージ研修導入を検討したが、指導者確保に課題があった。パッケージ研修導入は断念した。 ・2区分追加し、体力に見合った研修計画を行った。 ・外部評価者や鹿児島大学の呼吸器内科の支援を受ける計画は順調に進められた。 ③ 厚生労働省からの補助金は当初400万円の予算だったが、260万円に削減されたため、黒字化出来なかった。 今後260万円程度の補助金であれば、研修生を増やし受講料増額が必要である。	① 研修の区分を4区分に増やす。 ・受講者全員の修了を目標にオリエンテーション・支援の充実を図る。 ・出講日を増やし、互いに学ぶ機会を増やす。 ・症例確保のために実習病棟の協力を得る。 ② パッケージ研修導入の検討を継続する。 ・在宅慢性期のパッケージ研修の開始を計画する。 ・症例数確保のため、協力施設の確保を行う。 ③ 収支の黒字化では、引き続き厚生労働省への補助金申請の実施。しかし、約260万円程度が予測される。 ・黒字化するためには研修生の量産と受講料の確保を行う。 ・受講生が区分の複数選択できるようにする。 (2020年度受講料：501万円)
	① キャリア開発プログラム構築 ・キャリア開発推進者会議（奇数月開催） ・各部門のラダーの構築（7月までにラダーⅠ～Ⅲ 11月までにラダーⅣ～Ⅴ作成） ・ラダーに沿った研修計画立案 ・ラダー認定システムの構築 ・CWS又はMICによる人材育成管理システム構築（1月までに） ② IPE/IPWの推進 （キャリア開発推進者会議にて進める） ・IPE/IPWについて共通理解の上、臨床実践を積みかさねる（まずは褥瘡） ・多職種連携カンファレンスの充実（ICUモデルの普及） ③ 管理者任用候補者選考に係る研修の開催と選考 ・研修プログラム決定（6月参事会） ・テキスト作成締め切り（8月中旬） ・テキスト配布（10/1） ・研修（11/7・8 15・16）選考（12/7） ④ 徳之島病院外国人労働者受け入れ支援 ・研修プログラム構築（ラダーパス作成） ・職員への周知と教育（教育プログラムの説明）	① キャリア開発プログラム構築 ・構築に向けて奇数月の会議にて検討した。 ・年間目標スケジュールに沿って実施 ・2部門以外はほぼ完成した。 ・人材育成管理システムの検討はしたが実施まで至らず ② IPE/IPWは具体的に進まなかった。 ・しかし、教育プログラムに多職種協働という項目を入れ、全部門の共通とした。 ・多職種カンファレンスの充実には具体的には実施せず各部門の実施状況を把握した。 ③ 研修と選考は予定通り実施。 ・実施までのスケジュールは計画通り実施 ・受講生は、看護部 18名 診療支援部 31名・事務部 19名 ・選考受験者は、看護部 18名、診療支援部 31名、事務部 20名であった。合格率は全体で97.1%であった。 ④ 外国人労働者受け入れ支援計画については研修プログラムやラダーの作成・職員の教育等を提案した。	① 2年間の目標はほぼ達成した。しかし、2部門が達成できなかったため、印刷の冊子には出来なかった。5月中旬に完成を目指す。 ・医療情報室との連携検討が不十分だった。次年度の目標とする。 ② IPE/IPWは会議の中で、共通理解を促す程度とした。 ・ラダーの項目に多職種協働を入れレベル毎の達成基準を統一したことは良かった。 ・次年度のラダー取得の際に、指標に向かって行動変容することが期待出来る。 ③ 研修内容は充実し、グループワークも多職種協働の目的を果たした。次年度は、目標管理やキャリア開発について研修内容を構築する必要がある。指導1級になる中堅層のスタッフ育成力を高める必要がある。 ④ 精神科統括副看護部長・徳之島病院看護部長により教育研修計画が実施された。 職員の意識向上も図れ受け入れがうまく機能した。	① 能力開発プログラムの評価を意識した、ラダー対象者の全職員のラダー申請ができるように支援する。 (慈愛会クリニカルラダー認定制度の開始と構築) ・医療情報室の年間目標にもなっているため協働で進める。 ② IPE/IPWの一環として、共通の場での研究発表の機会を設ける。 ③ 全員経営を意識できるように、慈愛会目標管理方式を理解し実践できるように研修内容とする。 ④ 外国人労働者受け入れ支援は現場の意見を聞きながら必要時支援活動を行う。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

教育開発センターは2年目となり、主な事業として、「看護師特定行為研修の充実」と「診療部門を除く全ての部門の職員のキャリア開発」に継続して取り組んだ。

看護師特定行為研修センターを立ち上げ、研修体制を整えた。鹿児島県では2番目、民間では1番目の指定研修機関となった。初年度は、2区分を同時に受講する研修生を優先して採用した結果、標準コース9名 共通科目免除コース1名の研修生を受け入れた。

キャリア開発支援においては、各部門の担当者が、能力開発について理解し、ラダー認定制度の必要性を認識することを注視し支援を行った。

2019年度 職員のキャリア開発推進者会議の目標

(2018年、2019年度の2年間)

【重点的な取り組み】

- 1) 看護師特定行為研修（2区分）の充実と次年度以降の取得区分確保
- 2) 看護部・事務部・診療支援部の能力開発プログラム作成及びラダー認定制度の支援
- 3) 看護部・事務部・診療支援部合同の管理者任用候補者選考に係る研修の開催と選考
- 4) リソースナースチーム（jining）会の支援

【財務の視点】

看護部・診療支援部・事務部の能力開発による生産性効果

- 1) 目標管理から病院・施設の収益に繋がる役割拡大
(例えば業務改善による超過勤務削減、転倒件数減、褥瘡件数減、不働在庫減、ケア件数 増など、増収と節減の観点から成果が出ること)
- 2) 職員のキャリア開発（資格取得など）による経済効果
- 3) チーム医療推進による診療報酬加算の取得

(例えばNST、多職種カンファレンス実施による加算（退院支援加算など）)

【顧客満足の視点】(職員)

- 1) 能力開発プログラム構築による職員の成長と遣り甲斐感の向上
- 2) 職員の学習の機会と場の提供を明確にすることによる意欲の向上

【業務プロセスの視点】

- 1) 推進者会議の充実 (奇数月開催)

- 2) 職員の教育研修における意識調査 (能力開発プログラム構築前後)

- 3) 各部門の能力開発の概念化

- 4) 能力開発プログラムの作成

- 5) 能力開発プログラムに沿った教育研修の構築

【学習と成長の視点】

- 1) 能力開発プログラムに沿った教育研修による自己のレベルにあった成長

- 2) e-ラーニングからの学習による知識の向上

- 3) ラダー認定による成長

【取り組みの結果】

1. 看護師特定行為研修（2区分）の充実と次年度以降の取得区分確保

- 1) 2019年度開講した研修内容

①研修開催区分と行為（2区分4行為）

区分	行為
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
	創傷に対する陰圧閉鎖療法
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
	脱水症状に対する輸液による補正

②受講者10名及び修了者8名

受講生の医療機関名	人数		修了者
	標準コース	免除コース	
いづろ今村病院	1		1
今村総合病院	2	1	2
谷山病院	1		1
笹貫訪問看護ステーション愛の街	1		1
国立病院機構鹿児島医療センター	1		1
国立病院機構南九州病院	1		1
いちき串木野市医師会立脳神経外科センター訪問看護ステーションさくら	1		1
医療法人徳洲会 徳之島徳洲会病院	1		0

③看護師特定行為研修運営委員会

3回開催 (2019.7.11 2019.9.2 2020.2.6)

④看護師特定行為研修管理委員会

3回開催 (2019.7.29 2019.9.18 2020.3.9)

⑤看護師特定行為研修 開講式 2019.4.4

⑥看護師特定行為研修 修了式 2020.3.18

2) 2020年度研修応募者

①標準コース10名 共通科目免除コース4名

②2020年1月31日 研修生採用試験実施（筆記試

験・面接試験) 全員合格

- ③合格者から1名辞退あり。その他受験者は研修生として採用

- 3) 2020年度開講区分 研修生：標準コース9名 免除コース4名 復学1名)の選択区分

受講者	区分	行為
6	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 創傷に対する陰圧閉鎖療法
6	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 人工呼吸器からの離脱
8	ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 膀胱ろうカテーテルの交換

- 4) 研修生の所属と選択コース

受講生の医療機関名	人数	
	標準コース	免除コース
いづろ今村病院	1	
今村総合病院	1	1
谷山病院		1
慈愛会 法人事業本部	1	
国立病院機構南九州病院	1	1
垂水市立垂水中央病院	1	
医療法人徳洲会 大隅鹿屋病院	2	
医療法人永和会 千年メディカルクリニック	1	
美厚福祉株式会社訪問看護ステーションきずな	1	
いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 訪問看護ステーションさくら		1
医療法人徳洲会 徳之島徳洲会病院（復学）	1	

が表現できるように整理した。

プログラムの内容は、全部門共通する項目は共有し、実践能力に専門性を持たせて整理した。

3月までにすべての部門の能力開発プログラムが完成する予定であったが、2部門が完成まで至らなかった。完成した部門は、表現している意味や用語についてよく理解しながら完成まで至った。

プログラムとラダー評価との整合性が理解でき、自部門のラダー認定について繋がりが見えてきた。次年度は、プログラム達成のための教育研修の構築をそれぞれが見出していくこととしたい。

2. 職員のキャリア開発支援

1) キャリア開発推進者会議開催

2年目となったキャリア開発支援活動は、12部門の能力開発の概念化を明確にし、人材育成について、意識改革を行った。全部門の能力開発プログラムにおいて、ラダーは5段階とし、各部門の専門性

2) 会議開催内容

開催月日	討議内容	備考 活動内容	出席者
第1回 5月14日 (火)	1. 2019年度の活動年間目標について 2. 各部門の能力開発プログラム；ラダーⅢまでの作成状況報告（各部門から報告） 3. ラダーに必要な統合した研修計画について	・社会人基礎力の説明	35名
第2回 7月9日 (火)	1. キャリア開発推進者会議の共有フォルダ；「キャリア開発推進者」の開設と活用について 2. 各部門の能力開発プログラム；ラダーⅤまでの作成状況報告（各部門から報告） 3. 能力開発の職員対象のアンケート調査について 4. 2018年度各部門の教育研修の実施状況について 5. 管理者任用候補者における研修について	・「キャリア開発推進者」共有フォルダ開設 ・推進部門11部門へ（視能訓練士部門追加）	35名
第3回 9月10日 (火)	1. 各部門の概念化の再確認 2. 各部門のラダーⅤまでの能力開発プログラムについて 3. 2018年度の研修実施状況からの課題 4. ラダーの能力開発プログラムに沿った教育研修計画について 5. 研究活動について レベル毎の行動目標の表現 6. 各部門の研究発表会が開催されている部門 7. 今後の活動 8. 次年度～将来的な展望 9. アンケート実施計画について	・能力開発アンケート配布と回収周知 ・アンケート調査；9月13日～10月10日実施 ・管理者任用候補者選考内容確定 ・看護師特定行為研修次年度の計画発表	35名
第4回 11月12日 (火)	1. 能力開発についてのアンケート結果 2. 各部門のレベルⅤまでのプログラム作成状況 3. レベル毎の実践能力到達度（評価表）作成状況 4. 次年度の計画について 5. 管理者任用候補者選考における研修状況について 6. 今後の活動目標	・管理者任用候補者選考における研修：11月7-8日・15-16日 ・選考12月10日	31名
第5回 1月14日 (火)	1. 能力開発の概念化・ラダー・実践能力到達度（評価表）の一貫性について 2. クリニカルラダーの運用について 3. クリニカルラダー申請・認定について 4. クリニカルラダー名称について 5. 次年度の教育研修計画について 6. 今後の活動目標	・ラダーの名称 看護部・診療支援部；クリニカルラダー 事務部；キャリアラダー	31名
第6回	新型コロナウイルス感染対策のため4月に延期		

合同研修会

管理者任用候補者選考における研修

看護部・診療支援部・事務部合同の管理者任用候補者研修と選考は2年目となった。受講者は70名程度とし、3.5日間の研修と筆記試験・面接試験を主として選考は、12月に実施した。

1) 研修開催日

2019年11月7日（木）8：30～17：30

11月8日（金）8：30～17：30

11月15日（金）8：30～17：30

11月16日（土）8：30～12：30

2) 選考日 12月10日（火）

看護部・診療支援部・事務部；筆記試験

看護部；個別面接 理事長面談

診療支援部・事務部；面接は個別対応

3) 研修受講者 68名

看護部：18名、診療支援部：31名、事務部：19名

1) 選考受験者 69名（再受験者含む）

看護部：18名 診療支援部：31名

事務部：20名

2) 選考結果

	受験者	合格者	合格率
看護部	18	16	88.8%
診療支援部	31	31	100%
事務部	20	20	100%
計	69	67	97.1%

技能・能力向上に向けた取り組み

慈愛会 リソースナースチーム (jining) 会活動支援

慈愛会看護部の認定看護師・特定看護師・認定看護師教育課程修了者の会；jiningは、2019年度は23名（認定看護師18名・特定認定看護師2名・特定看護師1名・認定看護師教育課程修了者2名）となり、グループ活動を強化している。会のリーダーを中窪認定看護師が担い、メンバーのエンパワーメントを図った。新たに取り組んだこと

は、公益財団法人としての事業目的である「地域医療従事者の人材育成」を達成するために、地域医療機関への出前研修を開始した。

また、後輩育成のためのPAT研修では、急性期医療と精神科医療で取得してほしい技術を網羅した。それぞれの病院での研修開催は、看護の実践能力とフィジカルアセスメント能力の向上に繋がる研修として好評だった。

2019年度に新たに始めた広報担当グループは、Facebookを有効に活用し、啓蒙活動を開始した。

○グループ活動のまとめ

活動班名・担当	月日・開催地	内容
1) PAT研修：フィジカルアセスメント研修 (切手・浜崎・平川・小波津・中村・稲盛)	9/11 いづろ今村病院 受講者：20名	「急変前変化」 講師：浜崎彩脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
	10/31 谷山病院 受講者：28名	「繰り返さない！誤嚥性肺炎の予防ケアを考える」 講師：中村倫丈集中ケア認定看護師
	11/22 今村総合病院 受講者：13名	「これって眠っているだけ？それとも意識障害？」 講師：平川あゆみ救急看護認定看護師
2) 広報 (小濱・杉田・上野)	Facebook 投稿 Vol.1 いづろ今村病院 PAT 研修 Vol.2 平川救急看護認定看護師紹介 Vol.3 谷山病院 PAT 研修 Vol.4 今村総合病院 PAT 研修 Vol.5 中村集中ケア認定看護師紹介 Vol.6 日本精神科看護協会研修 Vol.7 尾堂糖尿病看護認定看護師紹介 Vol.8 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師紹介	
3) 地域医療従事者対象 「出前研修」 件数：20回 実施先：6病院1施設 (鶴田・中尾・吉森・米澤・今村・加藤・尾堂)	5/15 高岡病院 6/5 高岡病院 7/10 高岡病院 8/2 高岡病院 8/7 高岡病院 8/21 高岡病院 9/4 高岡病院 9/6 鹿児島厚生連病院 9/12 鴨池慈風苑 9/13 天陽会中央病院 10/2 高岡病院 11/6 高岡病院 11/12 尾辻病院 11/20 高岡病院 11/21 小田原病院 11/27 高岡病院 12/11 高岡病院 1/8 高岡病院 1/22 高岡病院 2/27 岩尾病院	認知症の理解 (鶴田奈緒美) 呼吸のフィジカルアセスメント (中村倫丈) 多重課題シミュレーション (中村倫丈) カンフォータブルケア (鶴田奈緒美) SBAR (小濱奈々) クリティカル領域の安全管理 (中村倫丈) 急変に気付くフィジカルアセスメント (中村倫丈) 新人看護師研修「褥創の基礎から治療まで」 (米澤美智代) 窒息の対応 (小濱奈々) ストーマケア・ストーマ装具 (米澤美智代) BLS (平川あゆみ) 窒息の対応 (小濱奈々) 認知症の理解 疾患の特徴と治療・ケア (鶴田奈緒美) 感染管理 (切手康加) 今から急増するインフルエンザ感染対策 (中尾明美) せん妄のマネジメント (中村倫丈) 感染管理 (川畑友佳) 認知症の理解 (鶴田奈緒美) 災害看護 (平川あゆみ) ノロウイルス感染対策 (切手康加)
4) 認定看護師リーダー (谷村・荒木・内田)	レベルⅢ段階リーダー作成	内容の見直しを次年度に繰り越す

業 績 一 覧

【学会発表】

1. 中重敬子：真のチーム医療体制構築のための組織づくり．第4回日本臨床知識学会学術集会，2020年1月25日，東京

【研究会・講演会】

1. 中重敬子：認定看護管理者セカンドレベル教育 経営資源と管理の実際（適切な療養環境の整備）．鹿児島県看護協会，2019年10月28日，鹿児島

社会的活動

●地域に開かれた病院づくり

○2019年7月24日 奄美病院夏祭り

七夕飾りに彩られた夜店が並ぶ会場で、患者さん、ご利用者、ご家族、地域の方々、職員も一緒に、夏の夜のひと時を楽しみました。ステージではコミュニティラジオ局「あまみエフエム ディ！ウェイヴ！」の渡陽子さん司会のもと、病棟やデイケア職員による余興、フラダンスなど盛りだくさんの演目が披露されました。地元朝仁町内会による「八月踊り」、2年ぶりとなった打ち上げ花火が、雰囲気盛り上げました。



○2019年8月10日 今村総合病院わくわくキッズ病院探検

病院内の多種多様な仕事を紹介し、体験を通して医療への関心を高めてもらう企画「わくわくキッズ病院探検」に、地元地域の小学4～6年生11名、保護者12名が参加しました。手術体験をはじめ、高気圧酸素療法、画像診断、超音波検査、リハビリテーション等、たくさんの医療現場を体験していただきました。参加した児童の皆さんからは「疲れたけれど楽しかった」との声が聞かれました。



○ 2019 年 10 月 5 日 第 10 回いづろ今村病院健康まつり

毎年恒例の内容に加え、新しい企画として、介護カフェや外部講師による市民公開講座「口は健康の源」(講師:鹿児島県消化器がん検診推進機構代表理事 会長 草野 健先生、鹿児島大学病院口腔顎顔面センター長 口腔外科教授 杉浦 剛先生)を開催しました。地域の方々に多数ご来場いただき、健康チェックや各種相談等、それぞれのブースが賑わいを見せていました。参加した方々からは「各ブースで親身になって対応していただいた」「健康を見直す良い機会になった」等のありがたいご感想をいただきました。



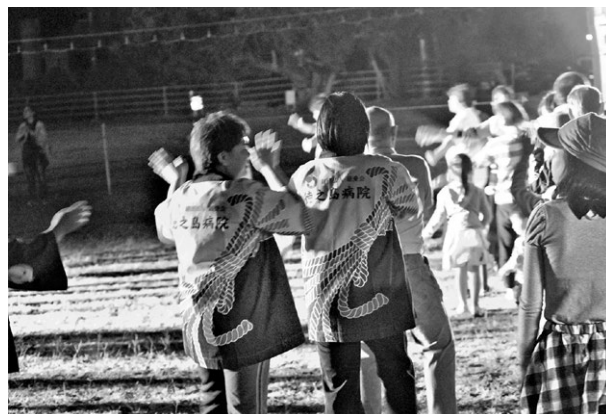
○ 2019 年 10 月 20 日 谷山病院・愛と結の街・小原町内会 合同秋祭り

「令和の和、地域の輪 ～地域の方々と共に育もう 新しい時代～」をテーマに開催しました。和太鼓に始まり、作業療法・楽器演奏グループ、地域活動支援センター ひだまりの音楽サークル、地元小中高校の児童生徒による吹奏楽演奏やダンスが会場を盛り上げました。また、東谷山小の児童が描いた谷山病院のスケッチを展示し、地域の方や児童のご家族から好評をいただきました。これまで一緒に秋祭りを支えてくださった出店者 参加者の皆さまに加えて、さらに「地域の輪」を広げることができました。



○ 2019 年 11 月 1 日 徳之島病院秋祭り

夏祭りが雨天中止となったため、予定を変更して、徳之島病院創立記念日の11月1日に「徳之島病院秋祭り」を開催しました。様々なゲストによる歌やダンス、患者さんのカラオケ大会が行われ、大いに盛り上がりました。患者さんの中には、自然と体が動いたのか、踊りだす姿も見られました。日々の業務で忙しい中、スタッフが一丸となり取り組むことで多数の患者さんが参加することができました。



○ 2019 年 12 月 7 日 今村総合病院 冬の健康まつり

病院スタッフが、イオン鹿児島鴨池店 イベント広場に出向いて開催しました。健康チェック(血圧、心電図、骨密度、CO測定、等)、健康相談(栄養、お薬、在宅医療、介護、等)、ミニ講演「認知症とは」「嚥下障害について」「健やかなシニアライフをおくるために」、BLS講習など、たくさんの催しを行いました。



○ 2019 年 12 月 14 日 奄美病院クリスマス会

地域の方々や、奄美高校、奄美看護福祉専門学校の学生ボランティアの協力を得て、奄美市名瀬総合体育館で賑やかに開催しました。患者さんによる踊り、地元有志のオーケストラ・歌なども披露していただきました。精神科医療で「地域移行」が重要視される現代、このような地域との繋がりが果たす役割は大きいものと思料されます。今後も地域の皆さんとのふれあいの場を大切にしていきます。



●地域貢献

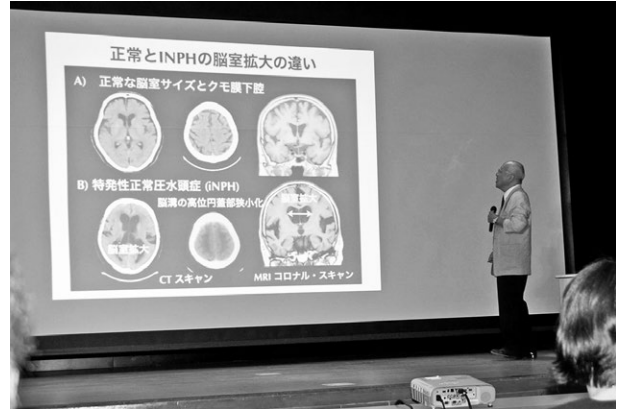
○ 2019 年 5 月 13 日 企業主導型保育所「さんさんすまいる」オープン 地域児童受け入れ開始

今村総合病院が従来の院内託児所（旧定員 39 名）を病院近くの 2 つの建物に移転・拡張し、職員以外にも広く地域住民の利用が可能な「企業主導型保育所」（新定員 51 名）に衣替えしました。未就学児を対象に、病児保育も 8 月 5 日に開始しました。慈愛会では奄美病院に続き 2 カ所めの企業主導型保育所開設となりました。慈愛会の公益目的事業のひとつ「子ども、子育て支援等に係る総合的な支援」の一環として、地域の子育て支援に貢献してまいります。



○ 2019 年 10 月 4 日 第 30 回慈愛会キャリアアップセミナー

「認知症の不思議な世界 ～最新知見とケア～」をテーマに鹿児島市民文化ホールで開催し、医療従事者を中心に約 270 名が聴講しました。講師の島根大学名誉教授 慶応義塾大学客員教授の堀口 淳先生は、認知症の方への対応のコツについて「徹底的に褒める」「今できることを大げさすぎるくらいに高く評価して、メンツを立てる」等、パフォーマンスを交えて具体的に紹介してくださいました。「認知症患者のケアは、能力を維持することが目標。喜びを共にして希望に繋げるのが我々医療者の仕事です」と強調されました。



○ 2019 年 11 月 2 日 第 68 回おはら祭 夜祭り

鹿児島市街地に大勢の踊り連が繰り出すおはら祭。今年は「鹿児島市制 130 周年記念」として開催されました。慈愛会は例年同様、本祭前日の夜祭りに 200 名超が参加しました。決起集会では慈愛会 今村 英仁理事長の挨拶、愛と結の街 野村 秀洋施設長による乾杯の音頭で、病院施設の枠組みを超えた一体感が生まれました。仕事の合間を縫って踊りの練習に励んできた成果を発揮しつつ、施設内外のスタッフ同士、交流を深める好機ともなりました。



○ 2019 年 11 月 22 日 職場の健康と健康経営を考える会

いづろ今村病院・慈愛会健康管理センターが初めて企画・開催し、事業主、企業の健康診断・人間ドック窓口担当者、保健師、産業医など、31 社 55 名の参加をいただきました。講演では、鹿児島産業保健総合支援センター所長の草野 健先生が、労働衛生関連法令や産業医の業務、産業医とのかかわり方についてお話しされました。慈愛会健康管理センターの久保田 敬子センター長は、健診結果の活用法、これからの健康経営に求められることについて講演しました。いづろ今村病院の各部署からそれぞれ取り組みや検査などの説明も行い、「大変勉強になった」とのご感想をいただきました。



○ 2020 年 3 月 30 日 鹿児島市「災害時における妊産婦福祉避難所」協定締結式

鹿児島中央看護専門学校は、鹿児島市内の他の 4 看護師養成所とともに、2020 年 4 月から鹿児島市の「災害時における妊産婦福祉避難所」に指定されることとなりました。福祉避難所は、一般の指定避難所（小中学校体育館等）での生活において何らかの特別な配慮を必要とする方（高齢者、障がい者、乳幼児等）を対象に、災害規模や一般の指定避難所の状況等に応じて、鹿児島市が設置を判断・開設するものです。本校は乳児の沐浴設備や宿泊に活用できるベッドがあり、プライバシーを保つことができる施設として、妊産婦向け避難所に選ばれました。鹿児島市役所で行われた協定締結式で、大保まり子副校長が協定書に調印しました。森博幸市長は「災害発生時の避難生活の環境改善に大きく寄与するもので、大変心強く思います」と設置協力への謝意を述べました。



編集後記

慈愛会年報作成委員会 副委員長

公益財団法人慈愛会今村総合病院 名誉院長兼臨床研究センター長

宇都宮 與

公益財団法人慈愛会の法人年報も早第4号を迎えました。理事長先生が撮影されました表紙の桜島の写真は不動のものですが、年報の内容は年々充実を増しております。理事長、会長の巻頭言があり、各施設の施設長による総括から始まり、施設紹介、診療実績を紹介する病院施設指標、各診療科の研究業績（論文・学会発表）、研修医育成の取り組み紹介、PDCAを用いた部門別事業報告、法人の社会的活動などが網羅的にまとめられています。法人年報は、Webを中心に発刊して4号になりますが、内容は発刊を増すたびに整理・統一されてきて、見やすく、読みやすくなり、充実を続けております。法人年報は、大きな法人組織の活動を把握する非常に有用な資料集であります。一人でも多くの職員が目を通して慈愛会の現状を理解してさらなる飛躍に役立てていただきたいと思います。

最後に法人年報の作成にあたり、御協力いただきました作成委員の皆様には深謝いたします。

慈愛会年報作成委員会

委員長 納 光弘（公益財団法人慈愛会 会長）

副委員長 宇都宮 與（公益財団法人慈愛会今村総合病院 名誉院長 兼 臨床研究センター長）

委員 鈴木 大輔（今村総合病院）、細川 貴子（いづろ今村病院）、松山 匡博（谷山病院）、白原 弘紀（奄美病院）
満 将義・芳 あずさ（徳之島病院）、高橋 千秋（愛と結の街）、濱下 千浪（鹿児島中央看護専門学校）
黒瀬 寛（高麗町クリニック）、内田 良慶・高野 正樹・中馬 敦志・瀬涯 里花（法人事業本部）

公益財団法人慈愛会 年報

—— 第4号 ——

発行日	2020年6月
発行者	今村 英仁
発行所	公益財団法人慈愛会 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号 TEL 099(256)0311
編集	慈愛会年報作成委員会
制作・印刷	株式会社イースト朝日 鹿児島県鹿児島市南栄3丁目30-7 TEL 099(266)5522

医療の原点は慈愛にあり